

笠岡市

市民意識調査報告書

平成24年11月14日

笠岡市政策部企画政策課

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法と回収結果	1
II. 重要度・満足度調査結果	2
1. 重要度・満足度からみた課題の分析	2
2. 満足度調査の結果	6
3. 重要度調査の結果	8
4. 居住地域ごとの重要度・満足度	10
5. 笠岡市の住み心地ごとの重要度・満足度	17
6. 笠岡市への定住意向ごとの重要度・満足度	20
III. 施策指標値調査結果	24
1. 施策名ごとの指標値	24
IV. 質問項目の分析	26
1. 回答者の「居住の経緯」による分析	26
2. 個別分析及び回答者の属性による分析	28
V. 回答者の属性	105
VI. ごみに関するアンケート	123
VII. 人権に関するアンケート	132

I. 調査の概要

1 調査の目的

笠岡市では、地域の課題に対する市民のみなさまの重要度や満足度、市の提供するサービスや施設の満足度についてご意見をうかがい、今後の市政運営に役立てることを目的としてこの調査を実施した。

2 調査方法と回収結果

(1) 調査地区

岡山県笠岡市全域

(2) 調査対象

市内在住の18歳以上の男女3,000人

(3) 抽出方法

平成24年7月1日現在 満18歳以上の市民から無作為抽出。

(4) 調査方法

調査票を郵送にて配布し、郵送にて回収。

(5) 調査期間

平成24年7月13日～8月3日

(6) 回収結果

抽出数	有効回答数	有効回答率
3,000人	1,269人	42.3%

(7) 留意点

- ① 結果は百分率で表示しました。百分率は小数点第2位を四捨五入したため、比率の合計が100%と一致しない場合がある。
- ② 一部の人を対象とする質問では、質問該当者数を分母にして算出した。
- ③ 複数回答の百分率の合計は、100%を超える。
- ④ 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めている。

II. 重要度・満足度調査結果

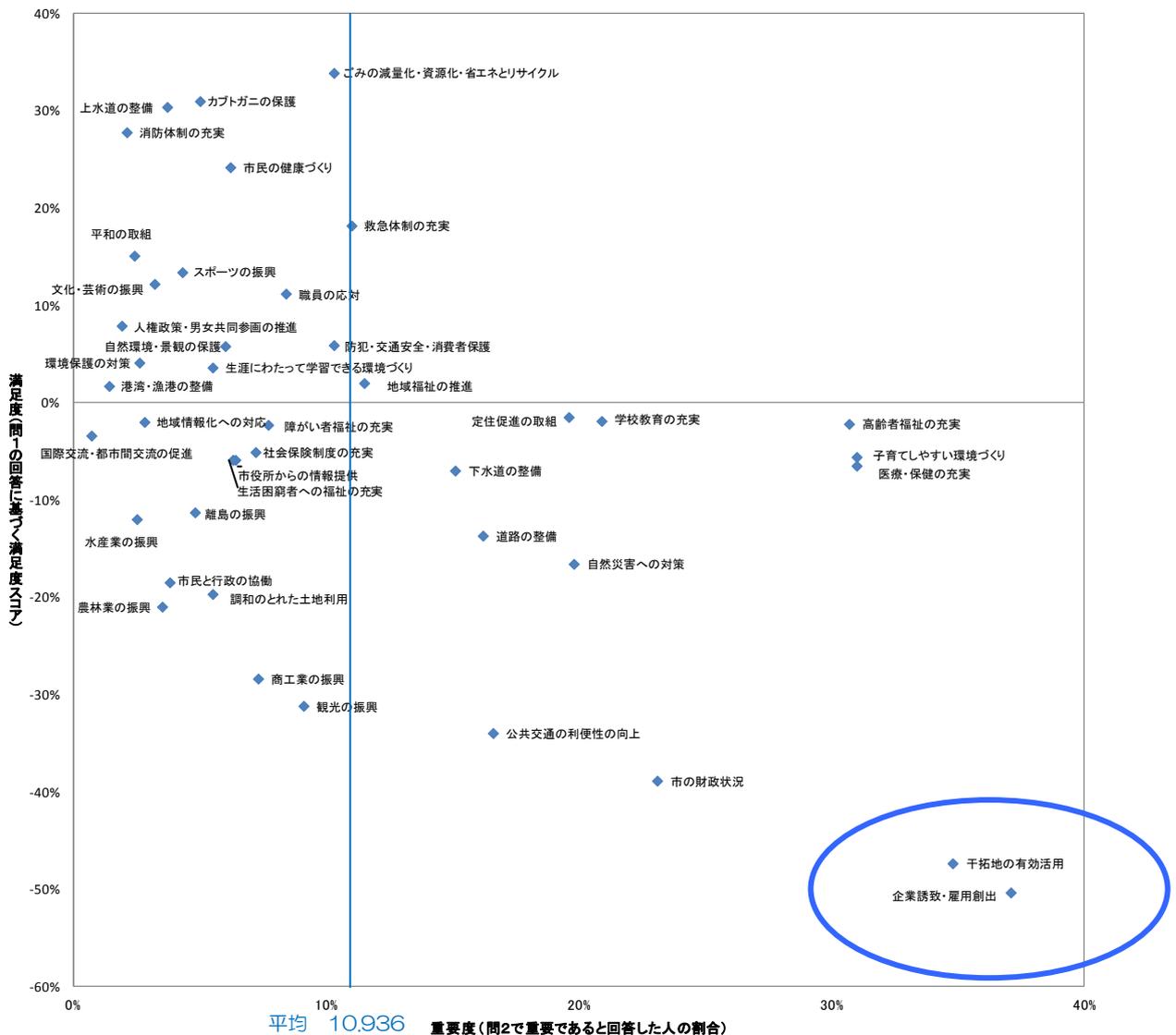
1 重要度・満足度からみた課題の分析

横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、重要度の平均値（10.94%）と満足度の平均値（-0.34%）を交点としたグラフに、各アンケート項目をプロットする形式で示した。
重要度、満足度の算出方法は以下のとおりである。

重要度: 当該項目が重要であると選択した人の割合（選択件数／有効回答者 1,269 件）

満足度: 「満足率（「満足」、「まあ満足」と回答した人の割合）」から「不満率（「やや不満」、「不満」と回答した人の割合）」を控除した数値（以下「満足度スコア」という。）

笠岡市 項目の重要度・満足度



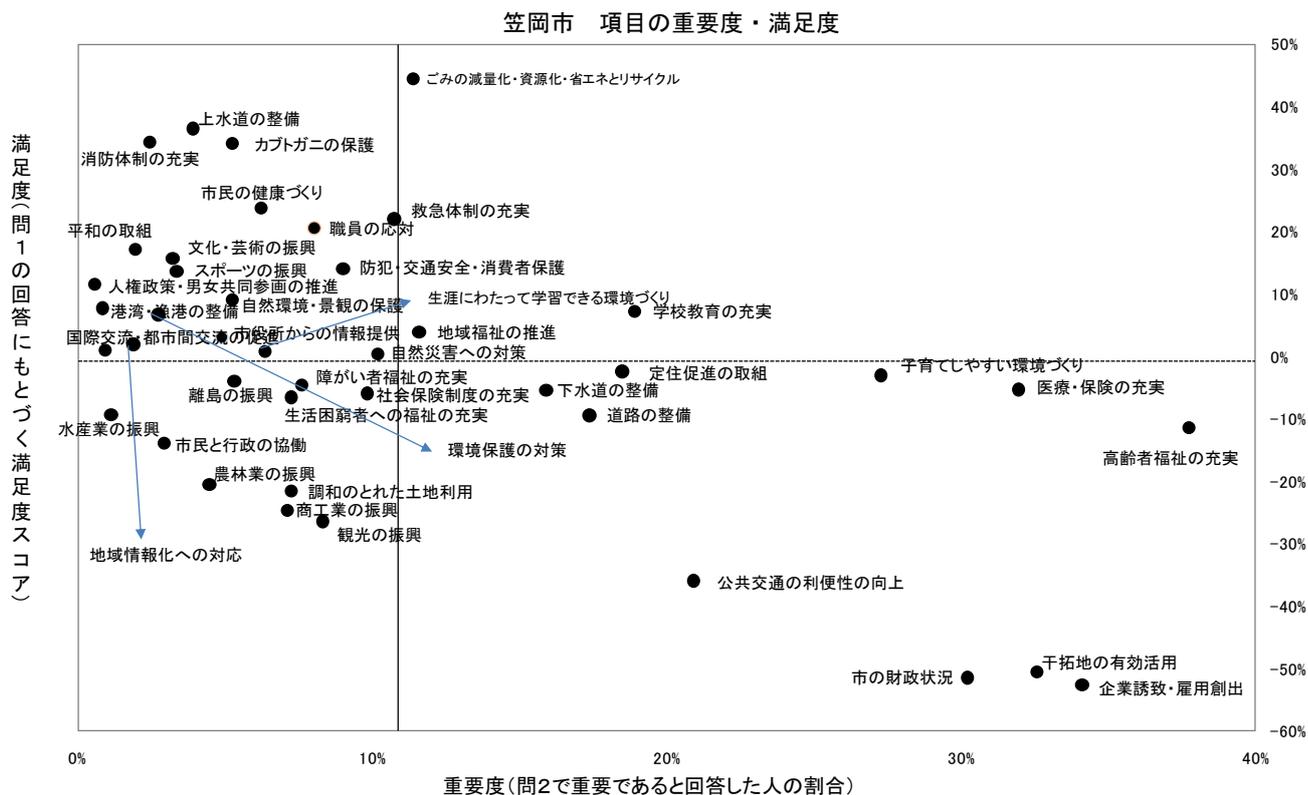
重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」「干拓地の有効活用」いう結果になった。

《参考》前回（平成 22 年度）実施した調査の重要度・満足度調査結果

横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、重要度の平均値（10.89%）と満足度の平均値（-0.80%）を交点としたグラフに、各アンケート項目をプロットする形式で示した。

重要度：当該項目が重要であると選択した人の割合（選択件数／有効回答者 1,433 件）

満足度：「満足率（「満足」、「まあ満足」と回答した人の割合）」から「不満率（「やや不満」、「不満」と回答した人の割合）」を控除した数値（以下「満足度スコア」という。）



項目ごとの重要度（問2で重要であると回答した人の割合）、満足度（問1の回答に基づく満足度スコア）は以下のとおりである。

重要度・満足度欄の左側の数値は今回調査の数値、右側の数値は平成22年度の数値である。

総合計画大綱	項目	重要度		満足度	
		今回調査	平成22年度	今回調査	平成22年度
定住促進	定住促進の取組	19.6%	18.5%	-1.5%	-2.4%
安全で快適なまちづくり	調和のとれた土地利用（土地利用の制限）	5.5%	7.3%	-19.7%	-21.5%
	自然環境・景観の保護	6.0%	5.2%	5.8%	9.1%
	公共交通の利便性の向上	16.6%	20.9%	-34.0%	-35.9%
	道路の整備	16.2%	17.4%	-13.7%	-9.4%
	港湾・漁港の整備	1.4%	0.8%	1.7%	7.7%
	上水道の整備	3.7%	3.9%	30.4%	36.6%
	下水道の整備	15.1%	15.9%	-7.0%	-5.4%
	自然災害への対策	19.8%	10.2%	-16.6%	0.5%
	消防体制の充実	2.1%	2.4%	27.8%	34.4%
	ごみの減量化・資源化・省エネとリサイクル	10.3%	11.4%	33.9%	44.5%
	防犯・交通安全・消費者保護	10.3%	9.0%	5.9%	14.1%
	地域情報化への対応	2.8%	1.9%	-2.0%	2.0%
	環境保護の対策	2.6%	2.7%	4.1%	6.8%
	カブトガニの保護	5.0%	5.2%	31.0%	34.2%
心豊かな人づくり	学校教育の充実	20.9%	18.9%	-1.9%	7.3%
	文化・芸術の振興	3.2%	3.2%	12.2%	15.7%
	生涯にわたって学習できる環境づくり	5.5%	6.4%	3.6%	0.8%
	スポーツの振興	4.3%	3.3%	13.4%	13.7%
	人権政策・男女共同参画の推進	1.9%	0.6%	7.9%	11.6%
	平和の取組	2.4%	2.0%	15.1%	17.2%
安心して暮らせるまちづくり	地域福祉の推進	11.5%	11.6%	2.0%	3.9%
	子育てしやすい環境づくり	31.0%	27.3%	-5.6%	-3.0%
	市民の健康づくり	6.2%	6.2%	24.2%	23.9%
	高齢者福祉の充実	30.7%	37.8%	-2.2%	-11.4%
	障がい者福祉の充実	7.7%	7.6%	-2.3%	-4.5%
	生活困窮者への福祉の充実	6.4%	7.3%	-5.9%	-6.5%
	医療・保健の充実	31.0%	32.0%	-6.5%	-5.3%
	救急体制の充実	11.0%	10.7%	18.2%	22.1%
活気あるまちづくり	社会保険制度の充実	7.2%	9.8%	-5.1%	-5.9%
	企業誘致・雇用創出	37.1%	34.1%	-50.4%	-52.6%
	農林業の振興	3.5%	4.5%	-21.0%	-20.5%
	水産業の振興	2.5%	1.1%	-12.0%	-9.3%
	商工業の振興	7.3%	7.1%	-28.4%	-24.6%
	観光の振興	9.1%	8.3%	-31.2%	-26.4%
	離島の振興	4.8%	5.3%	-11.3%	-4.0%
人と人がつながるまちづくり	干拓地の有効活用	34.8%	32.6%	-47.4%	-50.5%
	市民と行政の協働	3.8%	2.9%	-18.5%	-13.8%
計画実現に向けた取組	国際交流・都市間交流の促進	0.7%	0.9%	-3.4%	1.0%
	市の財政状況	23.1%	30.2%	-38.9%	-51.5%
	市役所からの情報提供	6.3%	4.9%	-5.9%	3.1%
	職員の対応	8.4%	8.0%	11.2%	20.6%

《参考》前回（平成22年度）実施した調査の重要度・満足度

（問2で重要であると回答した人の割合）、満足度（問1の回答に基づく満足度スコア）は以下のとおりだった。

総合計画大綱	項目	重要度	満足度
定住促進	定住促進の取組	18.5%	-2.4%
安全で快適な まちづくり	調和のとれた土地利用（土地利用の制限）	7.3%	-21.5%
	自然環境・景観の保護	5.2%	9.1%
	公共交通の利便性の向上	20.9%	-35.9%
	道路の整備	17.4%	-9.4%
	港湾・漁港の整備	0.8%	7.7%
	上水道の整備	3.9%	36.6%
	下水道の整備	15.9%	-5.4%
	自然災害への対策	10.2%	0.5%
	消防体制の充実	2.4%	34.4%
	ごみの減量化・資源化・省エネとリサイクル	11.4%	44.5%
	防犯・交通安全・消費者保護	9.0%	14.1%
	地域情報化への対応	1.9%	2.0%
	環境保護の対策	2.7%	6.8%
	カブトガニの保護	5.2%	34.2%
心豊かな 人づくり	学校教育の充実	18.9%	7.3%
	文化・芸術の振興	3.2%	15.7%
	生涯にわたって学習できる環境づくり	6.4%	0.8%
	スポーツの振興	3.3%	13.7%
	人権政策・男女共同参画の推進	0.6%	11.6%
	平和の取組	2.0%	17.2%
安心して暮らせる まちづくり	地域福祉の推進	11.6%	3.9%
	子育てしやすい環境づくり	27.3%	-3.0%
	市民の健康づくり	6.2%	23.9%
	高齢者福祉の充実	37.8%	-11.4%
	障がい者福祉の充実	7.6%	-4.5%
	生活困窮者への福祉の充実	7.3%	-6.5%
	医療・保健の充実	32.0%	-5.3%
	救急体制の充実	10.7%	22.1%
活気ある まちづくり	社会保険制度の充実	9.8%	-5.9%
	企業誘致・雇用創出	34.1%	-52.6%
	農林業の振興	4.5%	-20.5%
	水産業の振興	1.1%	-9.3%
	商工業の振興	7.1%	-24.6%
	観光の振興	8.3%	-26.4%
	離島の振興	5.3%	-4.0%
人と人がつながる まちづくり	干拓地の有効活用	32.6%	-50.5%
	市民と行政の協働	2.9%	-13.8%
計画実現に 向けた取組	国際交流・都市間交流の促進	0.9%	1.0%
	市の財政状況	30.2%	-51.5%
	市役所からの情報提供	4.9%	3.1%
	職員の対応	8.0%	20.6%

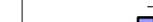
2 満足度調査の結果

満足度調査（問1「次に示す項目について、笠岡市の現状をどのように思われますか。項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。」）では、満足度スコア（満足率－不満率）が最も高かった項目は「ごみの減量化・資源化・省エネとリサイクル推進」で33.9%、最も低かったものは「企業誘致・雇用創出」で-50.4%となった。

満足率	順位	項目	満足度	不満率
49.4%	1	ごみの減量化・資源化・省エネとリサイクル	33.9%	15.5%
44.5%	2	カブトガニの保護	31.0%	13.5%
47.7%	3	上水道の整備	30.4%	17.3%
38.4%	4	消防体制の充実	27.8%	10.6%
38.0%	5	市民の健康づくり	24.2%	13.8%
35.7%	6	救急体制の充実	18.2%	17.5%
22.2%	7	平和の取組	15.1%	7.1%
28.1%	8	スポーツの振興	13.4%	14.7%
26.9%	9	文化・芸術の振興	12.2%	14.7%
36.6%	10	職員の応対	11.2%	25.4%
18.1%	11	人権政策・男女共同参画の推進	7.9%	10.2%
25.7%	12	防犯・交通安全・消費者保護	5.9%	19.8%
26.9%	13	自然環境・景観の保護	5.8%	21.1%
20.4%	14	環境保護の対策	4.1%	16.3%
22.5%	15	生涯にわたって学習できる環境づくり	3.6%	18.9%
23.9%	16	地域福祉の推進	2.0%	21.9%
16.3%	17	港湾・漁港の整備	1.7%	14.6%
19.2%	18	定住促進の取組	-1.5%	20.7%
21.7%	19	学校教育の充実	-1.9%	23.6%
18.1%	20	地域情報化への対応	-2.0%	20.1%
23.8%	21	高齢者福祉の充実	-2.2%	26.0%
17.0%	22	障がい者福祉の充実	-2.3%	19.3%
9.4%	23	国際交流・都市間交流の促進	-3.4%	12.8%
16.2%	24	社会保険制度の充実	-5.1%	21.3%
19.9%	25	子育てしやすい環境づくり	-5.6%	25.5%
24.4%	26	市役所からの情報提供	-5.9%	30.3%
10.3%	27	生活困窮者への福祉の充実	-5.9%	16.2%
24.9%	28	医療・保健の充実	-6.5%	31.4%
28.0%	29	下水道の整備	-7.0%	35.0%
10.8%	30	離島の振興	-11.3%	22.1%
5.8%	31	水産業の振興	-12.0%	17.8%
28.5%	32	道路の整備	-13.7%	42.2%
12.3%	33	自然災害への対策	-16.6%	28.9%
9.9%	34	市民と行政の協働	-18.5%	28.4%
10.1%	35	調和のとれた土地利用	-19.7%	29.8%
5.0%	36	農林業の振興	-21.0%	26.0%
3.7%	37	商工業の振興	-28.4%	32.1%
8.0%	38	観光の振興	-31.2%	39.2%
14.3%	39	公共交通の利便性の向上	-34.0%	48.3%
5.0%	40	市の財政状況	-38.9%	43.9%
9.3%	41	干拓地の有効活用	-47.4%	56.7%
2.6%	42	企業誘致・雇用創出	-50.4%	53.0%

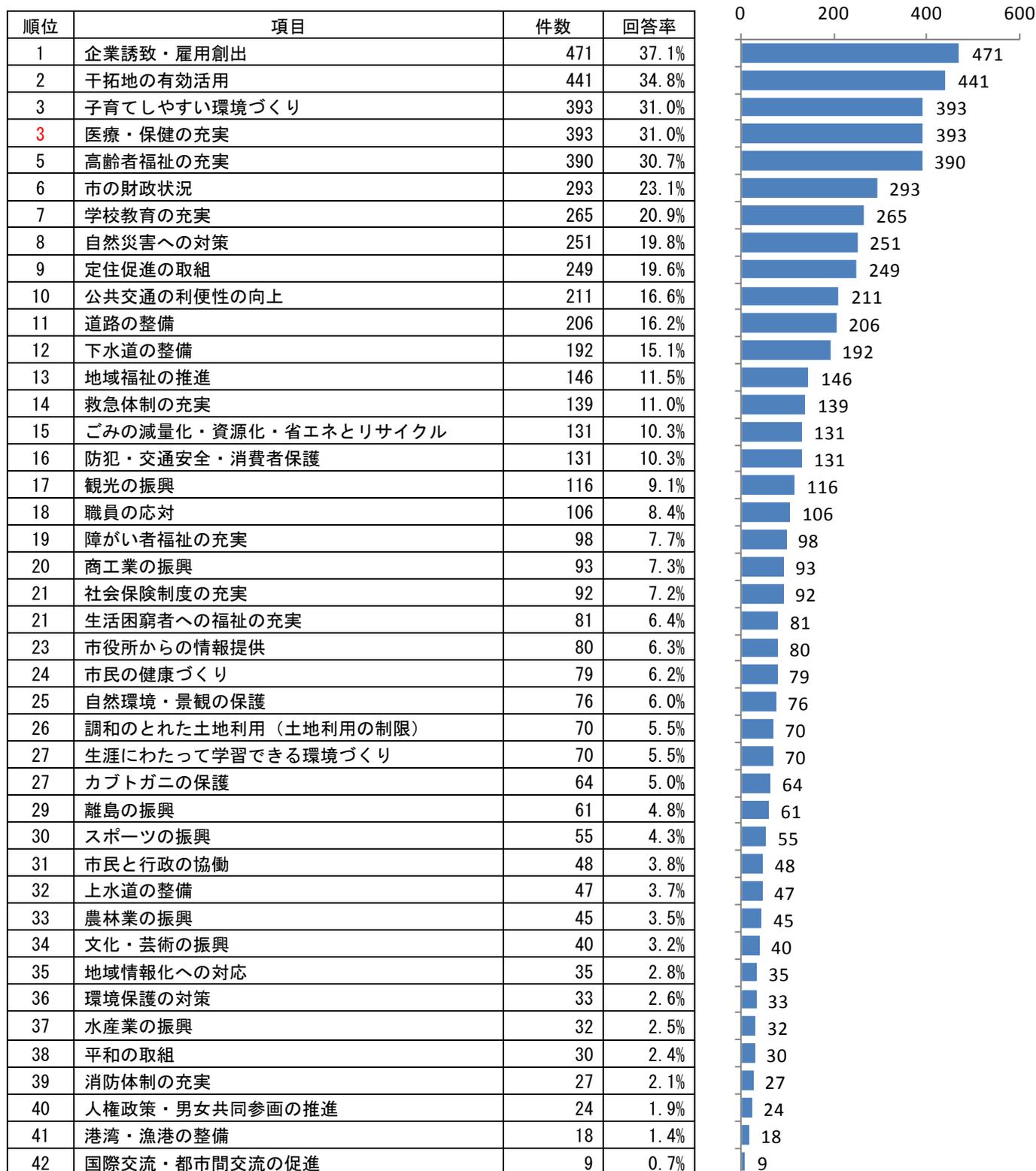
《参考》前回（平成22年度）実施した満足度調査結果

満足度調査（問1「次に示す項目について、笠岡市の現状をどのように思われますか。項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。」）では、満足度スコア（満足率－不満率）が最も高かった項目は「ごみの減量化・資源化・省エネとリサイクル推進」で44.5%、最も低かったものは「企業誘致・雇用創出」で-52.6%となった。

	満足率	順位	項目	満足度	不満率	
	57.0%	1	ごみの減量化・資源化・省エネとリサイクル	44.5%	12.5%	
	51.8%	2	上水道の整備	36.6%	15.3%	
	42.8%	3	消防体制の充実	34.4%	8.4%	
	47.0%	4	カブトガニの保護	34.2%	12.8%	
	36.7%	5	市民の健康づくり	23.9%	12.8%	
	38.8%	6	救急体制の充実	22.1%	16.7%	
	43.3%	7	職員の応対	20.6%	22.7%	
	24.8%	8	平和の取組	17.2%	7.5%	
	29.2%	9	文化・芸術の振興	15.7%	13.5%	
	30.5%	10	防犯・交通安全・消費者保護	14.1%	16.4%	
	28.8%	11	スポーツの振興	13.7%	15.0%	
	20.6%	12	人権政策・男女共同参画の推進	11.6%	9.0%	
	30.5%	13	自然環境・景観の保護	9.1%	21.4%	
	20.1%	14	港湾・漁港の整備	7.7%	12.4%	
	26.7%	15	学校教育の充実	7.3%	19.5%	
	23.7%	16	環境保護の対策	6.8%	16.9%	
	25.8%	17	地域福祉の推進	3.9%	21.9%	
	30.4%	18	市役所からの情報提供	3.1%	27.3%	
	21.3%	19	地域情報化への対応	2.0%	19.3%	
	13.8%	20	国際交流・都市間交流の促進	1.0%	12.8%	
	22.3%	21	生涯にわたって学習できる環境づくり	0.8%	21.4%	
	21.9%	22	自然災害への対策	0.5%	21.4%	
	17.9%	23	定住促進の取組	-2.4%	20.2%	
	22.6%	24	子育てしやすい環境づくり	-3.0%	25.6%	
	16.0%	25	離島の振興	-4.0%	20.0%	
	16.3%	26	障がい者福祉の充実	-4.5%	20.9%	
	25.8%	27	医療・保健の充実	-5.3%	31.1%	
	30.8%	28	下水道の整備	-5.4%	36.2%	
	17.0%	29	社会保険制度の充実	-5.9%	23.0%	
	11.4%	30	生活困窮者への福祉の充実	-6.5%	17.9%	
	7.7%	31	水産業の振興	-9.3%	17.0%	
	31.2%	32	道路の整備	-9.4%	40.6%	
	19.9%	33	高齢者福祉の充実	-11.4%	31.3%	
	12.4%	34	市民と行政の協働	-13.8%	26.2%	
	5.2%	35	農林業の振興	-20.5%	25.7%	
	9.9%	36	調和のとれた土地利用（土地利用の制限）	-21.5%	31.4%	
	6.1%	37	商工業の振興	-24.6%	30.8%	
	10.9%	38	観光の振興	-26.4%	37.3%	
	14.2%	39	公共交通の利便性の向上	-35.9%	50.1%	
	7.5%	40	干拓地の有効活用	-50.5%	58.0%	
	3.8%	41	市の財政状況	-51.5%	55.3%	
	2.9%	42	企業誘致・雇用創出	-52.6%	55.5%	

3 重要度調査の結果

重要度調査（問2「あなたは、笠岡市にとって、次に示す項目のうち何が重要な課題だと思いますか。重要だと思うものを5つまで選んで、番号に○をつけてください。」）で最も重要度が高い結果になった項目は「企業誘致・雇用創出」471件（37.1%）、次いで「干拓地の有効利用」441件（34.8%）、「子育てしやすい環境づくり」「医療・保健の充実」がともに393件（31.0%）となった。

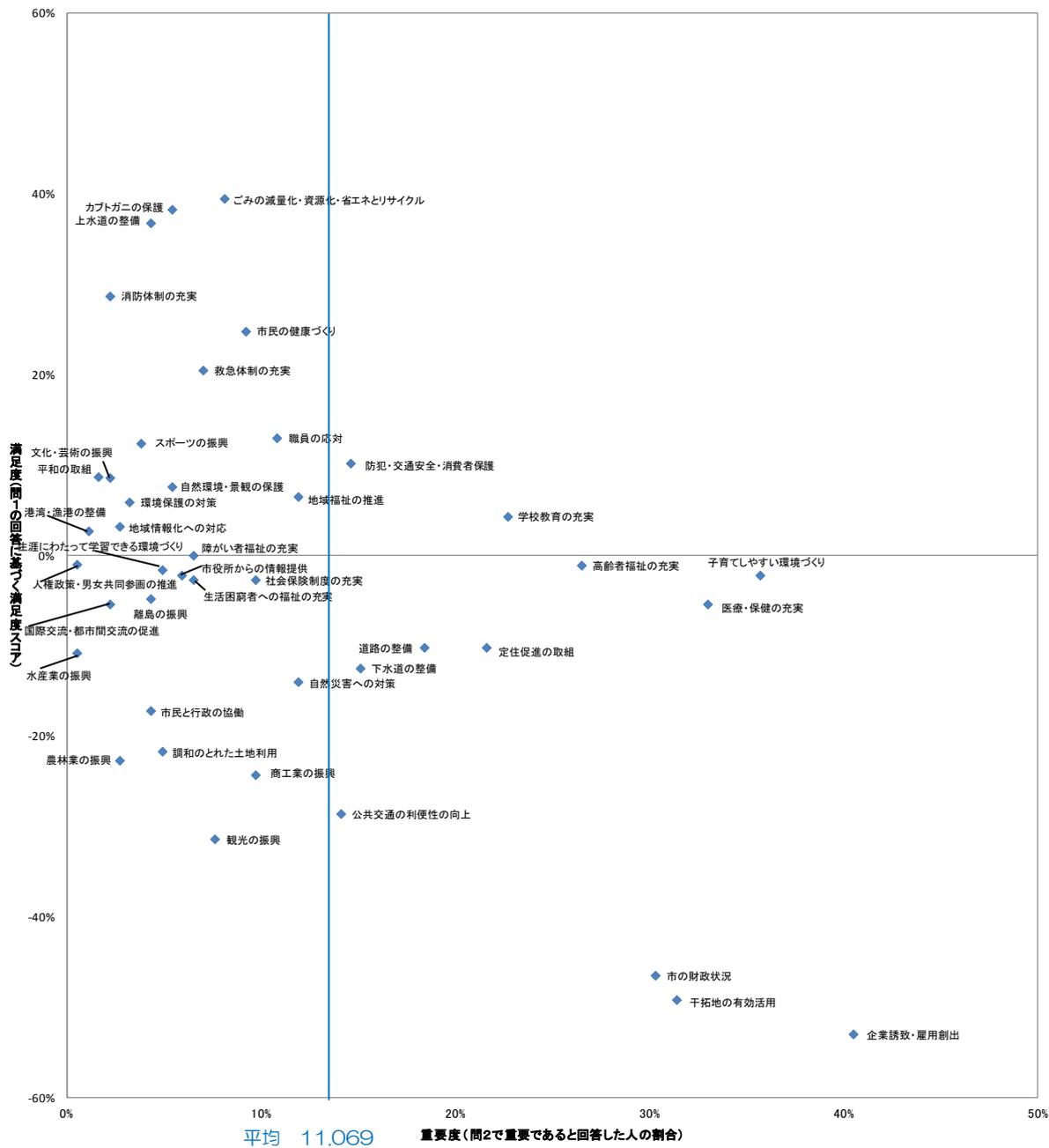


《参考》前回（平成22年度）実施した重要度調査結果

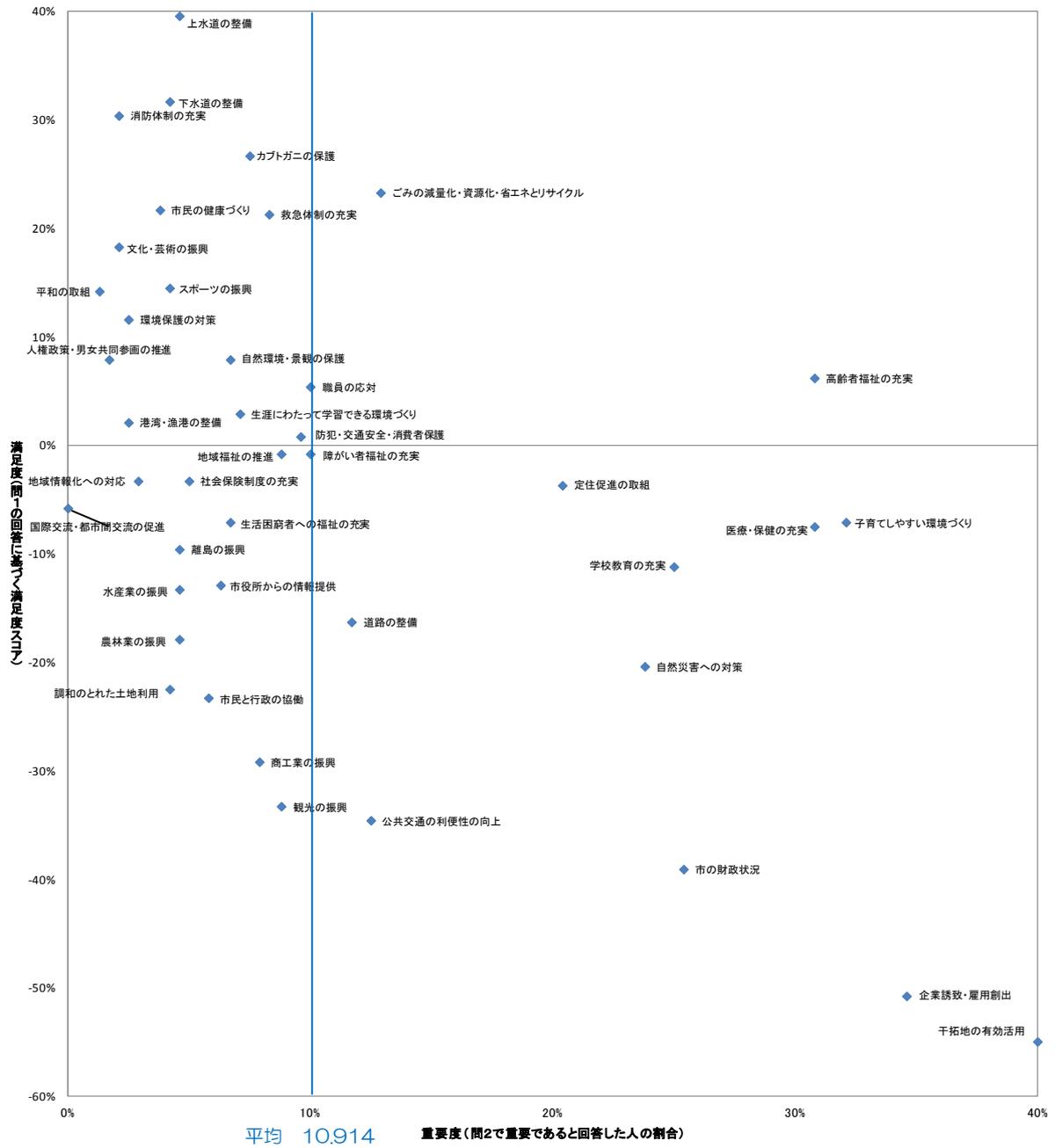
重要度調査（問2「あなたは、笠岡市にとって、次に示す項目のうち何が重要な課題だと思いますか。重要だと思うものを5つまで選んで、番号に○をつけてください。」）で最も重要度が高い結果になった項目は「高齢者福祉の充実」541件（37.8%）、次いで「企業誘致・雇用創出」489件（34.1%）、「干拓地の有効活用」467件（32.6%）となった。

順位	項目	件数	回答率
1	高齢者福祉の充実	541	37.8%
2	企業誘致・雇用創出	489	34.1%
3	干拓地の有効活用	467	32.6%
4	医療・保健の充実	458	32.0%
5	市の財政状況	433	30.2%
6	子育てしやすい環境づくり	391	27.3%
7	公共交通の利便性の向上	300	20.9%
8	学校教育の充実	271	18.9%
9	定住促進の取組	265	18.5%
10	道路の整備	249	17.4%
11	下水道の整備	228	15.9%
12	地域福祉の推進	166	11.6%
13	ごみの減量化・資源化・省エネとリサイクル	163	11.4%
14	救急体制の充実	154	10.7%
15	自然災害への対策	146	10.2%
16	社会保険制度の充実	141	9.8%
17	防犯・交通安全・消費者保護	129	9.0%
18	観光の振興	119	8.3%
19	職員の対応	115	8.0%
20	障がい者福祉の充実	109	7.6%
21	調和のとれた土地利用（土地利用の制限）	104	7.3%
21	生活困窮者への福祉の充実	104	7.3%
23	商工業の振興	102	7.1%
24	生涯にわたって学習できる環境づくり	91	6.4%
25	市民の健康づくり	89	6.2%
26	離島の振興	76	5.3%
27	自然環境・景観の保護	75	5.2%
27	カブトガニの保護	75	5.2%
29	市役所からの情報提供	70	4.9%
30	農林業の振興	64	4.5%
31	上水道の整備	56	3.9%
32	スポーツの振興	48	3.3%
33	文化・芸術の振興	46	3.2%
34	市民と行政の協働	42	2.9%
35	環境保護の対策	39	2.7%
36	消防体制の充実	35	2.4%
37	平和の取組	28	2.0%
38	地域情報化への対応	27	1.9%
39	水産業の振興	16	1.1%
40	国際交流・都市間交流の促進	13	0.9%
41	港湾・漁港の整備	12	0.8%
42	人権政策・男女共同参画の推進	8	0.6%

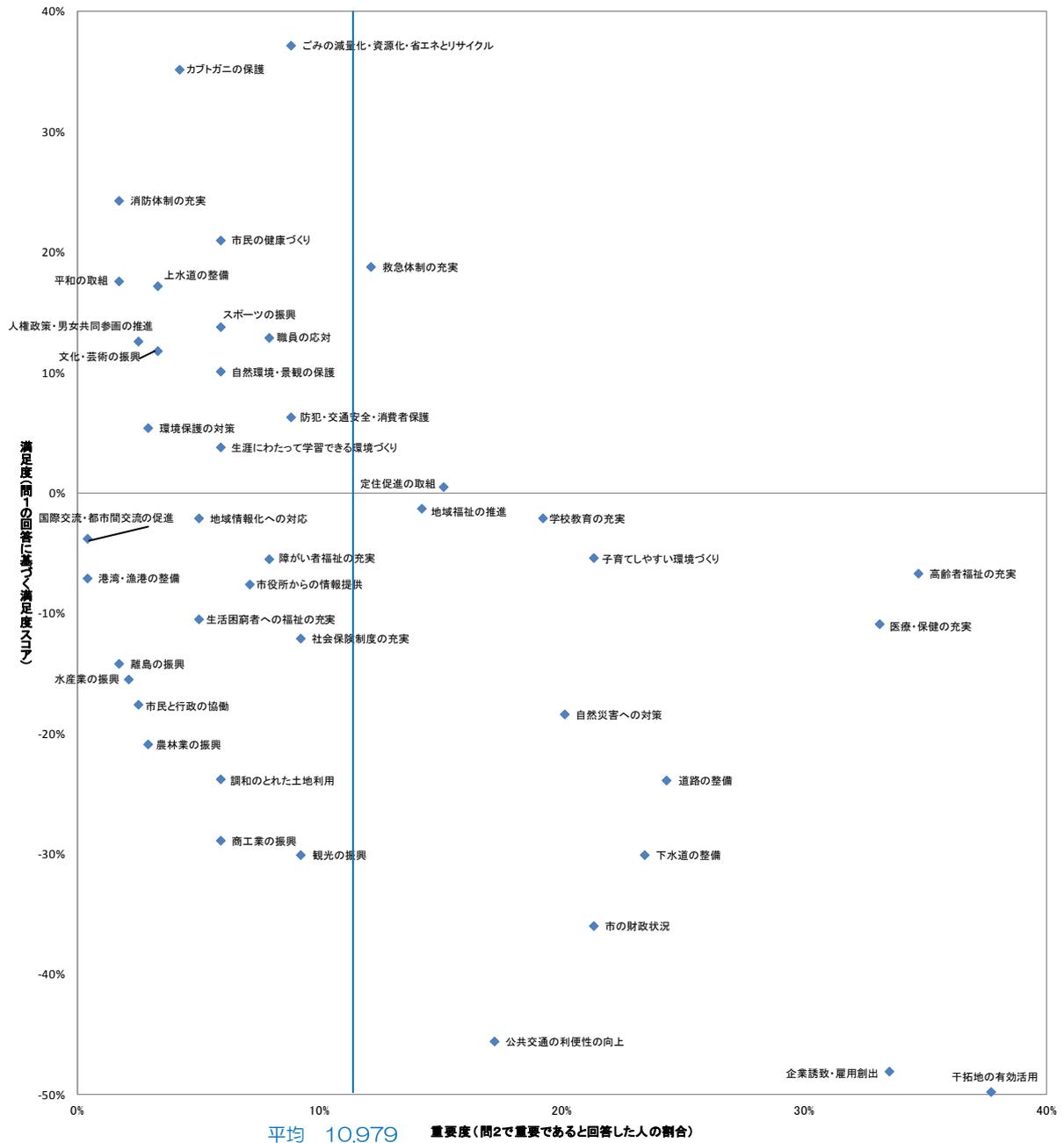
(2) 大井、今井地域の重要度・満足度



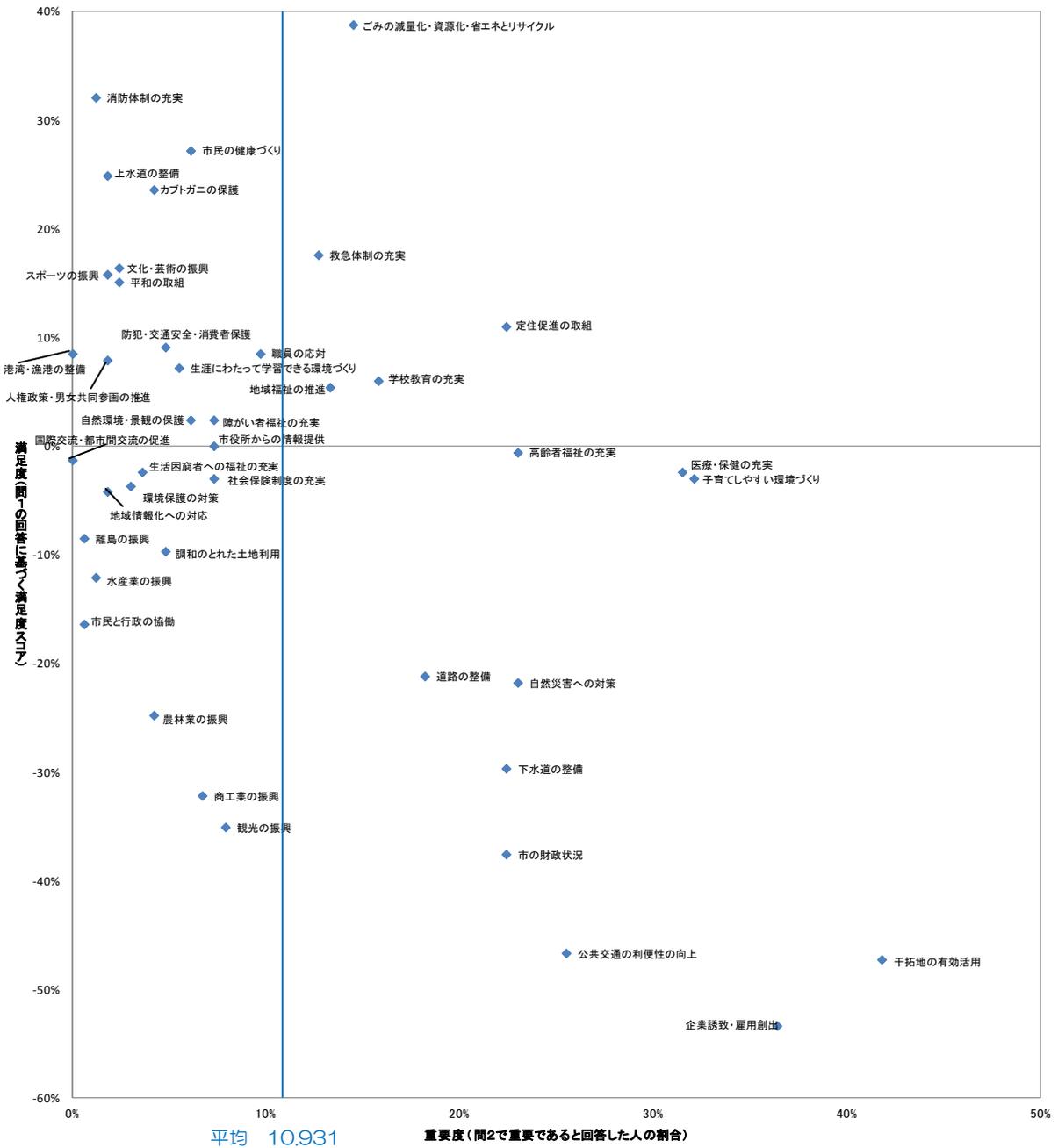
(4) 富岡、番町、新横島、美の浜、横江地域の重要度・満足度



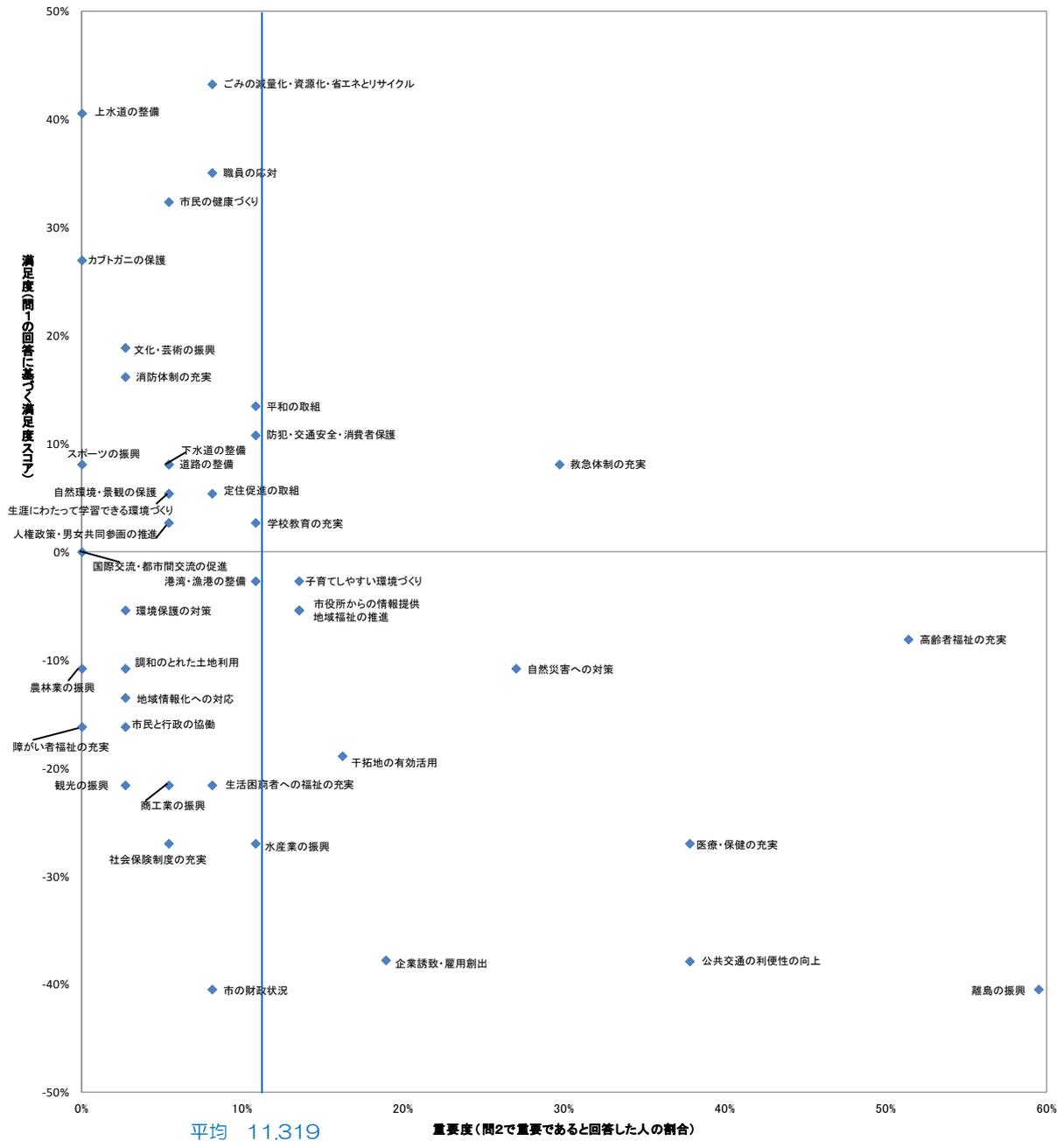
(5) 金浦、城見、陶山地域の重要度・満足度



(6) 大島、神島、神島外、干拓地地域の重要度・満足度

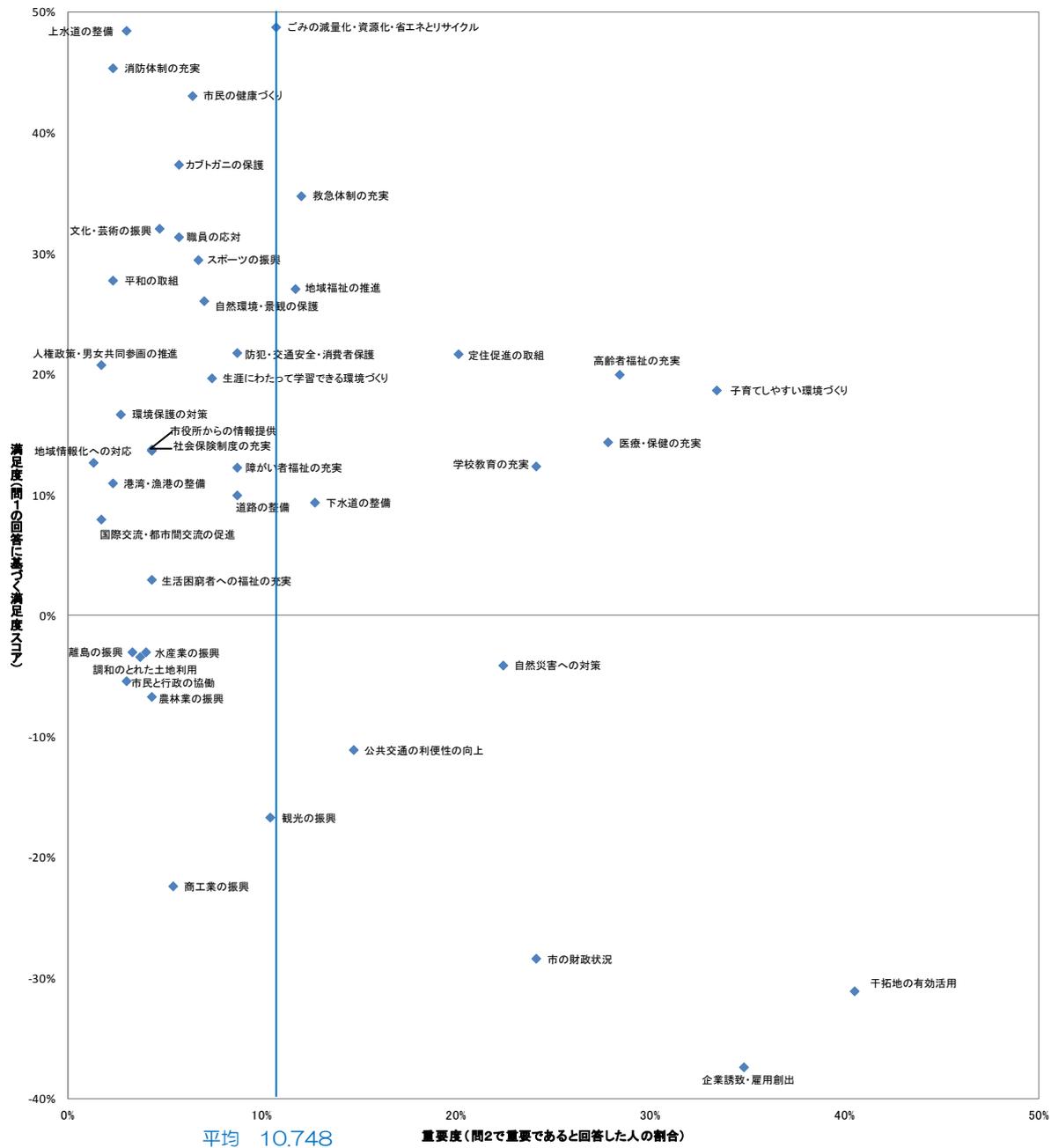


(7) 高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島地域の重要度・満足度

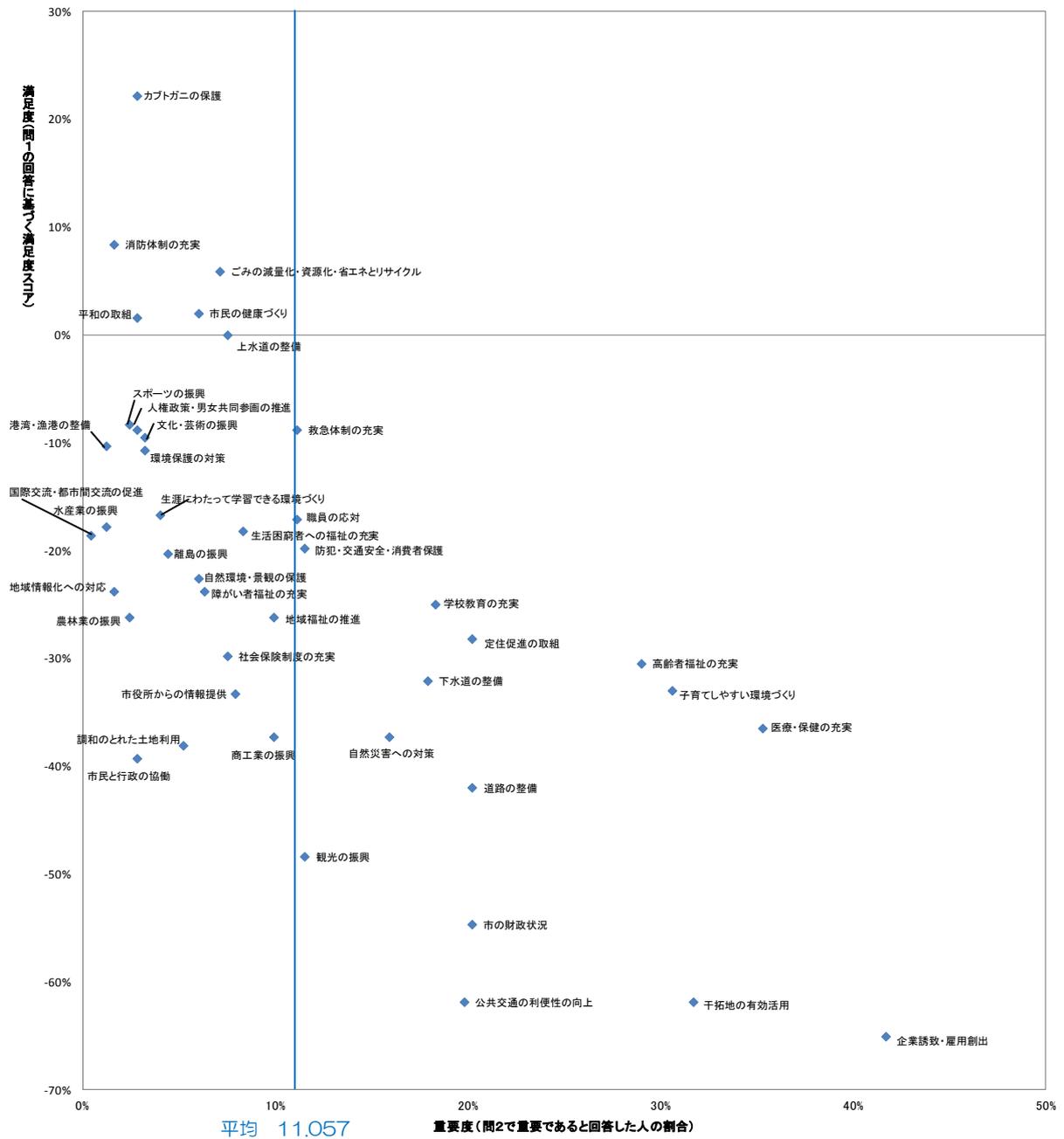


5 笠岡市の住み心地ごとの重要度・満足度

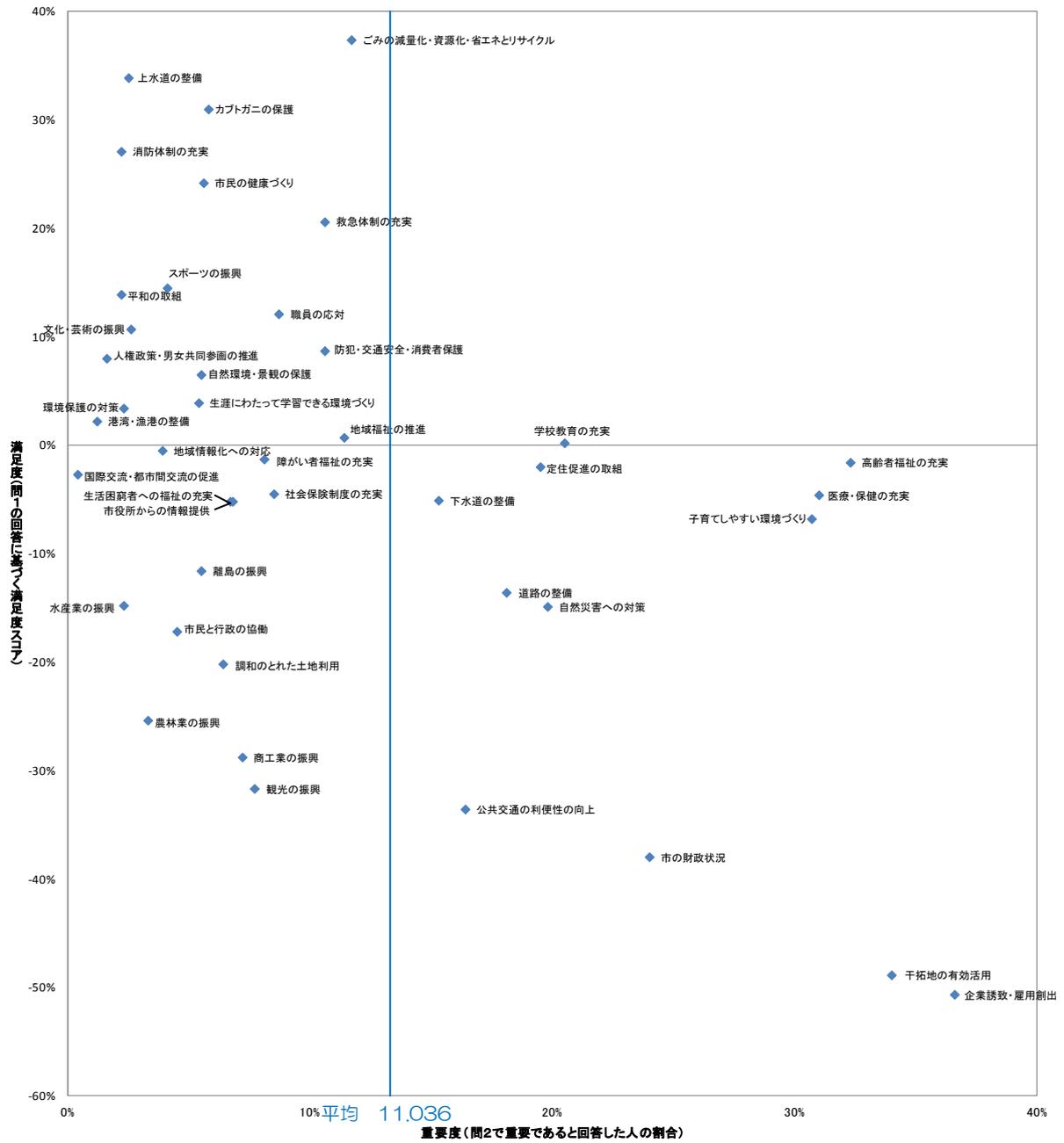
(1) 「住みよい」と思っている市民の重要度・満足度



(2) 「住みにくい」と思っている市民の重要度・満足度

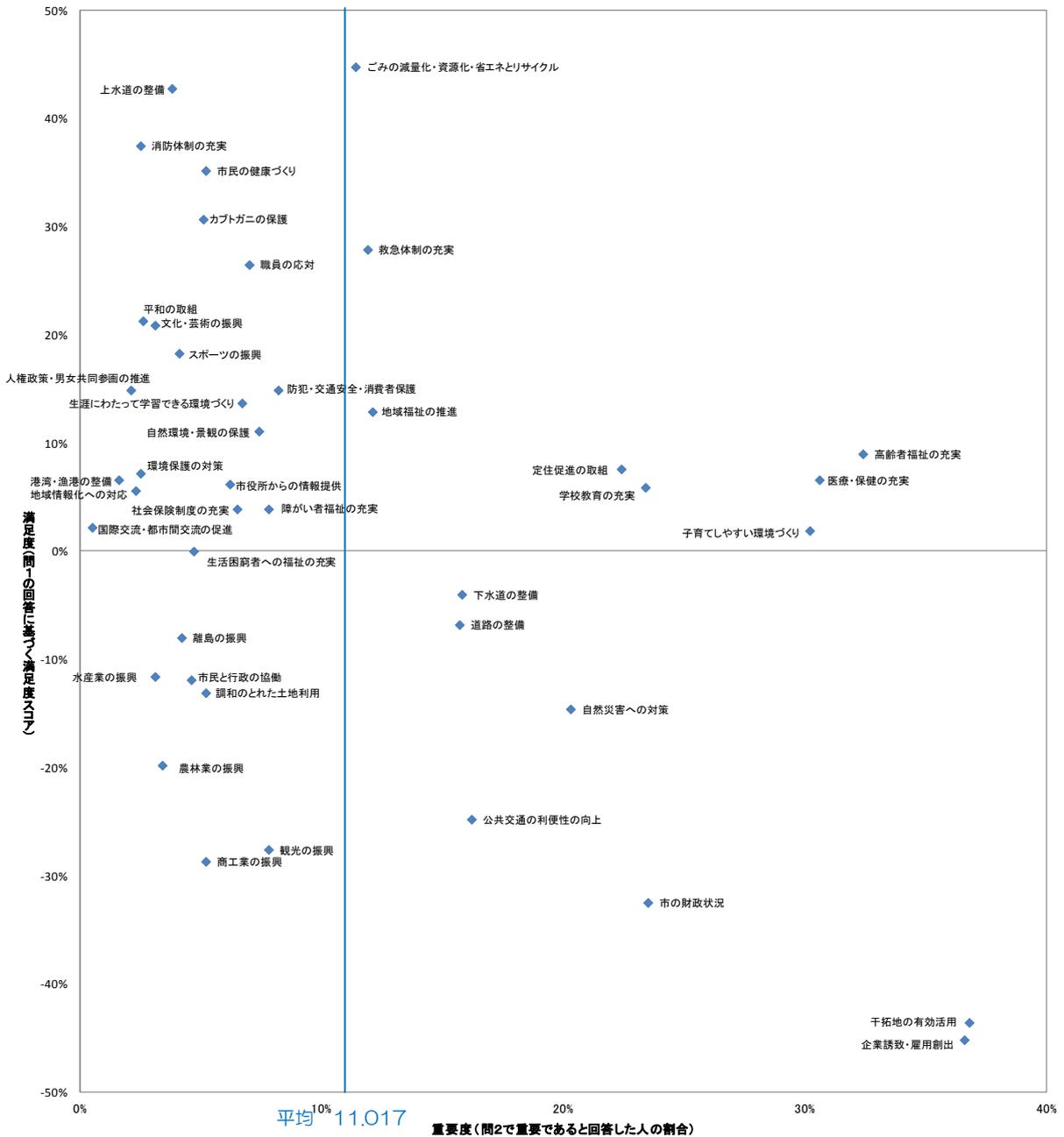


(3) 「特に気にしていない」市民の重要度・満足度

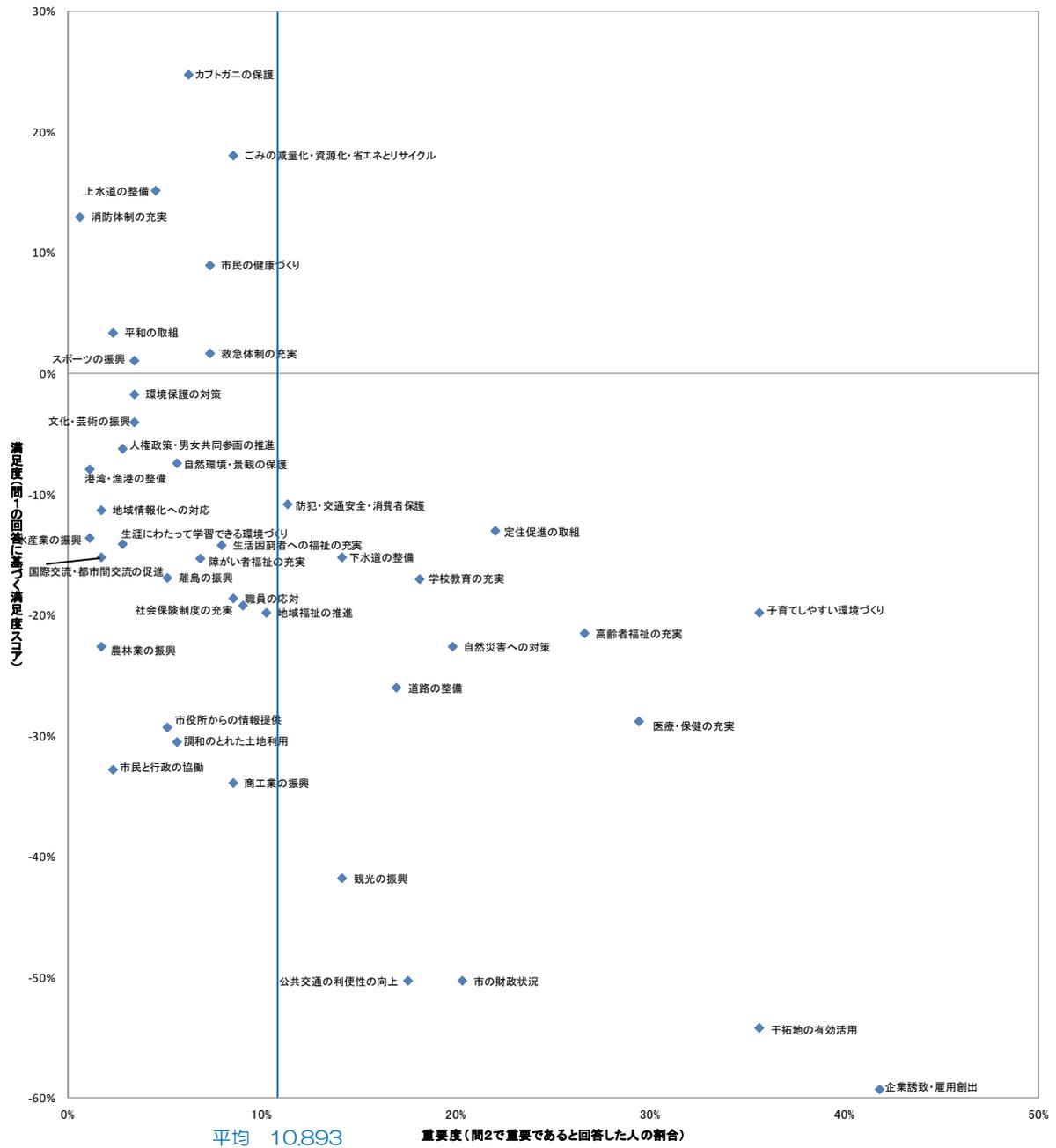


6 笠岡市への定住意向ごとの重要度・満足度

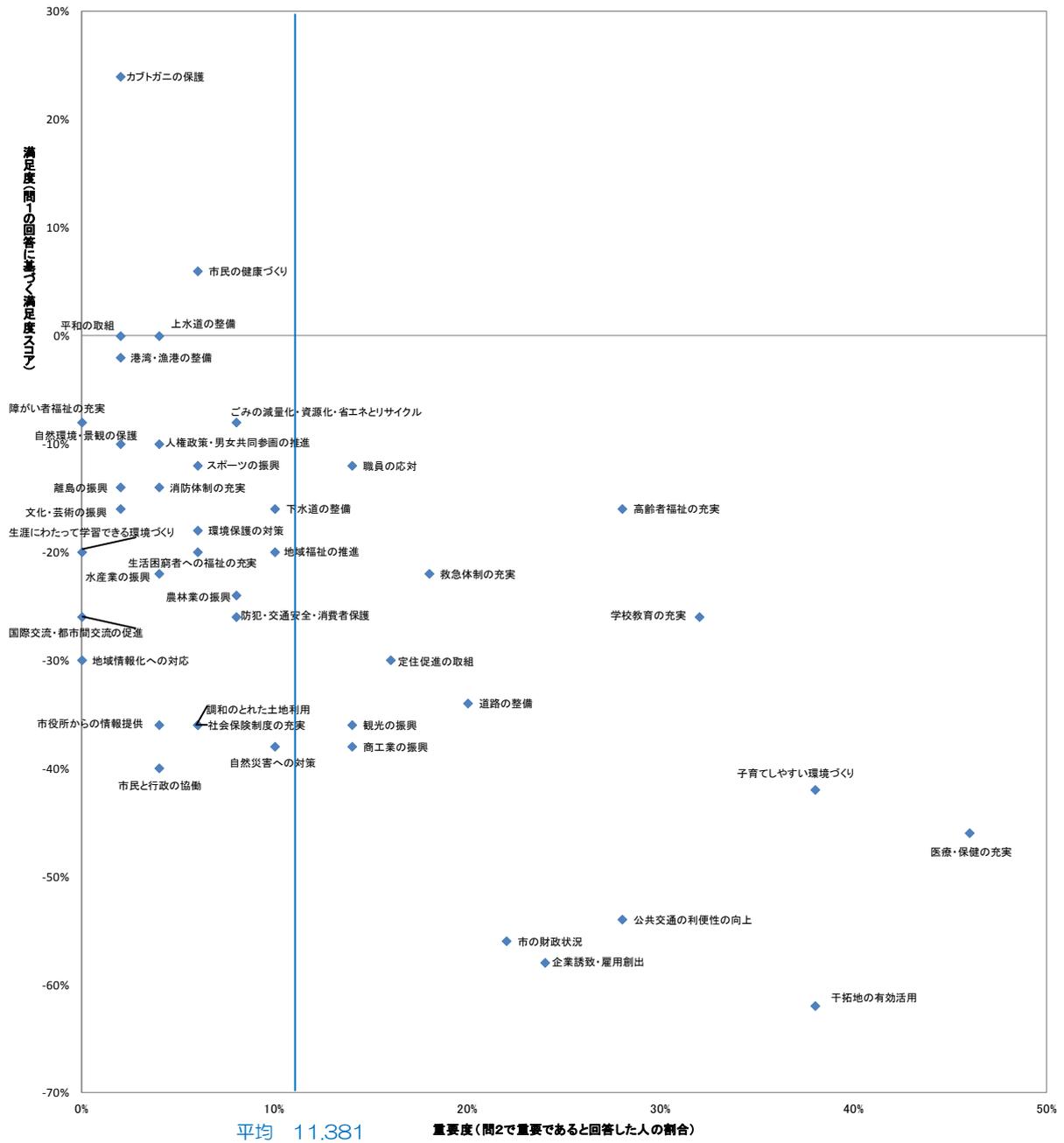
(1) 「住み続けたい」と考えている市民の重要度・満足度



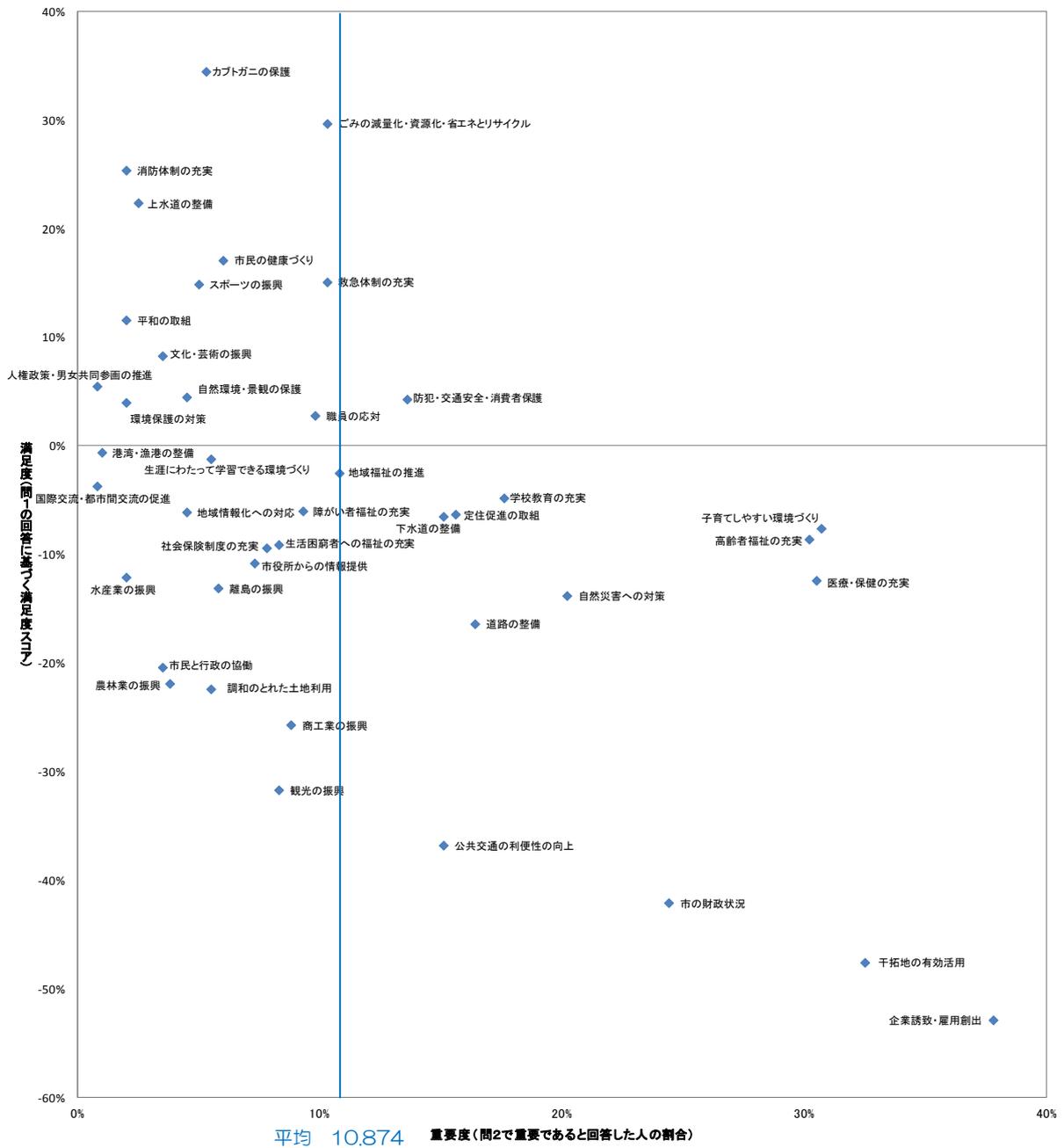
(2) 「よいところがあれば移住したい」と考えている市民の重要度・満足度



(3) 「移住したい」と考えている市民の重要度・満足度



(4) 「特に考えていない」市民の重要度・満足度



Ⅲ. 施策指標値調査結果

1 施策名ごとの指標値

市民意識調査の質問項目で第6次笠岡市総合計画の指標となっている指標名を抜き出し、指標ごとの目指すべき方向性を矢印で示している。

() は前回(平成22年度)調査結果の指標値である。

「結果」欄は、前回調査の指標値と比較した結果を矢印で示している。

施策名	指標名	指標値	方向性	結果
ずっと住み続けた いまち	笠岡市に住み続けたいと答えた市民の割合	48.2% (46.5%)	↗	↗
調和のとれた土地 利用に取り組むま ち	土地利用の制限に満足している市民の割合	10.1% (9.9%)	↗	↗
	住環境の整備に満足している市民の割合	22.9% (25.3%)	↗	↘
良好な景観と憩い の空間があるまち	自然環境・景観の保護に満足している市民の割合	26.9% (30.5%)	↗	↘
	公園・緑地の整備状況に満足している市民の割合	44.5% (49.5%)	↗	↘
公共交通を利用し やすいまち	公共交通の利便性の向上に対する満足度	-34.0% (-35.9%)	↗	↗
	公共交通を利用している市民の割合	18.5% (32.7%)	↗	↘
便利で安全な道路 があるまち	道路の整備状況に満足している市民の割合	28.5% (-)	↗	-
安心の水が潤うま ち	水道水を安心して使用できると感じている市民の割合	52.7% (60.1%)	↗	↘
危機に備えみんな を守るまち	非常時の持ち出し品(食飲料)を準備している市民の割合	11.6% (9.6%)	↗	↗
ごみを減らし資源 を大切にすまち	ごみの減量化・資源化に取り組んでいる市民の割合	89.8% (88.7%)	↗	↗
地球にやさしい環 境を守るまち	エコ(節約・省エネルギー化)を実施している市民の割合	85.2% (81.8%)	↗	↗
学びが人を育てる まち	最近1年間に公民館を使用した市民の割合	36.9% (37.1%)	↗	↘

施策名	指標名	指標値	方向性	結果
人権を尊重するまち	人権を尊重しながら生活していると感じている市民の割合	66.3% (72.4%)	↗	↘
	地域や職場で男女が対等に活躍できていると感じている市民の割合	39.6% (41.4%)	↗	↘
平和の大切さを伝えるまち	非核平和都市宣言を知っている市民の割合	67.3% (66.6%)	↗	↗
安心して子どもを産み育てられるまち	安心して子どもを産み育てられると感じている市民の割合	39.2% (39.5%)	↗	↘
離島で安心してく らせるまち	島づくり事業に参画する住民の数	6.1% (10.1%)	↗	↘
離島で安心してく らせるまち	離島振興に対する満足度	-11.3% (-4.0%)	↗	↘
全庁的な市民対応 力の向上	最近1年間に窓口を利用した市民のうち 職員の対応に満足している市民の割合	40.9% (45.4%)	↗	↘
	最近1年間に窓口を利用した市民のうち 職員の対応に不満を持っている市民の割合	25.8% (23.8%)	↘	↗
情報公開・文書管理	市役所からの情報提供に満足している市民の割合	24.4% (30.4%)	↗	↘

IV. 質問項目の分析

1 回答者の「居住の経緯」による分析

以下では、問3の回答と回答者の「居住の経緯」をもとに集計した。

Uターン：笠岡市で住んだあと、他の市町村に引越し、再び笠岡に戻ってきた市民

Iターン：他の市町村から笠岡市に引っ越してきた市民

「生まれてからずっと笠岡に住んでいる」では、「観光客にとって魅力的」「住宅用火災警報器を自宅に設置」と回答した割合が他と比較して高く、「公園・緑地の整備状況」「井原鉄道を利用」「非常時の持ち出し品（食飲料）を準備している」「防災対策をしている」「エコ（節約・省エネルギー）を実践している」「人権」「最近1年間に自治会・町内会活動に参加」「最近1年間に市役所の窓口を利用」「道の駅バイファームを利用」「住宅用火災警報器の設置義務」「市民意見・提案が市政に反映されている」の割合が他と比較して低くなっている。

「Uターン」では、「住環境の整備状況」「公園・緑地の整備状況」「エコ（節約・省エネルギー）を実践している」「人権」「男女が対等に活躍」「非核平和都市宣言」「住宅用火災警報器の設置義務」と回答した割合が他と比較して高く、「公共交通機関の維持」「非常時の集合場所や連絡網を家族で決めている」「住宅用火災警報器を自宅に設置」の割合が他と比較して低くなっている。

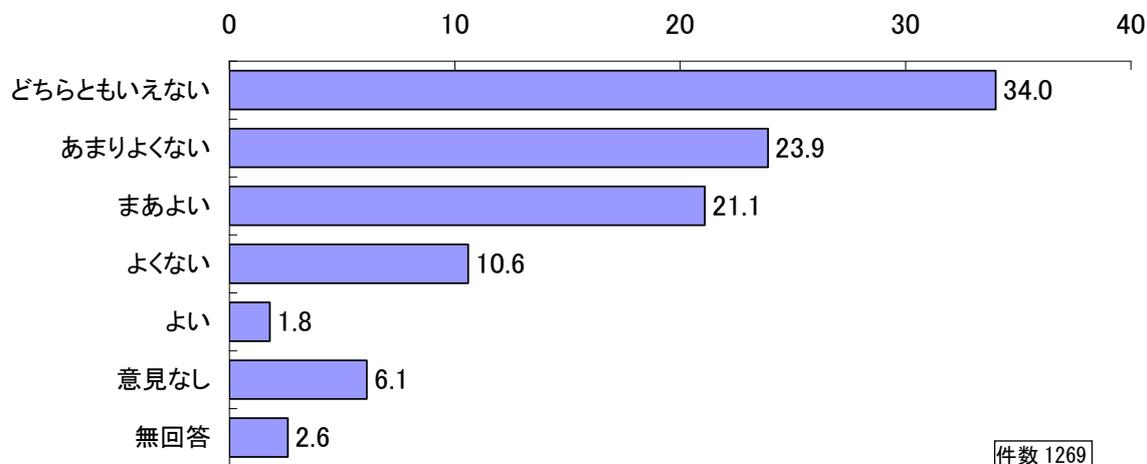
「Iターン」では、「公共交通機関の維持」「非常時の集合場所や連絡網を家族で決めている」「新エネルギーに関心」「安心して子どもを産み育てられる」「最近1年間に市役所の窓口を利用」「道の駅バイファームを利用」「市民意見・提案が市政に反映されている」と回答した割合が、他と比較して高く、「公共交通機関を利用」「海上交通機関を利用」「水道水を安心して使用できる」「バイオディーゼル燃料に取り組んでいること」「最近1年間に公民館を使用」「まちづくり協議会の存在」「島おこし事業に関わったこと」と回答した割合が他と比較して低くなっている。

質問項目	全体	生まれてからずっと笠岡に住んでいる	Uターン	Iターン
「住環境の整備状況」（宅地の供給、街並みの整備等）に満足している市民の割合	22.9%	22.1%	25.4%	22.2%
「公園・緑地の整備状況」に満足している市民の割合	44.5%	43.0%	49.2%	45.1%
「公共交通機関を利用」している市民の割合	18.5%	20.0%	21.5%	14.2%
「路線バスを利用」している市民の割合	16.0%	15.9%	15.4%	15.4%
「海上交通機関を利用」している市民の割合	13.6%	15.7%	17.3%	9.2%
「公共交通機関の維持」をしていくことが必要だと感じている市民の割合	84.3%	84.1%	83.1%	85.3%
「井原鉄道を利用」している市民の割合	4.6%	4.1%	5.0%	4.8%
「水道水を安心して使用できる」と感じている市民の割合	52.7%	53.7%	55.0%	50.6%
「非常時の持ち出し品（食飲料）を準備している」市民の割合	11.6%	7.6%	15.0%	14.9%
「防災対策をしている」市民の割合	13.6%	12.2%	15.8%	14.7%
「非常時の集合場所や連絡網を家族で決めている」市民の割合	29.3%	28.3%	28.1%	31.8%
「ごみの減量化・資源化に取り組んでいる」市民の割合	89.8%	89.3%	91.2%	90.4%

質問項目	全体	生まれてからずっと笠岡に住んでいる	Uターン	Iターン
「エコ（節約・省エネルギー）を実践している」市民の割合	85.2%	82.9%	89.2%	86.0%
「新エネルギーに関心」がある市民の割合	83.1%	83.3%	83.8%	85.1%
「太陽光発電システムを導入」している市民の割合	7.1%	7.2%	7.3%	7.5%
「バイオディーゼル燃料に取り組んでいること」を知っている市民の割合	36.9%	36.8%	36.5%	34.9%
「最近1年間に公民館を使用」した市民の割合	25.5%	25.6%	27.3%	22.7%
「人権」を尊重しながら生活していると感じている市民の割合	66.3%	62.4%	70.0%	68.7%
地域や職場で「男女が対等に活躍」できていると感じる市民の割合	39.6%	38.8%	45.0%	37.6%
「非核平和都市宣言」をしていることを知っている市民の割合	67.3%	66.7%	70.8%	66.7%
「安心して子どもを産み育てられる」と感じている市民の割合	39.2%	38.4%	39.2%	40.2%
「まちづくり協議会の存在」を知っている市民の割合	48.1%	50.2%	50.4%	44.1%
「最近1年間に自治会・町内会活動に参加」した市民の割合	62.9%	60.1%	65.0%	64.8%
「島おこし事業に関わったこと」のある市民の割合	6.1%	7.8%	8.1%	3.1%
「最近1年間に市役所の窓口を利用」した市民の割合	70.8%	67.4%	73.8%	74.2%
「窓口の手続きが不便だと感じた」市民の割合	27.8%	26.7%	29.7%	28.6%
「広報かさおかは役に立っている」と感じている市民の割合	70.5%	69.0%	71.9%	70.4%
「笠岡市のホームページを見たことのある」市民の割合	16.4%	16.1%	16.9%	16.6%
笠岡市は「観光客にとって魅力的」だと感じている市民の割合	8.6%	9.7%	8.1%	7.0%
「道の駅バイファームを利用」したことがある市民の割合	69.7%	64.5%	72.7%	76.6%
「住宅用火災警報器の設置義務」を知っている市民の割合	92.4%	90.5%	94.2%	94.0%
「住宅用火災警報器を自宅に設置」している市民の割合	74.5%	75.2%	73.5%	74.9%
「市民意見・提案が市政に反映されている」と感じている市民の割合	9.1%	7.9%	8.1%	9.6%

2 個別分析及び回答者の属性による分析

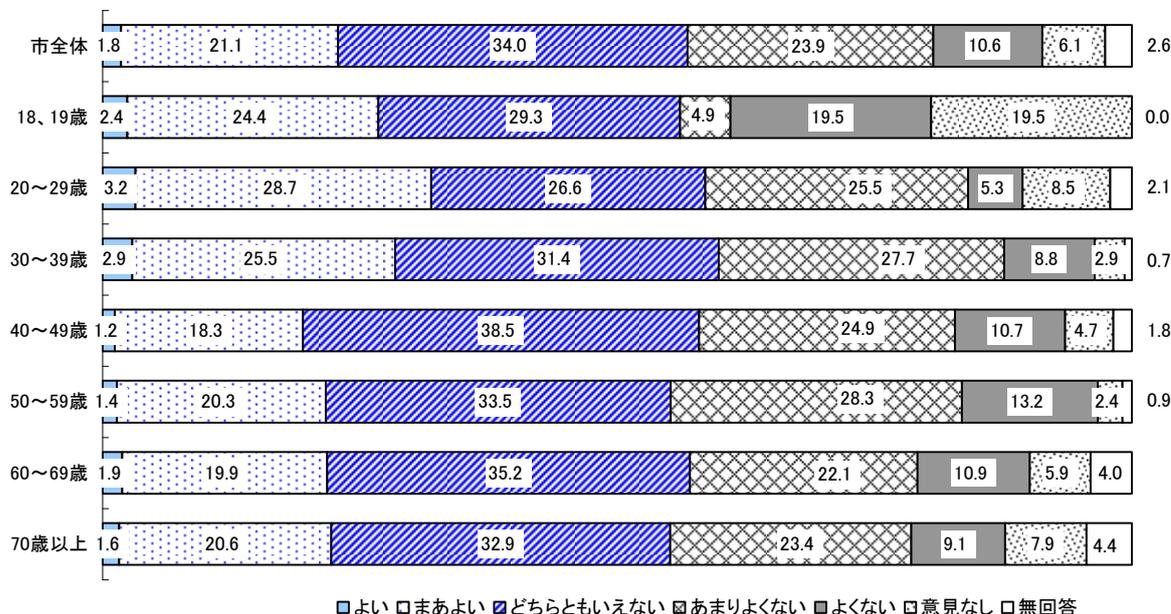
(1) あなたは、笠岡市内の住環境の整備状況（宅地の供給、街並みの整備等）についてどのように思われますか。



笠岡市内の住環境の整備状況について、「どちらともいえない」と回答した割合が 34.0%と最も高く、次いで「あまりよくない」(23.9%)、「まあよい」(21.1%)、「よくない」(10.6%)の順となっている。

また、【よい(「よい」「まあよい」を合わせたもの)】では 22.9%、【よくない(「よくない」「あまりよくない」を合わせたもの)】では 34.5%となっている。

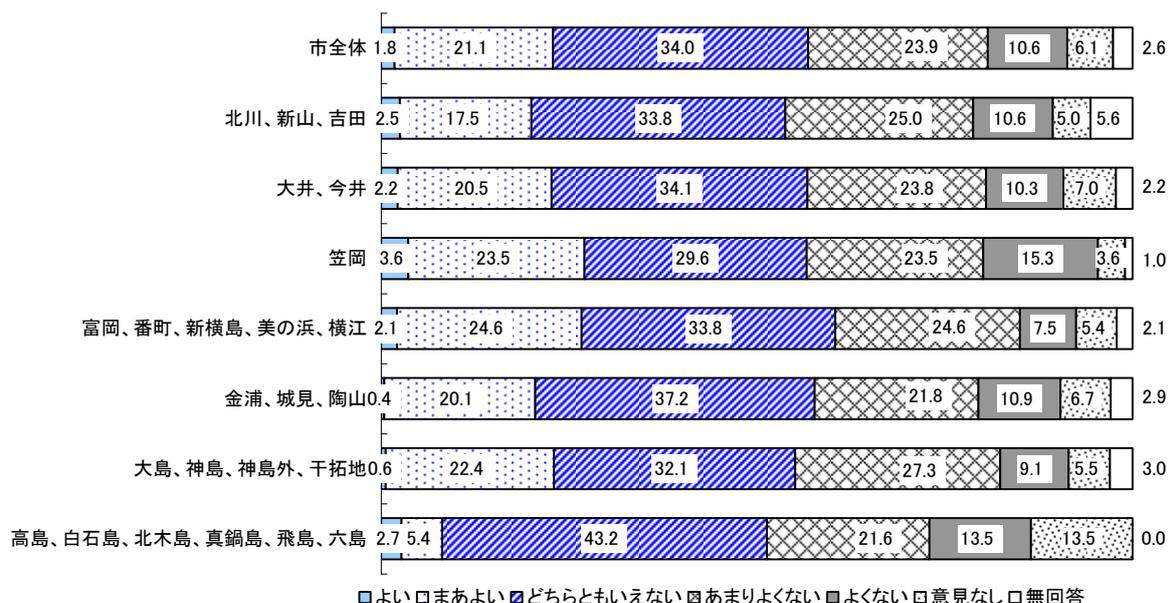
【年齢別】



年齢別にみると、「18, 19歳」で「よくない」と回答した割合が 19.5%と高くなっている。

また、【よい(「よい」「まあよい」を合わせたもの)】と回答した割合は、「20~30歳」で 31.9%と高く、【よくない(「よくない」「あまりよくない」を合わせたもの)】と回答した割合は、「50~59歳」で 41.5%と高くなっている。

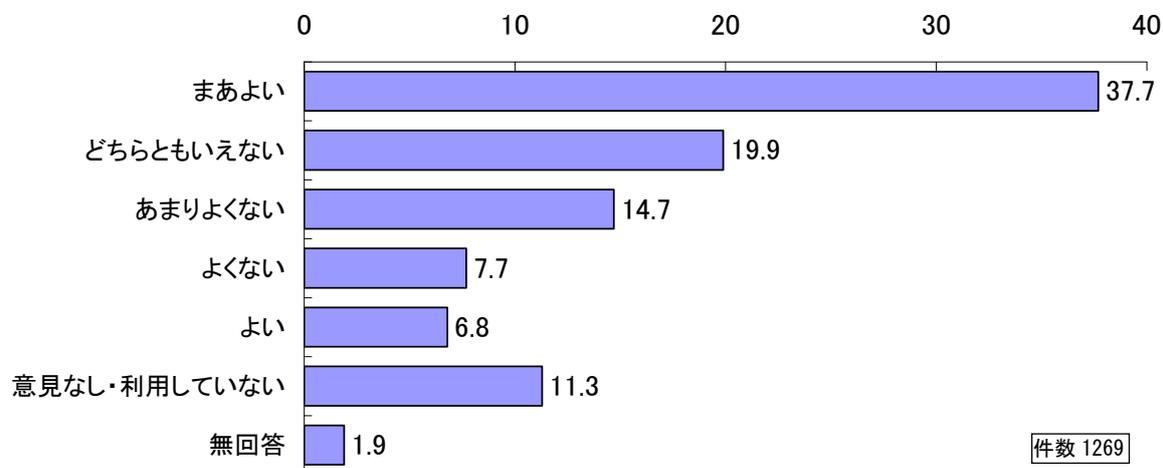
【地区別】



地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「どちらともいえない」と回答した割合が43.2%と高くなっている。

また、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」では【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合が8.1%と低くなっている。

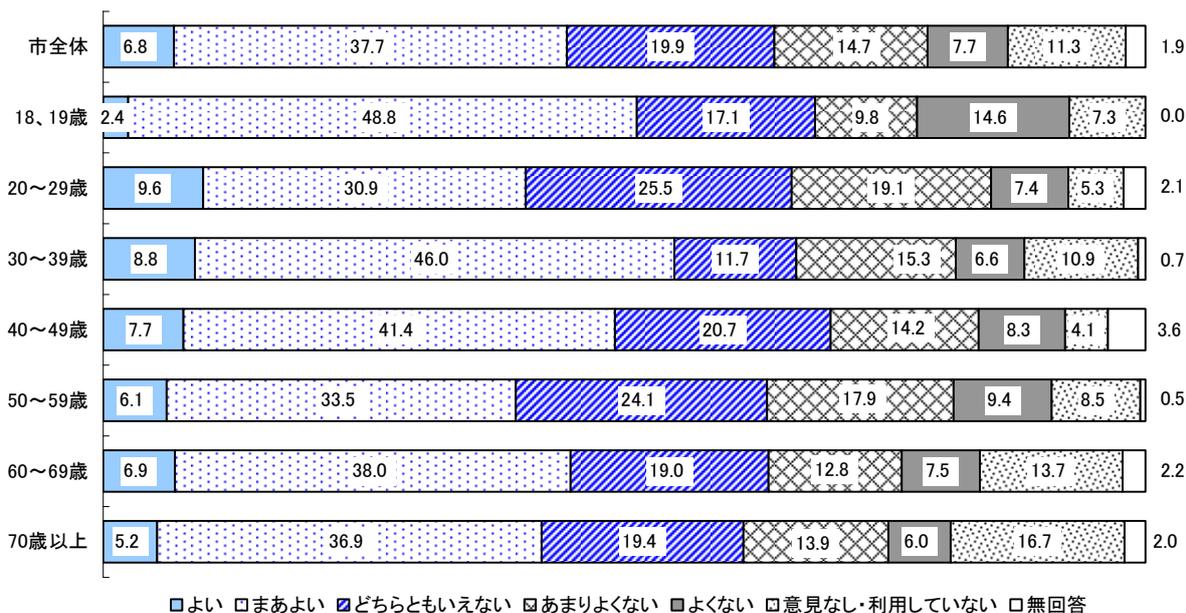
(2) あなたは、笠岡市内の公園・緑地の整備状況についてどのように思われますか。



笠岡市内の公園・緑地の整備状況について、「まあよい」と回答した割合が37.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」（19.9%）、「あまりよくない」（14.7%）、「よくない」（7.7%）の順となっている。

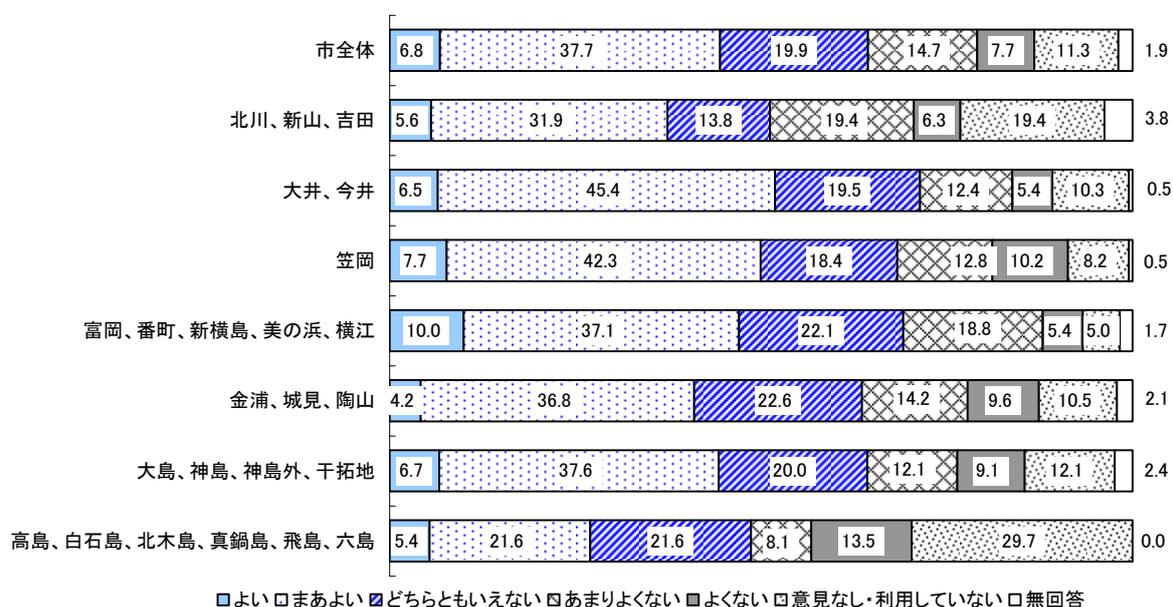
また、【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】では44.5%、【よくない（「よくない」「あまりよくない」を合わせたもの）】では22.4%となっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「18、19歳」で「まあよい」と回答した割合が48.8%と高くなっている。また、「30～39歳」では【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合が54.8%と高くなっている。

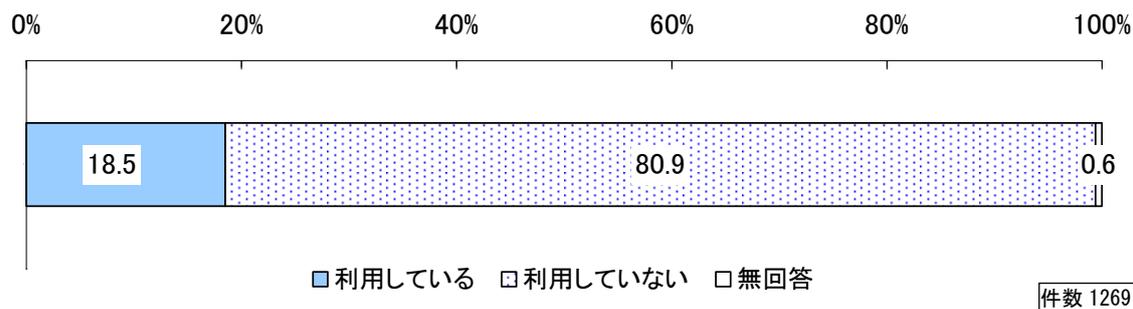
【地区別】



地区別にみると、【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合では、「大井、今井」で51.9%と最も高く、次いで「笠岡」（50.0%）、「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」（47.1%）の順となっている。

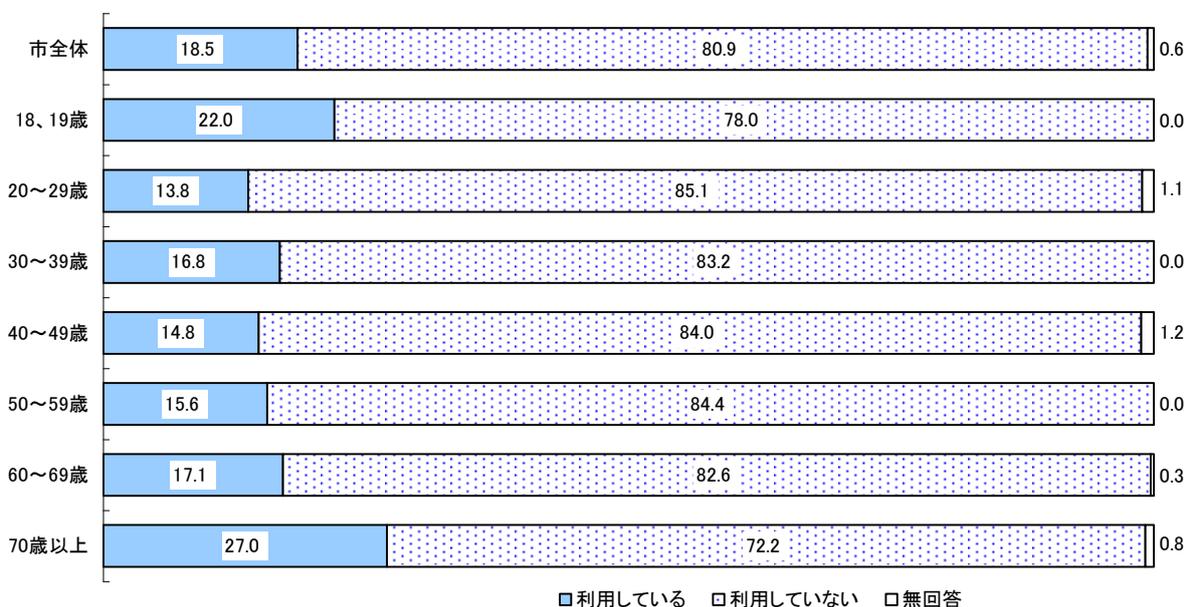
また、【よくない（「よくない」「あまりよくない」を合わせたもの）】と回答した割合では、「北川、新山、古田」で25.7%と最も高く、次いで「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」（24.2%）、「金浦、城見、陶山」（23.8%）の順となっている。

③ あなたは、笠岡市内の公共交通（路線バス、旅客船、フェリー）を利用していますか。



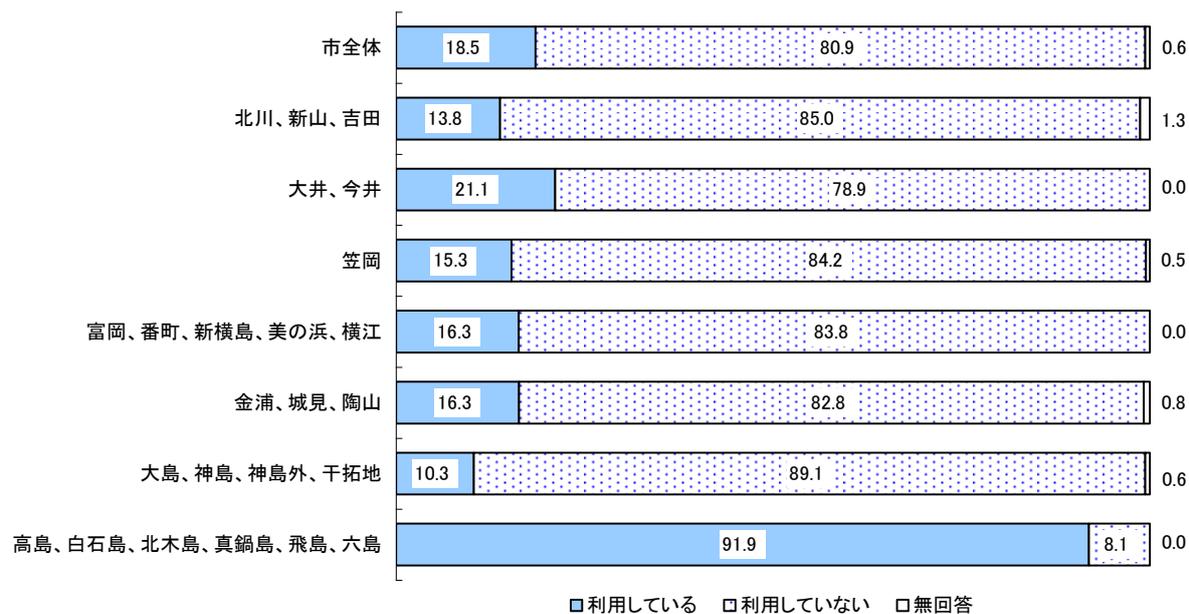
笠岡市内の公共交通機関の利用について、「利用している」が18.5%、「利用していない」が80.9%と、「利用していない」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「70歳以上」で「利用している」と回答した割合が27.0%と高くなっている。

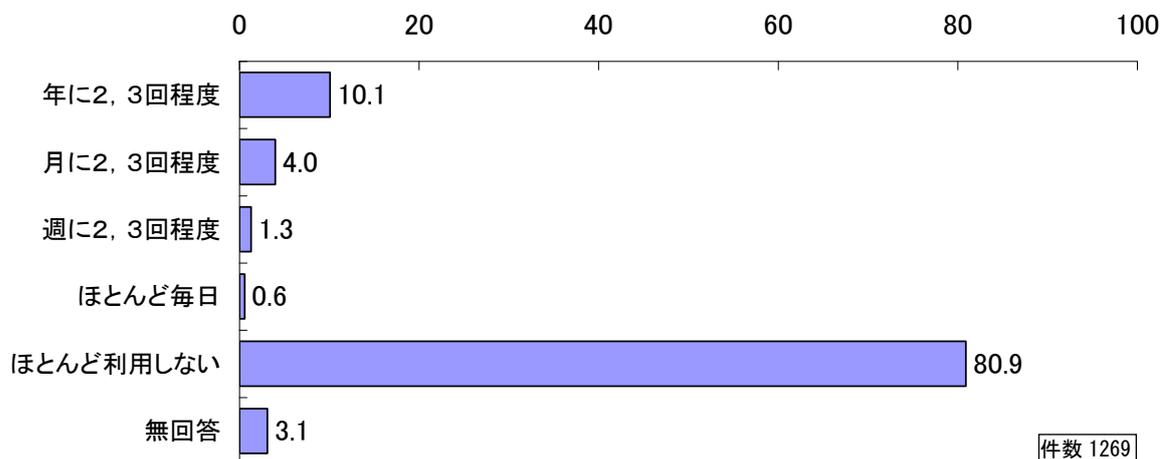
【地区別】



地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「利用している」と回答した割合が 91.9%と最も高く、次いで「大井、今井」(21.1%)、「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」「金浦、城見、陶山」(ともに 16.3%) の順となっている。「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で、「旅客船、フェリーの利用」の回答が多かったと思われる。

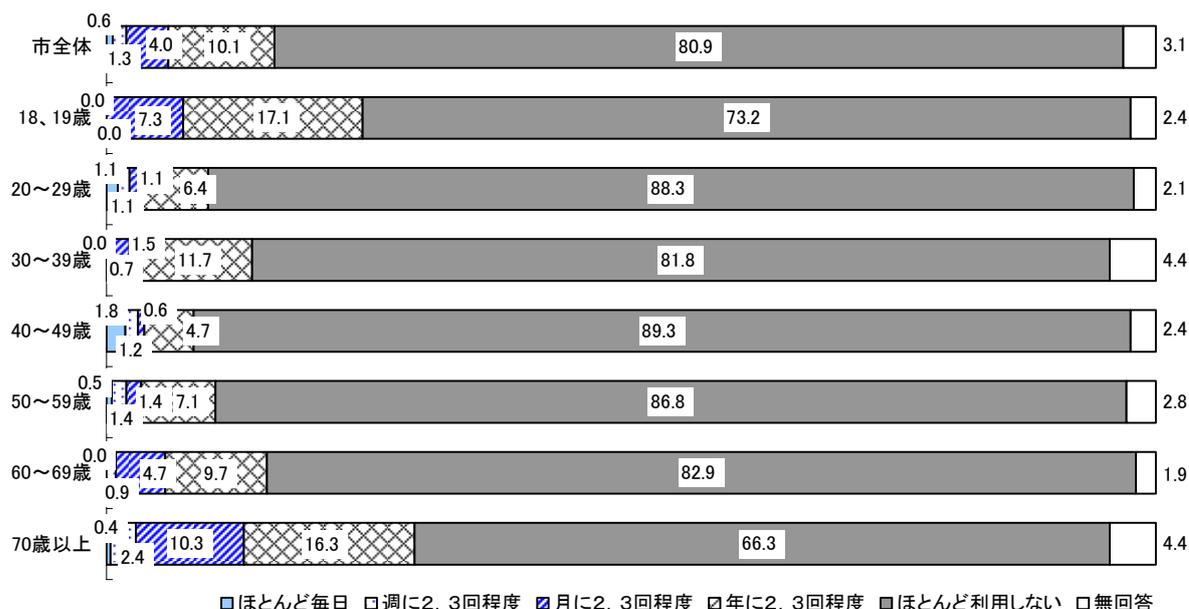
また、「利用していない」と回答した割合では、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」を除くすべての地域で8割程度となっている。

(4) あなたは、笠岡市内の路線バスをどのくらい利用していますか。



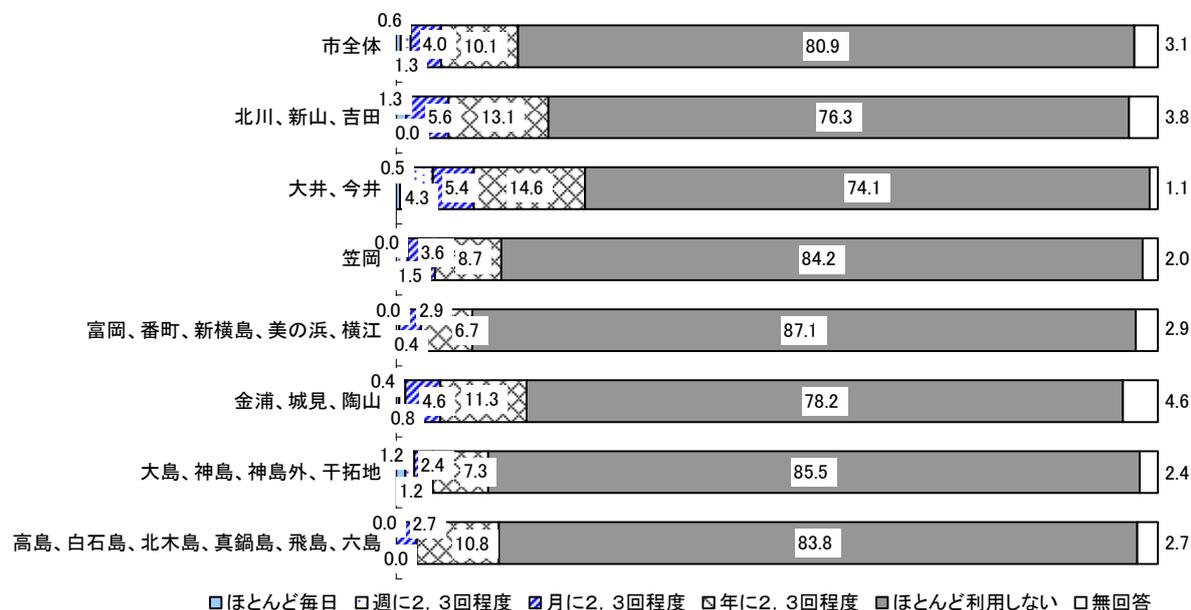
笠岡市内の路線バスの利用について、「ほとんど利用してない」と回答した割合が 80.9%と最も高く、次いで「年に2、3回程度」(10.1%)、「月に2、3回程度」(4.0%)、「週に2、3回程度」(1.3%) の順となっている。

【年齢別】



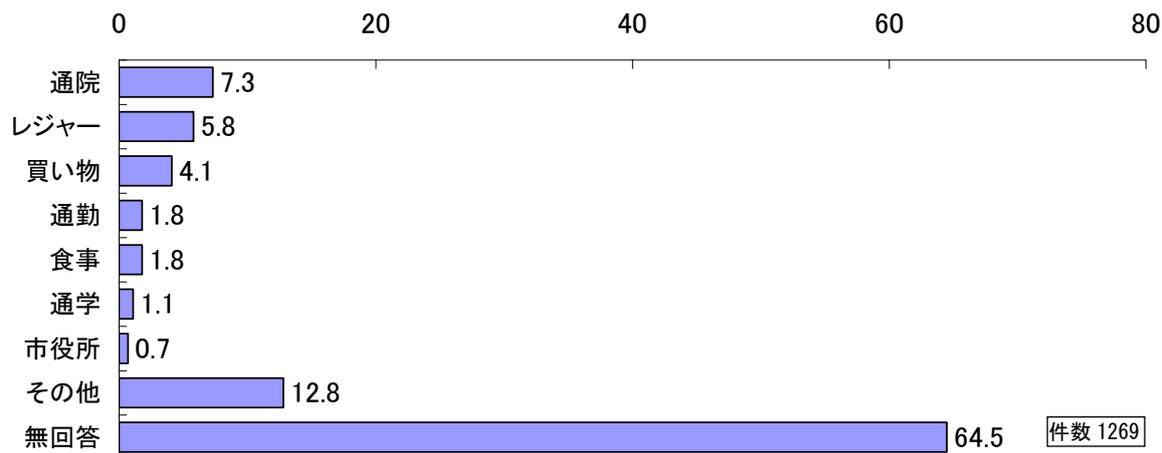
年齢別にみると、どの年齢においても「ほとんど利用しない」と回答した割合が最も高くなっている。
また、「18、19歳」「70歳以上」では、年に2,3回以上利用した割合が高くなっている。

【地区別】



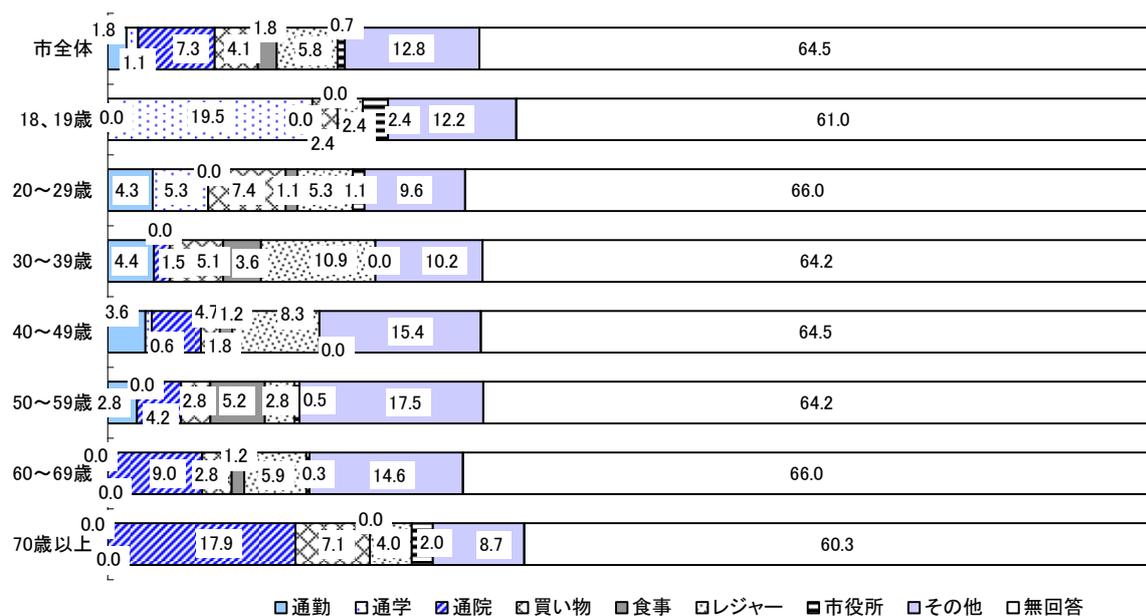
地区別にみると、どの地域においても「ほとんど利用しない」と回答した割合が最も高くなっている。
また、「大井、今井」では路線バスを利用した頻度が高くなっている。

(5) あなたが、笠岡市内の路線バスを利用する主な目的は何ですか。



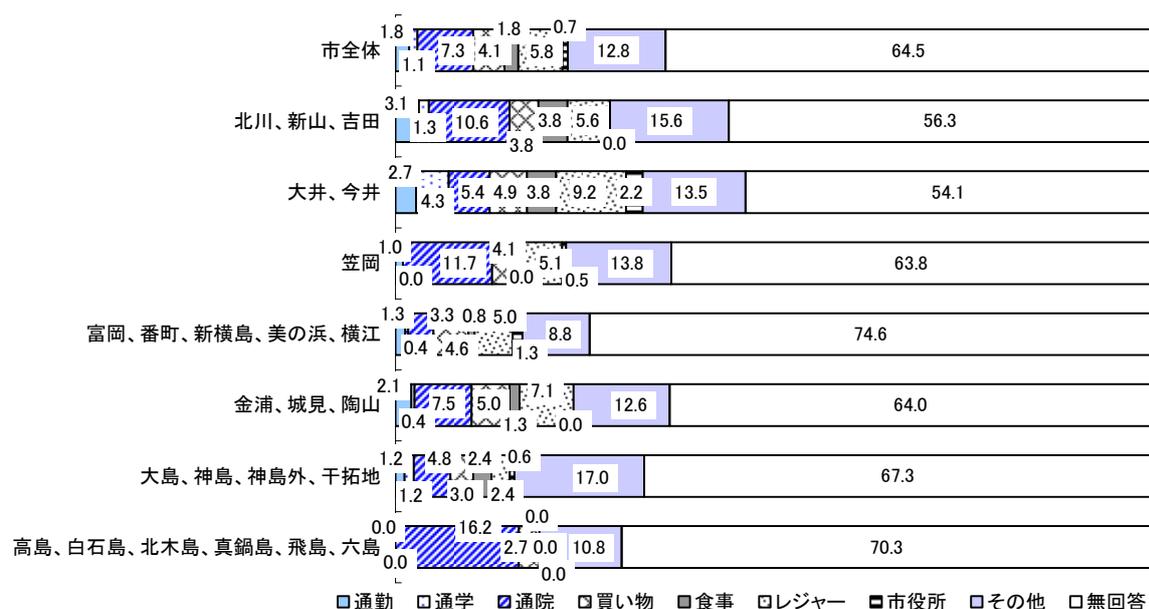
笠岡市内の路線バスの主な利用目的について、「通院」と回答した割合が7.3%と最も高く、次いで「レジャー」(5.8%)、「買い物」(4.1%)、「通勤」「食事」(ともに1.8%)の順となっている。

【年齢別】



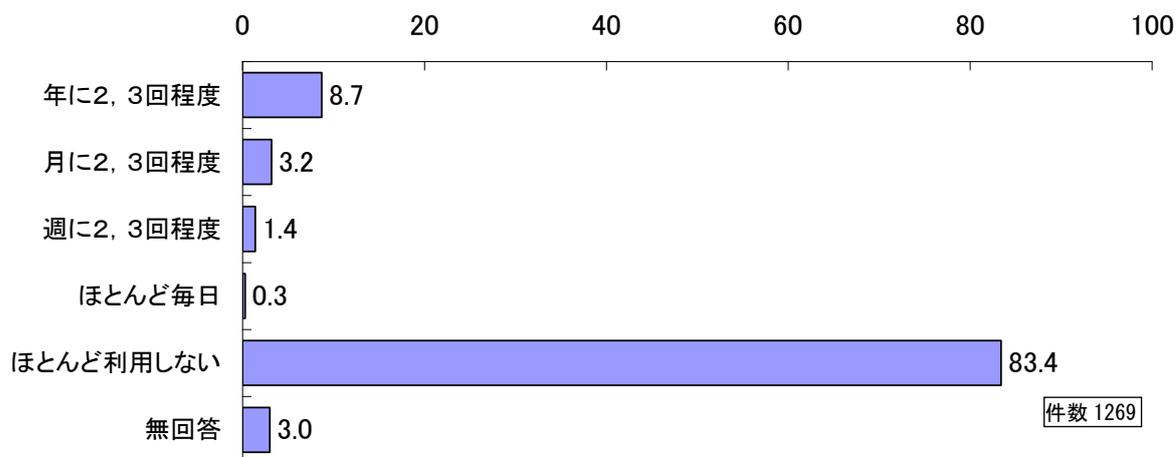
年齢別にみると、「18、19歳」で「レジャー」と回答した割合が19.5%、「70歳以上」で「通院」と回答した割合が17.9%と高くなっている。

【地区別】



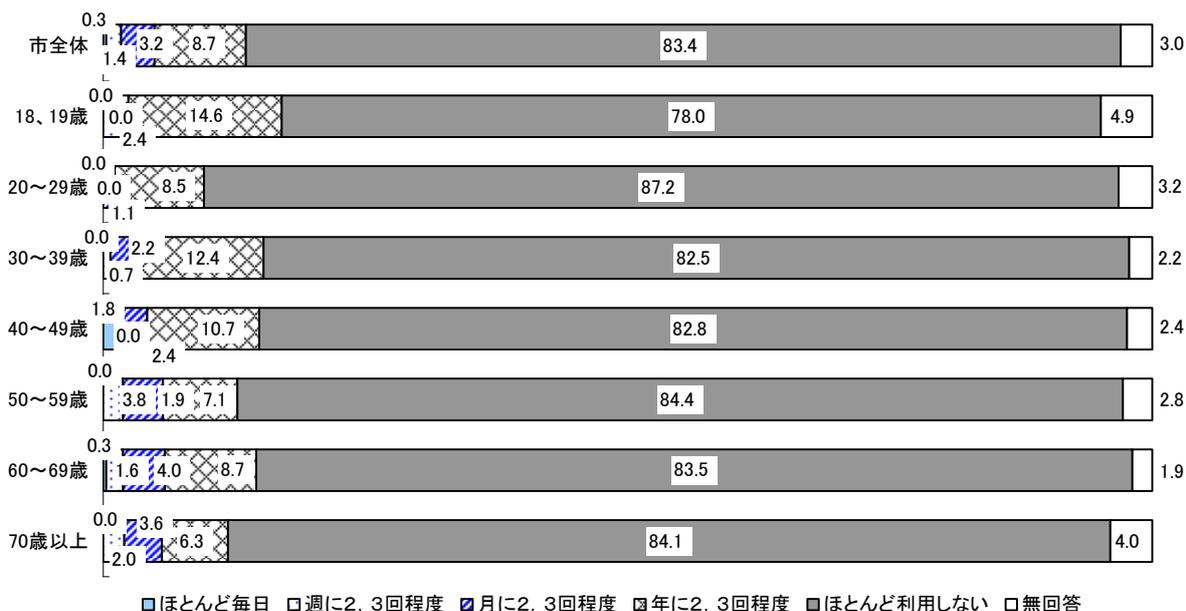
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「通院」と回答した割合が16.2%と高くなっている。

(6) あなたは、笠岡市内の海上交通（旅客船、フェリー）を利用していますか。



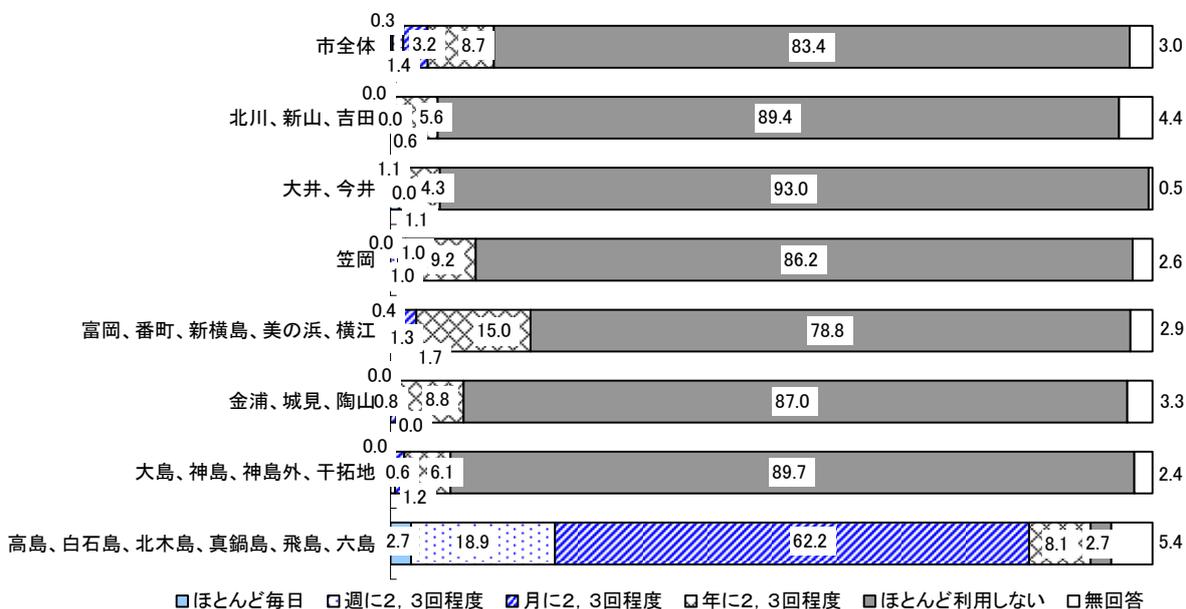
笠岡市内の海上交通の利用状況について、「ほとんど利用しない」と回答した割合が83.4%と最も高く、次いで「年に2、3回程度」(8.7%)、「月に2、3回程度」(3.2%)、「週に2、3回程度」(1.4%)の順となっている。

【年齢別】



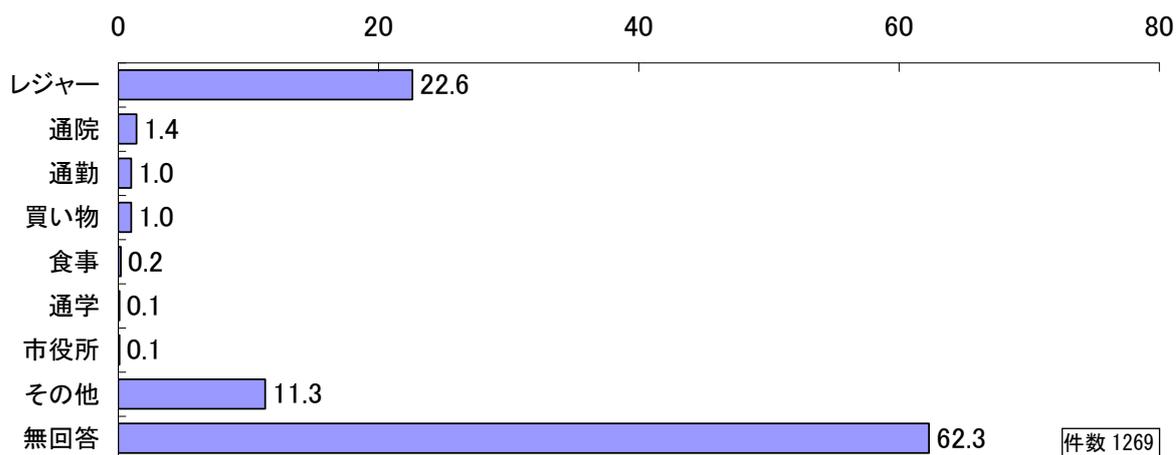
年齢別にみると、どの年齢においても「ほとんど利用しない」と回答した割合が最も高くなっている。

【地区別】



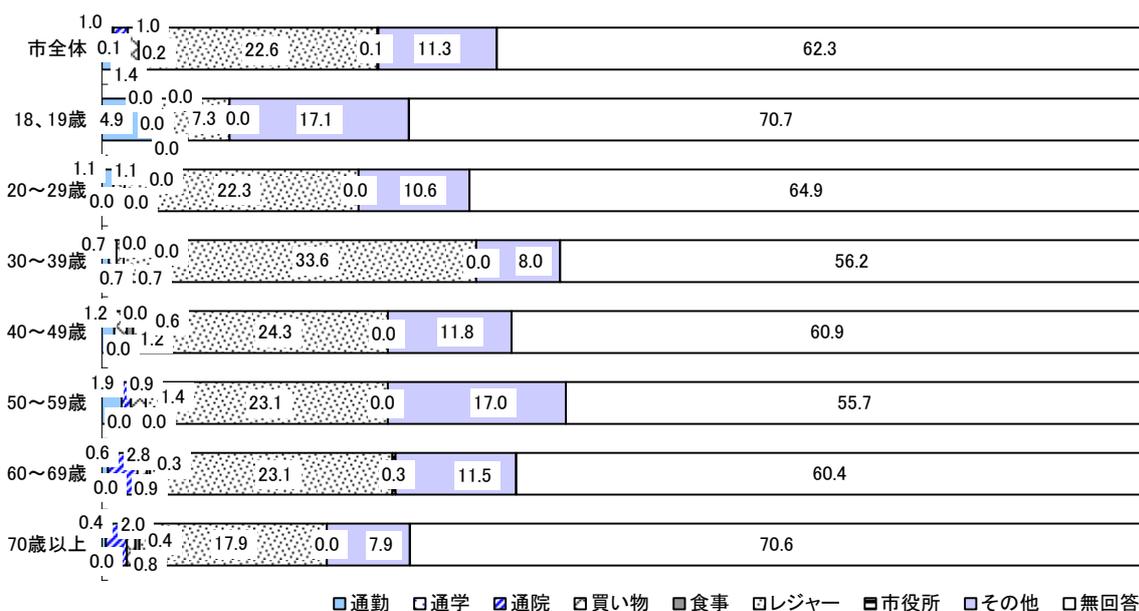
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で月に2、3回以上利用していると回答した割合が高くなっている。

(7) あなたが、笠岡市内の海上交通（旅客船、フェリー）を利用する主な目的は何ですか。



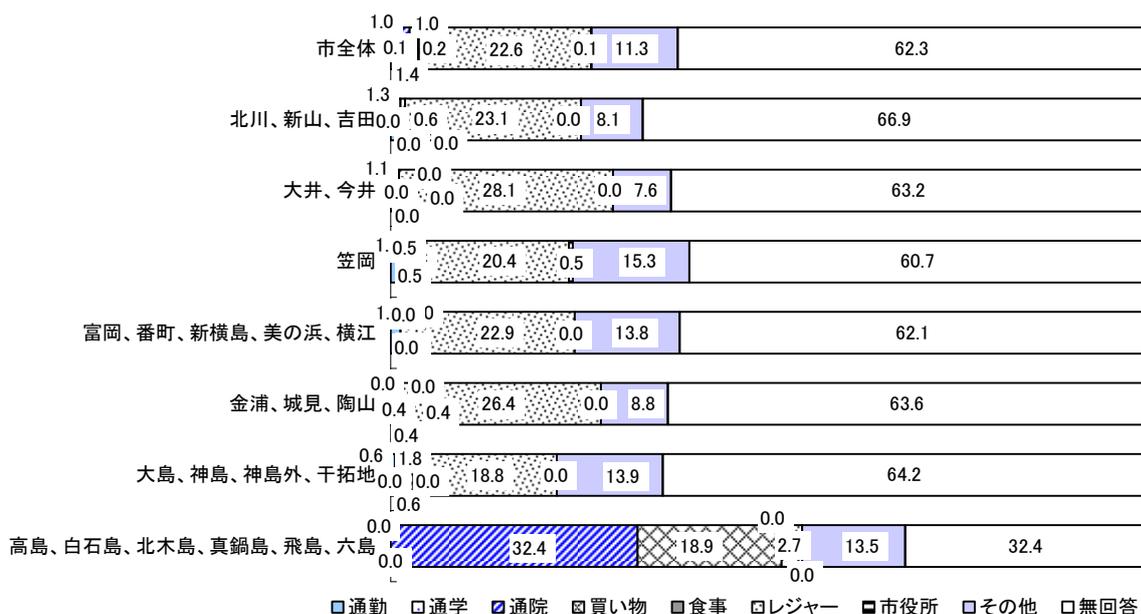
笠岡市内の海上交通の主な利用目的について、「レジャー」と回答した割合が 22.6%と最も高く、次いで「通院」(1.4%)、「通勤」「買い物」(ともに 1.0%) の順となっている。

【年齢別】



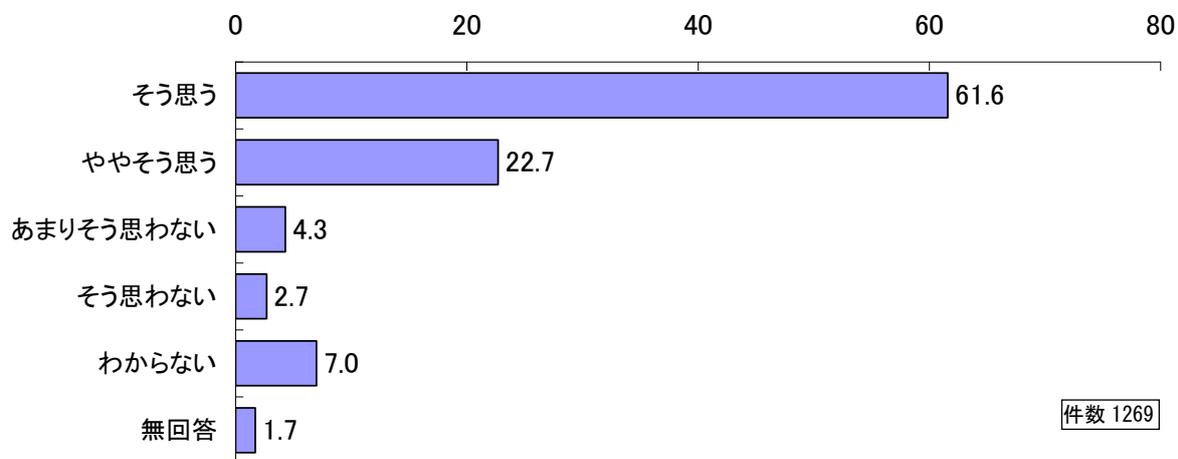
年齢別にみると、「30～39歳」では「レジャー」と回答した割合が 33.6%と他の年齢層に比べ高くなっている。

【地区別】



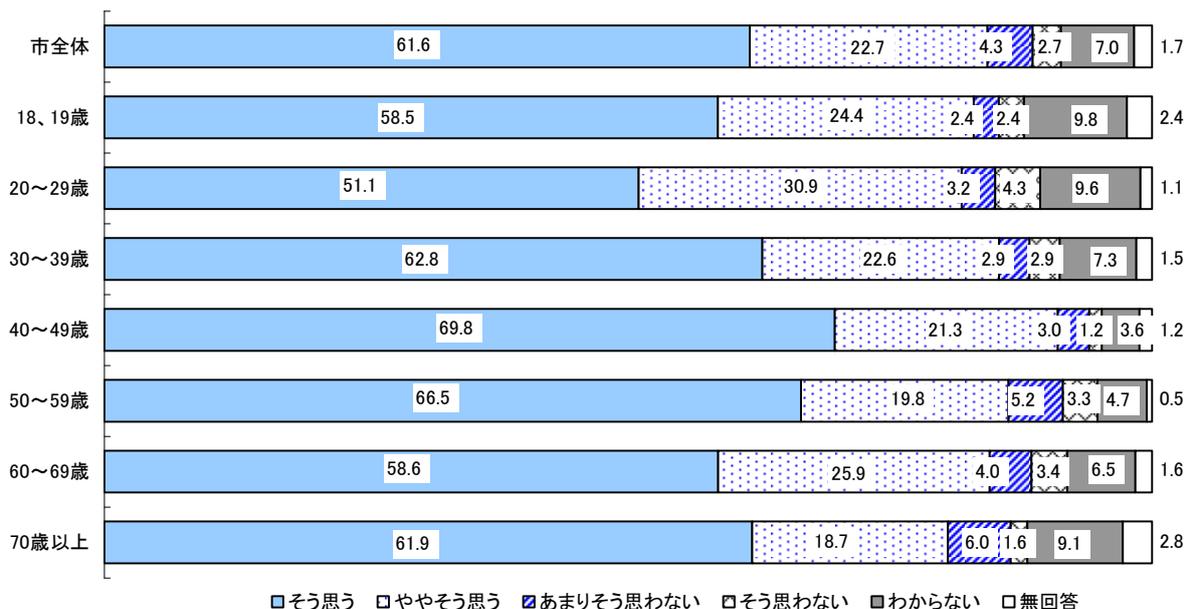
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「通院」と回答した割合が32.4%と他の地区に比べて高くなっている。

(8) あなたは、公共交通（路線バス、旅客船、フェリー）を維持していくことは必要だと思いますか。



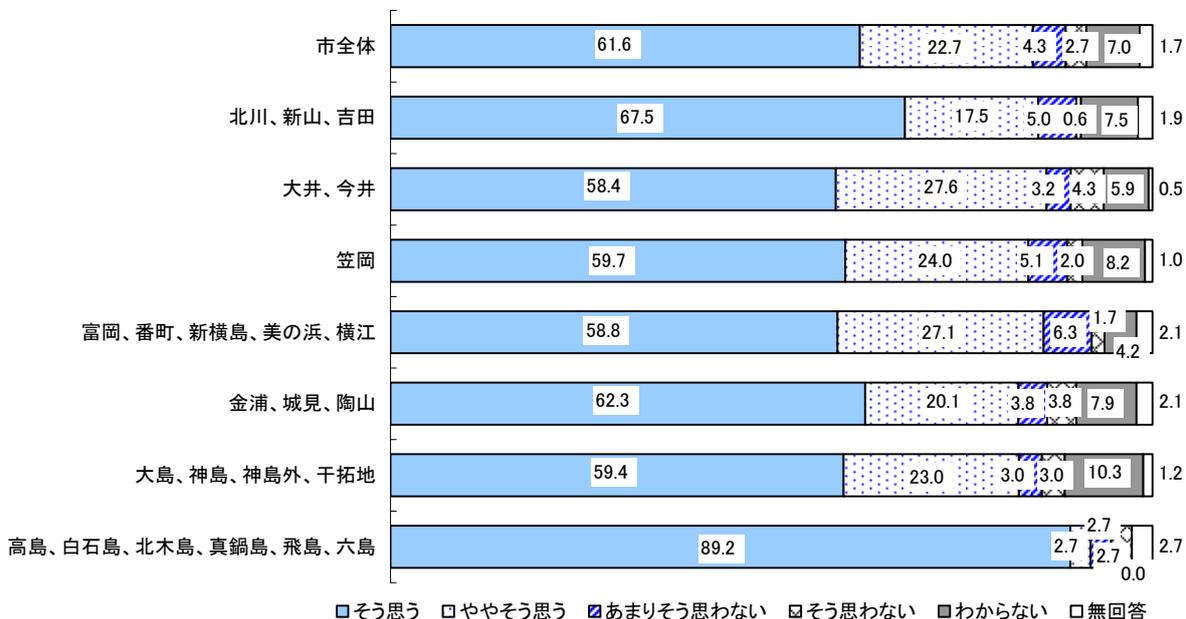
笠岡市内の公共交通の維持について、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合が84.3%、【思わない（「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせたもの）】と回答した割合が7.0%と、【思う】と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「40～49歳」で「そう思う」と回答した割合が69.8%と高くなっている。また、「40～49歳」では【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合も91.1%と他の年齢層に比べて高くなっている。

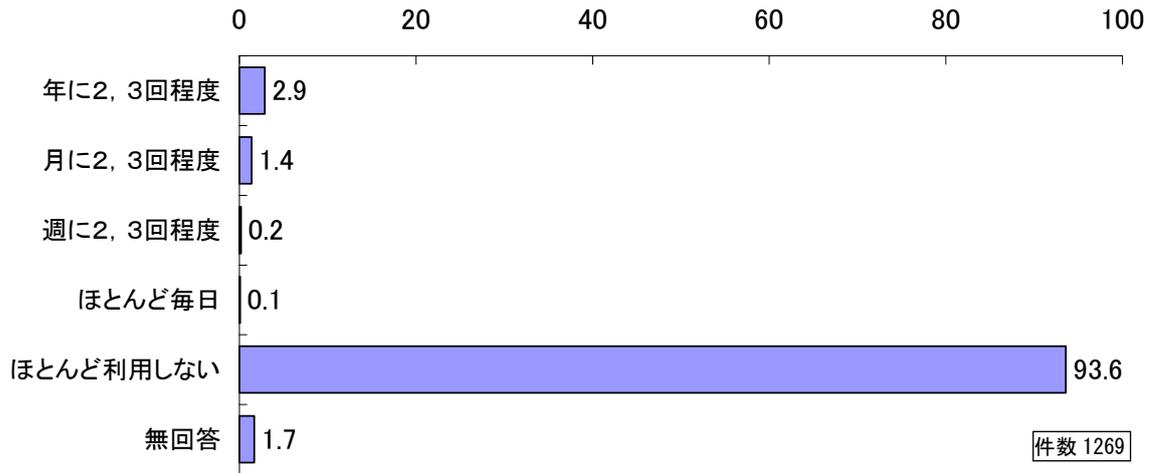
【地区別】



地区別では【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合が「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で91.9%と最も高く、次いで「大井、今井」（86.0%）、「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」（85.9%）、「北川、新山、吉田」（85.0%）の順となっている。

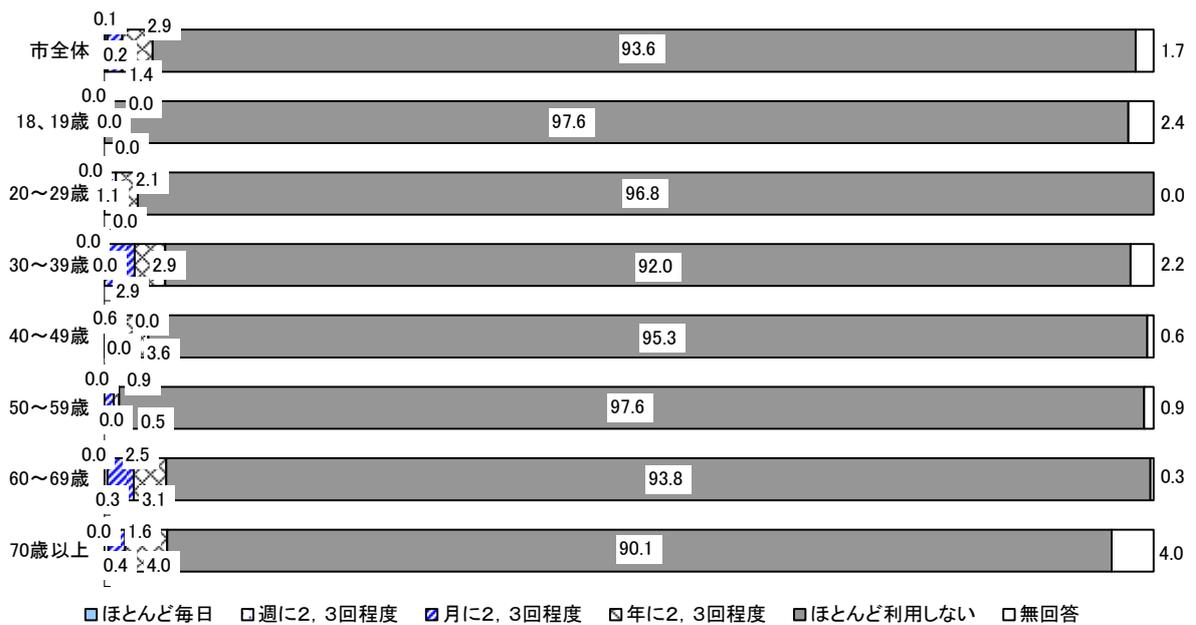
また、【思わない（「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせたもの）】と回答した割合では「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」が8.0%と最も高くなっている。

⑨ あなたは、井原鉄道を利用していますか。



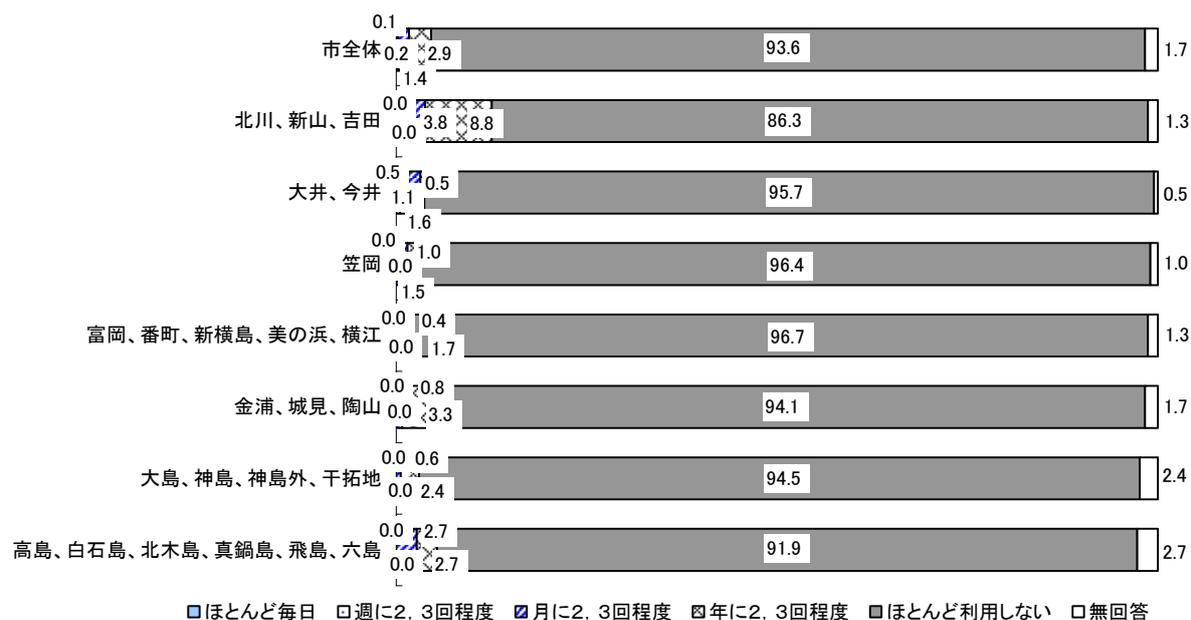
井原鉄道の利用について、「ほとんど利用しない」と回答した割合が 93.6%と最も高く、次いで「年に2, 3回程度」(2.9%)、「月に2, 3回程度」(1.4%)、「週に2, 3回程度」(0.2%)の順となっている。

【年齢別】



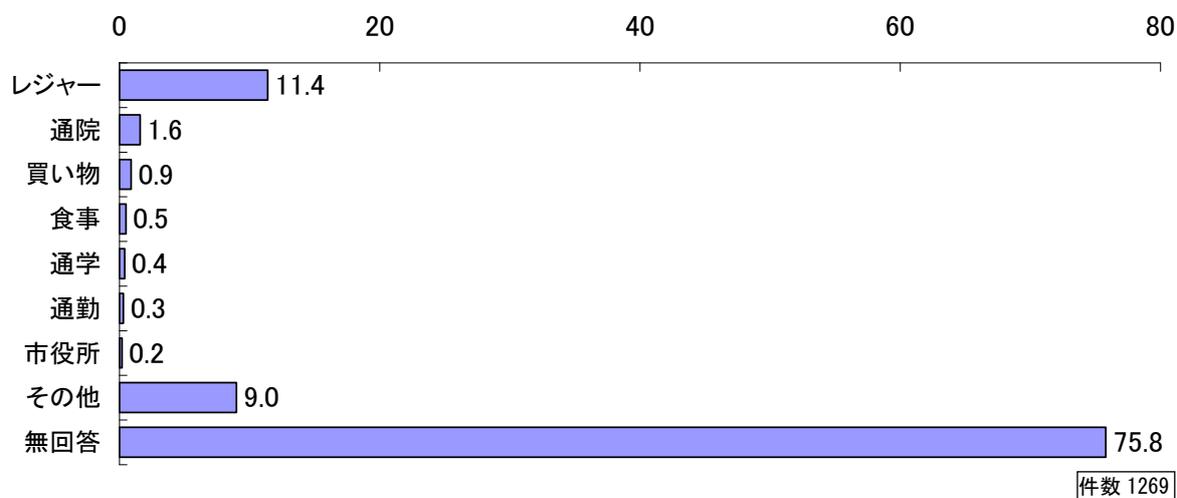
年齢別にみると、すべての年齢において「ほとんど利用しない」と回答した割合が高くなっている。

【地区別】



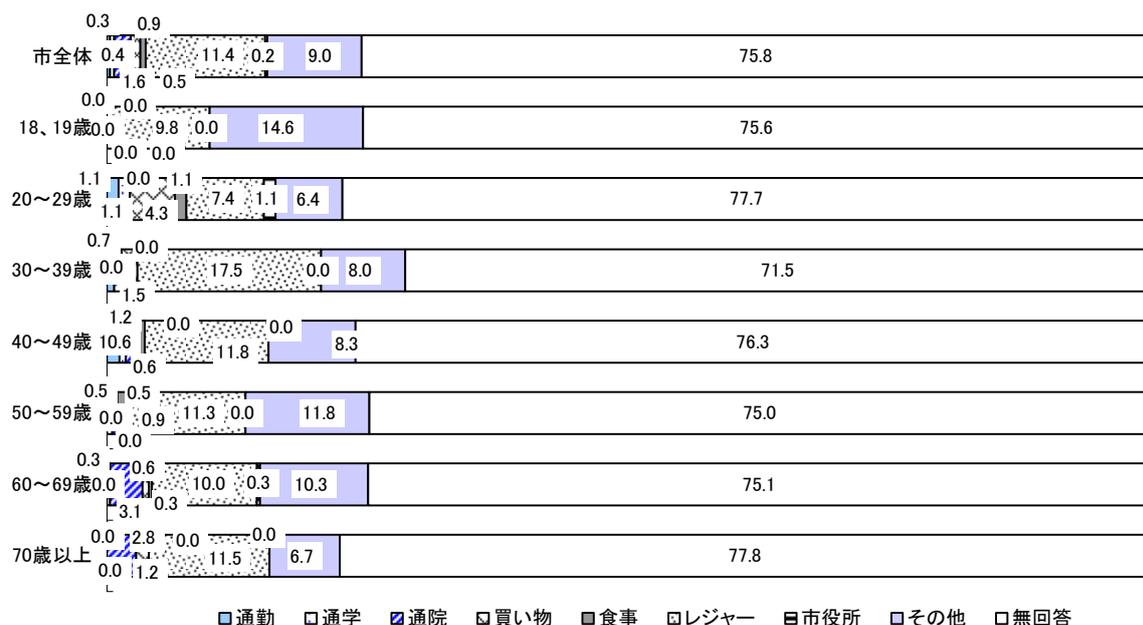
地区別にみると、「北川、新山、吉田」で「年に2、3回程度」と回答した割合が8.8%と他の地区に比べて高くなっている。

(10) あなたが、井原鉄道を利用する主な目的は何ですか。



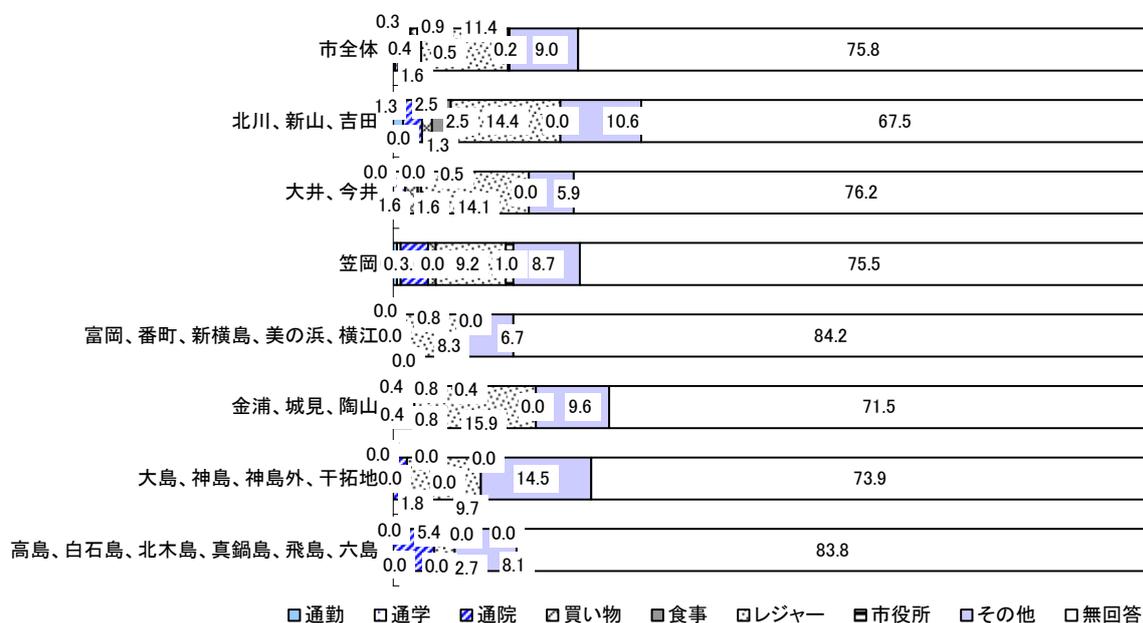
井原鉄道の主な利用目的について、「レジャー」と回答した割合が11.4%と最も高く、次いで「通院」(1.6%)、「買い物」(0.9%)、「食事」(0.5%)の順となっている。

【年齢別】



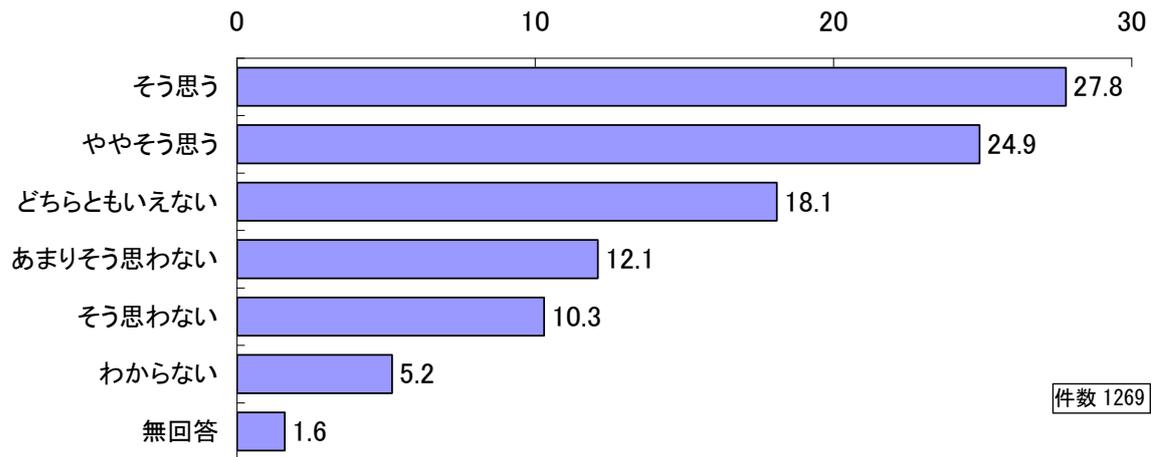
年齢別にみると、「30～39歳」では「レジャー」と回答した割合が17.5%と高くなっている。

【地区別】



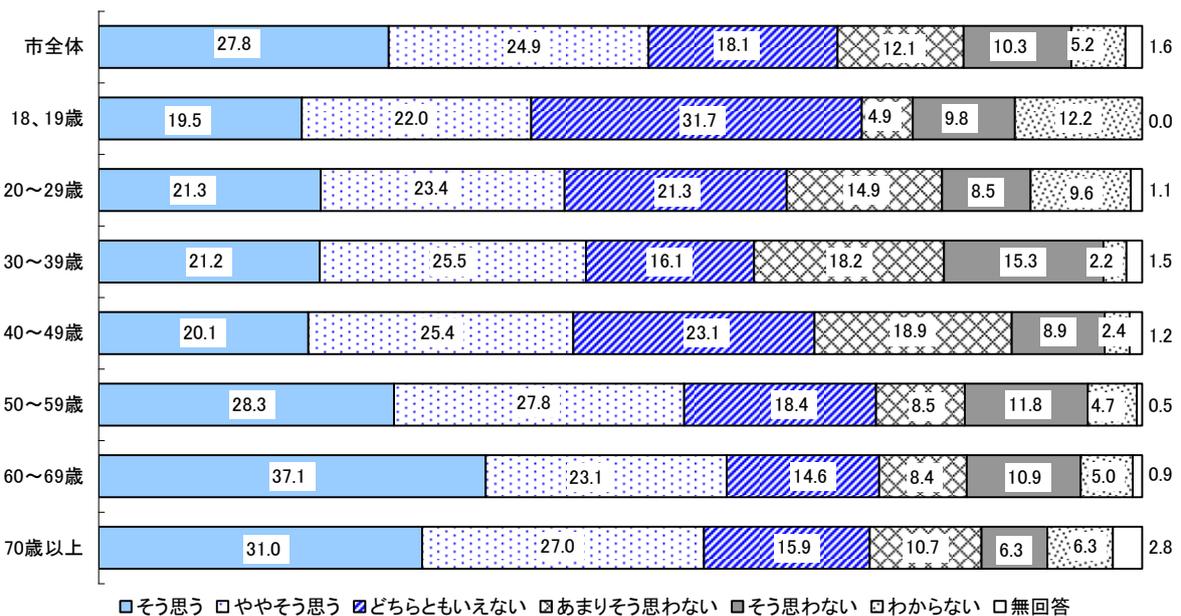
地区別にみると、「金浦、城見、陶山」で「レジャー」と回答した割合が15.9%と高く、次いで「北川、新山、吉田」（14.4%）、「大井、今井」（14.1%）の順となっている。

(11) あなたは、笠岡市内で水道水を安心して使用できると思いますか。



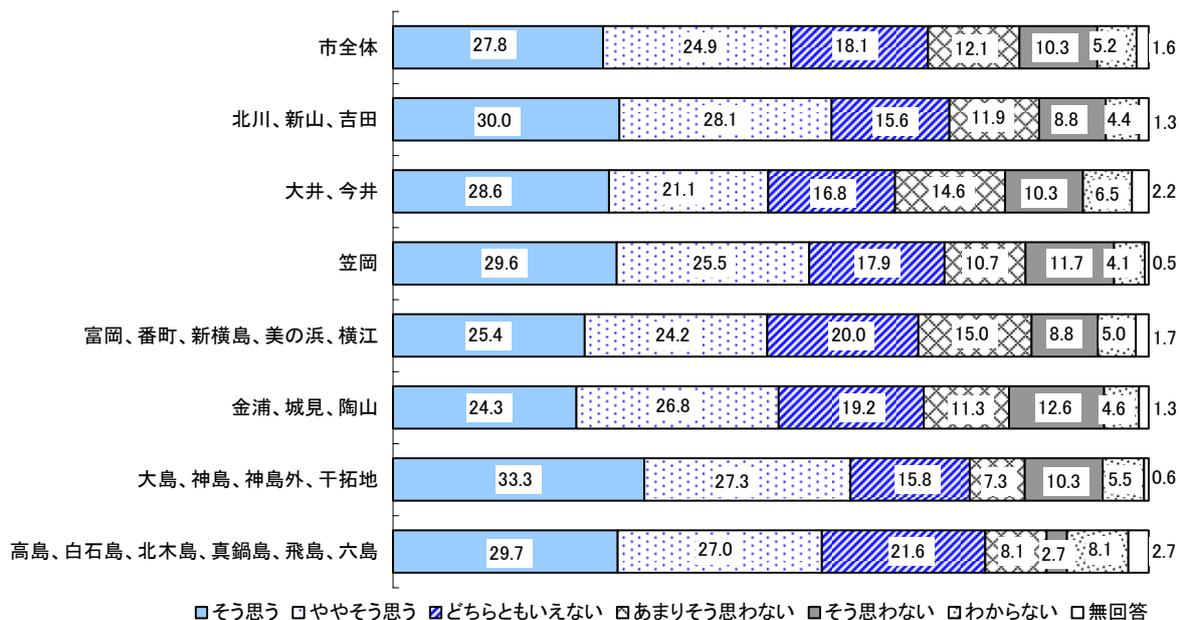
笠岡市内の水道水を安心して使用できるかについて、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合が52.7%、【思わない（「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせたもの）】と回答した割合が22.4%と、【思う】と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



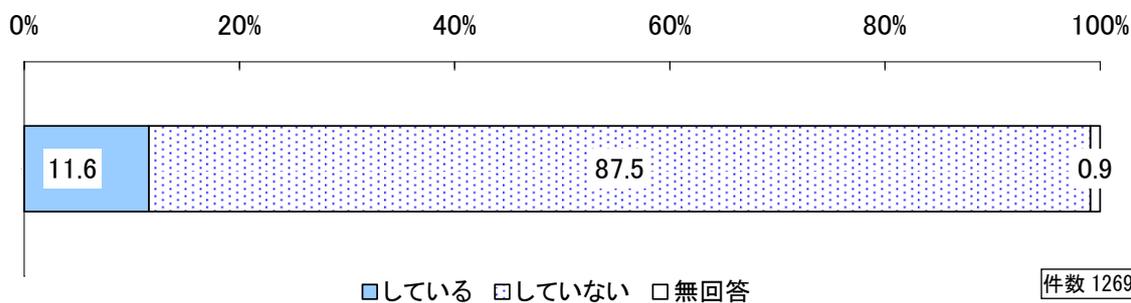
年齢別にみると、「60～69歳」では【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は60.2%と高くなっている。

【地区別】



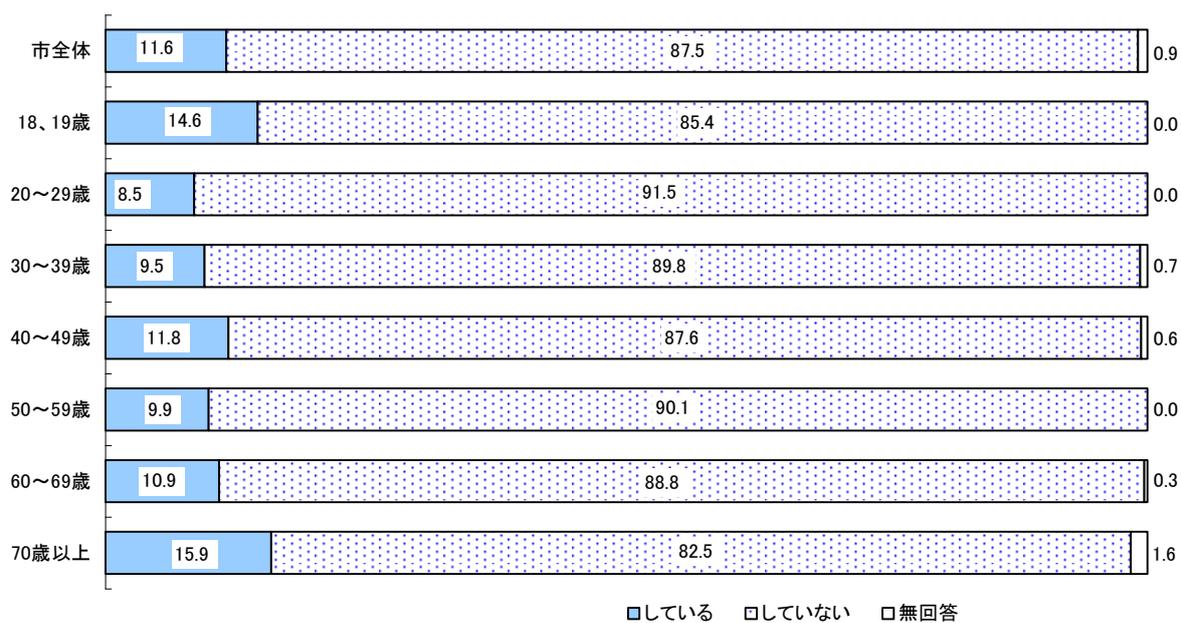
地区別にみると、「大島、神島、神島外、干拓地」では【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は60.6%と高くなっている。

(12) あなたは、災害などの非常時の持出品（食飲料3日分）を準備していますか。



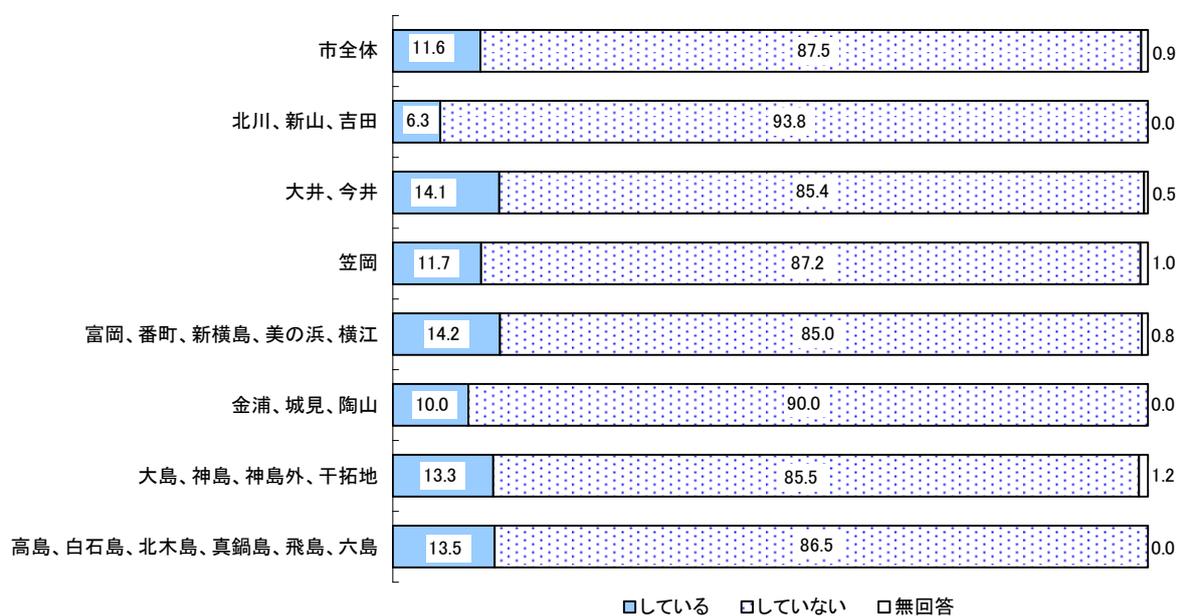
災害などの非常時の持出品の準備について、「している」が11.6%、「していない」が87.5%と、「していない」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



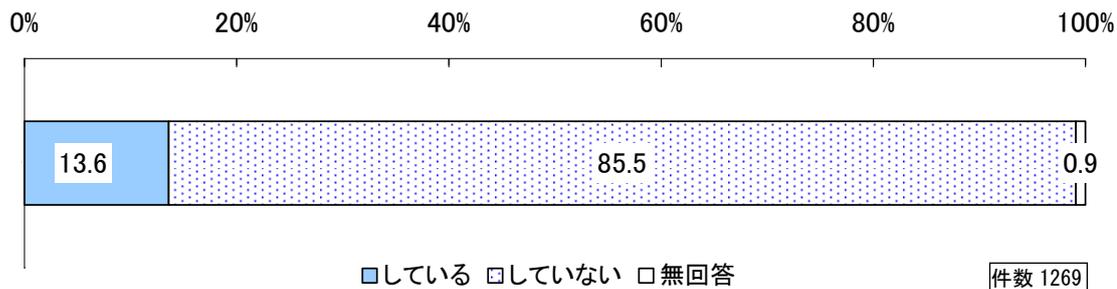
年齢別にみると、「70歳以上」で「している」と回答した割合が15.9%と高くなっている。

【地区別】



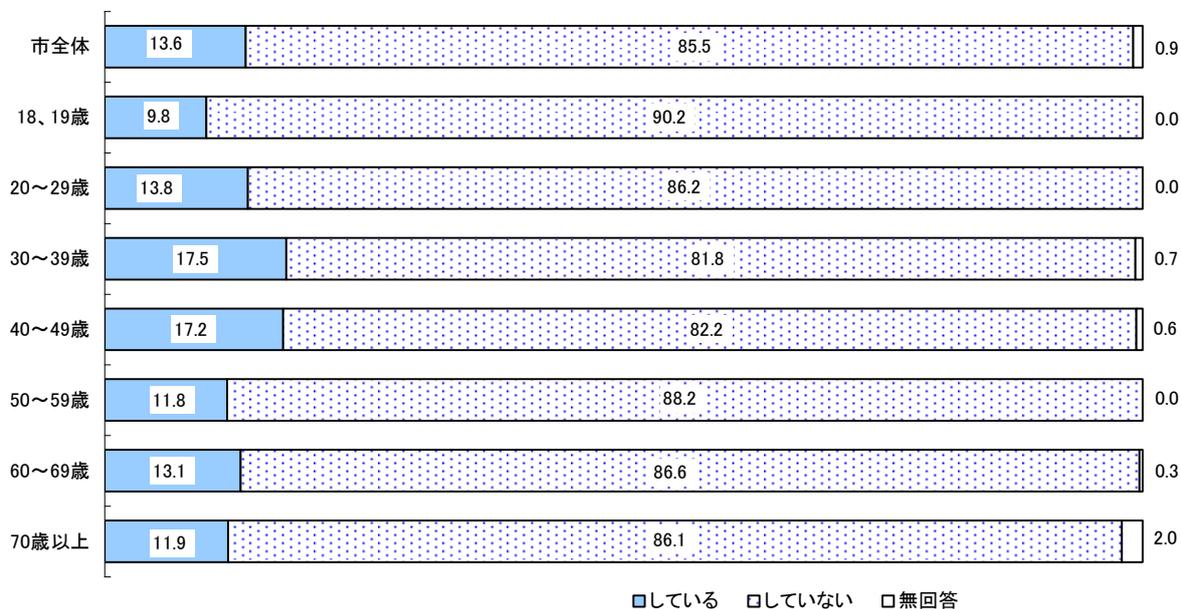
地区別にみると、「北川、新山、吉田」で「している」と回答した割合が6.3%と低くなっている。

(13) あなたは、自宅で家具の転倒防止やガラスの飛散防止などの防災対策をしていますか。



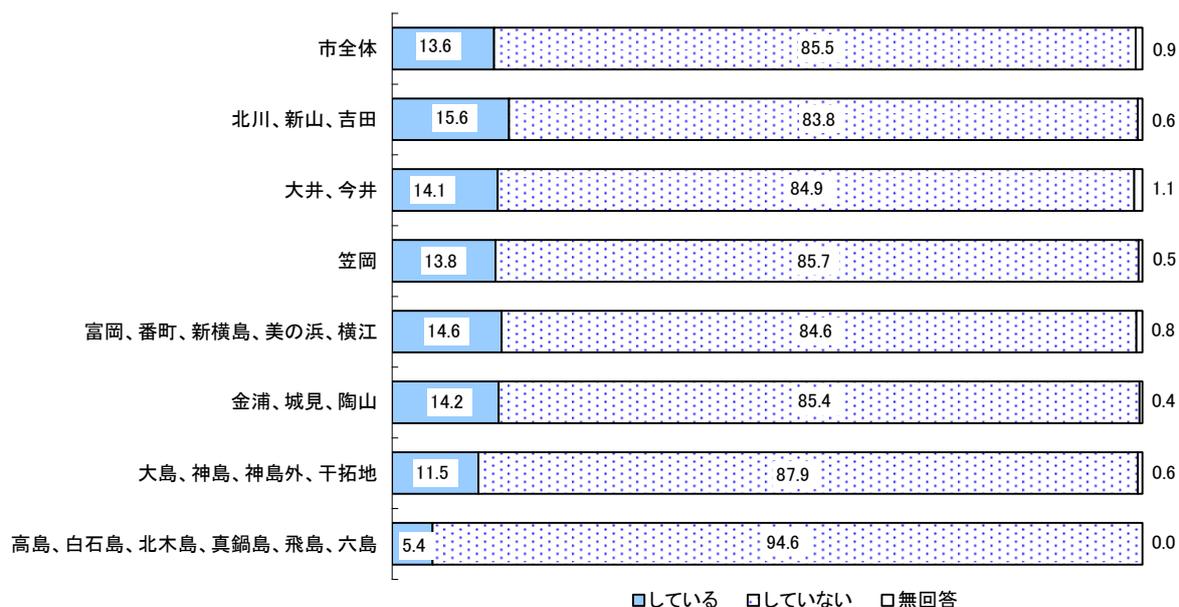
自宅での防災対策について、「している」が 13.6%、「していない」が 85.5%と、「していない」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



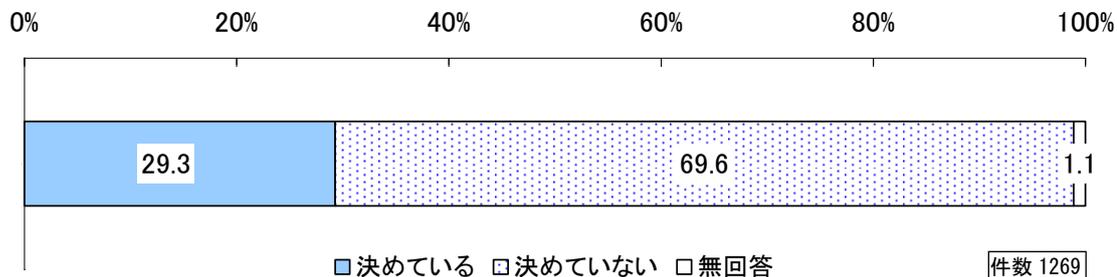
年齢別にみると、「している」と回答した割合は、「30～39歳」で 17.5%と高く、「18、19歳」で 9.8%と低くなっている。

【地区別】



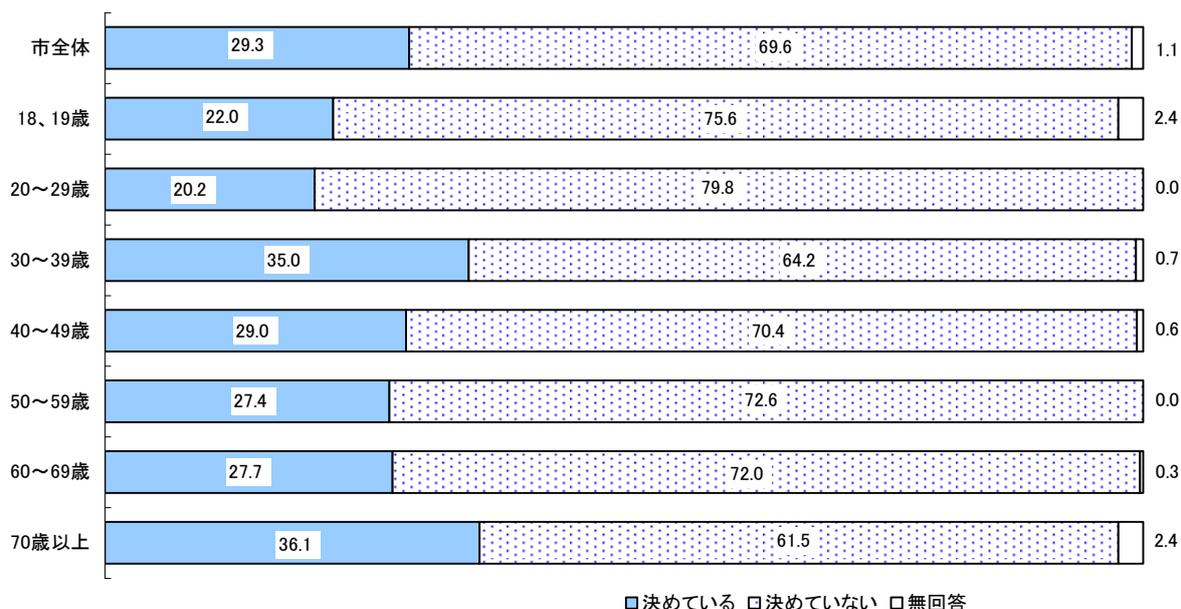
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「している」と回答した割合が5.4%と低くなっている。

(14) あなたは、ご家族で防災について話し合い、非常時の集合場所や連絡網を決めていますか。



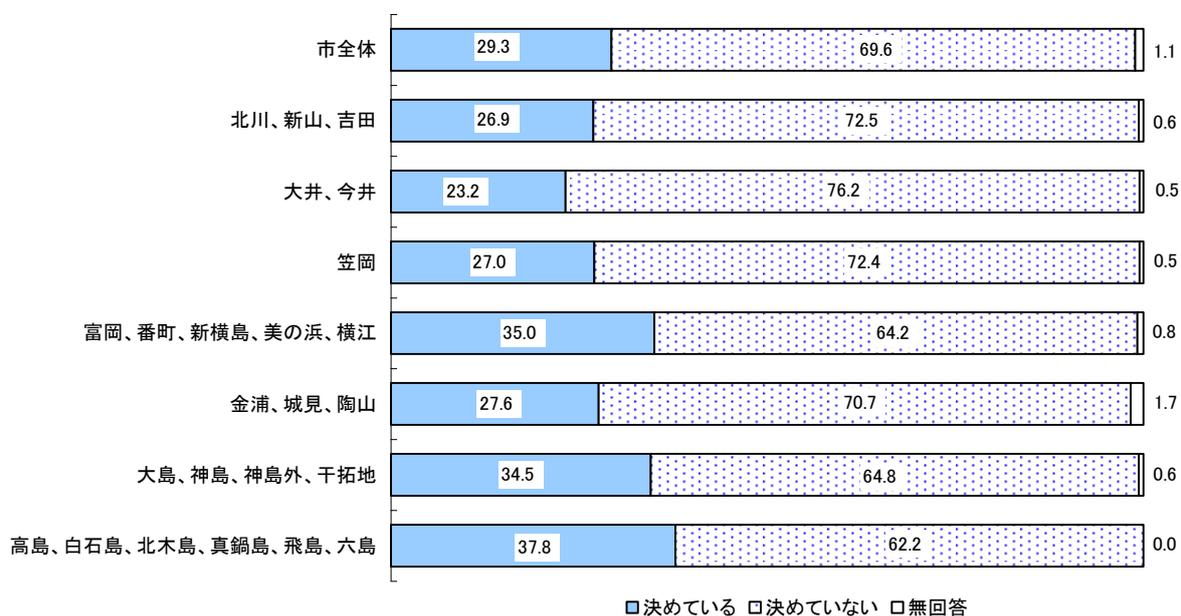
非常時の集合場所や連絡網について、「決めている」が29.3%、「決めていない」が69.6%と、「決めていない」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



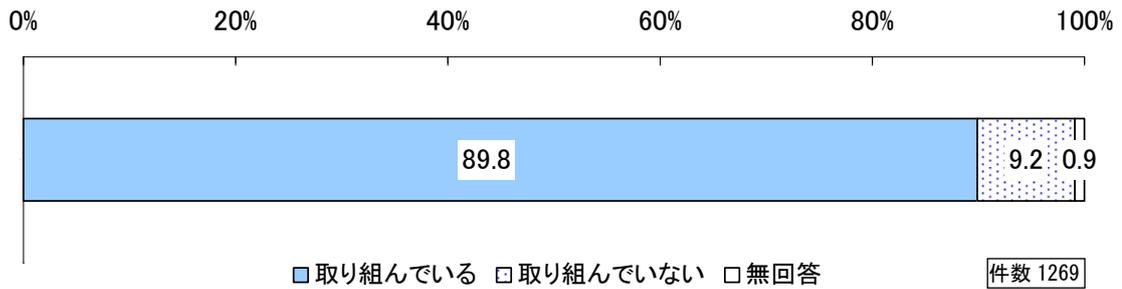
年齢別にみると、「決めている」と回答した割合は、「30～39歳」「70歳以上」でそれぞれ3割以上と他の年齢層と比べて高くなっている。

【地区別】



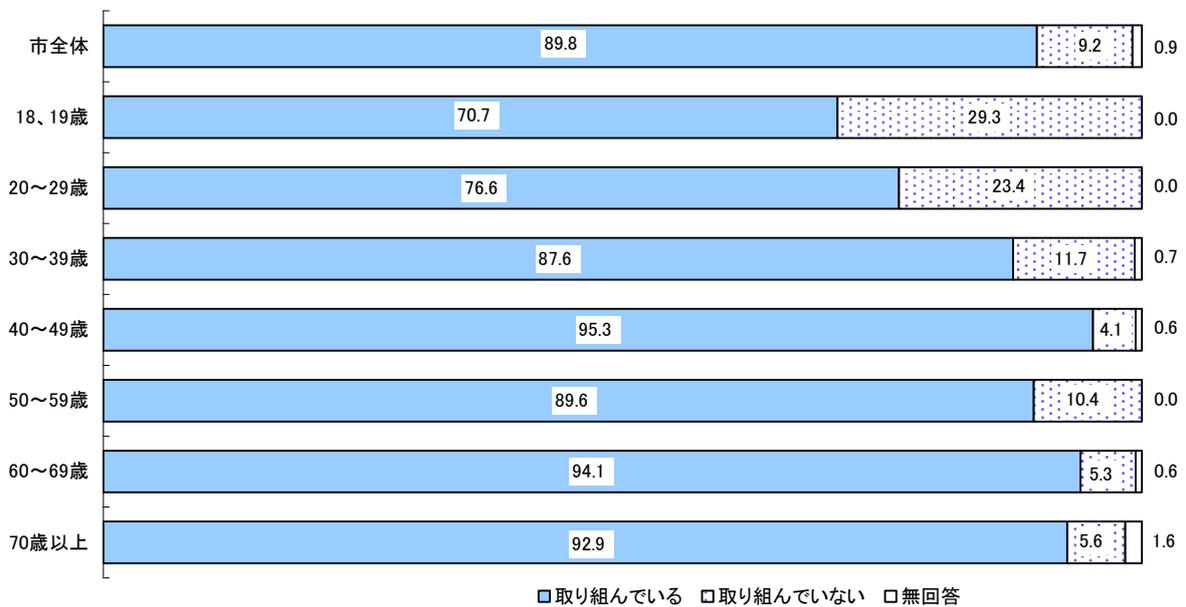
地区別にみると、「決めている」と回答した割合は、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で37.8%と高く、「大井、今井」では23.2%と低くなっている。

(15) あなたは、ごみの減量化・資源化に取り組んでいますか。



ごみの減量化・資源化に取り組んでいるかについて、「取り組んでいる」が89.8%、「取り組んでいない」が9.2%と、「取り組んでいる」と回答した割合が高くなっている。

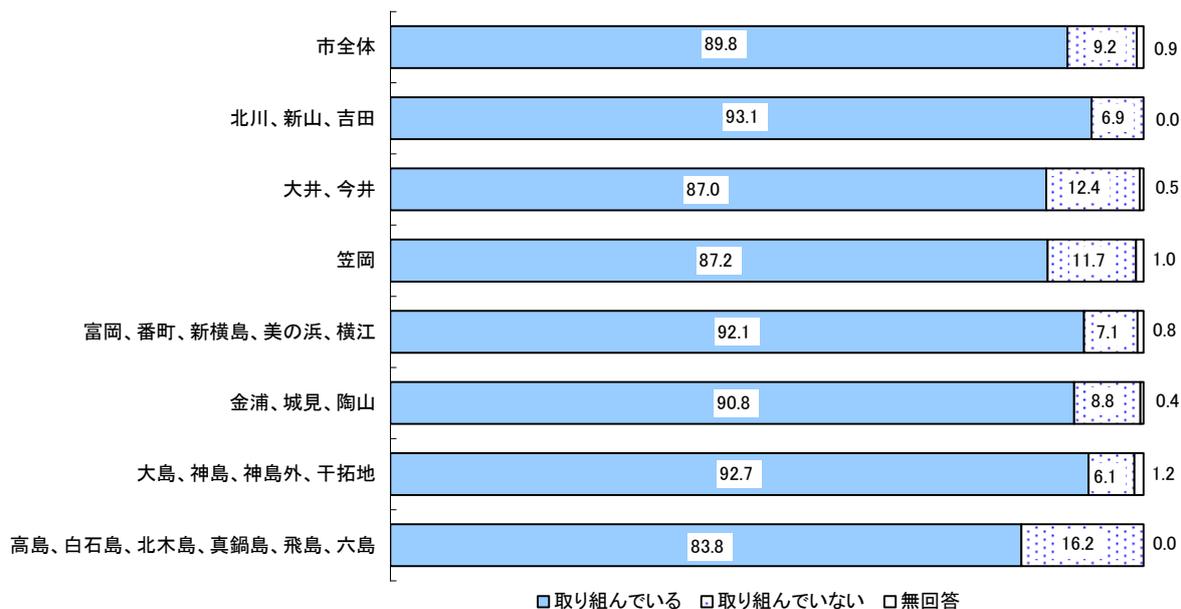
【年齢別】



年齢別にみると、「取り組んでいる」と回答した割合は、「40～49歳」が95.3%と最も高く、次いで「60～69歳」（94.1%）、「70歳以上」（92.9%）の順となっている。

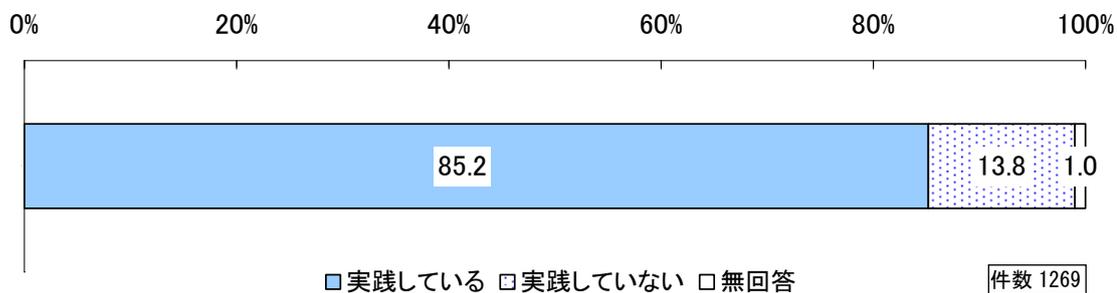
また、「18、19歳」で「取り組んでいない」と回答した割合が29.3%と高くなっている。

【地区別】



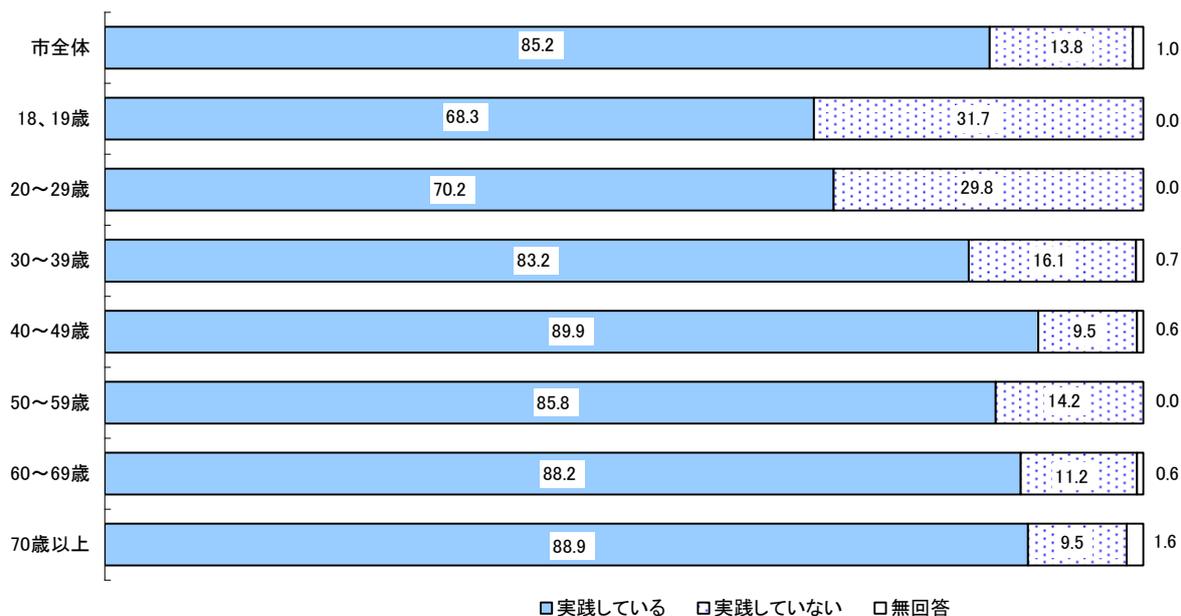
地区別にみると、「取り組んでいる」と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が83.8%と他の地区に比べて低くなっている。

(16) あなたは、日常生活の中でエコ（節約・省エネルギー化）を実践していますか。



日常生活の中でエコ（節約・省エネルギー化）の実践について、「実践している」が85.2%、「実践していない」が13.8%と、「実践している」と回答した割合が高くなっている。

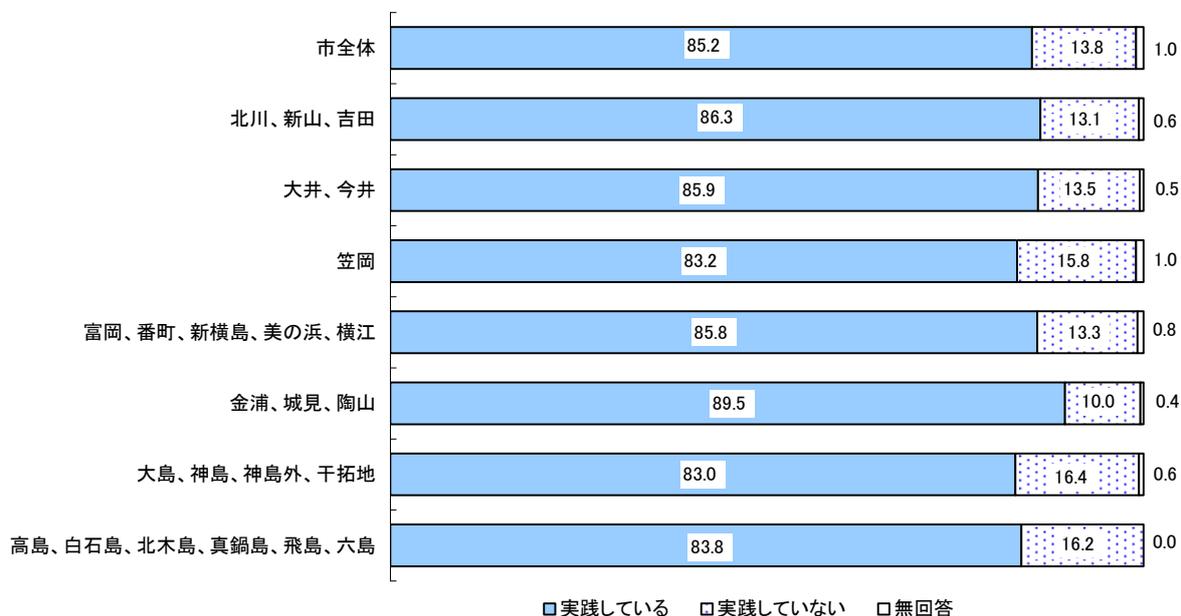
【年齢別】



年齢別にみると、「実践している」と回答した割合は、「40～49歳」が89.9%と最も高く、次いで「70歳以上」(88.9%)、「60～69歳」(88.2%)の順となっている。

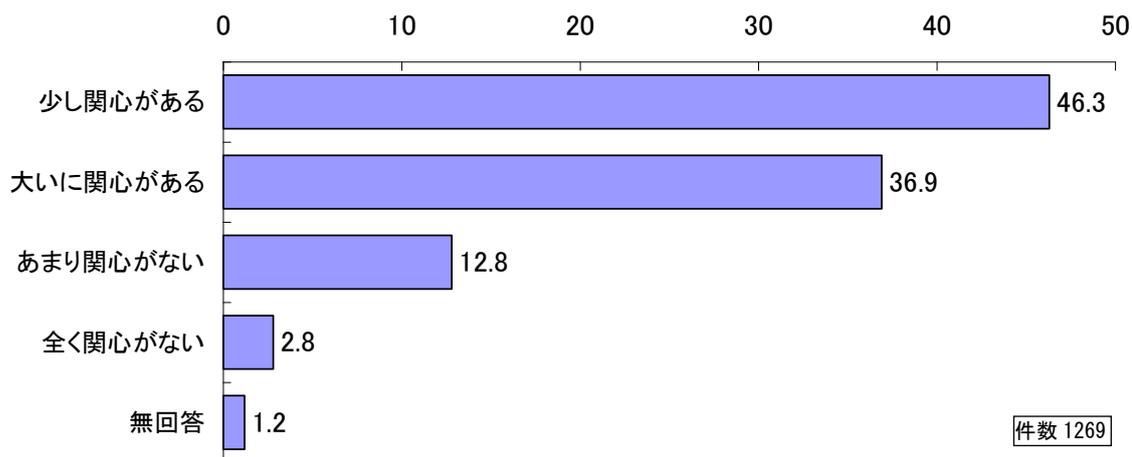
また、「18、19歳」「20～29歳」では「実践していない」と回答した割合が3割程度と高くなっている。

【地区別】



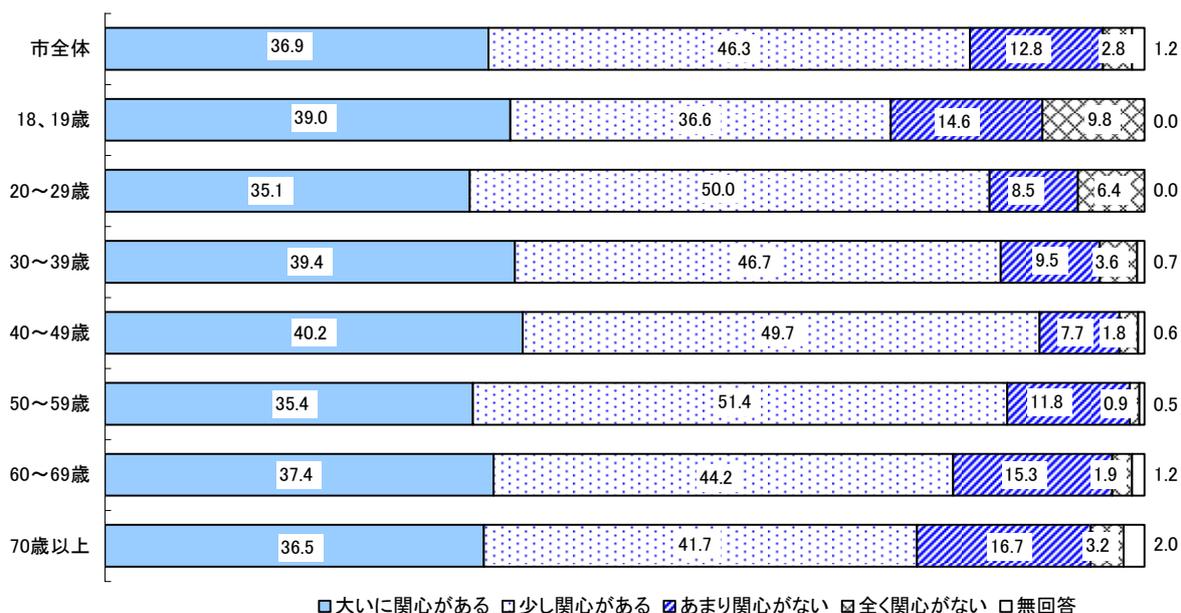
地区別にみると、「実践している」と回答した割合は、「金浦、城見、陶山」が89.5%と最も高く、次いで「北川、新山、吉田」(86.3%)、「大井、今井」(85.9%)の順となっている。

(17) あなたは、新エネルギーに関心がありますか。



新エネルギーについて、「少し関心がある」と回答した割合が 46.3%と最も高く、次いで「大いに関心がある」(36.9%)、「あまり関心がない」(12.8%)、「全く関心がない」(2.8%)の順となっている。

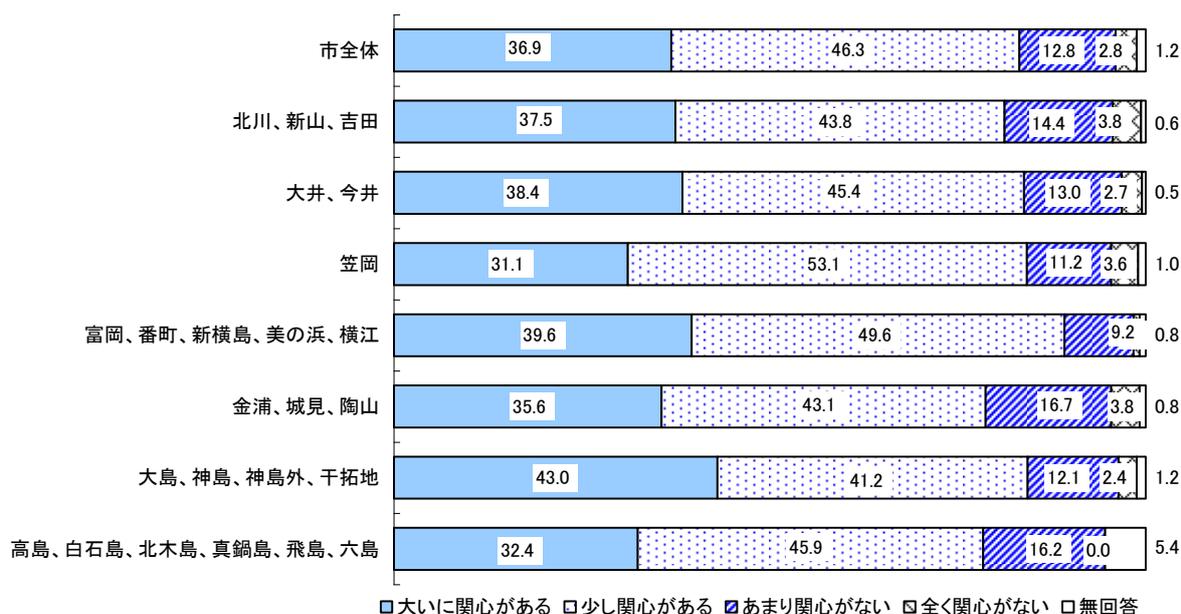
【年齢別】



年齢別にみると、【関心がある（「大いに関心がある」「少し関心がある」を合わせたもの）】と回答した割合は、「40～49歳」が 89.9%と他の年齢層に比べて高くなっている。

また、【関心がない（「全く関心がない」「あまり関心がない」を合わせたもの）】と回答した割合は、「18、19歳」が 24.4%と他の年齢層に比べて高くなっている。

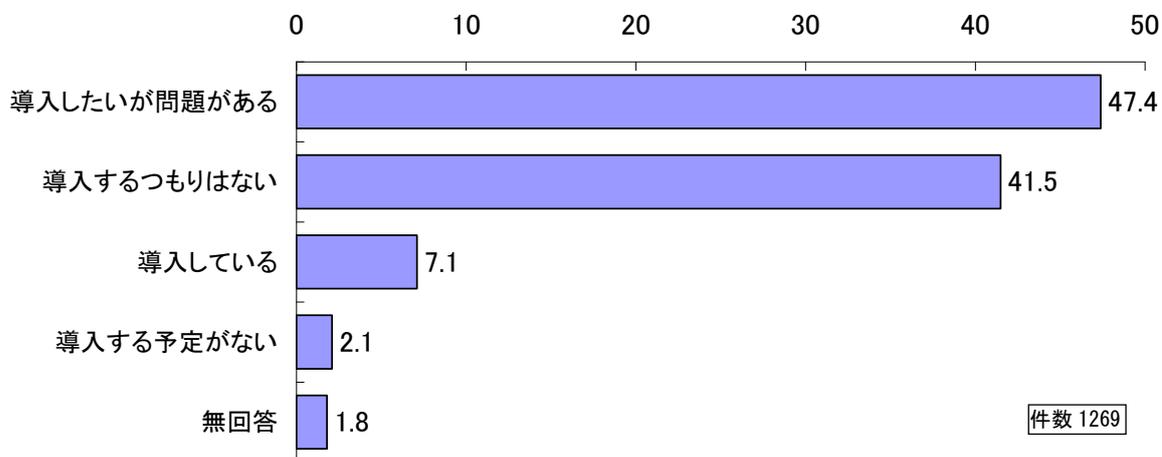
【地区別】



地区別にみると、【関心がある（「大いに興味がある」「少し興味がある」を合わせたもの）】と回答した割合は、「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」が 89.2%と他の地区に比べて高くなっている。

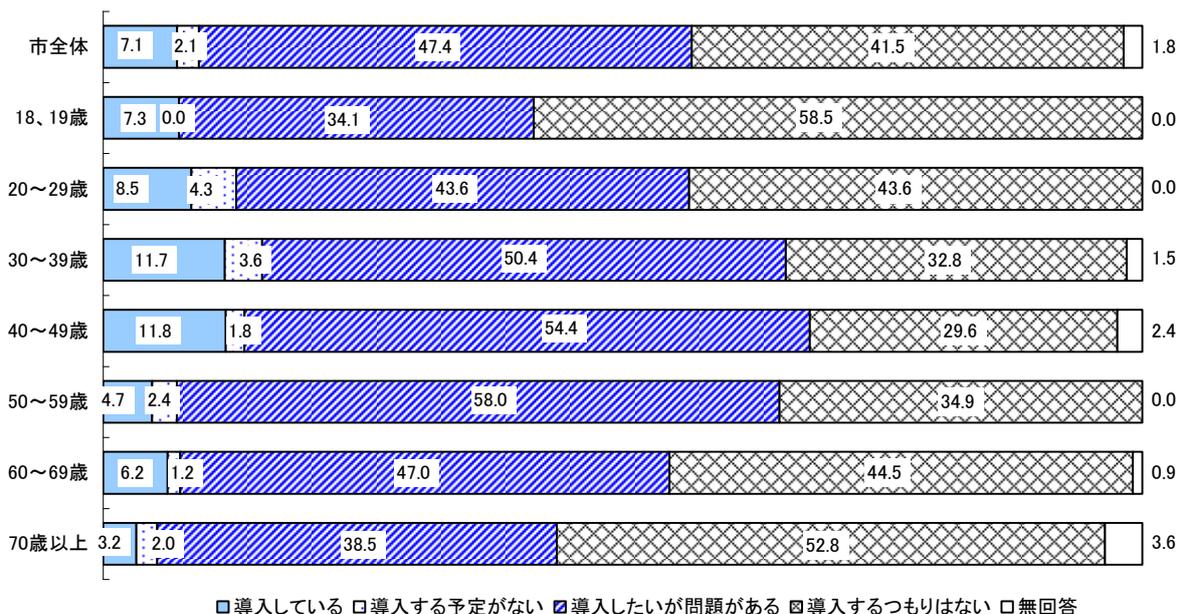
また、【関心がない（「全く興味がない」「あまり興味がない」を合わせたもの）】と回答した割合は、「金浦、城見、陶山」が 20.5%と他の地区と比べて高くなっている。

(18) 太陽光発電システムの導入状況について、あなたの自宅は次のどれにあてはまりますか。



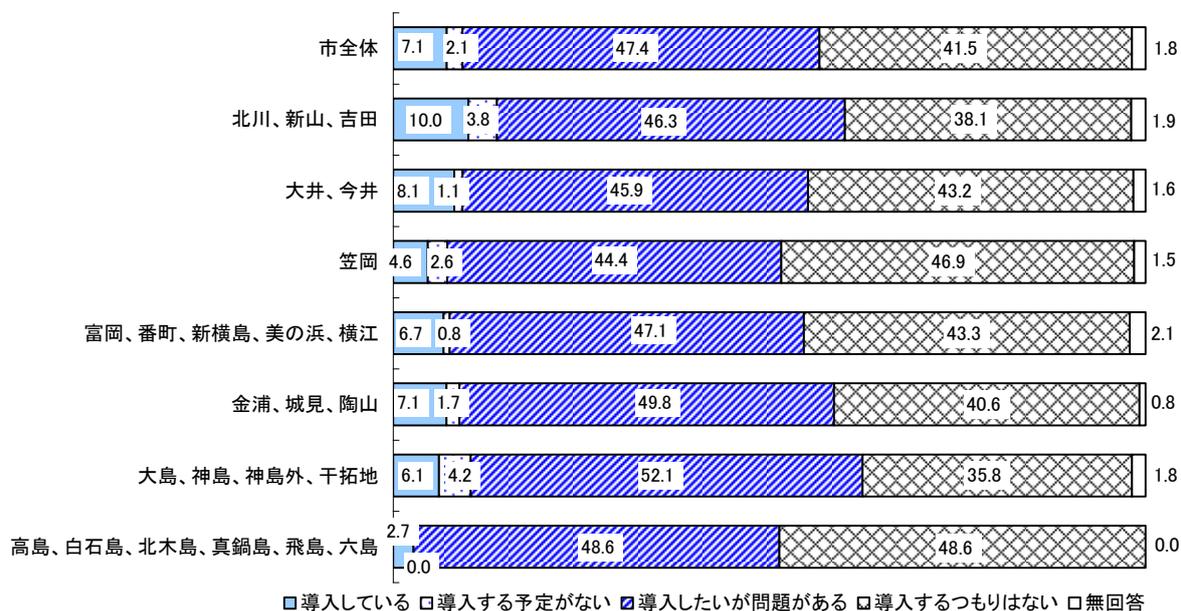
太陽光発電システムの導入について、「導入したいが問題がある」と回答した割合が 47.4%と最も高く、次いで「導入するつもりはない」(41.5%)、「導入している」(7.1%)、「導入する予定がない」(2.1%)の順となっている。

【年齢別】



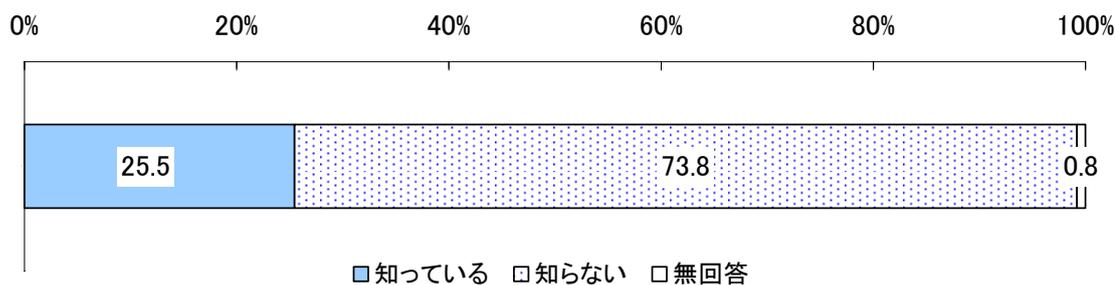
年齢別にみると、「導入している」と回答した割合は「40～49歳」が11.8%と最も高く、次いで「30～39歳」（11.7%）、「20～29歳」（8.5%）の順となっている。

【地区別】



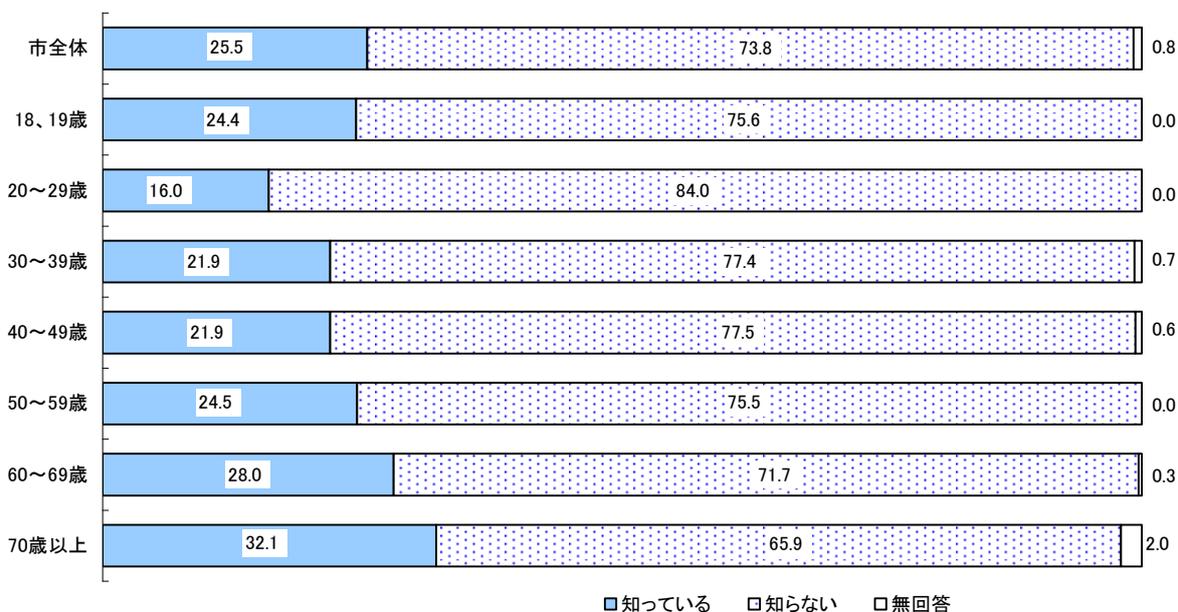
地区別にみると、「導入している」と回答した割合は「北川、新山、吉田」が10.0%と最も高く、次いで「大井、今井」（8.1%）、「金浦、城見、陶山」（7.1%）の順となっている。

(19) あなたは、笠岡市と笠岡学園が共同で使用済みの天ぷら油から環境にやさしいバイオディーゼル燃料（BDF≒軽油代替燃料）を製造している取り組みを知っていますか。



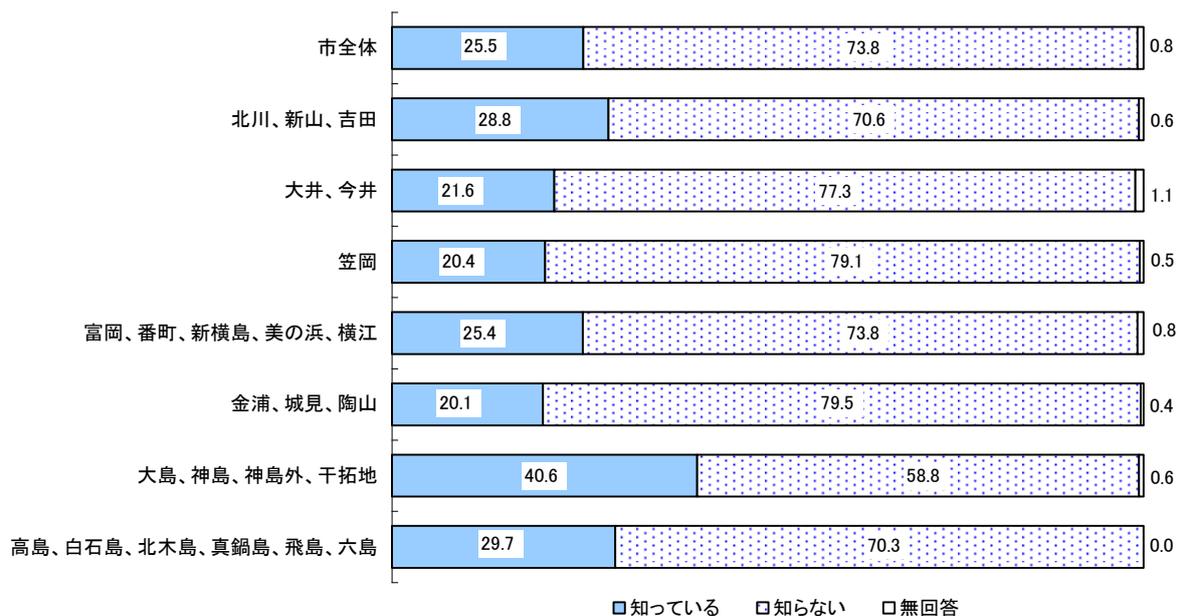
バイオディーゼル燃料の製造の取り組みについて、「知っている」が 25.5%、「知らない」が 73.8%と、「知らない」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



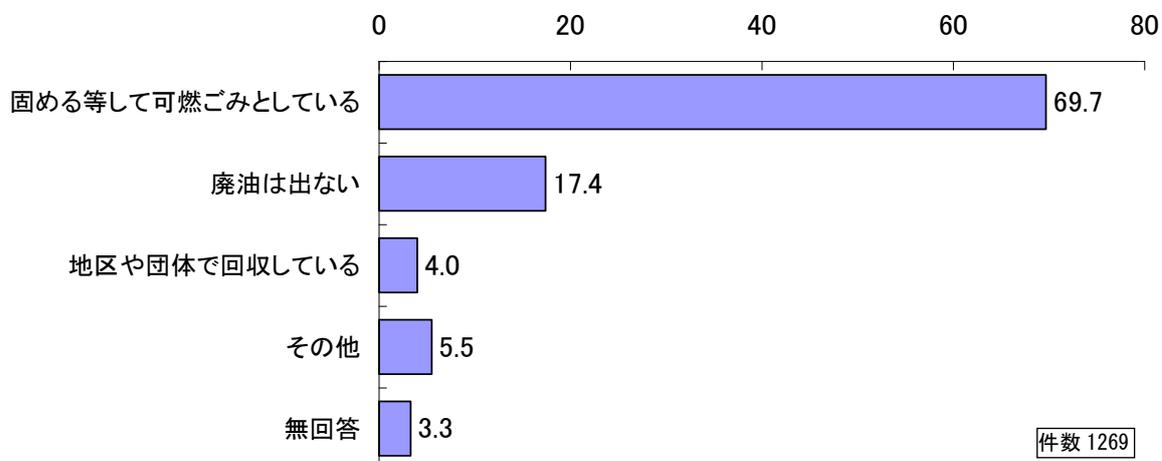
年齢別にみると、「知っている」と回答した割合は「70歳以上」が 32.1%と最も高く、次いで「60～69歳」（28.0%）、「50～59歳」（24.5%）の順となっている。

【地区別】



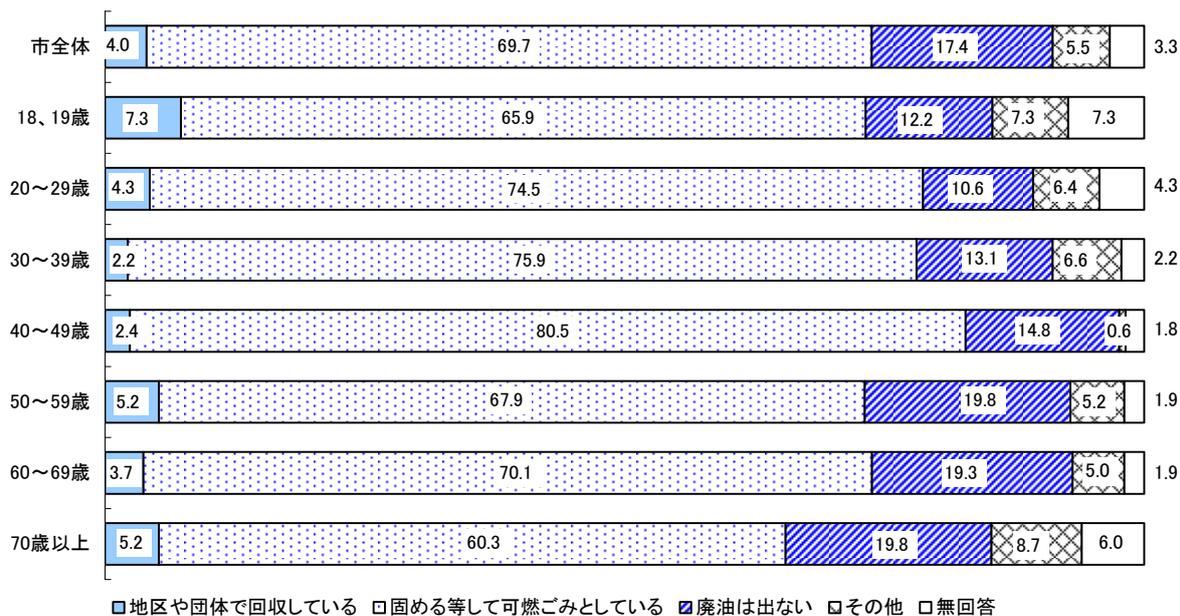
地区別にみると、「知っている」と回答した割合は「大島、神島、神島外、干拓地」が40.6%と高く、次いで「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(29.7%)、「北川、新山、吉田」(28.8%)の順となっている。

(20) あなたは、使用済みの天ぷら油をどのように処理していますか。



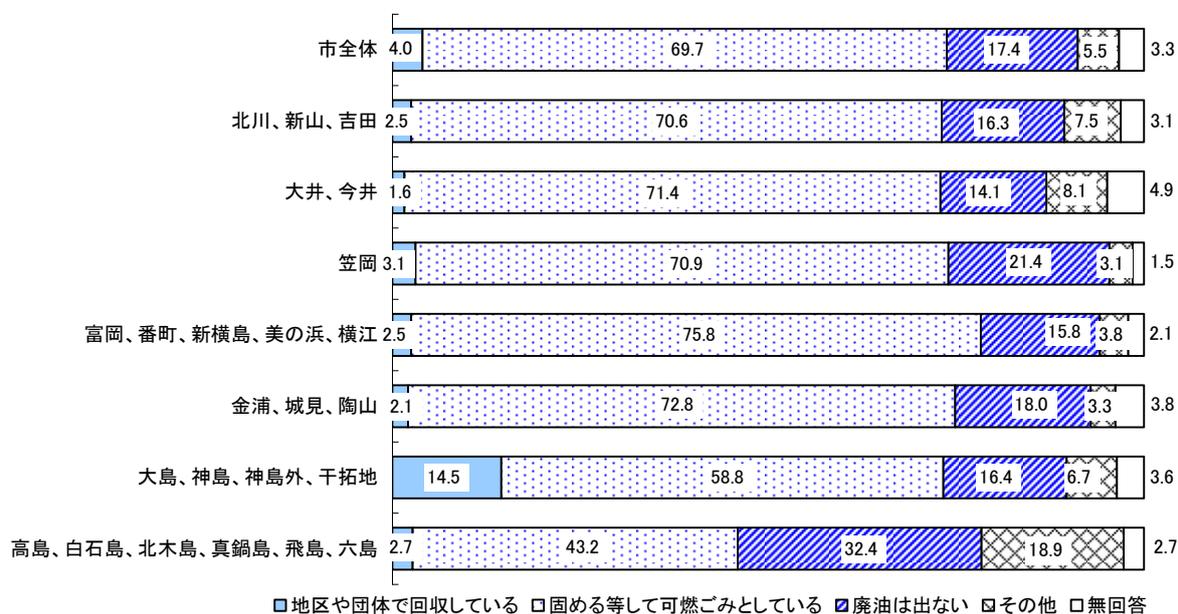
使用済みのてんぷら油の処理について、「固める等して可燃ごみとしている」と回答した割合が69.7%と最も高く、次いで「廃油は出ない」(17.4%)、「地区や団体に回収している」(4.0%)の順となっている。

【年齢別】



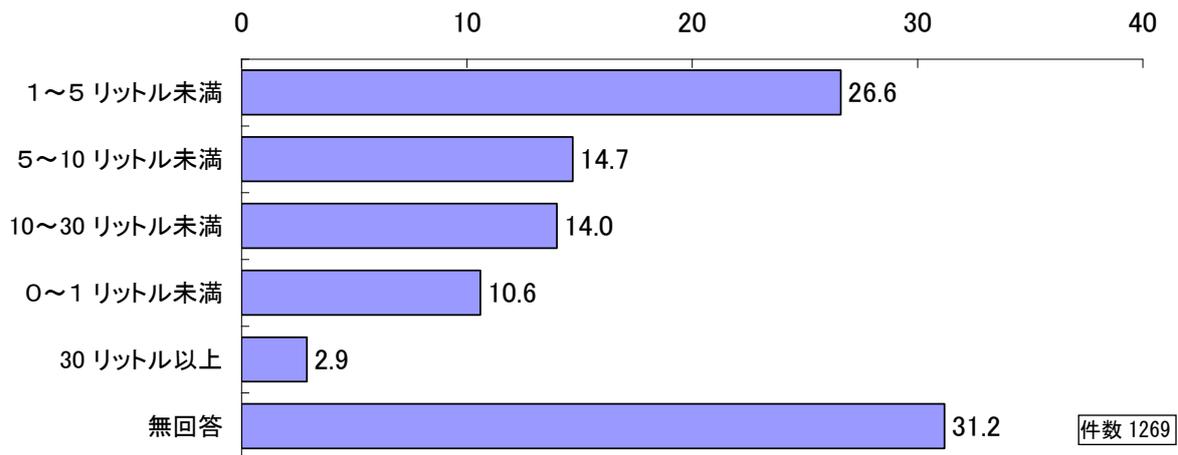
年齢別にみると、「固める等して可燃ごみとしている」と回答した割合は「40～49歳」が80.5%と最も高く、次いで「30～39歳」（75.9%）、「20～29歳」（74.5%）の順となっている。また、「廃油は出ない」と回答した割合は「50～59歳」「60～69歳」「70歳以上」では2割程度と高くなっている。

【地区別】



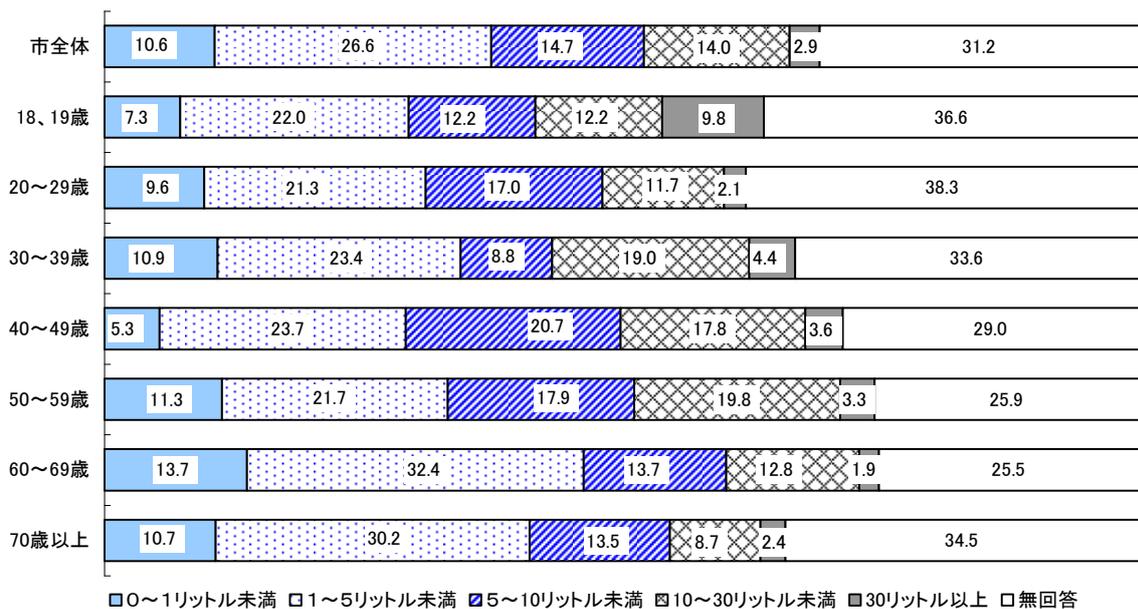
地区別にみると、「固める等して可燃ごみとしている」と回答した割合は、「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」が75.8%と最も高く、次いで「金浦、城見、陶山」（72.8%）、「大井、今井」（71.4%）の順となっている。また、「大島、神島、神島外、干拓地」では「地区や団体に回収している」、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」では「廃油は出ない」と回答した割合が他の地区に比べて高くなっている。

(21) あなたのご家庭での一年間の使用済みの天ぷら油の量はどのくらいですか。



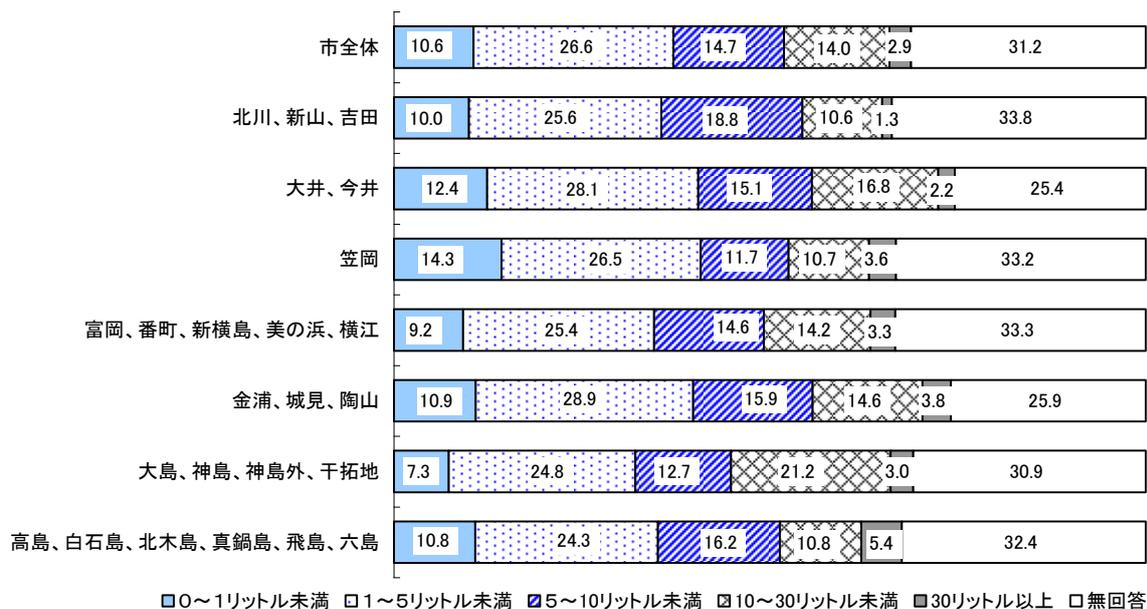
家庭での一年間の使用済みの天ぷら油の量について、「1～5リットル」と回答した割合が26.6%と最も高く、次いで「5～10リットル」(14.7%)、「10～30リットル」(14.0%)、「0～1リットル」(10.6%)の順となっている。

【年齢別】



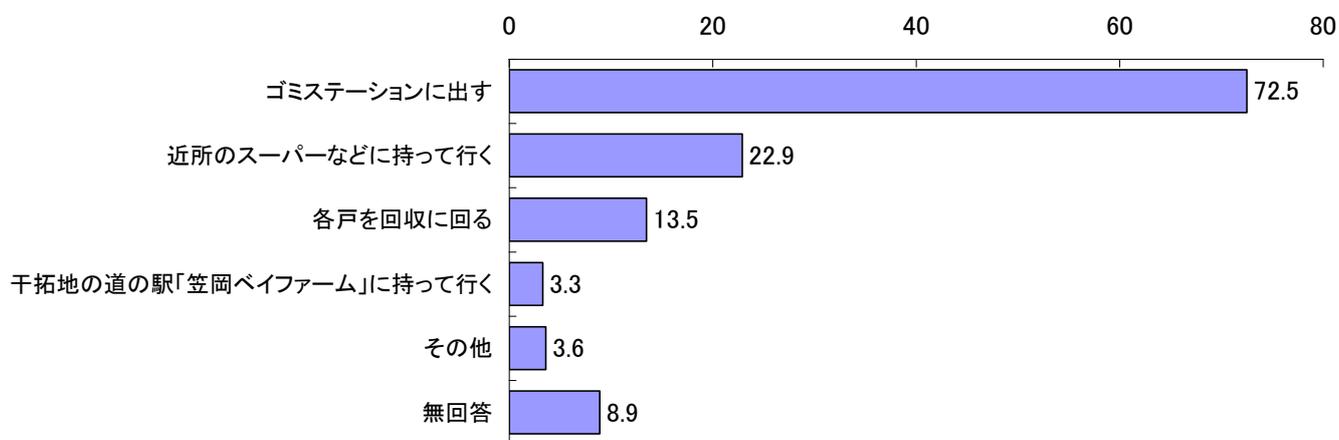
年齢別にみると、「0～1リットル未満」と回答した割合は「60～69歳」が13.7%と最も高く、次いで「50～59歳」(11.3%)、「30～39歳」(10.9%)の順となっている。

【地区別】



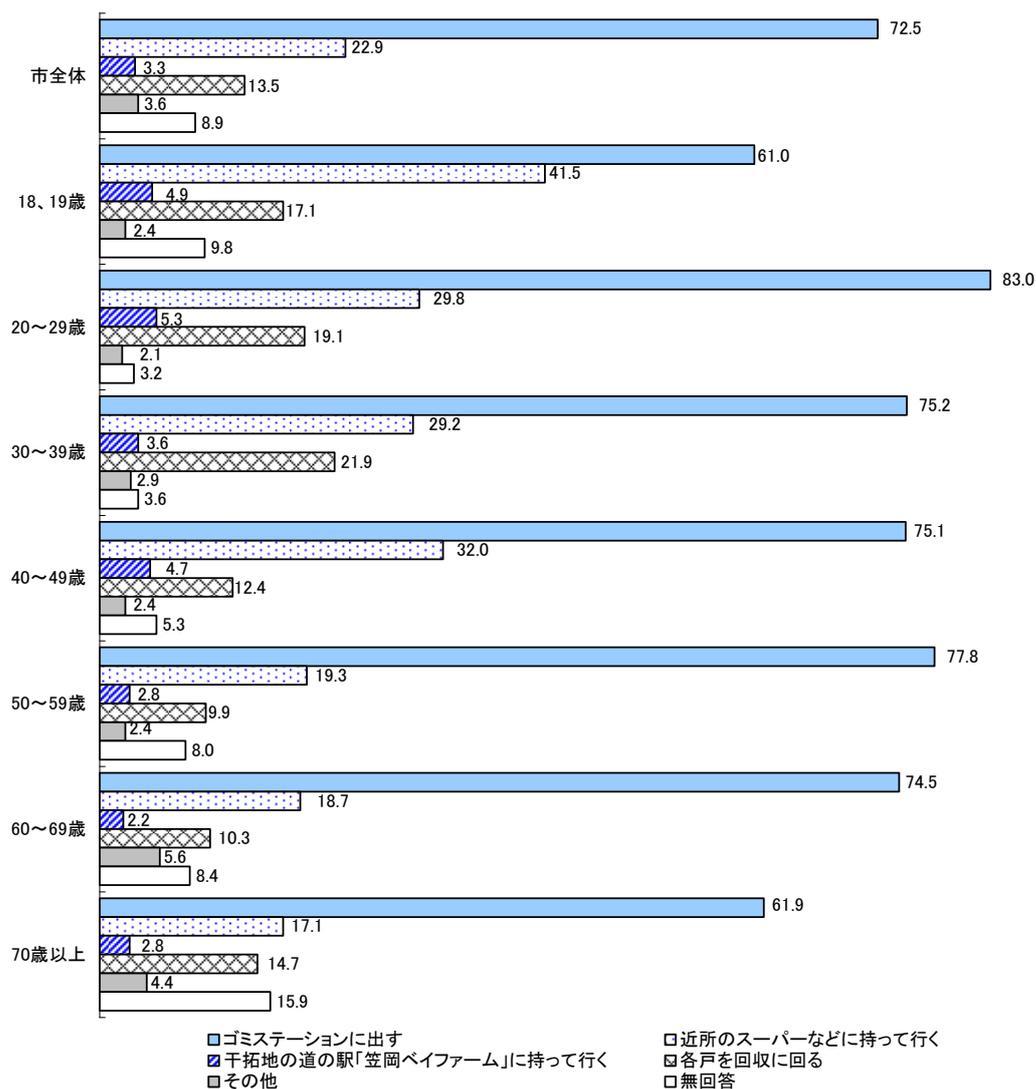
地区別にみると、「0~1 リットル未満」と回答した割合は「笠岡」で 14.3%と最も高く、次いで「大井、今井」(12.4%)、「金浦、城見、陶山」(10.9%) の順となっている。

(22) あなたは、どの方法であれば使用済みの天ぷら油の回収に協力できますか。該当する番号全てに○をつけてください。



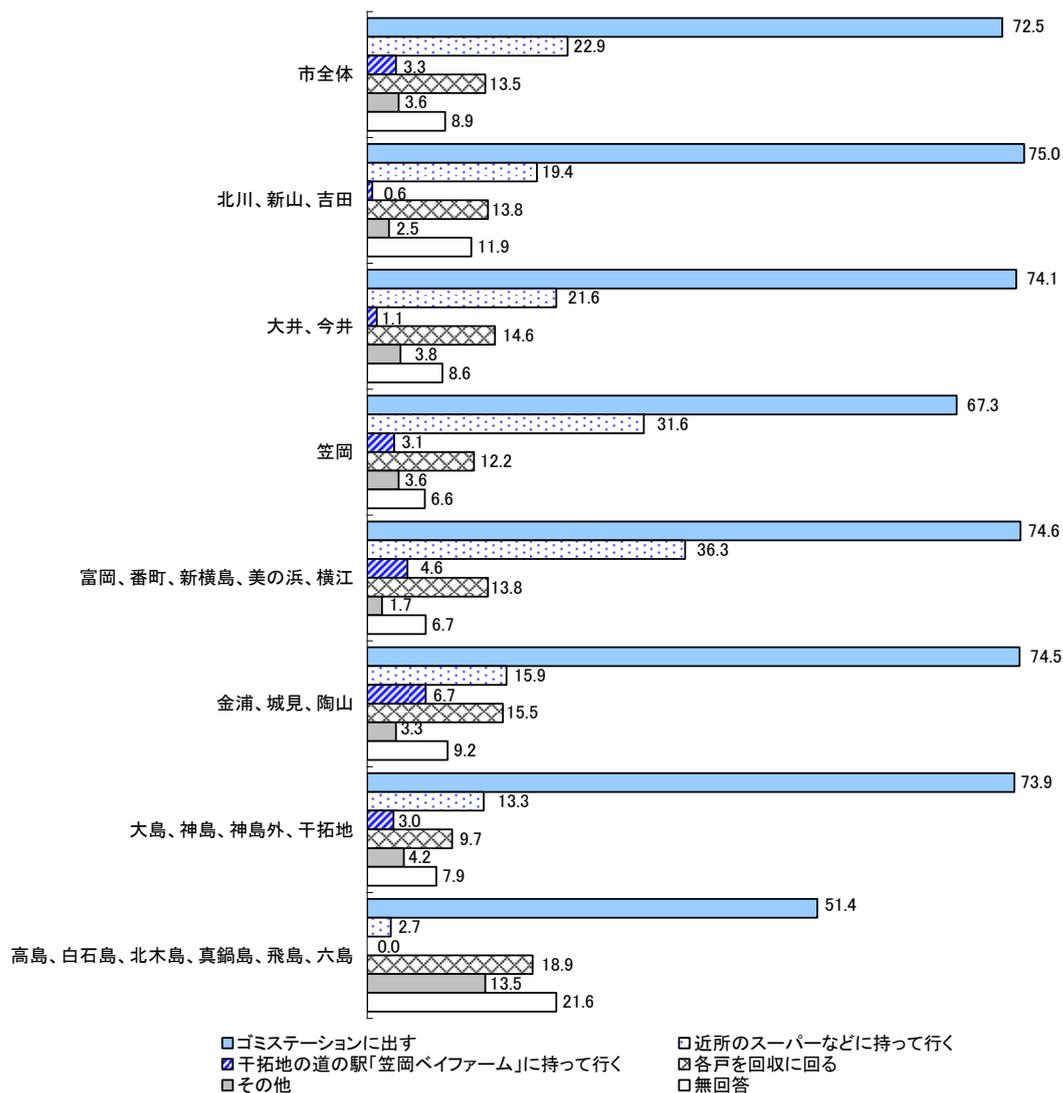
協力できる使用済みの天ぷら油の回収方法について、「ゴミステーションに出す」と回答した割合が 72.5%と最も高く、次いで「近所のスーパーなどに持って行く」(22.9%)、「各戸を回収に回る」(13.5%)、「干拓地の道の駅「笠岡ベイファーム」に持って行く」(3.3%) の順となっている。

【年齢別】



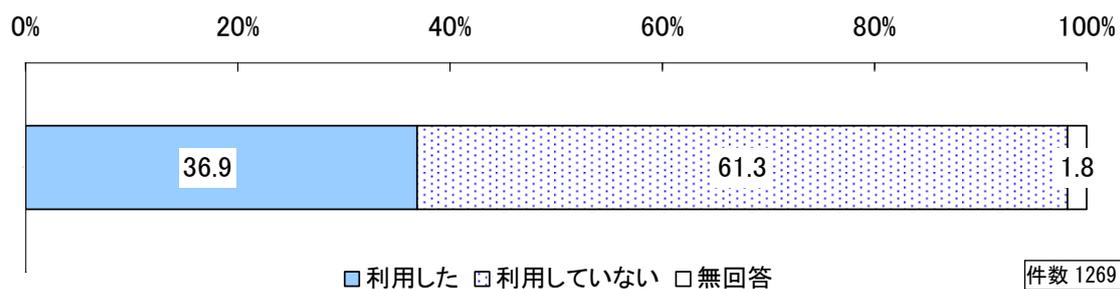
年齢別にみると、「18、19歳」では「近所のスーパーなどに持って行く」と回答した割合が41.5%と他の年齢層に比べて高くなっている。

【地区別】



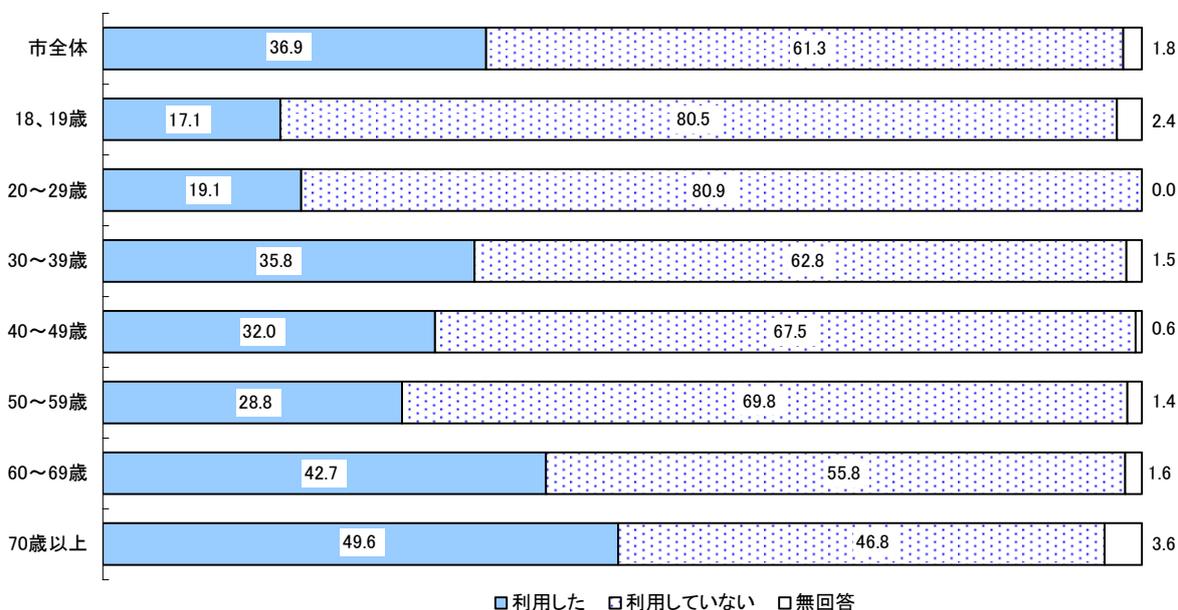
地区別では、「近所のスーパーなどに持って行く」と回答した割合は「笠岡」「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」では3割以上と他の地区に比べて高くなっている。また、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」では「ゴミステーションに出す」と回答した割合が51.4%と他の地区に比べて低くなっている。

(23) あなたは、最近一年間で公民館を利用したことがありますか。



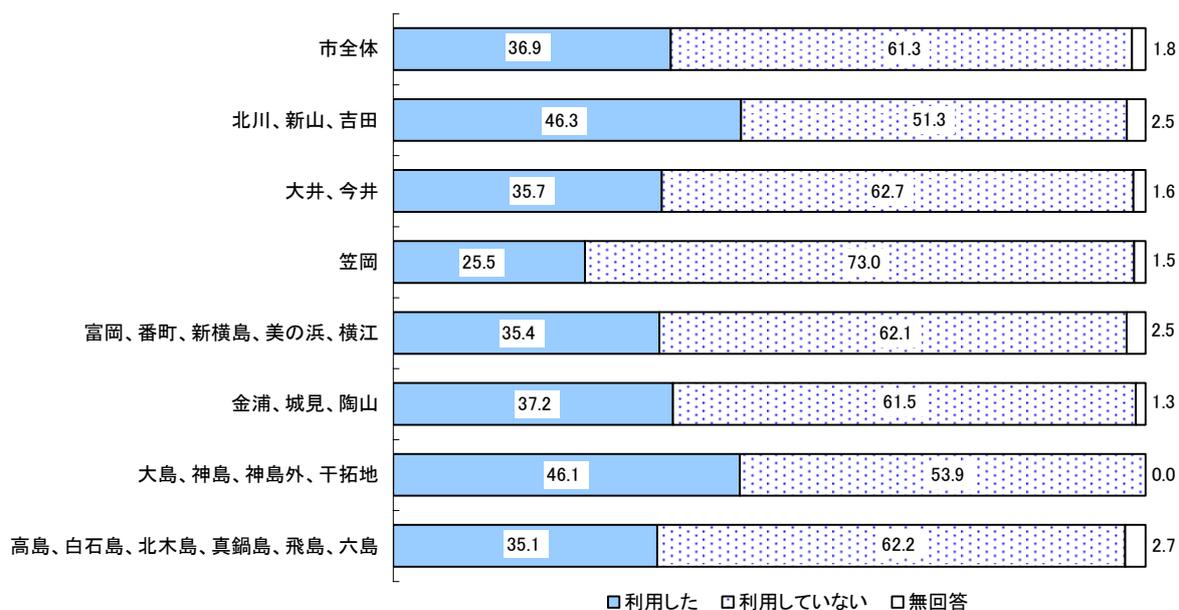
最近一年間で公民館を利用したことの有無について、「利用した」が36.9%、「利用していない」が61.3%と、「利用していない」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



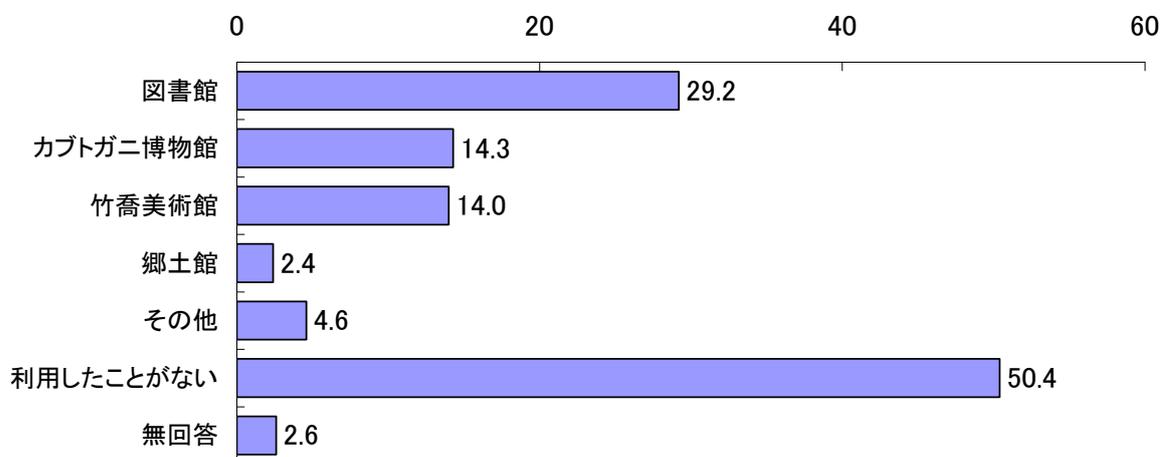
年齢別にみると、「利用した」と回答した割合は「70歳以上」が49.6%と最も高く、次いで「60～69歳」(42.7%)、「30～39歳」(35.8%)の順となっている。

【地区別】



地区別にみると、「利用した」と回答した割合は「北川、新山、吉田」が46.3%と最も高く、次いで「大島、神島、神島外、干拓地」(46.1%)、「金浦、城見、陶山」(37.2%)の順となっている。

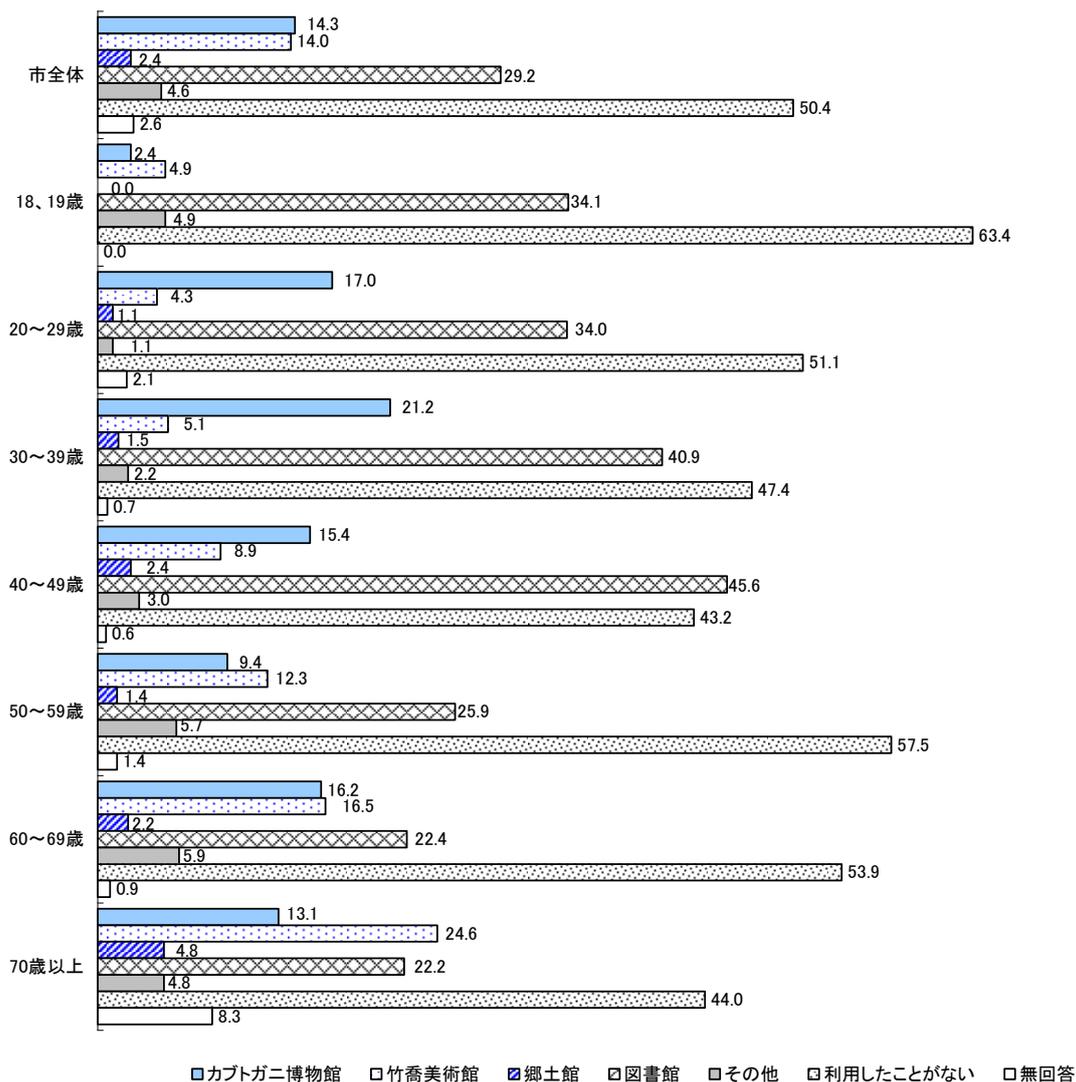
(24) あなたは、最近一年間で市内のどの文化施設を利用したことがありますか。該当する番号全てに○をつけてください。



最近一年間で市内のどの文化施設を利用したことがあるかについて、「図書館」と回答した割合が29.2%と最も高く、次いで「カブトガニ博物館」(14.3%)、「竹喬美術館」(14.0%)、「郷土館」(2.4%)の順となっている。

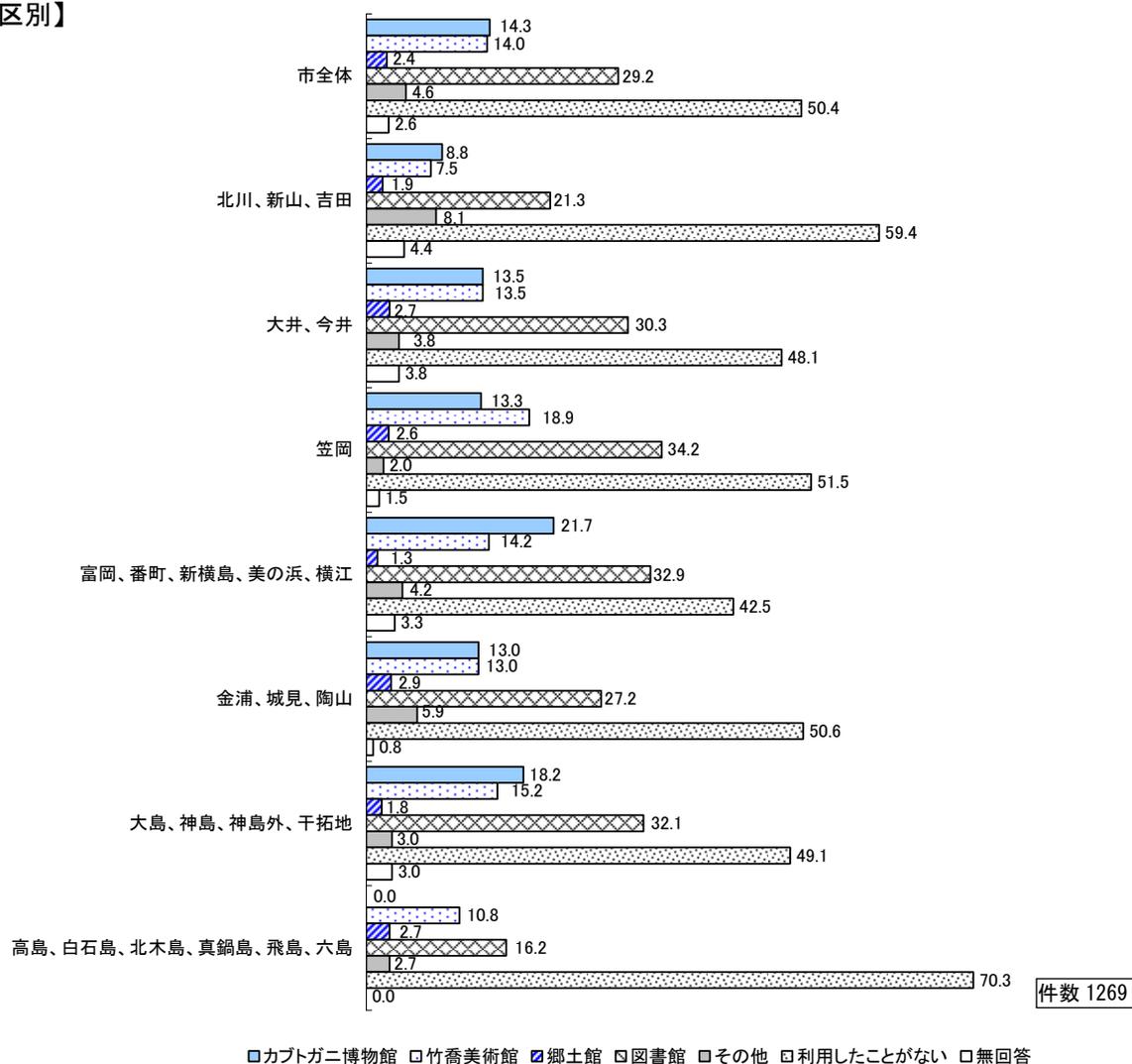
また、「利用したことがない」と回答した割合が50.4%と半数程度と高くなっている。

【年齢別】



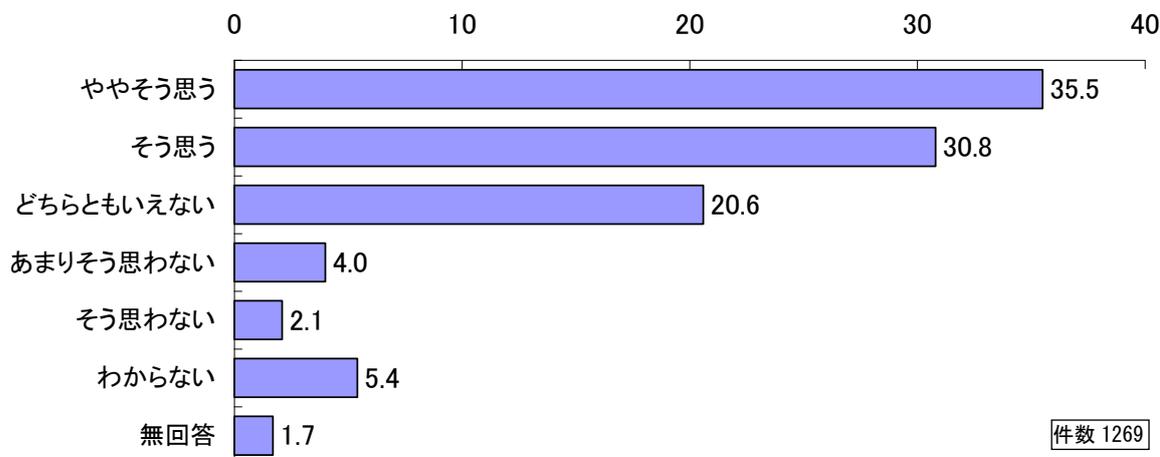
年齢別にみると、「利用したことがない」と回答した割合は「50～59歳」「60～69歳」で5割以上と高くなっている。また、「図書館」と回答した割合は「50～59歳」「60～69歳」「70歳以上」では2割程度と低くなっている。

【地区別】



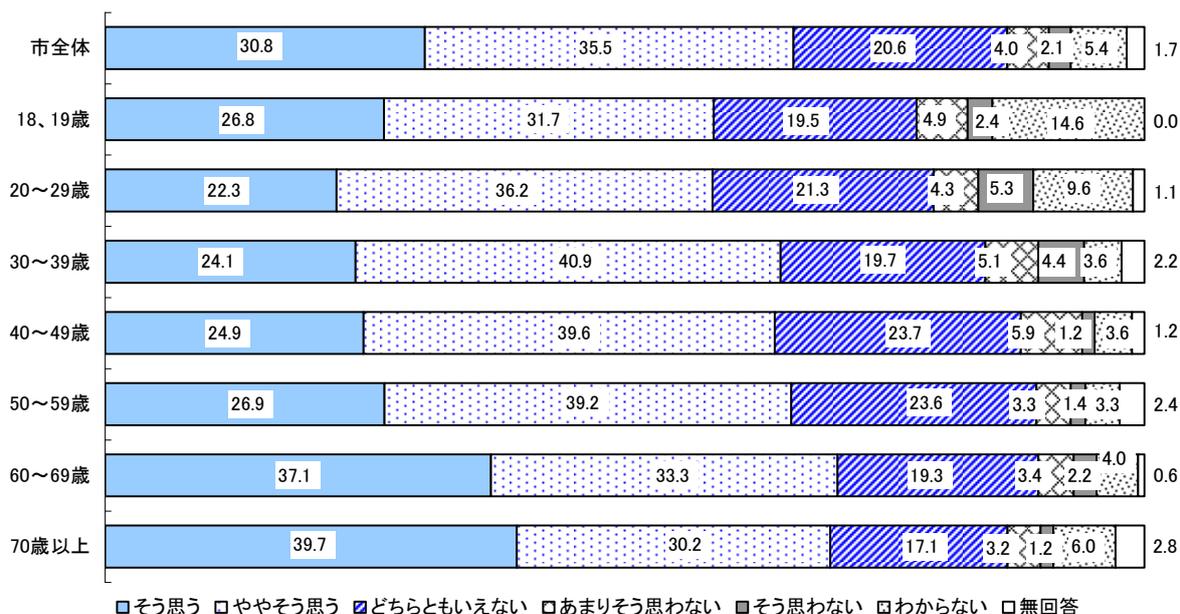
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」では「利用したことがない」と回答した割合が70.3%と他の地区に比べて高くなっている。

(25) あなたは、互いの人権を尊重しながら生活していると思いますか。



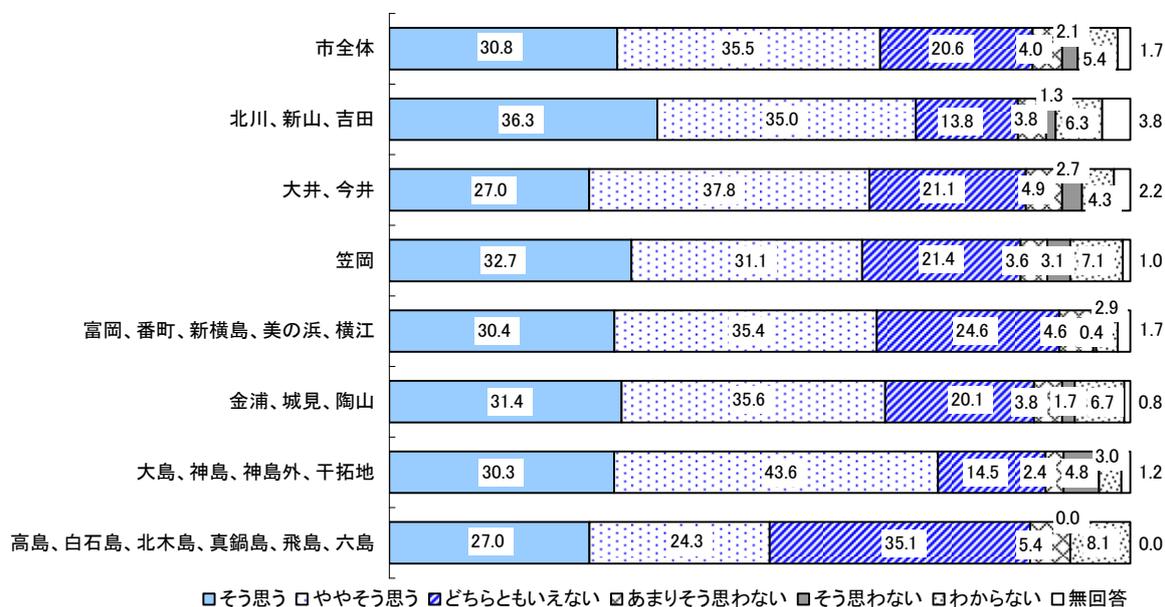
互いの人権を尊重しながら生活していると思いますかについて、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合が66.3%、【思わない（「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせたもの）】と回答した割合が6.1%と、【思う】と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



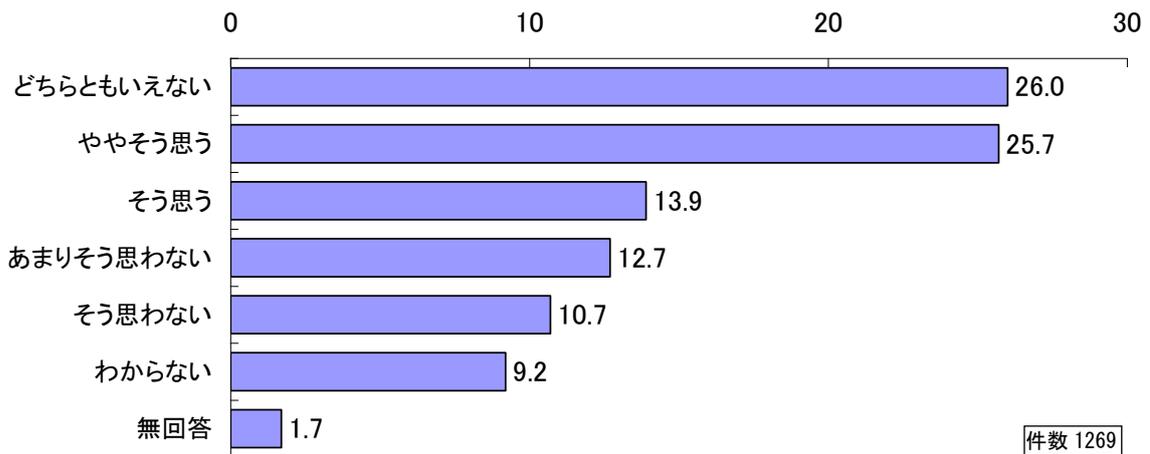
年齢別にみると、「そう思う」と回答した割合は「70歳以上」が39.7%と最も高く、次いで「60～69歳」（37.1%）、「50～59歳」（26.9%）の順となっている。
 また、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は、「60～69歳」が70.4%と最も高くなっている。

【地区別】



地区別にみると、「そう思う」と回答した割合は「北川、新山、吉田」が36.3%と最も高くなっている。
 また、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は、「大島、神島、神島外、干拓地」が73.9%と最も高くなっている。

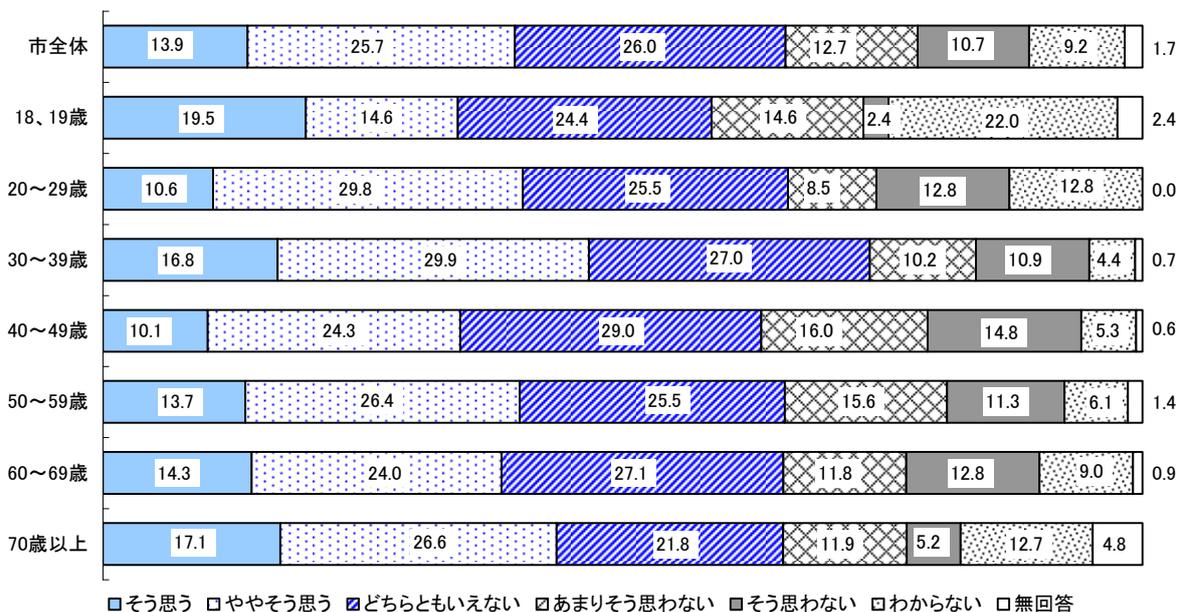
(26) あなたは、お住まいの地域や職場で男女が対等に活躍できていると思いますか。



お住まいの地域や職場で男女が対等に活躍できていると思いますかについて、「どちらともいえない」と回答した割合が26.0%と最も高くなっている。

また、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合が39.6%、【思わない（「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせたもの）】と回答した割合が23.4%と、【思う】と回答した割合が高くなっている。

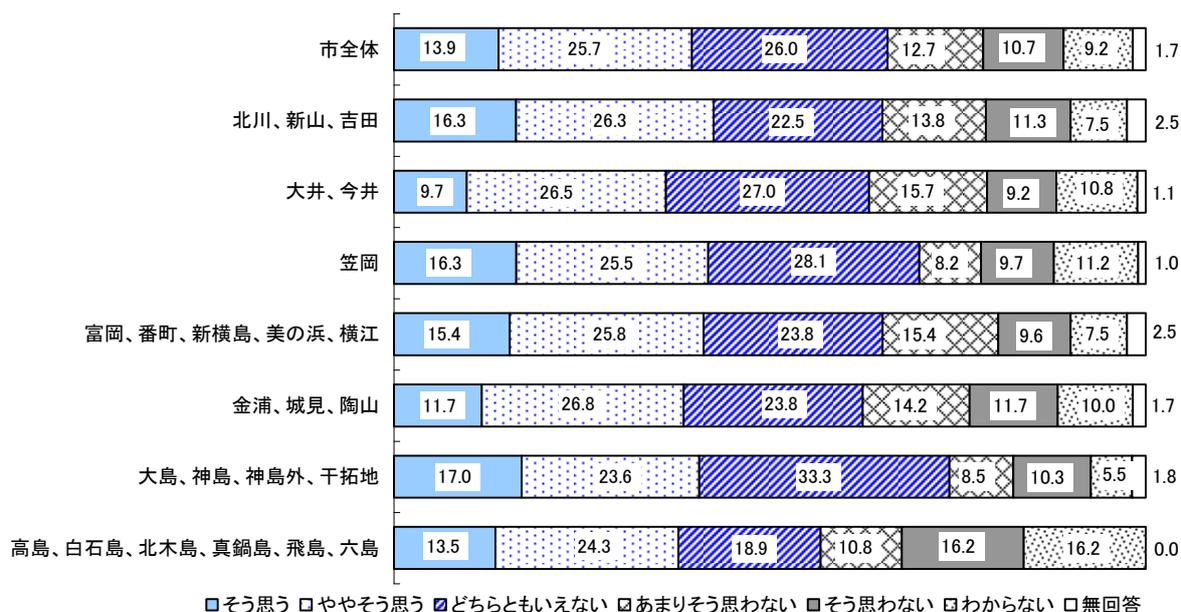
【年齢別】



年齢別にみると、「そう思う」と回答した割合は「18、19歳」が19.5%と最も高く、次いで「70歳以上」（17.1%）、「30～39歳」（16.8%）の順となっている。

また、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は、「30～39歳」が46.7%と最も高くなっている。

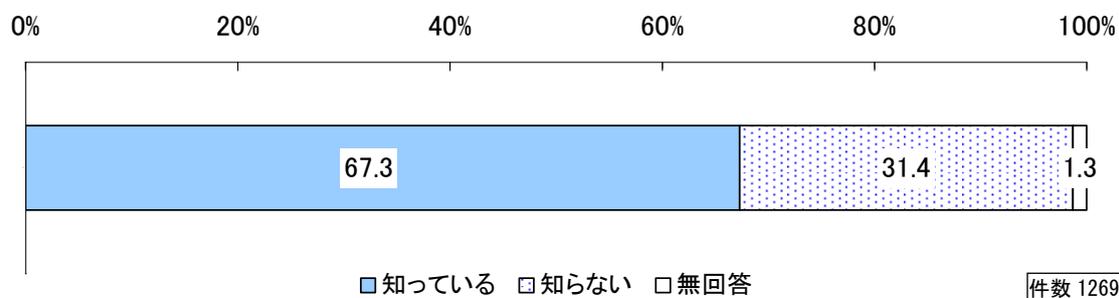
【地区別】



地区別にみると、「そう思う」と回答した割合は「大島、神島、神島外、干拓地」が17.0%と最も高く、次いで「北川、新山、吉田」「笠岡」（ともに16.3%）、「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」（15.4%）の順となっている。

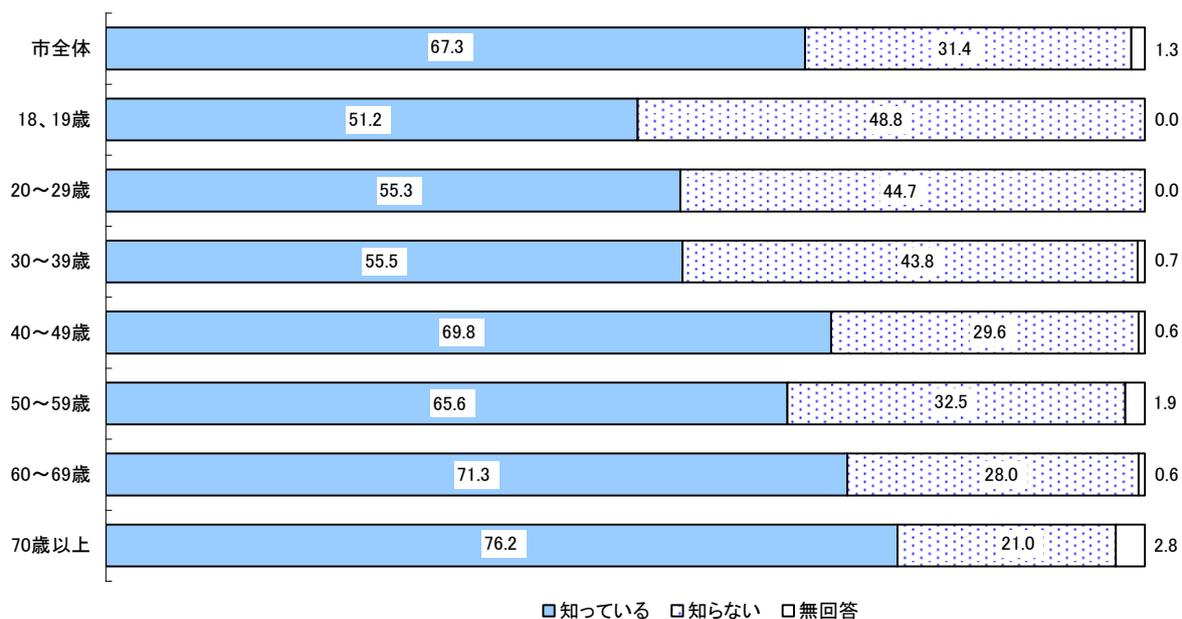
また、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は、「北川、新山、吉田」が42.6%と最も高くなっている。

(27) あなたは、笠岡市が非核平和都市宣言をしていることを知っていますか。



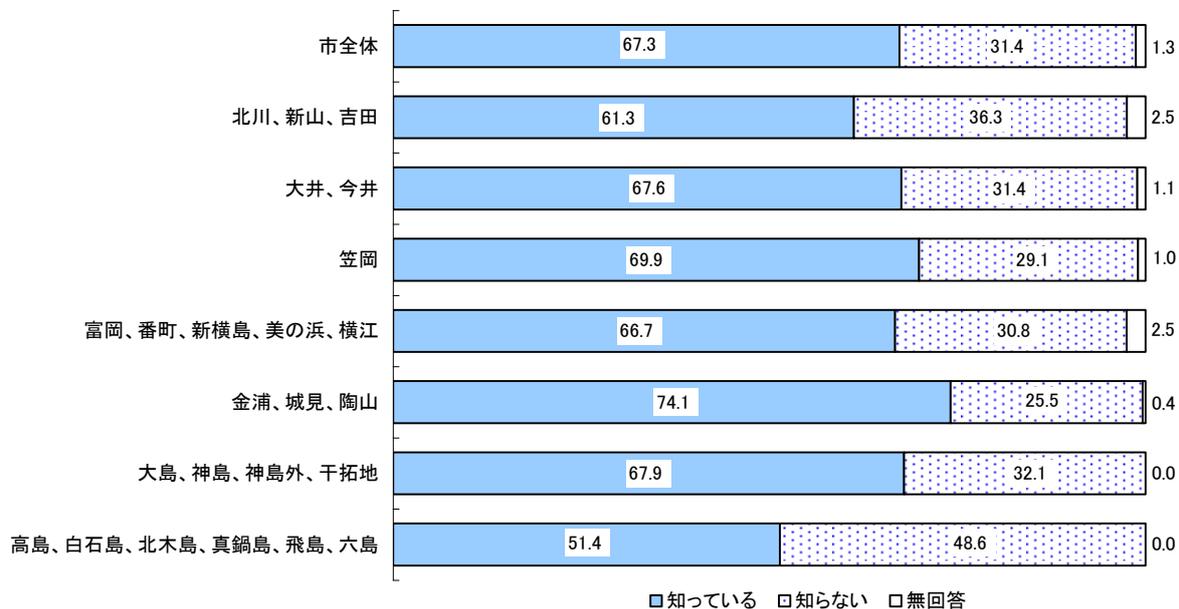
笠岡市が非核平和都市宣言をしていることを知っているかについて、「知っている」が67.3%、「知らない」が31.4%と、「知っている」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



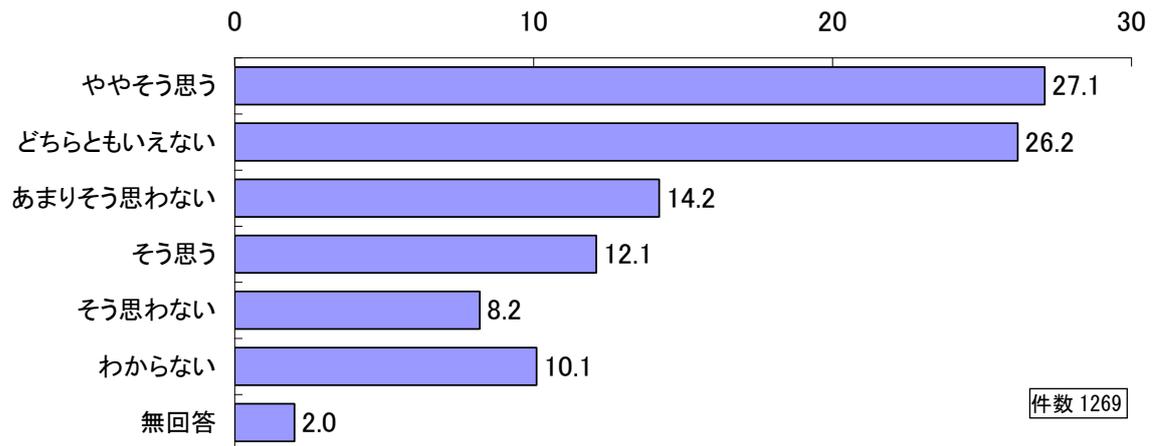
年齢別にみると、「知っている」と回答した割合は「70歳以上」で76.2%と最も高く、次いで「60～69歳」(71.3%)、「40～49歳」(69.8%)の順となっている。

【地区別】



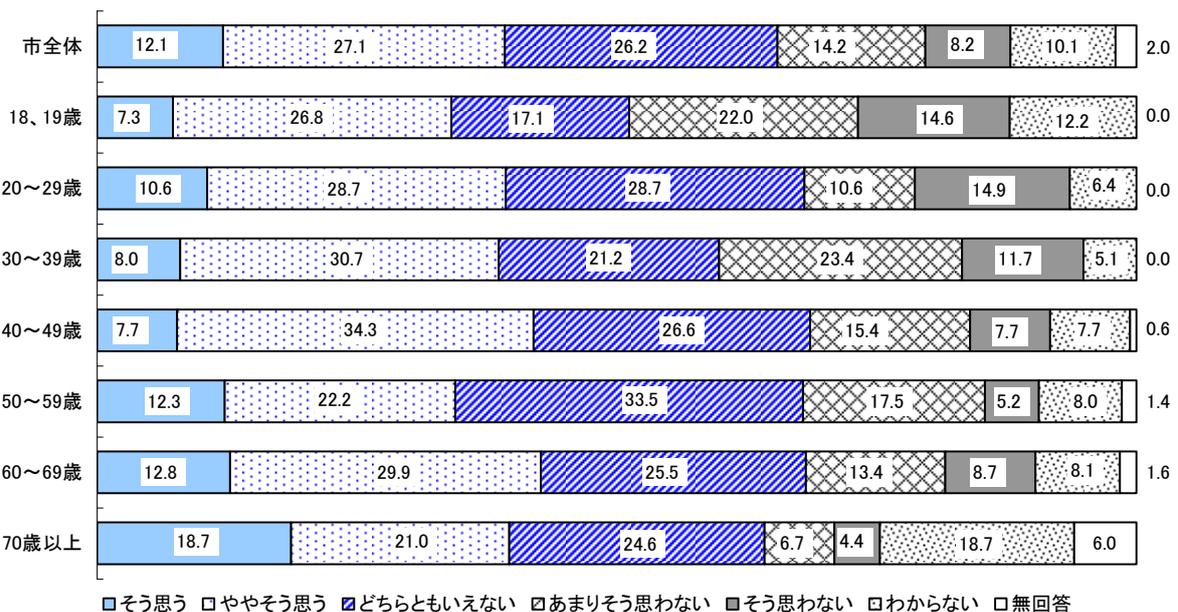
地区別にみると、「知っている」と回答した割合は「金浦、城見、陶山」が74.1%と最も高く、次いで「笠岡」(69.9%)、「大島、神島、神島外、干拓地」(67.9%)の順となっている。

(28) あなたは、笠岡市内で安心して子どもを産み育てることができると思いますか。



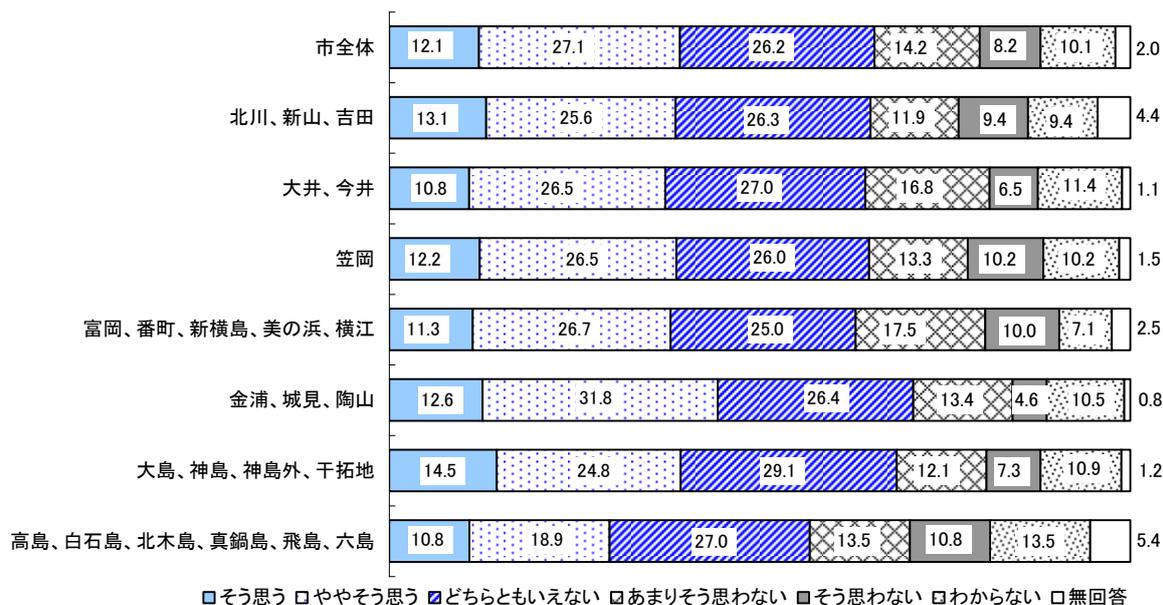
笠岡市内で安心して子どもを産み育てることができると思うかについて、【思う(「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの)】と回答した割合が 39.2%、【思わない(「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせたもの)】と回答した割合が 22.4%と、【思う】と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「そう思う」と回答した割合は「70歳以上」が 18.7%と最も高く、次いで「60～69歳」(12.8%)、「50～59歳」(12.3%)の順となっている。
また、【思う(「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの)】と回答した割合は、「60～69歳」が 42.7%と最も高くなっている。

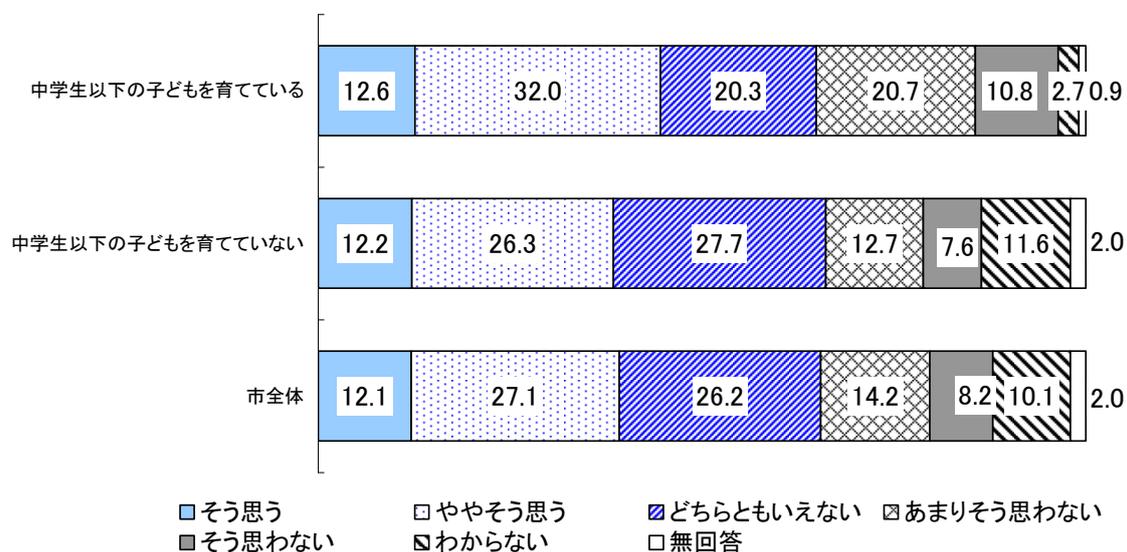
【地区別】



地区別にみると、「そう思う」と回答した割合は「大島、神島、神島外、干拓地」が14.5%と最も高く、次いで「北川、新山、吉田」(13.1%)、「金浦、城見、陶山」(12.6%)の順となっている。

また、【思う(「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの)】と回答した割合は、「金浦、城見、陶山」が44.4%と最も高くなっている。

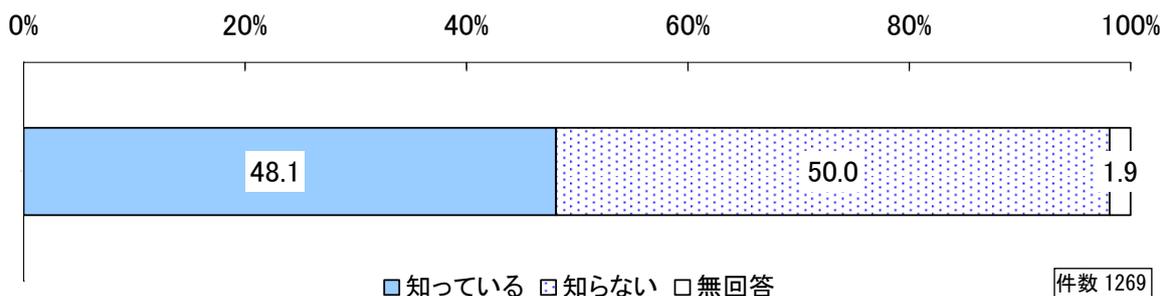
【中学生以下の子どもを産み育てていること別】



中学生以下の子どもを育てているか育てていないかで集計を行った。

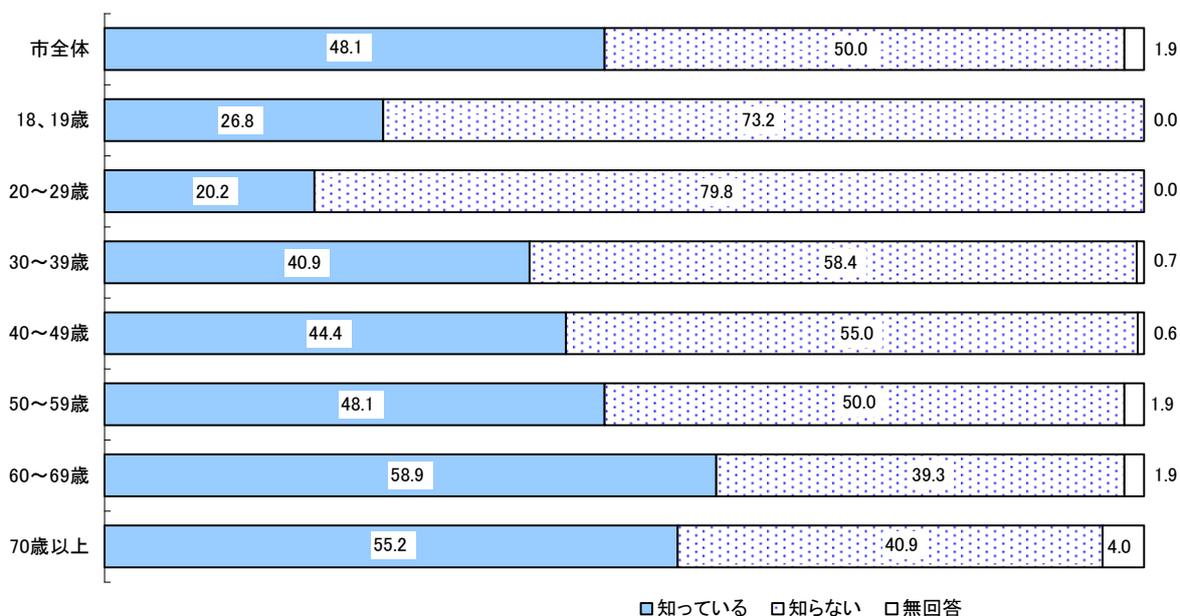
【思う】と回答した割合は、中学生以下の子どもを育てている人では44.6%と、中学生以下の子どもを育てていない方人の38.5%と比べて高くなっている。

(29) あなたは、まちづくり協議会の存在をご存じですか。



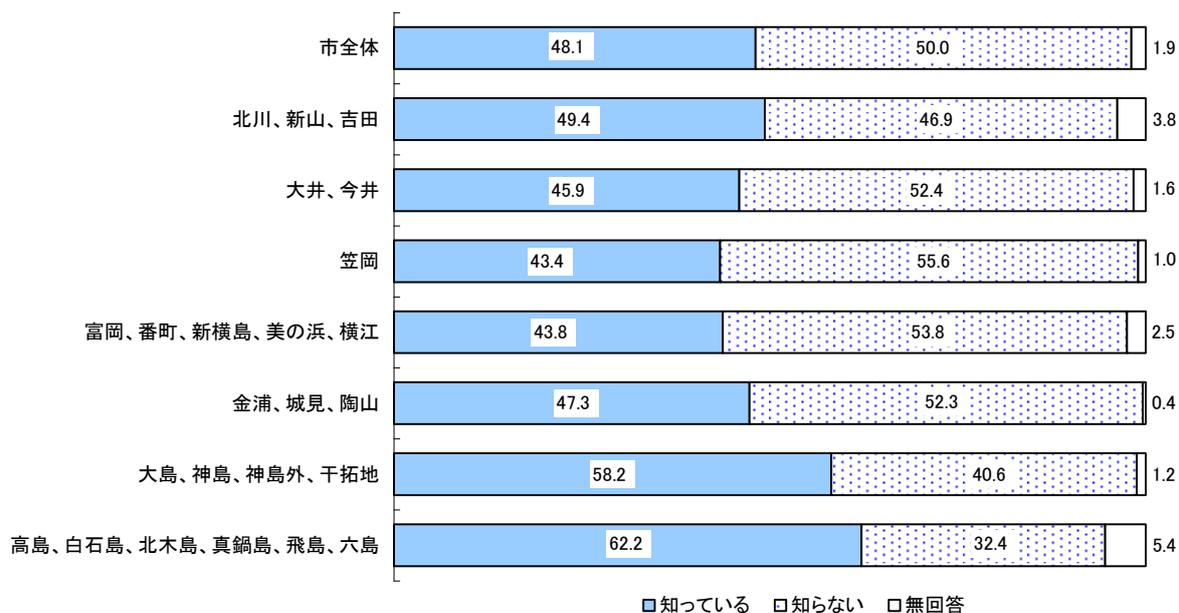
まちづくり協議会の存在の認知について、「知っている」が48.1%、「知らない」が50.0%と、「知っている」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



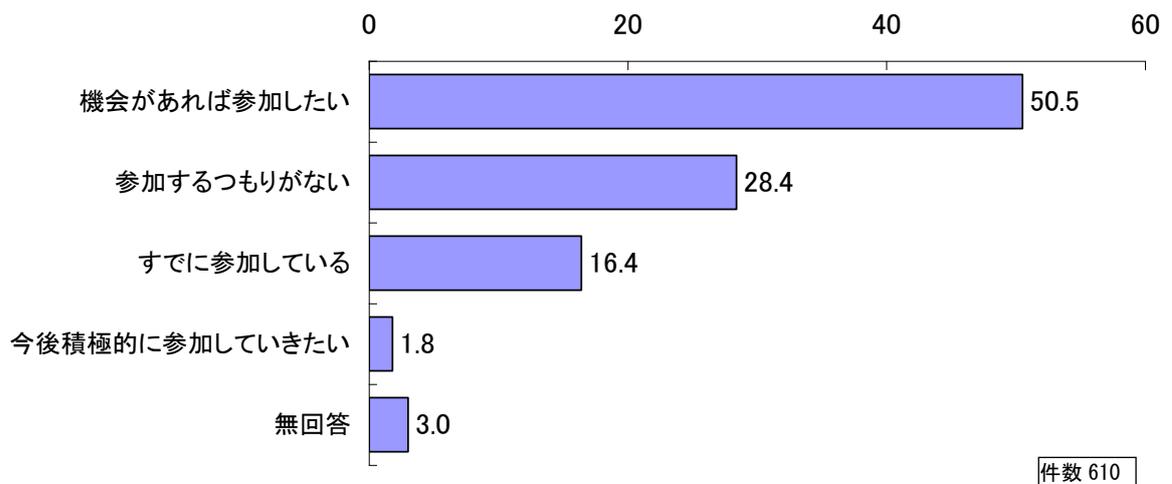
年齢別にみると、「知っている」と回答した割合が「60～69歳」で58.9%と高く、次いで「70歳以上」(55.2%)、「50～59歳」(48.1%)の順となっている。

【地区別】



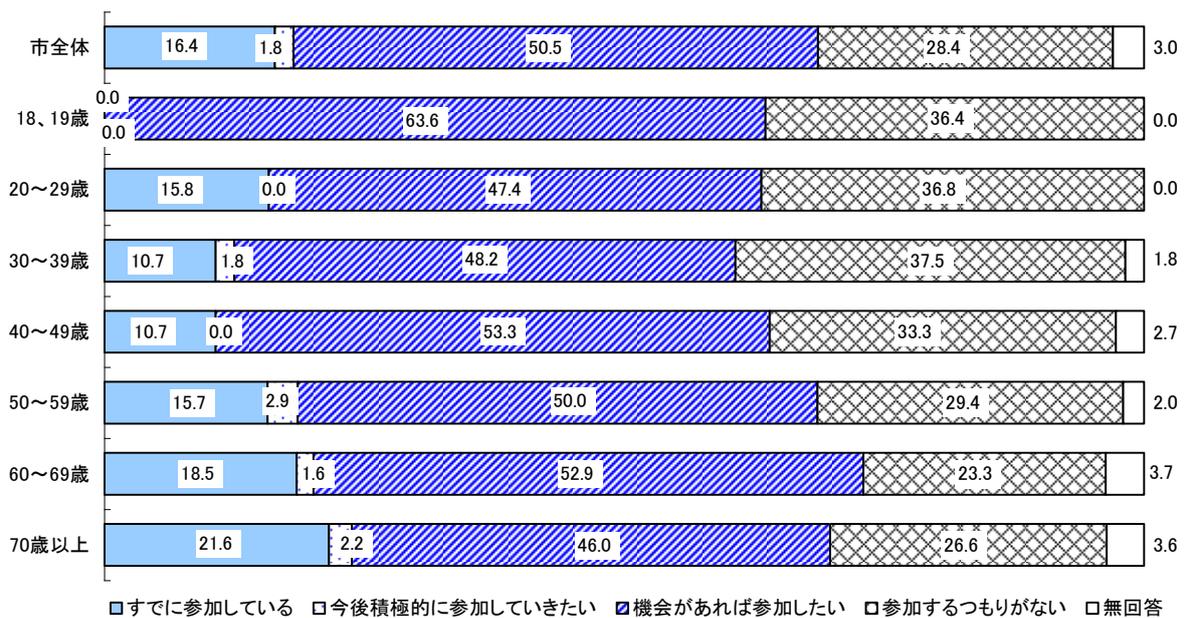
地区別では、「知っている」と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が62.2%と最も高く、次いで「大島、神島、神島外、干拓地」(58.2%)、「金浦、城見、陶山」(47.3%)の順となっている。

(29)で「①知っている」を選んだ方に伺います。
まちづくり協議会にどのくらい関わっていますか。



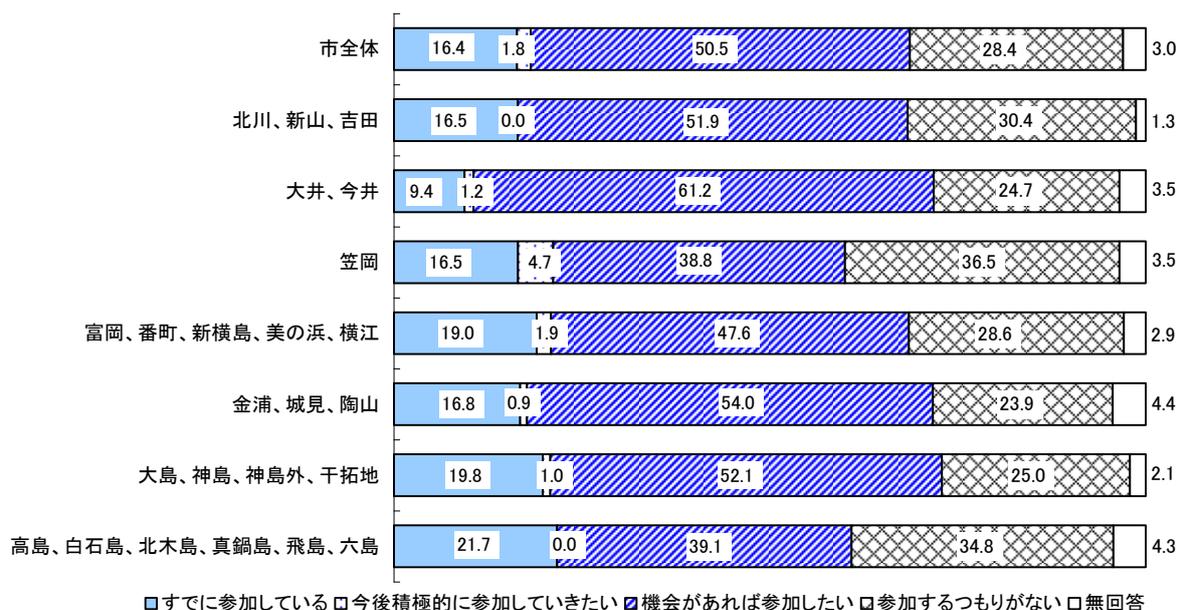
まちづくり協議会にどのくらい関わっているかについて、「機会があれば参加したい」と回答した割合が50.5%と最も高く、次いで「参加するつもりがない」(28.4%)、「すでに参加している」(16.4%)、「今後積極的に参加していきたい」(1.8%)の順となっている。

【年齢別】



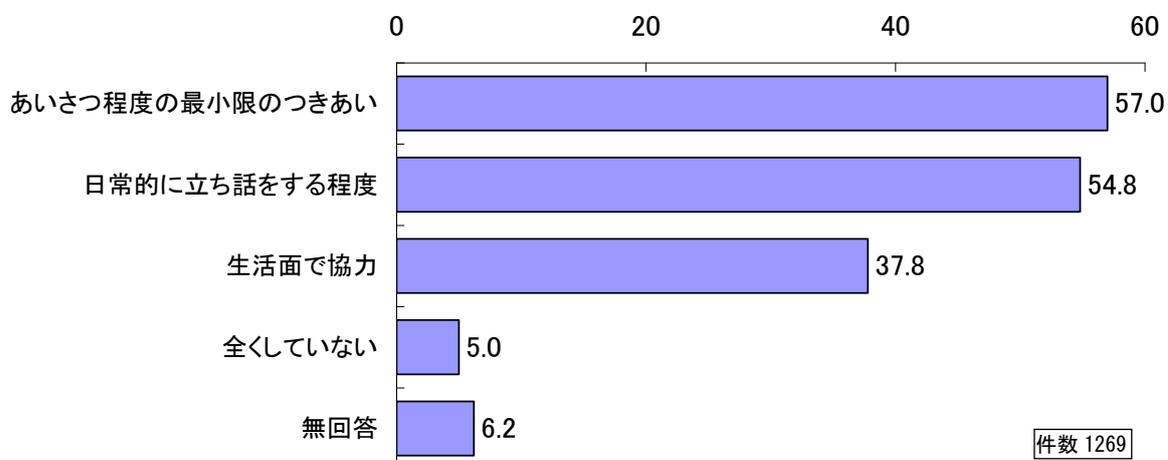
年齢別では、「すでに参加している」と回答した割合は「70歳以上」が21.6%と最も高く、次いで「60～69歳」(18.5%)、「50～59歳」(15.7%)の順となっている。

【地区別】



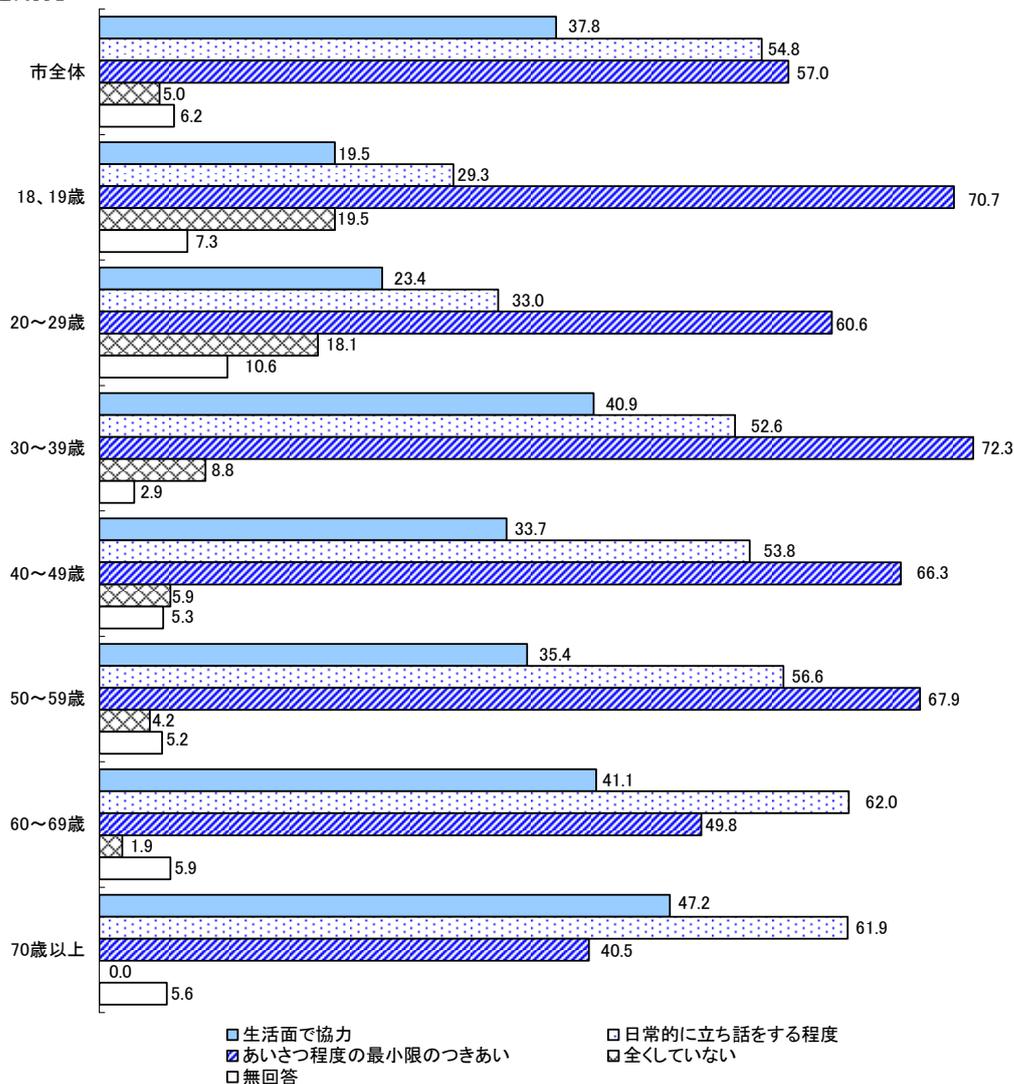
地区別にみると、「すでに参加している」と回答した割合が「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が21.7%と最も高く、次いで「大島、神島、神島外、干拓地」(19.8%)、「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」(19.0%)の順となっている。

(30) あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをどのくらいの人としていますか。



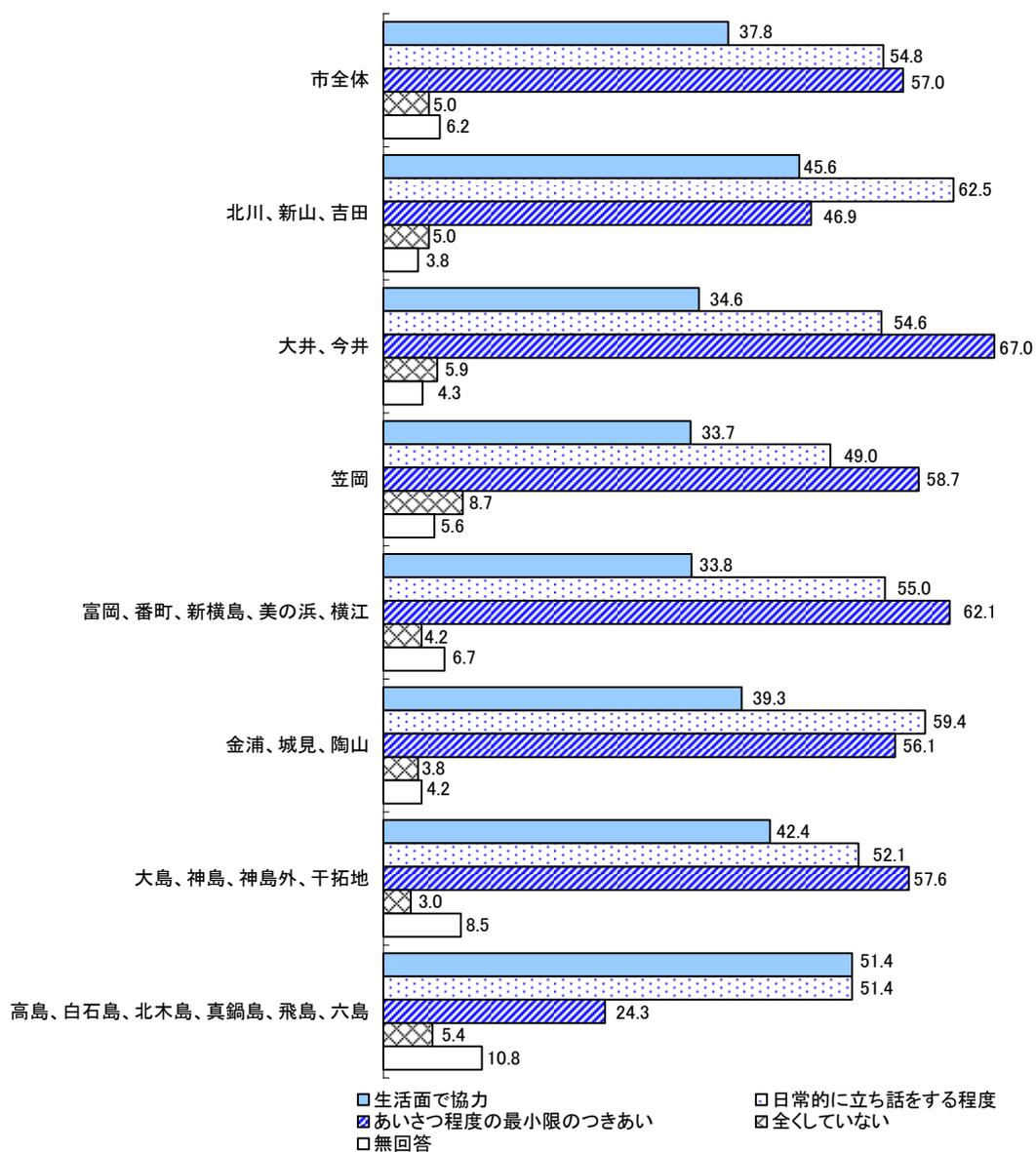
ご近所の方とどのようなおつきあいをどのくらいの人としているかについて、「あいさつ程度の最小限のつきあい」と回答した割合が57.0%と最も高く、次いで「日常的に立ち話をする程度」(54.8%)、「生活面で協力」(37.8%)、「全くしていない」(5.0%)の順となっている。

【年齢別】



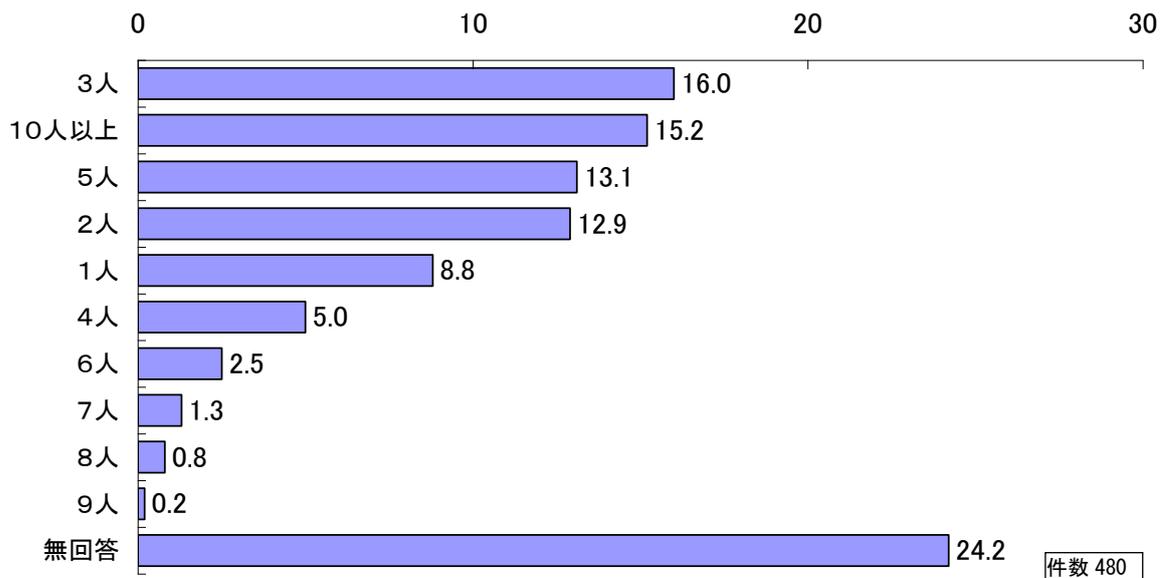
年齢別では、「18、19歳」「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」では「あいさつ程度の最小限のつきあい」と回答した割合が最も高く、「60～69歳」「70歳以上」では「日常的に立ち話をする程度」と回答した割合が最も高くなっている。

【地区別】



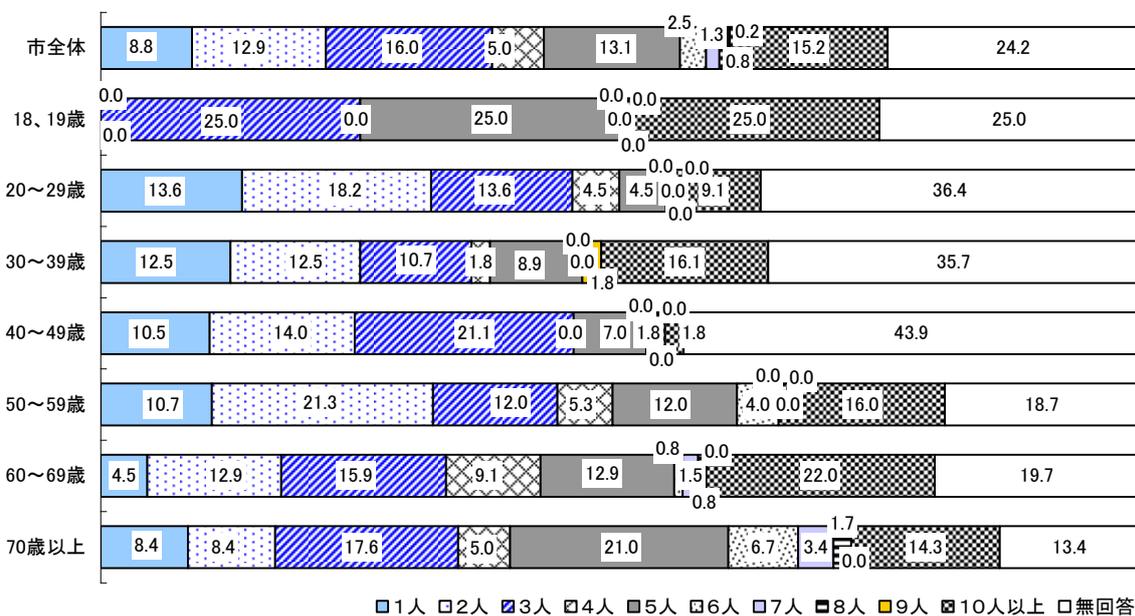
地区別では、「生活面で協力」と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」、「日常的に立ち話をする程度」と回答した割合は「北川、新山、吉田」、「あいさつ程度の最小限のつきあい」と回答した割合は「大井、今井」でそれぞれ高くなっている。

【生活面で協力】



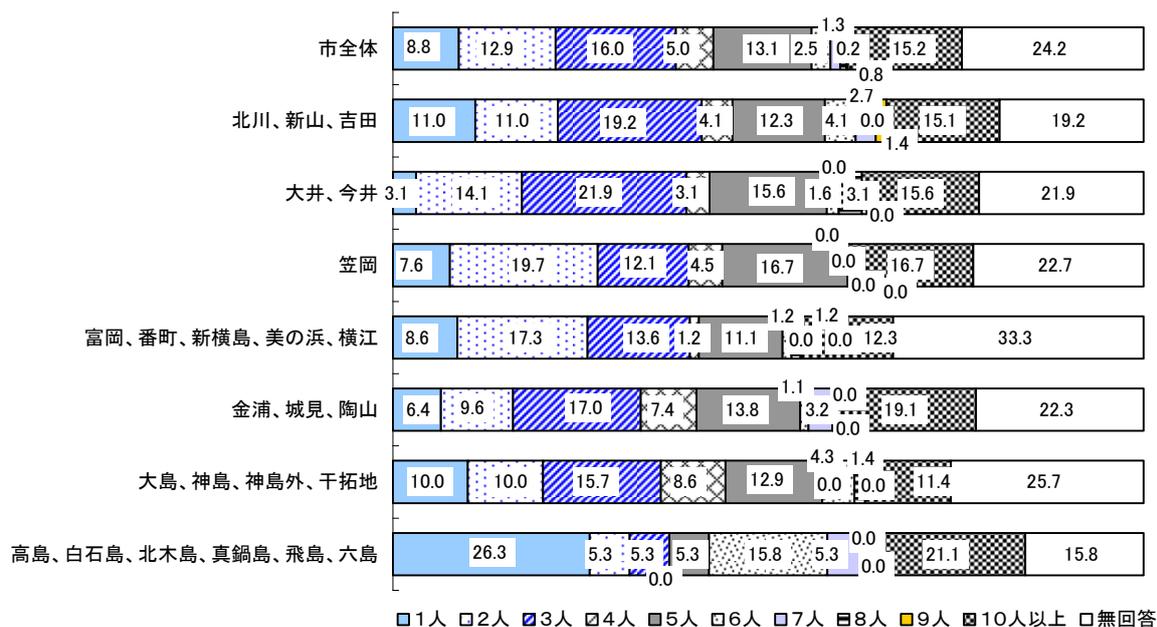
生活面で協力の人数について、「3人」と回答した割合が 16.0%と最も高く、次いで「10人以上」(15.2%)、「5人」(13.1%)、「2人」(12.9%)の順となっている。

【年齢別】



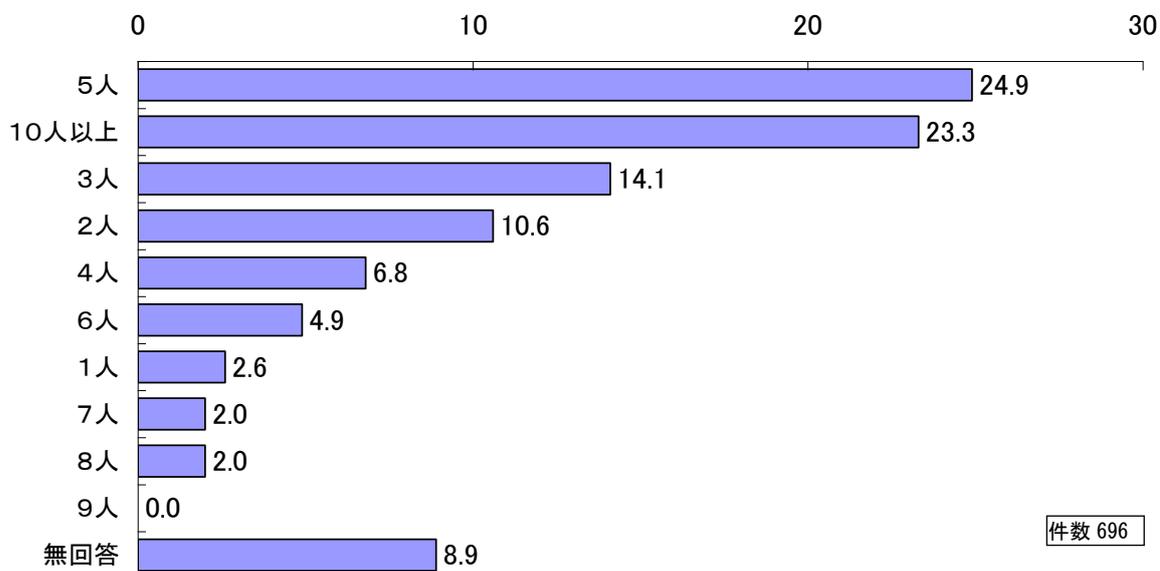
年齢別にみると、「18、19歳」で「3人」「5人」「10人以上」と回答した割合がともに 25.0%と高くなっている。

【地区別】



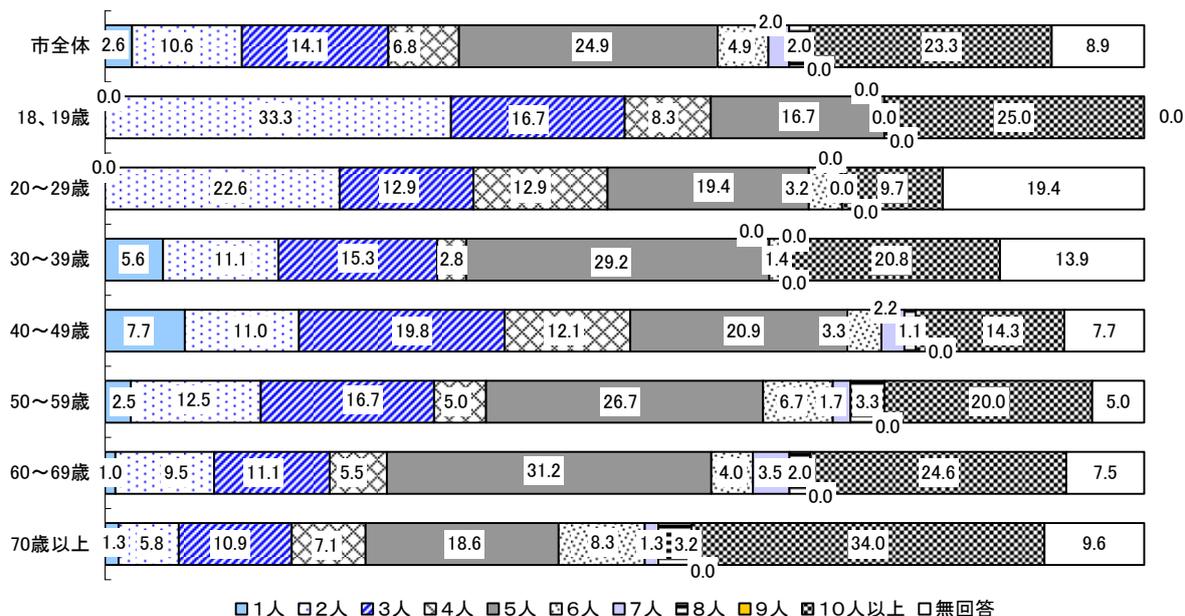
地区別では、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「1人」と回答した割合が26.3%と最も高くなっている。

【日常的に立ち話をする程度】



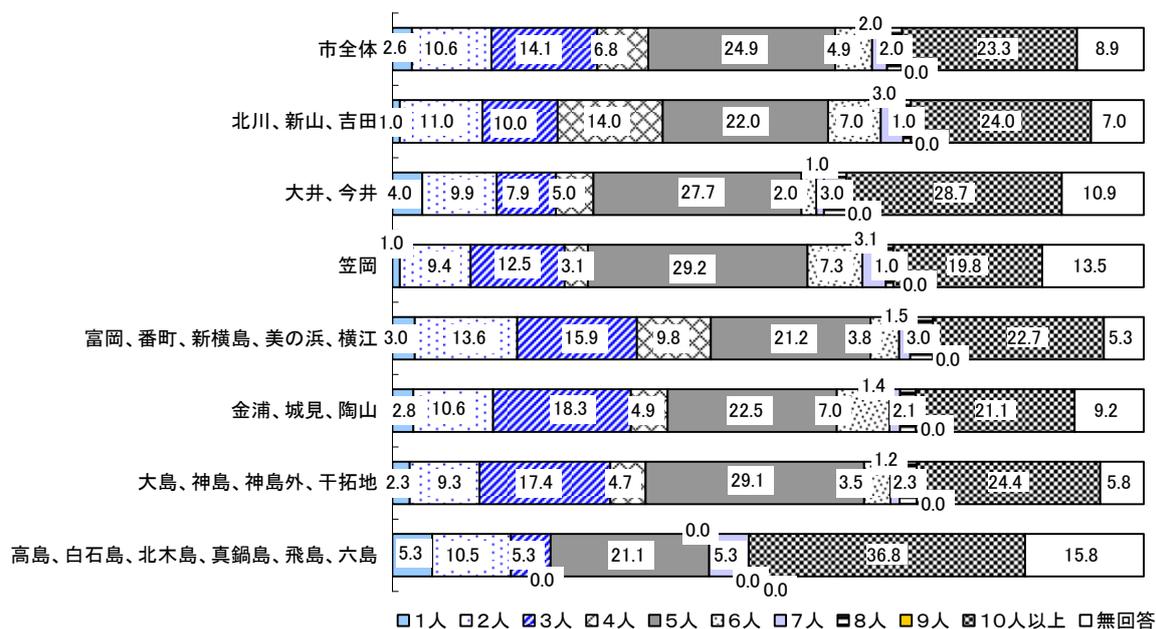
日常的に立ち話をする程度の人数について、「5人」と回答した割合が24.9%と最も高く、次いで「10人以上」(23.3%)、「3人」(14.1%)、「2人」(10.6%)の順となっている。

【年齢別】



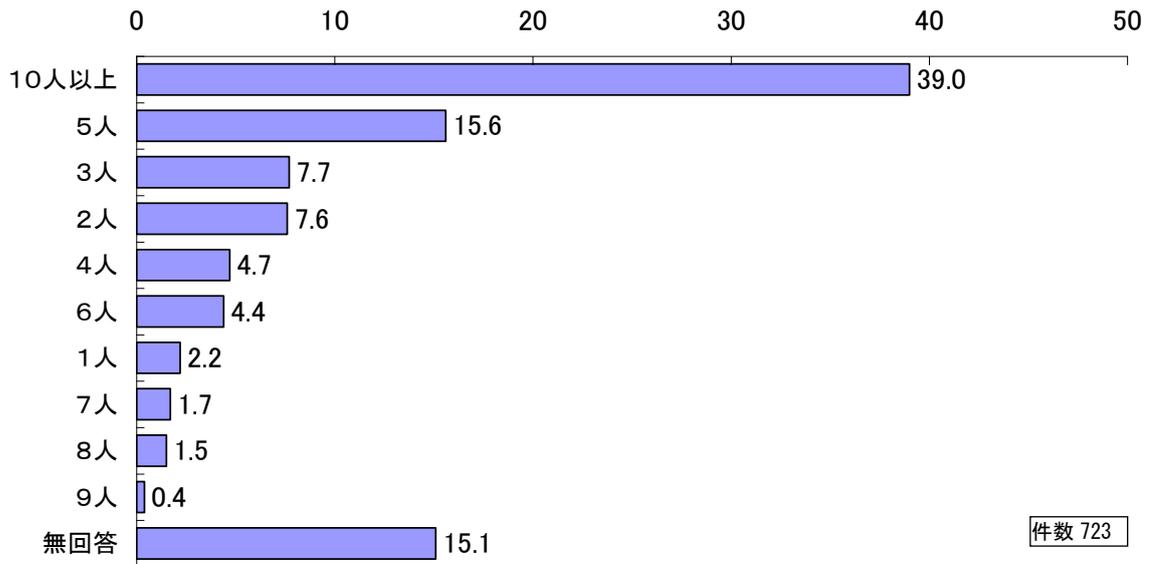
年齢別にみると、「70歳以上」では「10人以上」と回答した割合が34.0%と高くなっている。

【地区別】



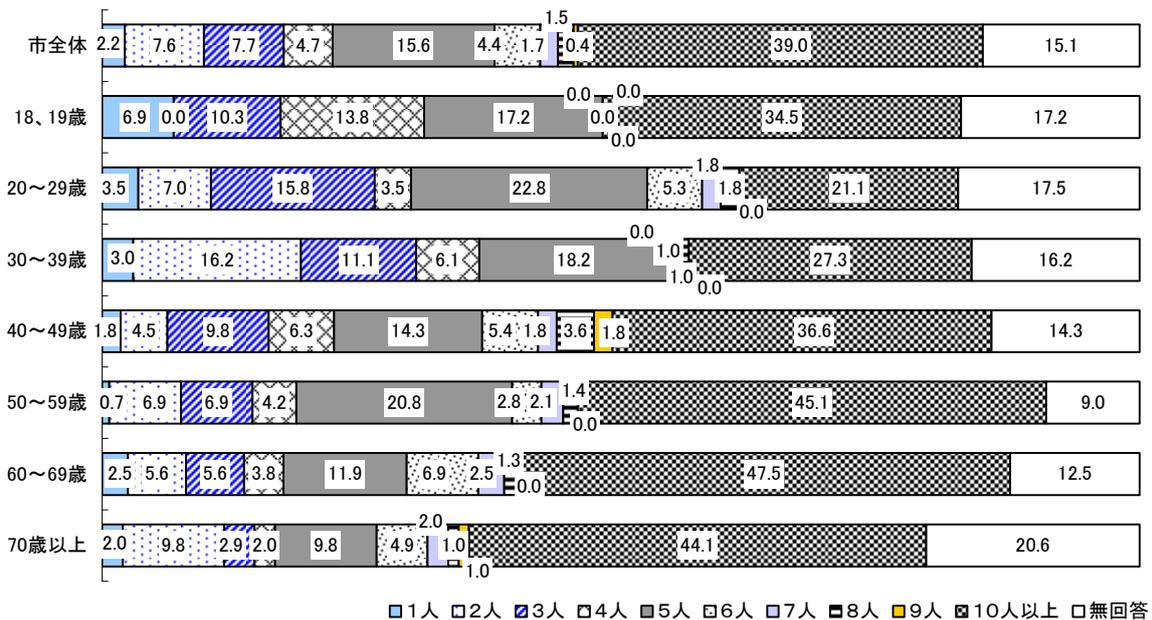
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「10人以上」と回答した割合が36.8%と高くなっている。

【あいさつ程度の最小限のつきあい】



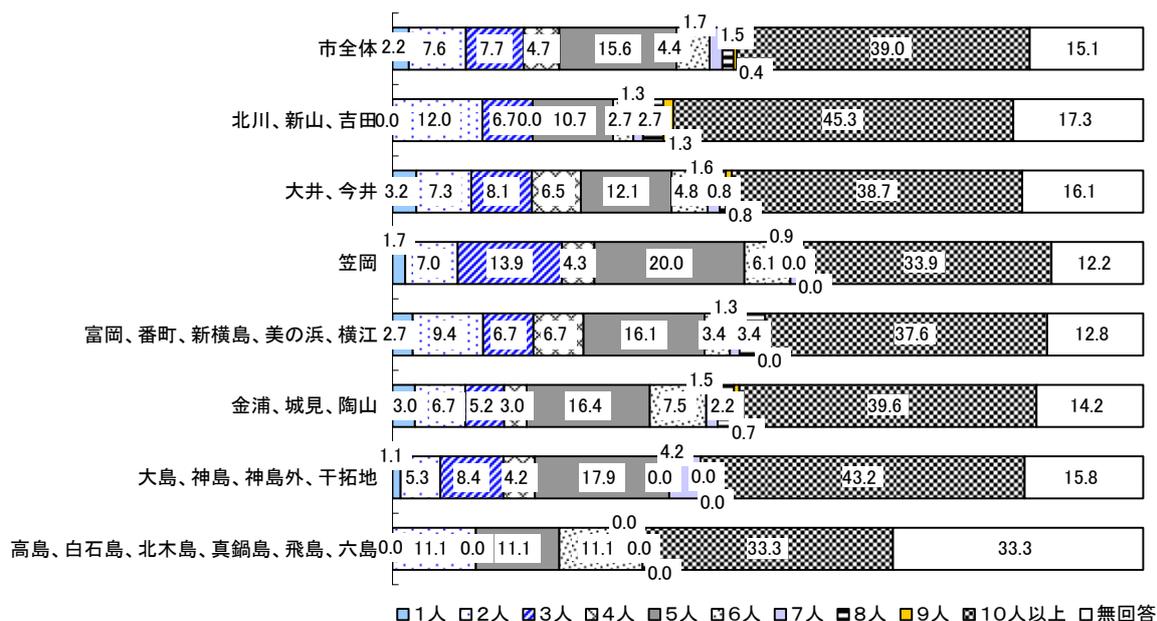
あいさつ程度の最小限のつきあいの人数について、「10人以上」と回答した割合が39.0%と最も高く、次いで「5人」(15.6%)、「3人」(7.7%)、「2人」(7.6%)の順となっている。

【年齢別】



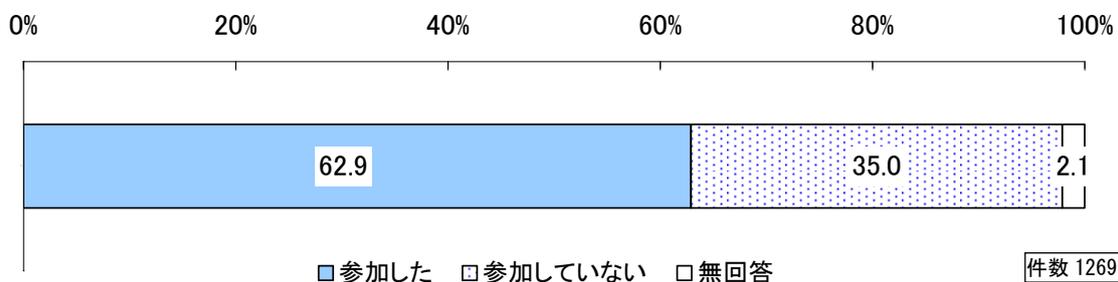
年齢別にみると、「50～59歳」「60～69歳」「70歳以上」では「10人以上」と回答した割合が4割以上と高くなっている。

【地区別】



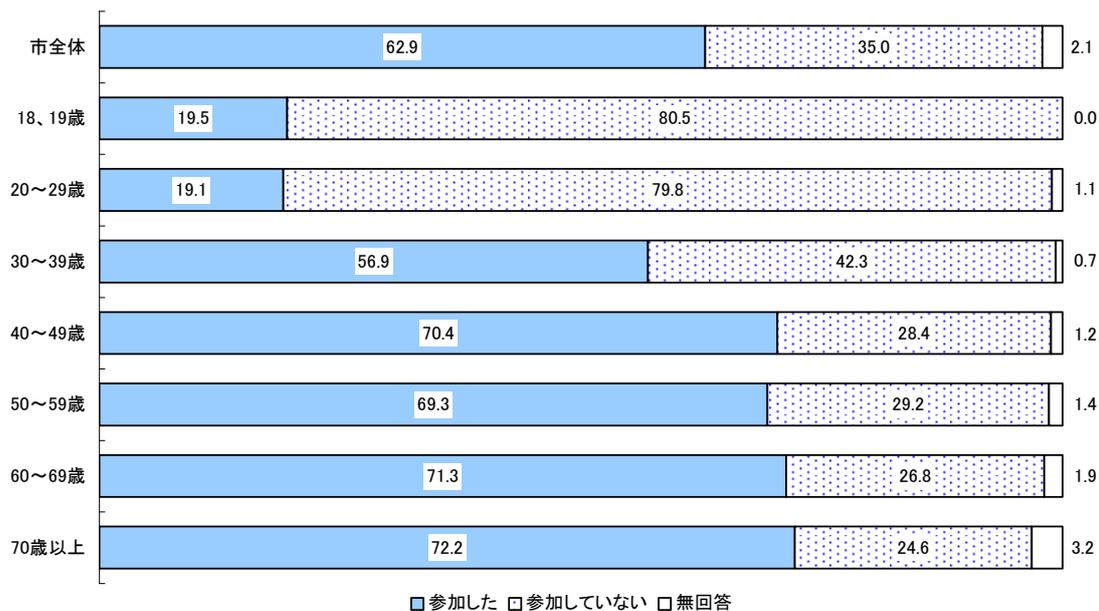
地区別にみると、「北川、新山、吉田」「大井、今井」「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」「金浦、城見、陶山」「大島、神島、神島外、干拓地」で「10人以上」と回答した割合が4割程度と高くなっている。

(31) あなたは、最近一年間で自治会・町内会の活動や市民活動に参加しましたか。



最近一年間で自治会・町内会の活動や市民活動に参加したかについて、「参加した」が62.9%、「参加していない」が35.0%と、「参加した」と回答した割合が高くなっている。

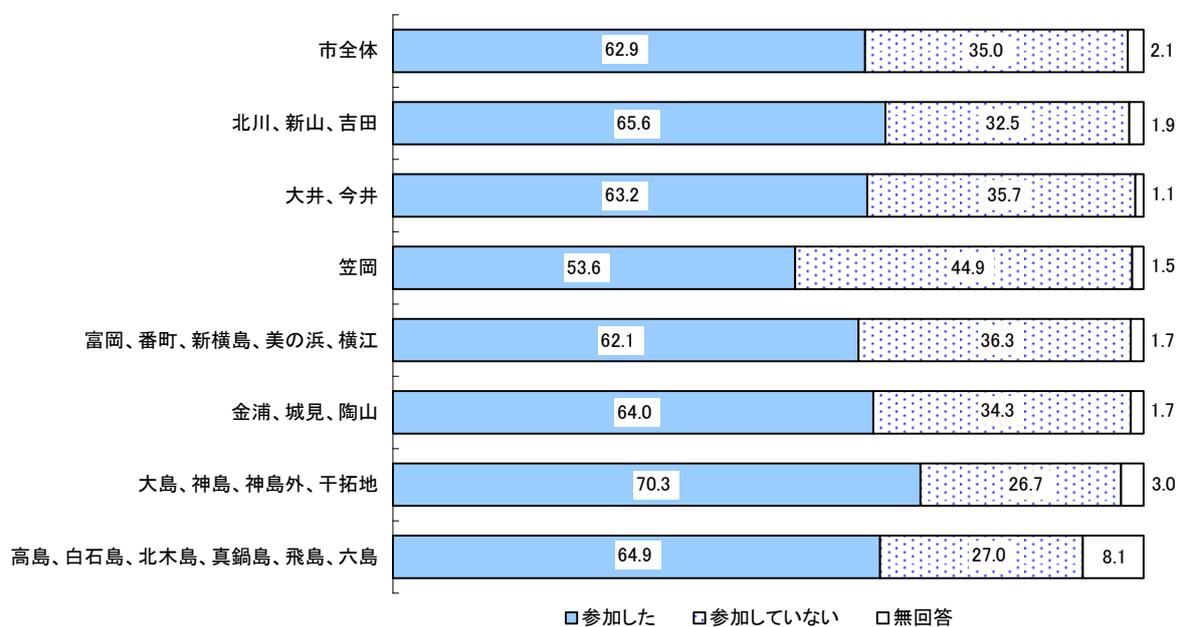
【年齢別】



年齢別にみると、「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」「70歳以上」では「参加した」と回答した割合が7割程度と高くなっている。

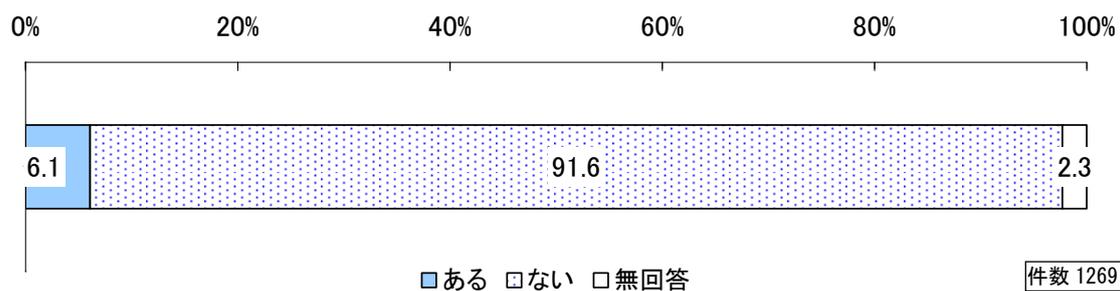
また、「18、19歳～20歳代」では「参加した」と回答した割合が2割程度と低くなっている。

【地区別】



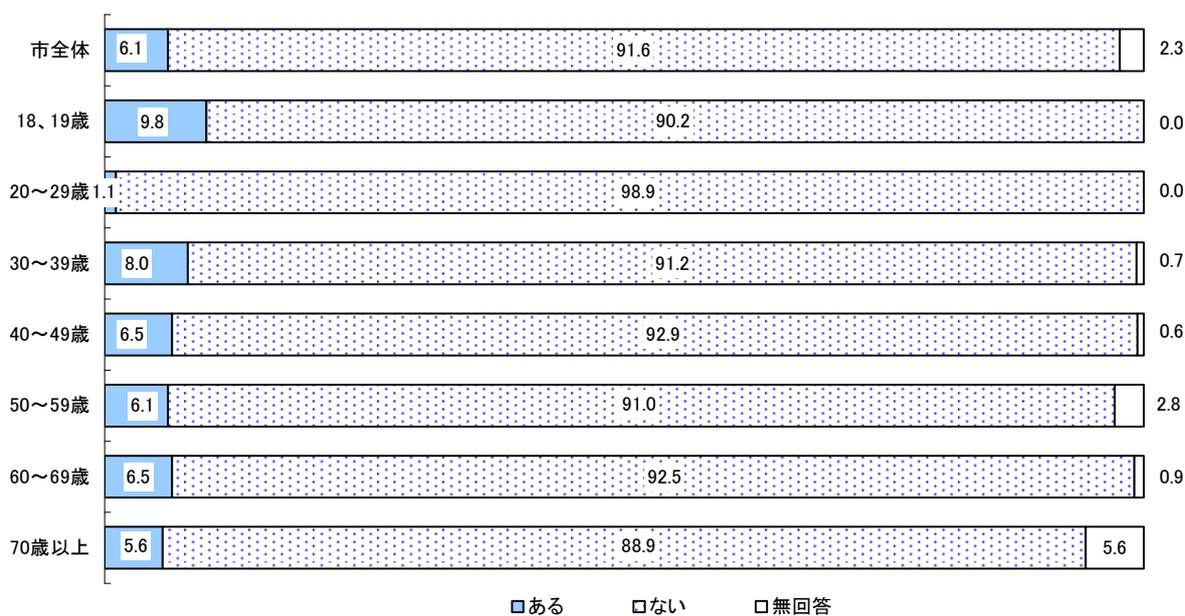
地区別にみると、「大島、神島、神島外、干拓地」を除く地域で「参加した」と回答した割合が7割程度と高くなっている。

(32) あなたは、島おこしの事業に関わったことがありますか。



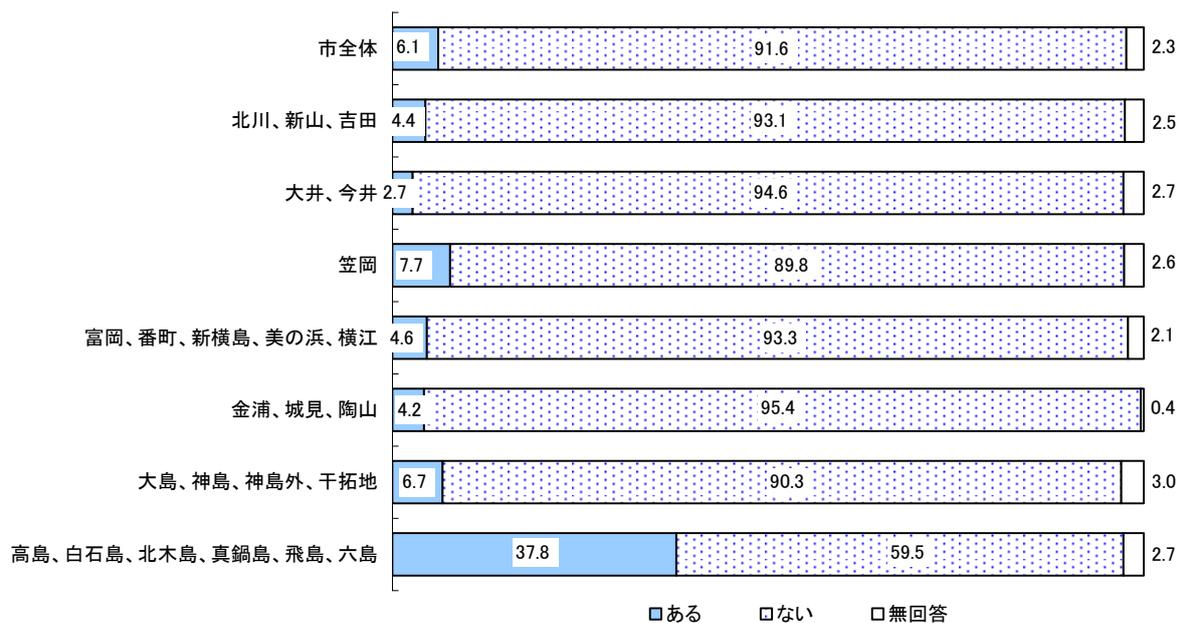
島おこしの事業に関わったことの有無について、「ある」が6.1%、「ない」が91.6%と、「ない」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



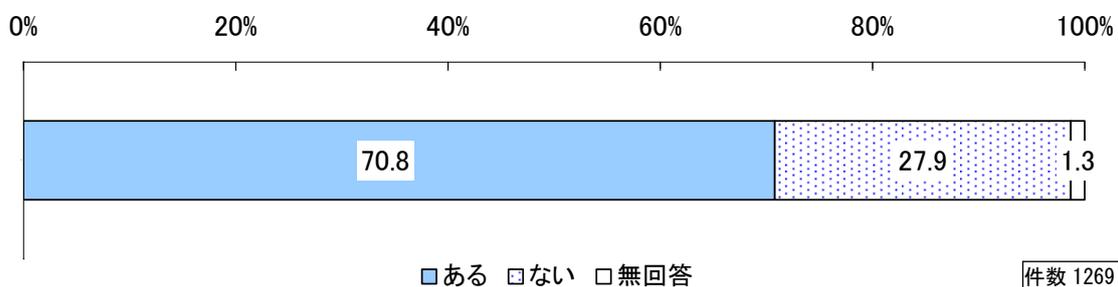
年齢別にみると、「ある」と回答した割合は「20～29歳」が1.1%と最も低くなっている。

【地区別】



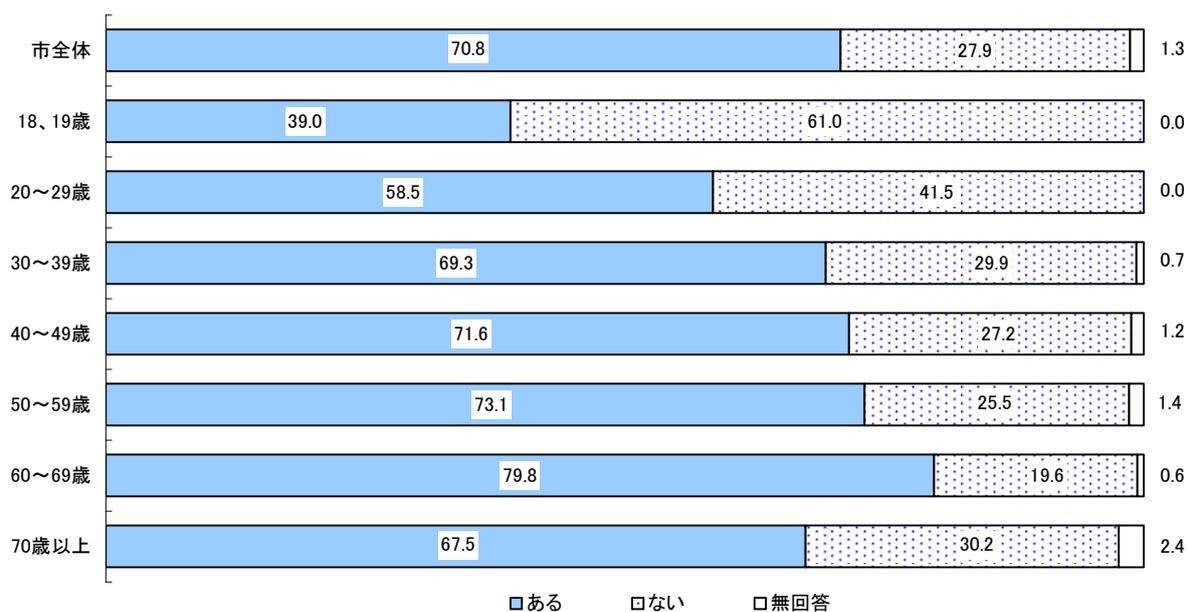
年齢別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」では「ある」と回答した割合が37.8%と高くなっている。

(33) あなたは、最近一年間で、市役所の窓口を利用したことがありますか。



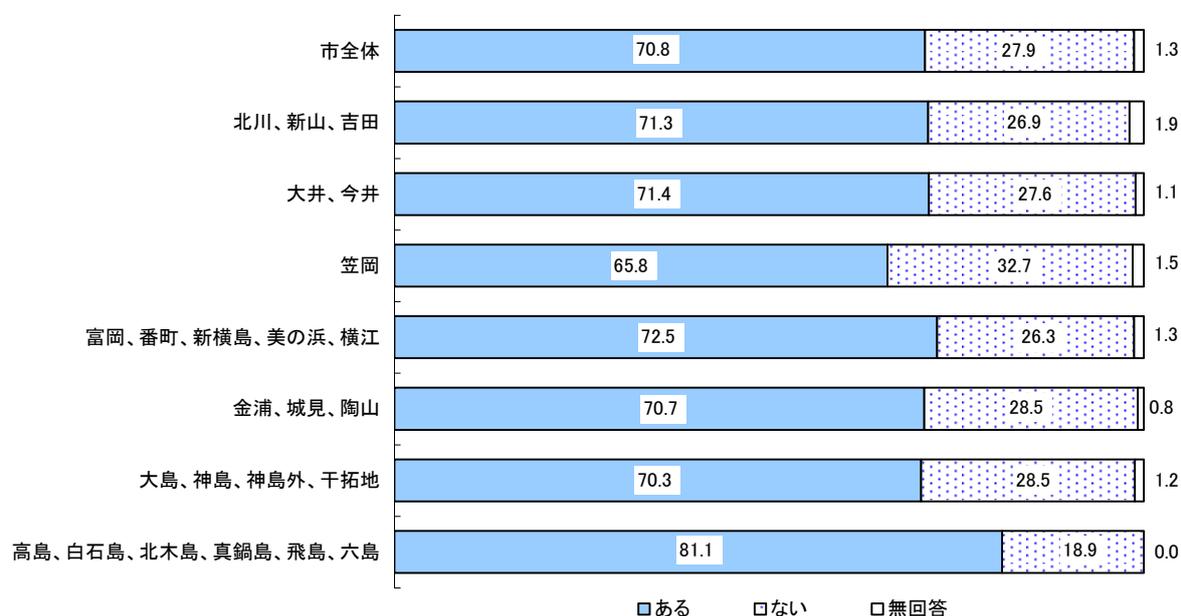
最近一年間で、市役所の窓口を利用したことの有無について、「ある」が70.8%、「ない」が27.9%と、「ある」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



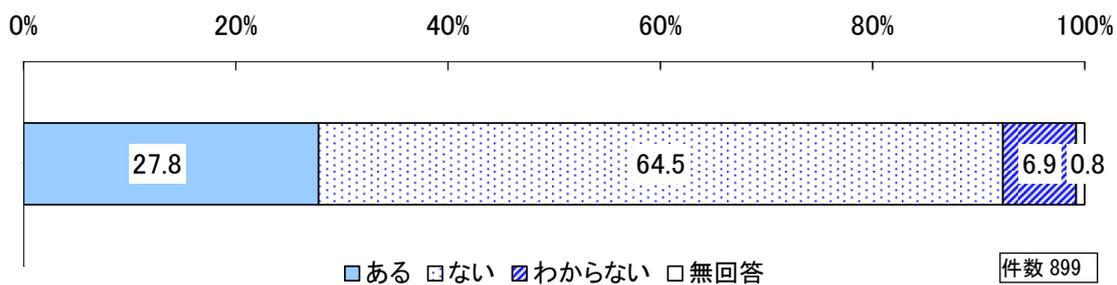
年齢別にみると、「ある」と回答した割合は「60～69歳」が79.8%と最も高く、次いで「50～59歳」(73.1%)、「40～49歳」(71.6%)の順となっている。

【地区別】



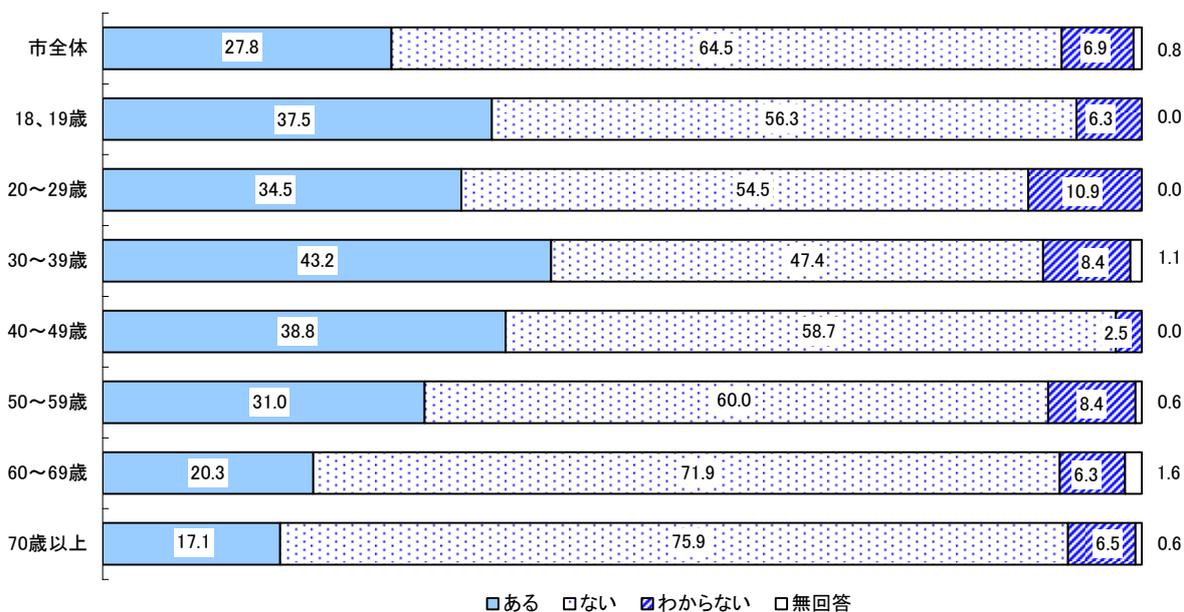
地区別にみると、「ある」と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が81.1%と高く、次いで「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」(72.5%)、「大井、今井」(71.4%)の順となっている。

(33)で「①ある」を選んだ方に伺います。
 その場合、手続きするうえで不便だと思ったことがありますか。



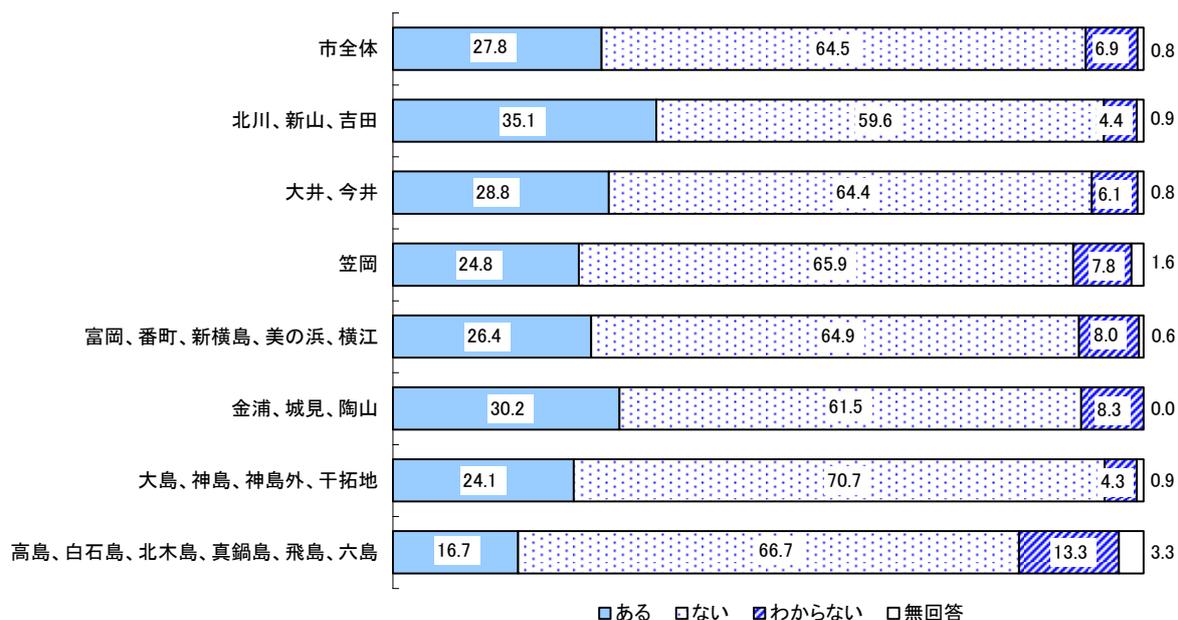
手続きするうえで不便だと思ったことについて、「ある」と回答した割合が27.8%、「ない」が64.5%、「わからない」が6.9%と、「ない」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



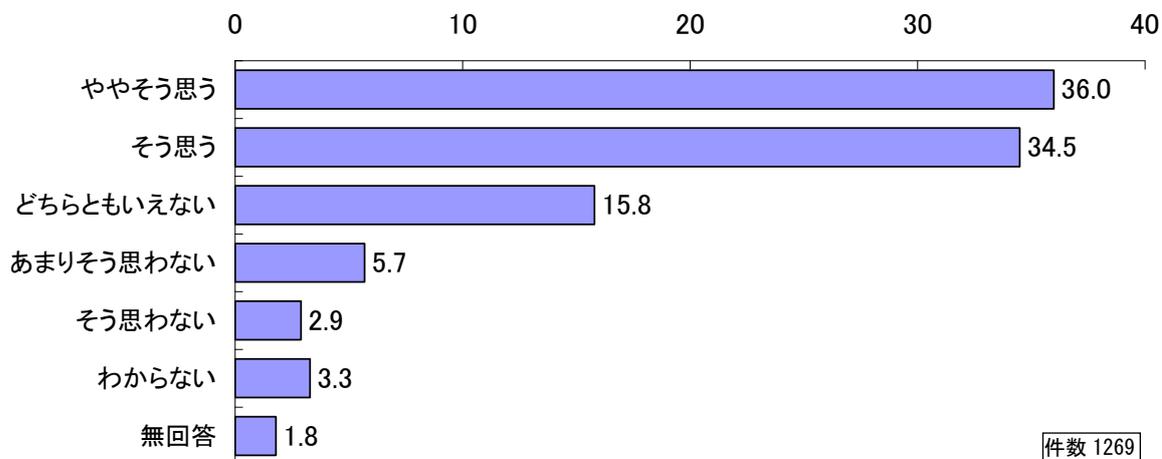
年齢別にみると、「ある」と回答した割合は「30～39歳」が43.2%と最も高く、次いで「40～49歳」(38.8%)、「18、19歳」(37.5%)の順となっている。

【地区別】



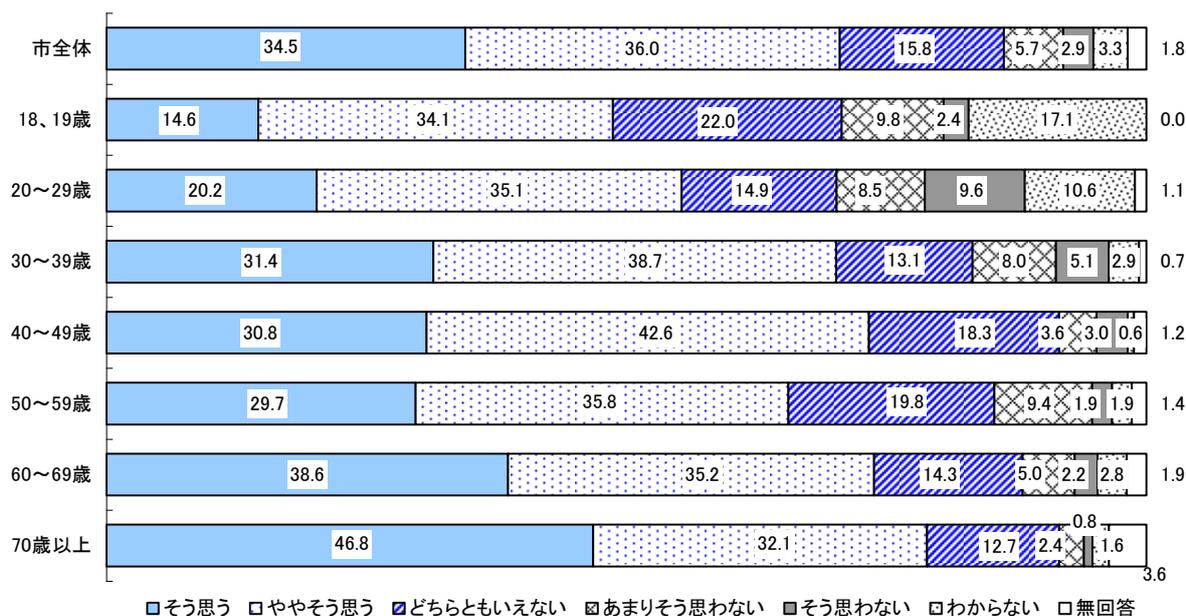
地区別にみると、「ある」と回答した割合は「北川、新山、吉田」が35.1%と最も高く、次いで「金浦、城見、陶山」(30.2%)、「大井、今井」(28.8%)の順となっている。

(34) 広報かさおか(笠岡市の広報紙)は役に立っていると思いますか。



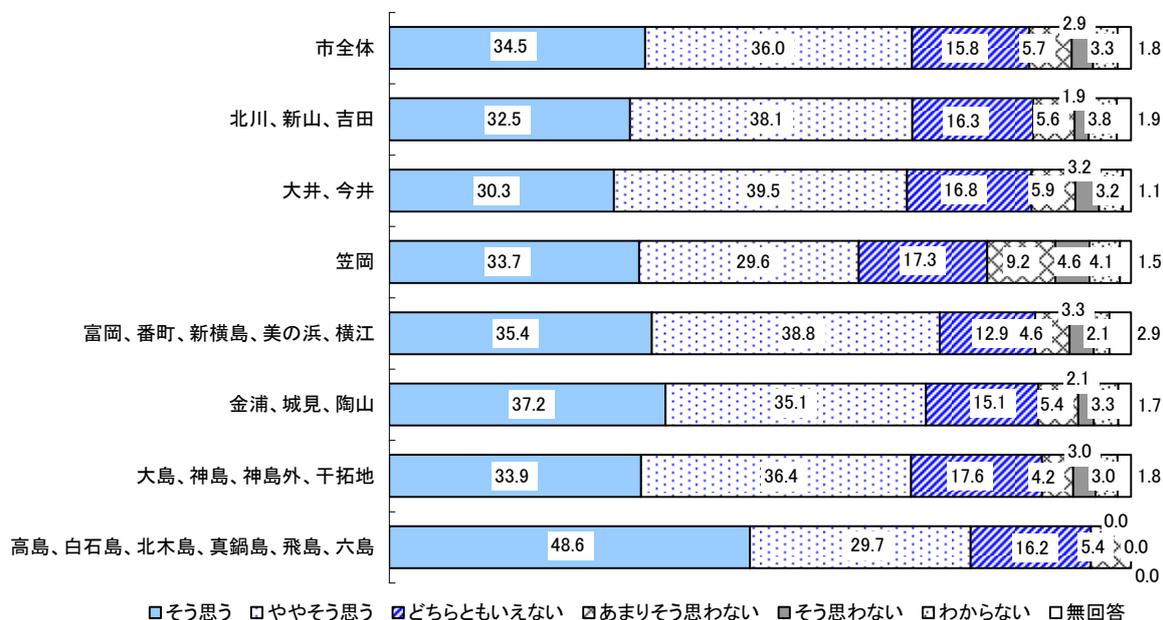
「広報かさおか」は役に立っていると思いますかについて、【思う(「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの)】では70.5%、【思わない(「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせたもの)】では8.6%と、「思う」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「そう思う」と回答した割合は「70歳以上」が46.8%と最も高く、次いで「60～69歳」（38.6%）、「30～39歳」（31.4%）の順となっている。
 また、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は、「70歳以上」が78.9%と高くなっている。

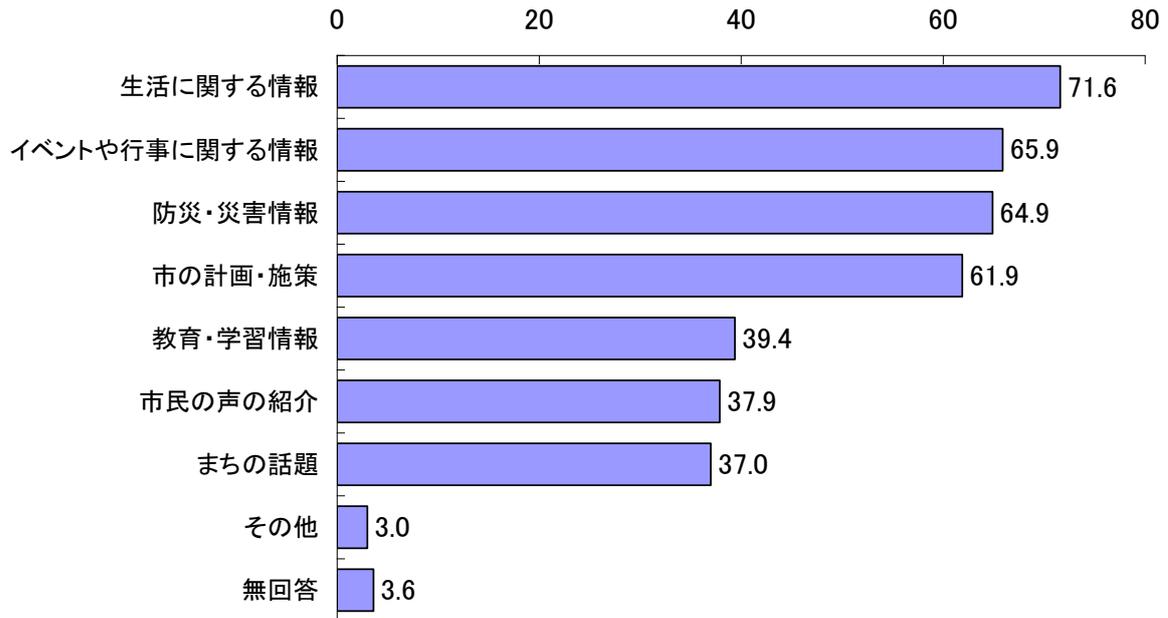
【地区別】



地区別にみると、「そう思う」と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が48.6%と最も高く、次いで「金浦、城見、陶山」（37.2%）、「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」（35.4%）の順となっている。

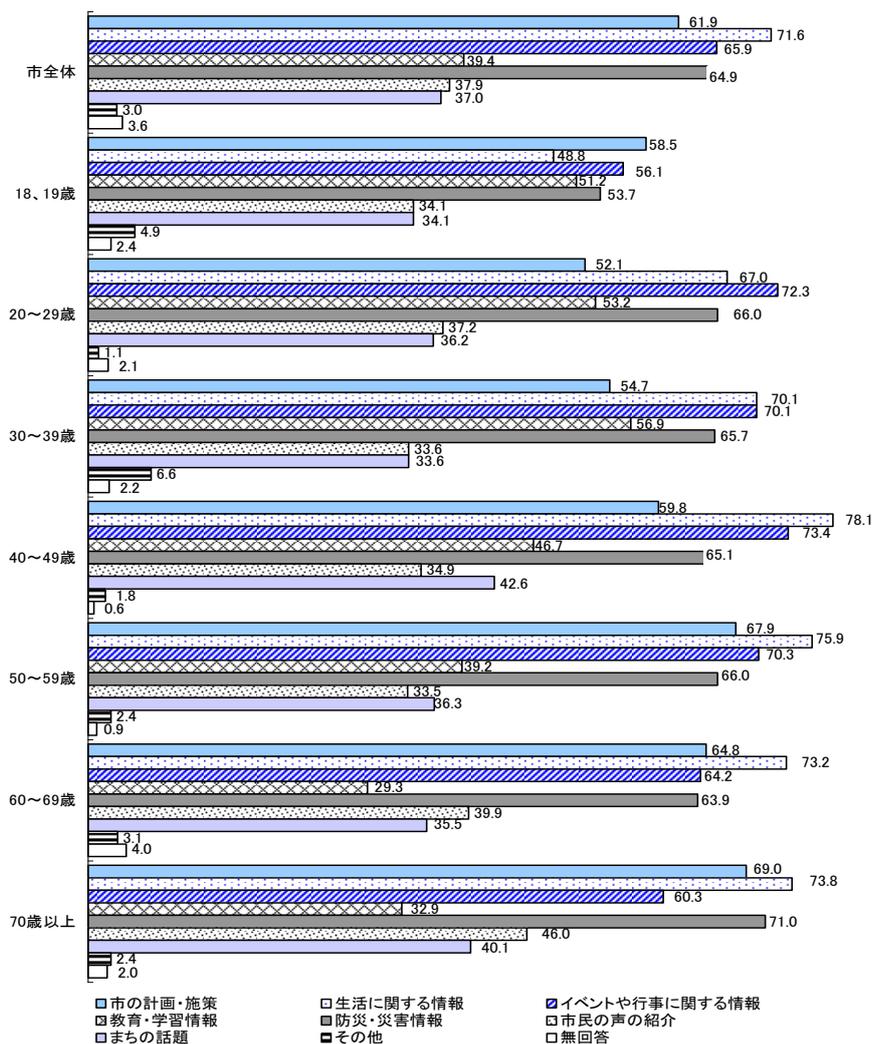
また、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が78.3%と最も高くなっている。

(35) 広報かさおか（笠岡市の広報紙）には、どのような情報が必要ですか。必要なもの全てに○をつけてください。



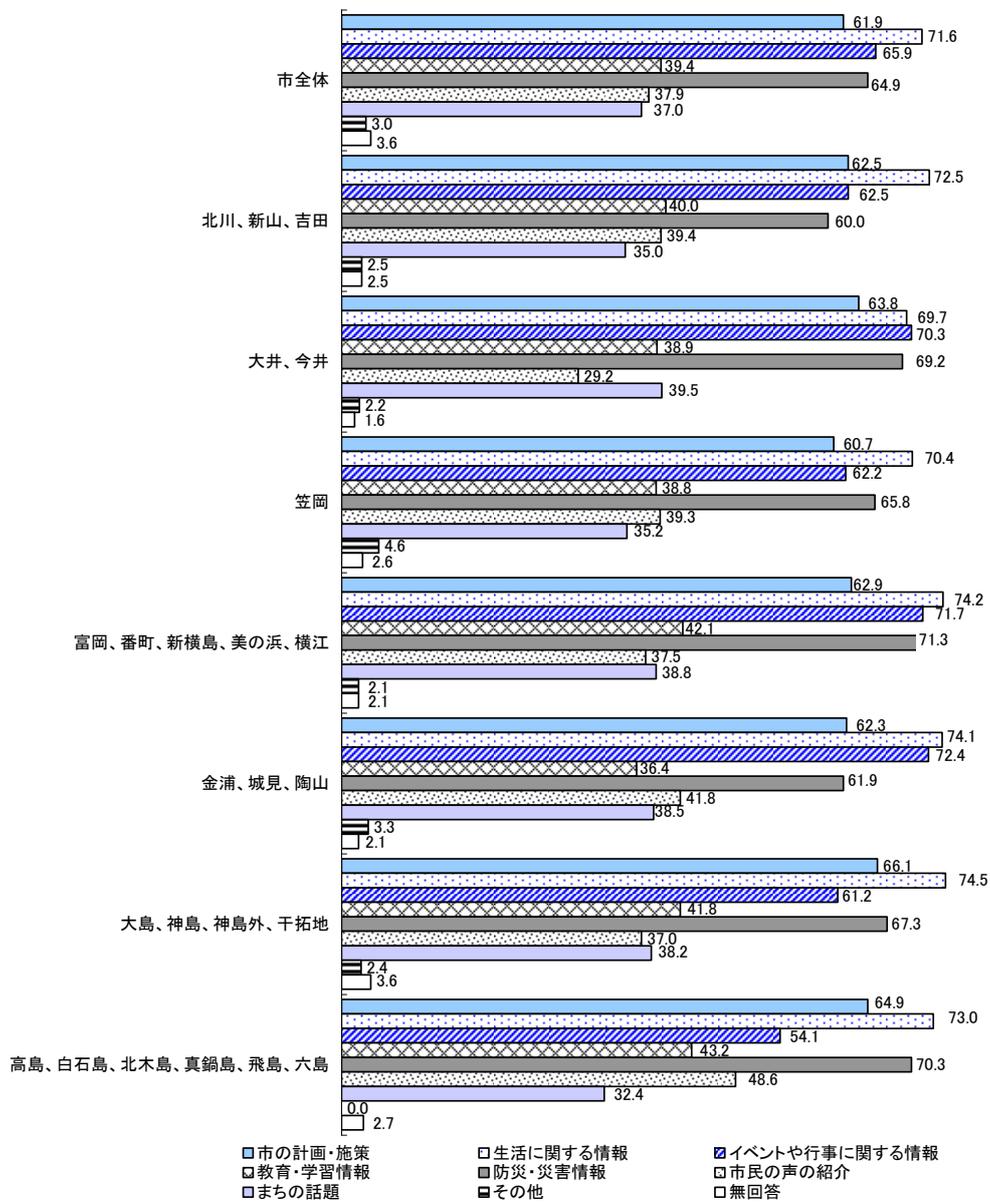
「広報かさおか」に必要な情報について、「生活に関する情報」と回答した割合が71.6%と最も高く、次いで「イベントや行事に関する情報」（65.9%）、「防災・災害情報」（64.9%）、「市の計画・施策」（61.9%）の順となっている。

【年齢別】



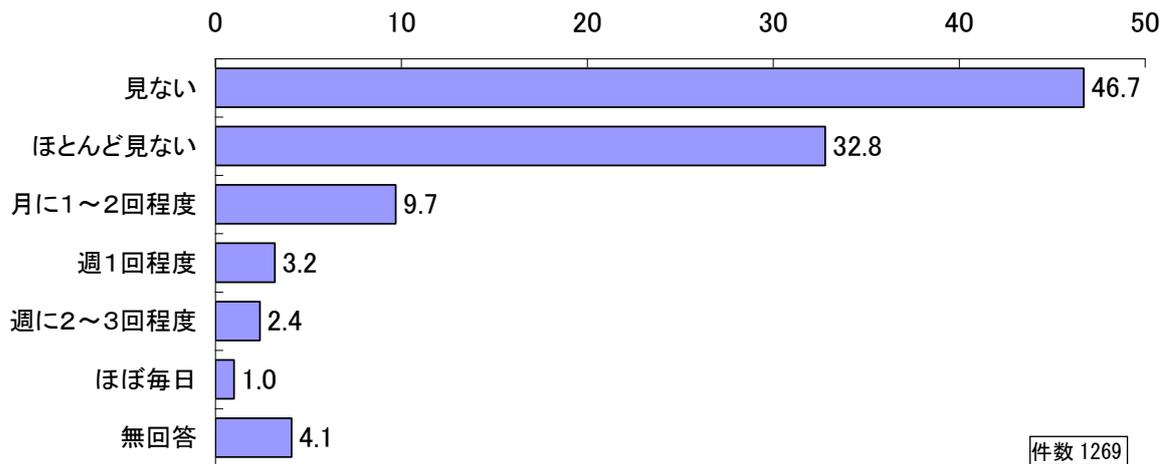
年齢別にみると、「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」では「教育、学習情報」と回答した割合がそれぞれ5割以上と高くなっている。

【地区別】



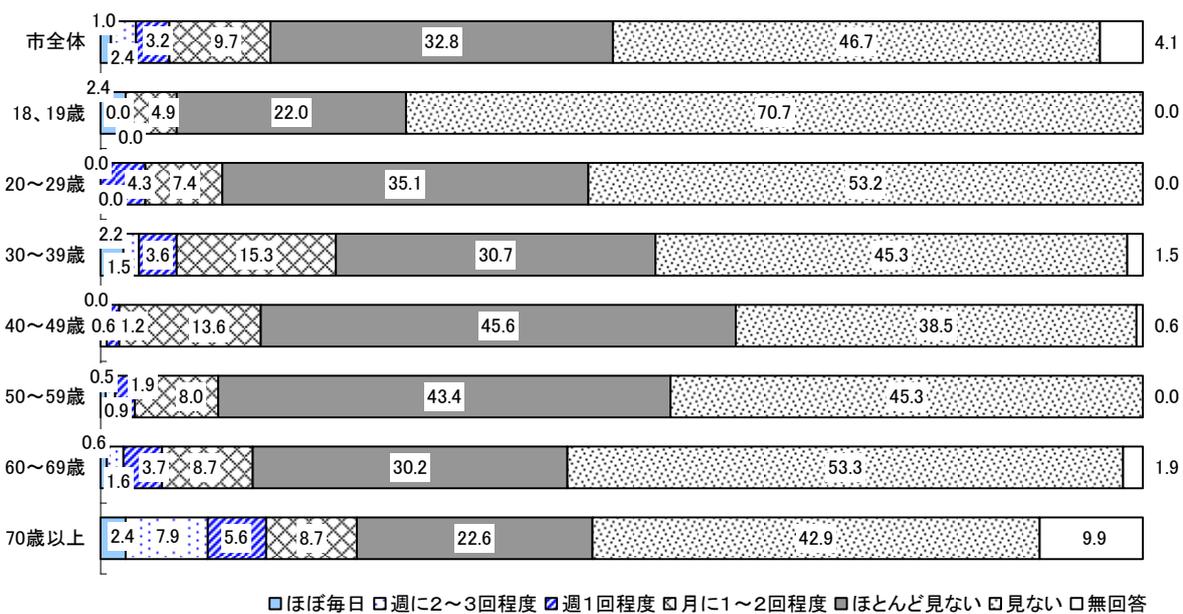
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」では「イベントや行事に関する情報」と回答した割合が低く、「市民の声の紹介」と回答した割合が高くなっている。

(36) あなたは、笠岡市のホームページをどの程度見ていますか。



笠岡市のホームページを見る頻度について、「見ない」と回答した割合が46.7%と最も高く、次いで「ほとんど見ない」(32.8%)、「月に1~2回程度」(9.7%)、「週に1回程度」(3.2%)の順となっている。

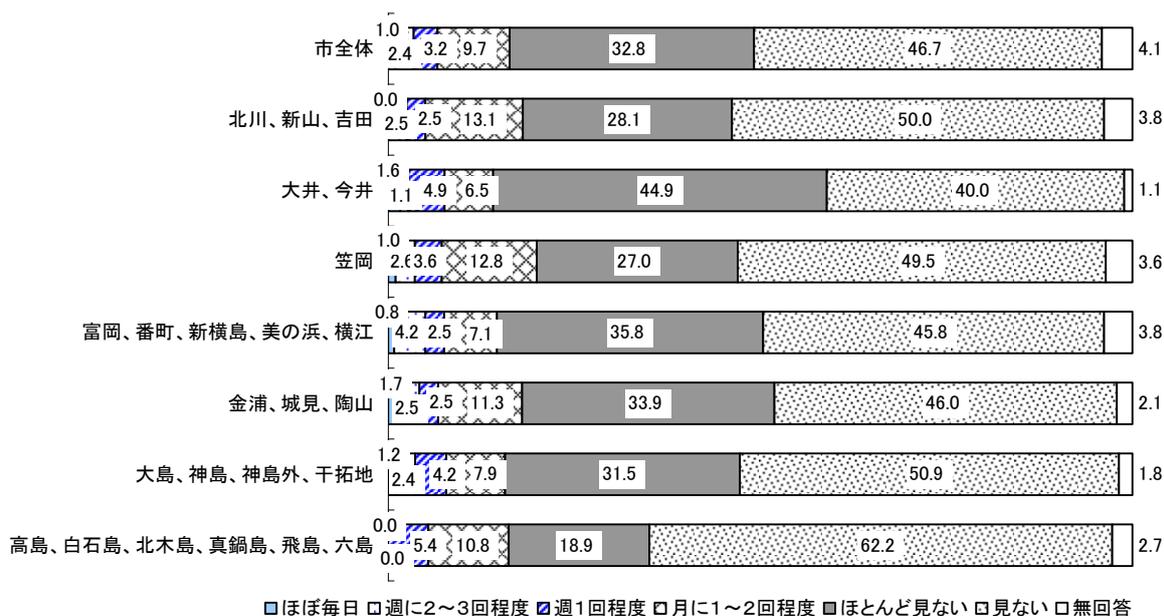
【年齢別】



年齢別にみると、「30歳代~40歳代」で「月に1~2回程度」と回答した割合が1割以上と高くなっている。

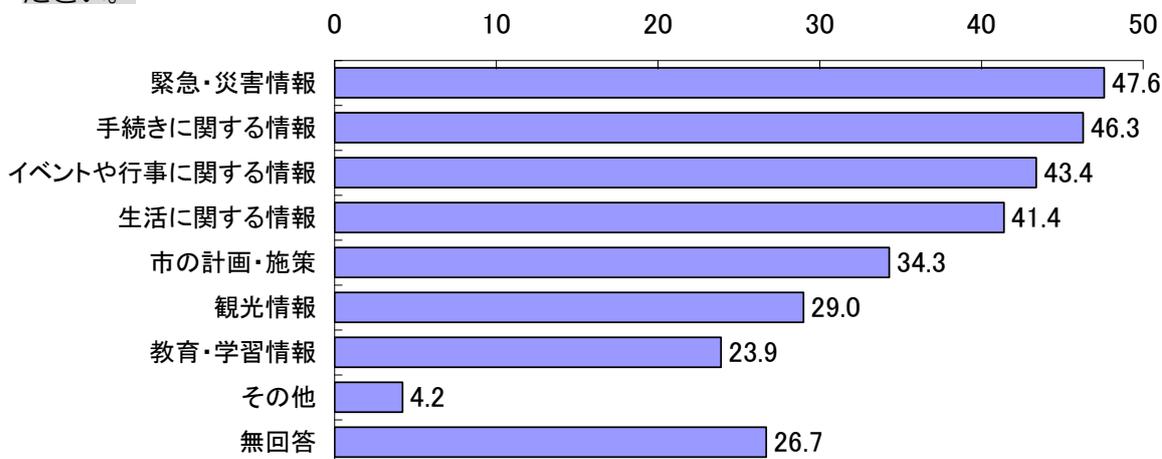
また、「18、19歳」では【見ない(「見ない」「ほとんど見ない」を合わせたもの)】と回答した割合が92.7%と高くなっている。

【地区別】



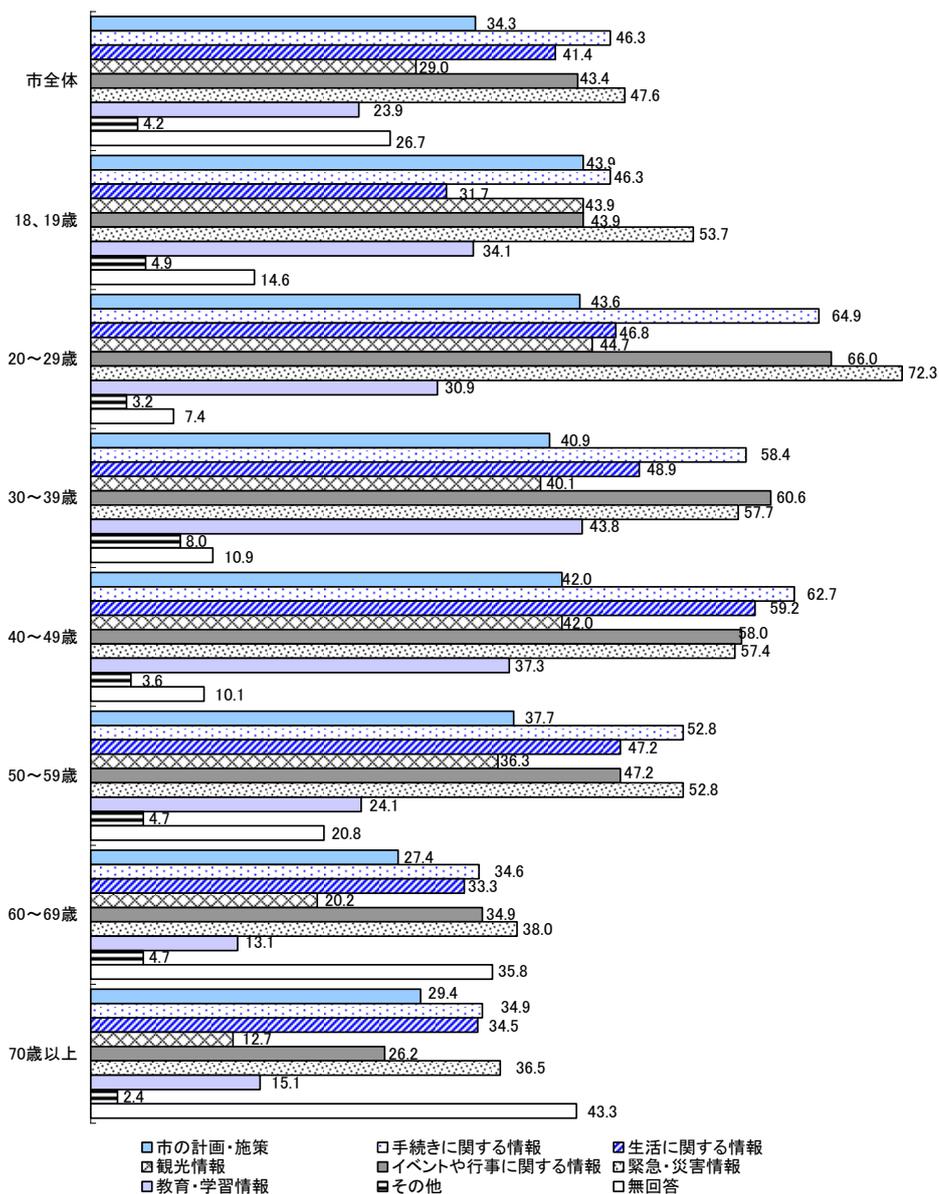
地区別では、「見ない」と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が62.2%と最も高く、次いで「大島、神島、神島外、干拓地」(50.9%)、「北川、新山、吉田」(50.0%)の順となっている。

(37) 笠岡市のホームページには、どのような情報が必要ですか。必要なもの全てに○をつけてください。



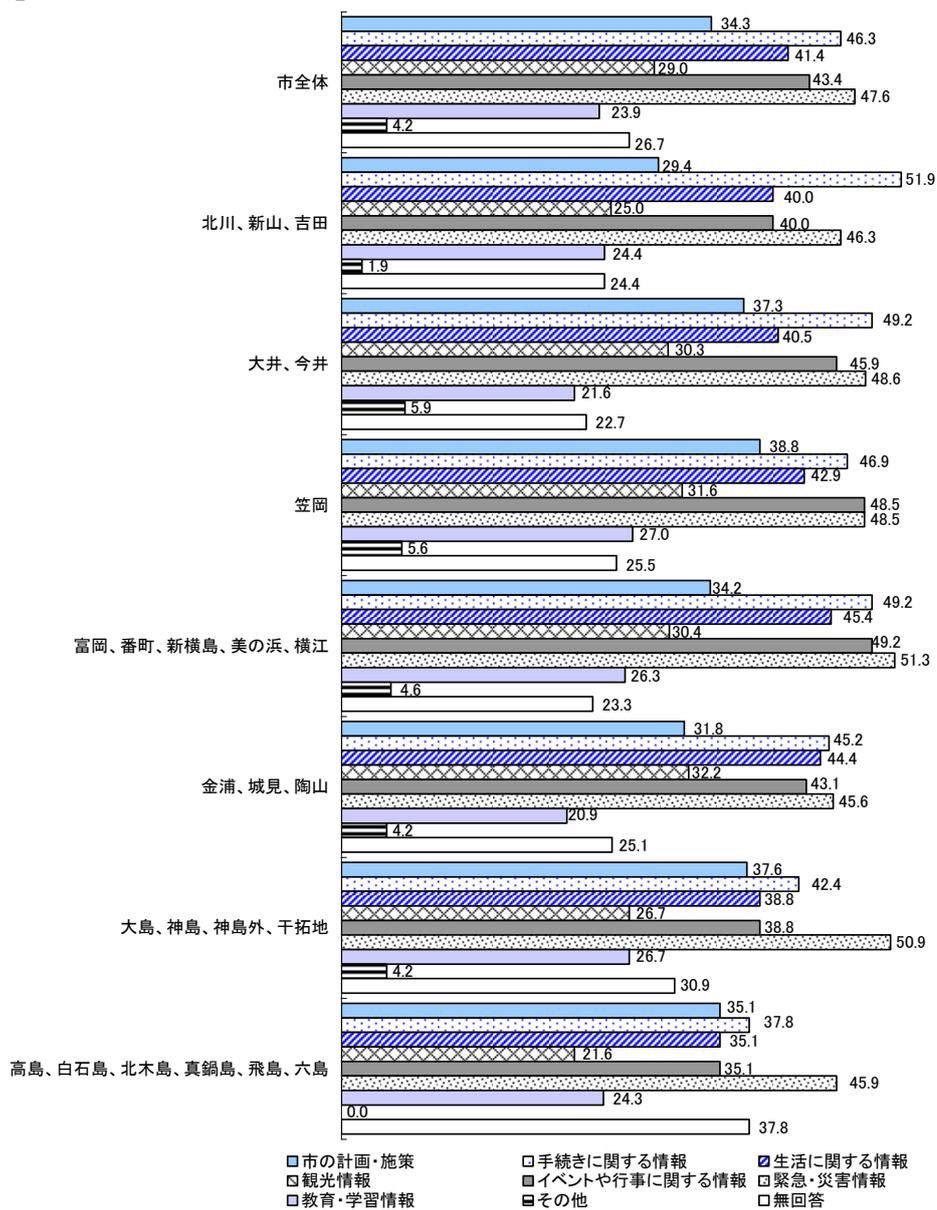
ホームページには、どのような情報が必要ですかについて、「緊急・災害情報」と回答した割合が47.6%と最も高く、次いで「手続きに関する情報」(46.3%)、「イベントや行事に関する情報」(43.4%)、「生活に関する情報」(41.4%)の順となっている。

【年齢別】



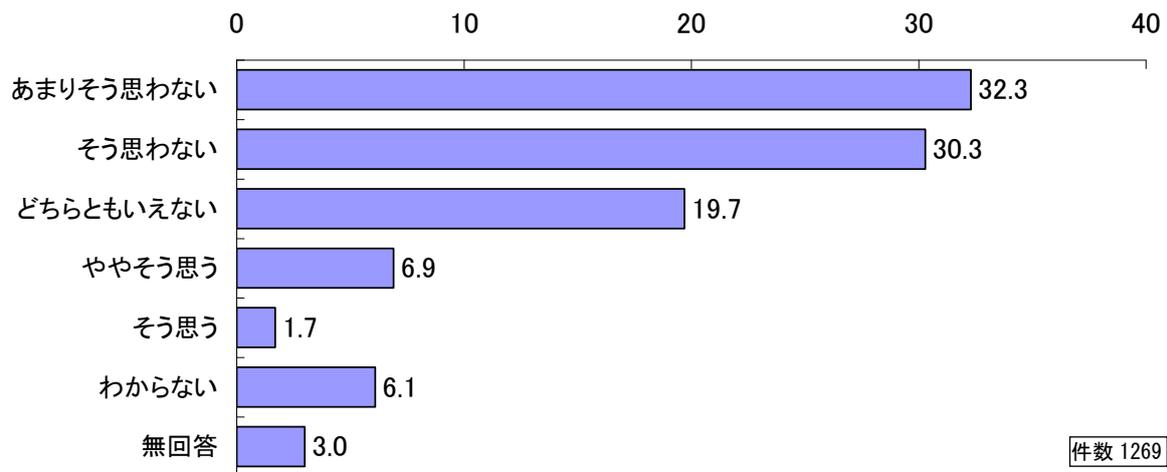
年齢別にみると、「20～29歳」では「手続きに関する情報」「イベントや行事に関する情報」「緊急・災害情報」と回答した割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

【地区別】



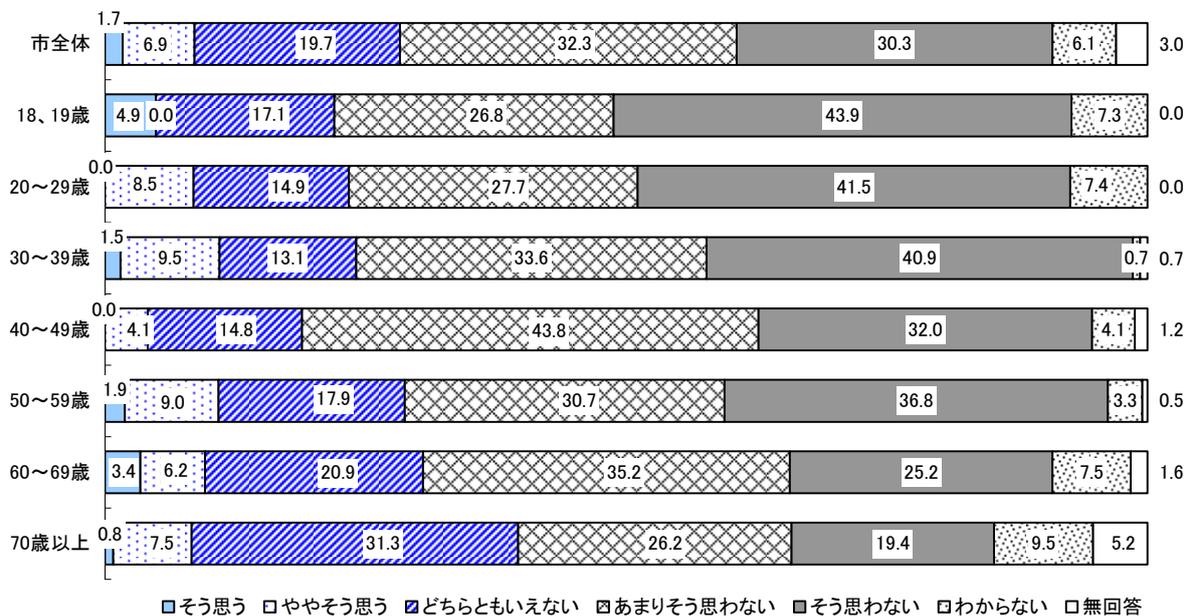
地区別にみると、「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」「金浦、城見、陶山」「大島、神島、神島外、干拓地」「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「緊急・災害情報」と回答した割合が最も高くなっている。また、「北川、新山、吉田」「大井、今井」で「手続きに関する情報」と回答した割合が最も高くなっている。

(38) あなたは、笠岡市が観光客にとって魅力的だと思いますか。



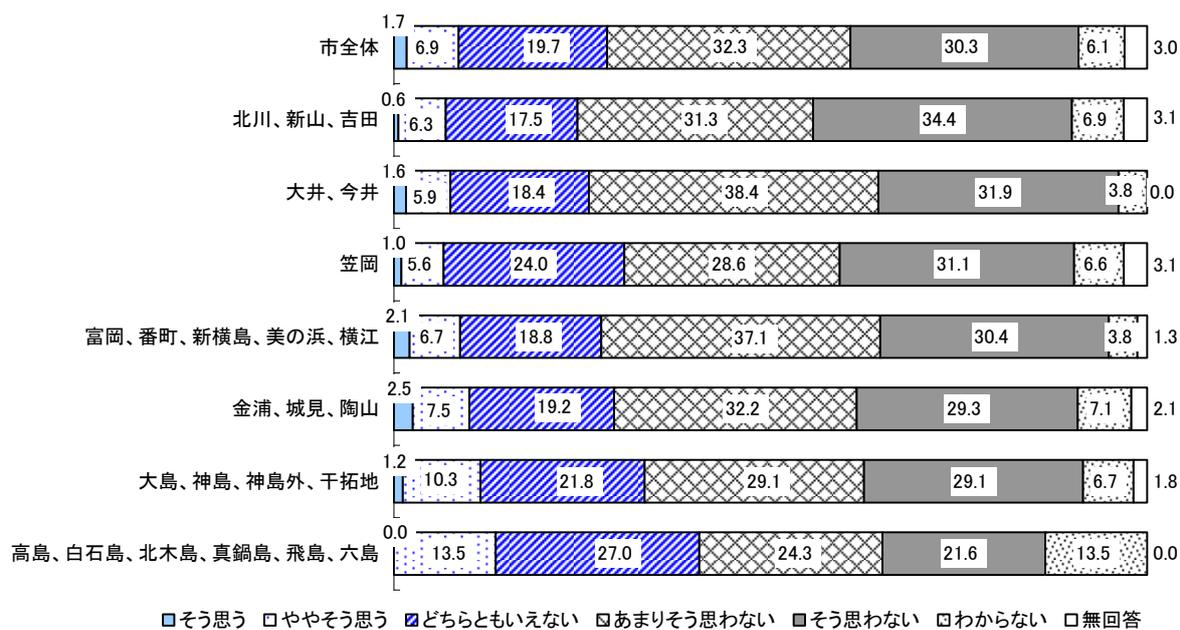
笠岡市が観光客にとって魅力的だと思いますかについて、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】では 8.6%、【思わない（「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせたもの）】では 62.6%と、【思わない】と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



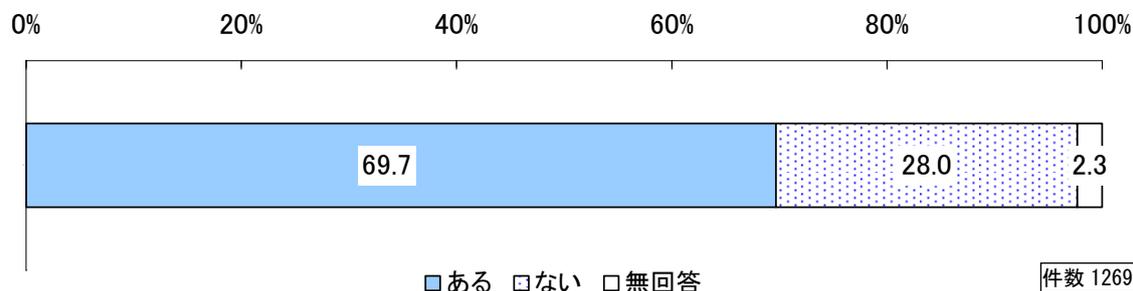
年齢別にみると、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は、「30～39歳」が 11.0%と最も高くなっている。

【地区別】



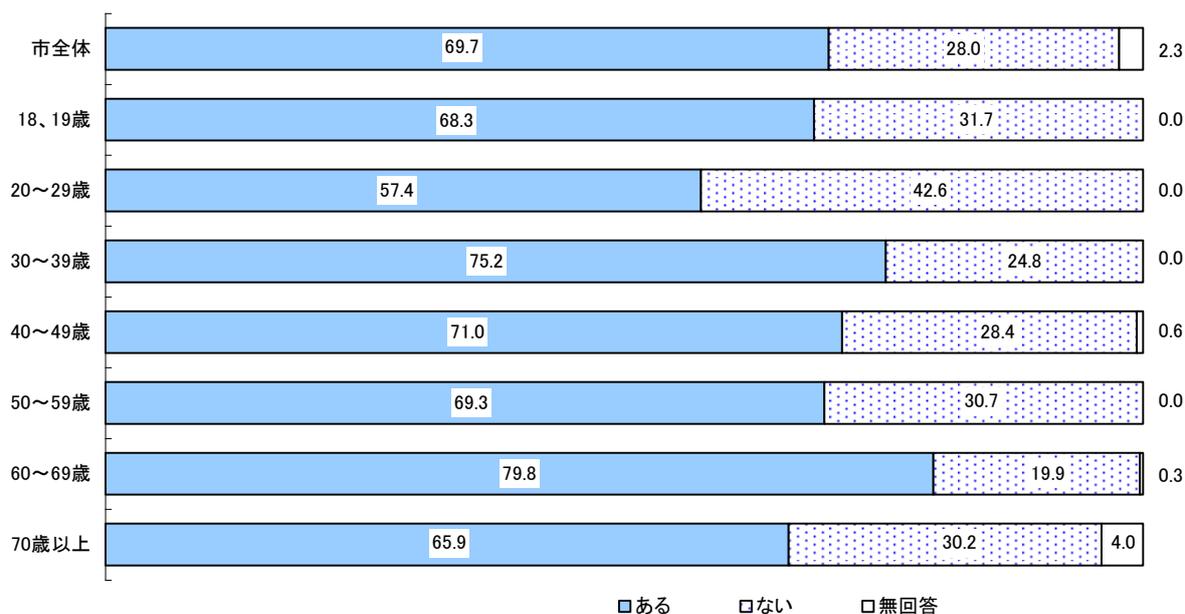
地区別にみると、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が13.5%と最も高くなっている。

(39) あなたは、道の駅「笠岡バイファーム」を利用したことがありますか。



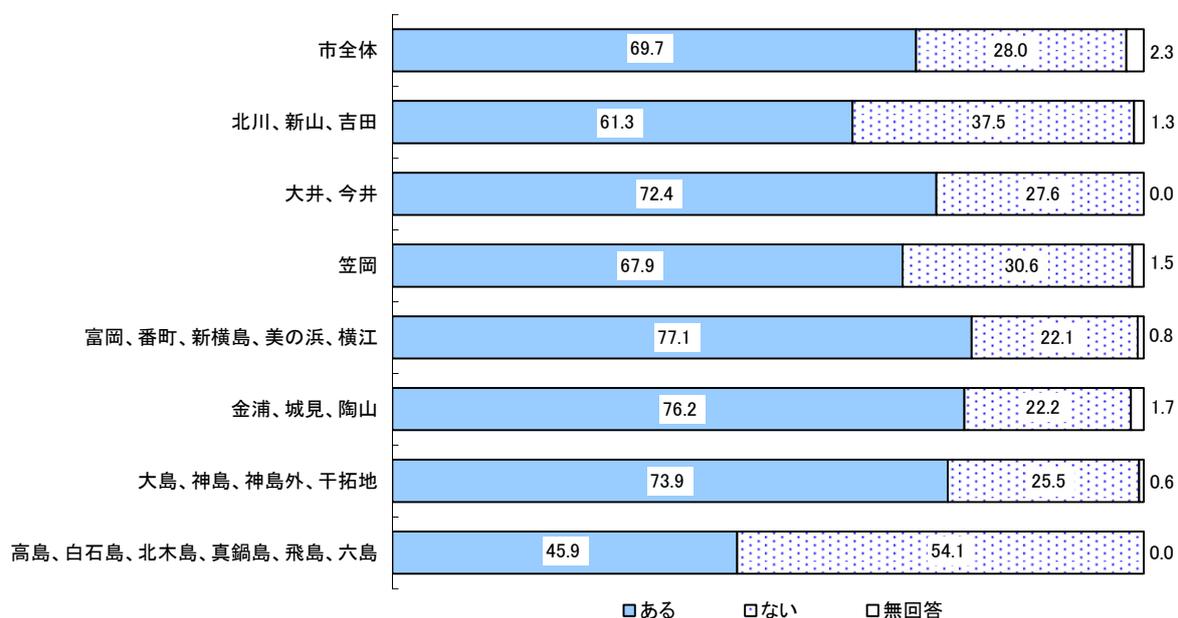
道の駅「笠岡バイファーム」を利用したことの有無について、「ある」が69.7%、「ない」28.0%と、「ある」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



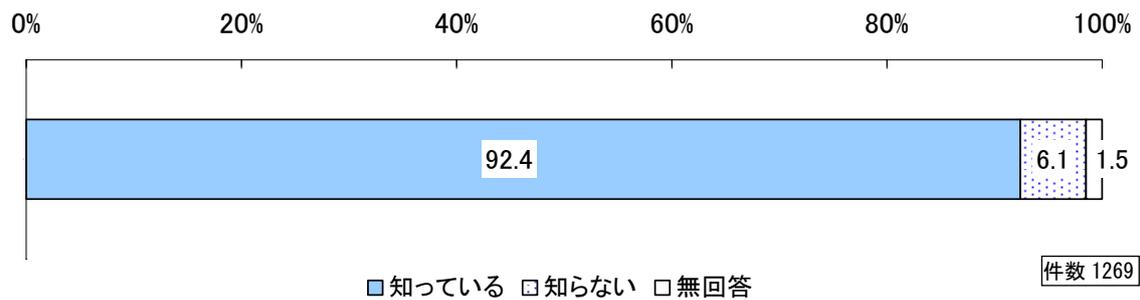
年齢別にみると、「ある」と回答した割合は「60～69歳」が79.8%と最も高く、次いで「30～39歳」(75.2%)、「40～49歳」(71.0%)の順となっている。

【地区別】



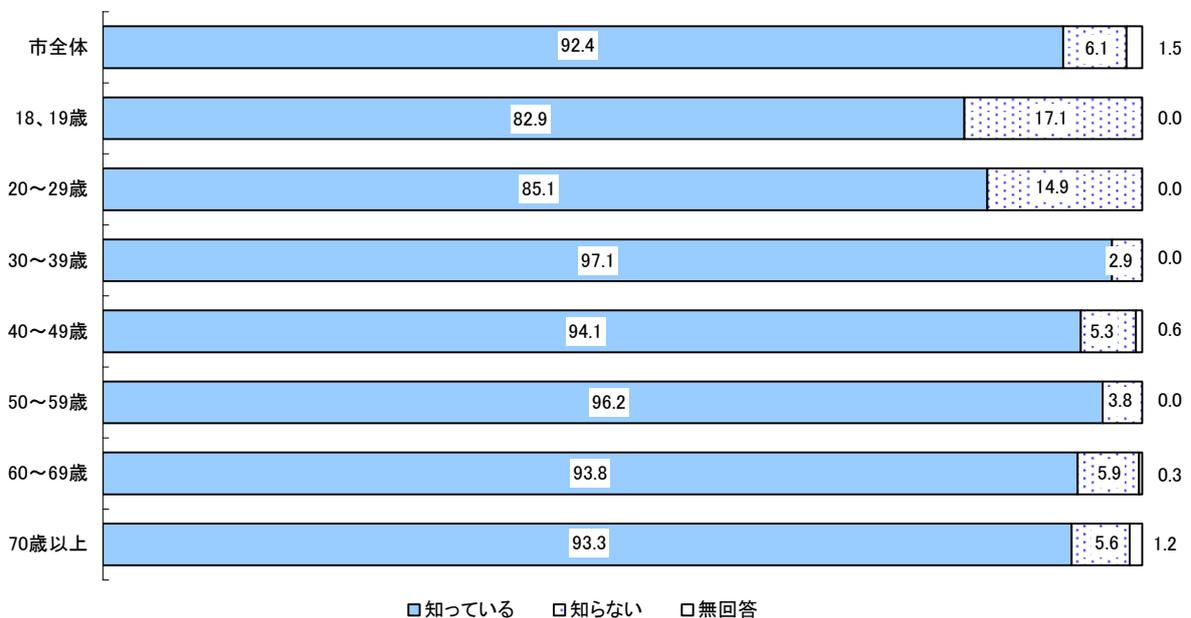
地区別にみると、「ある」と回答した割合は「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」が77.1%と最も高く、次いで「金浦、城見、陶山」(76.2%)、「大島、神島、神島外、干拓地」(73.9%)の順となっている。

(40) あなたは、すべての住宅に住宅用火災警報器を設置する義務があることを知っていますか。



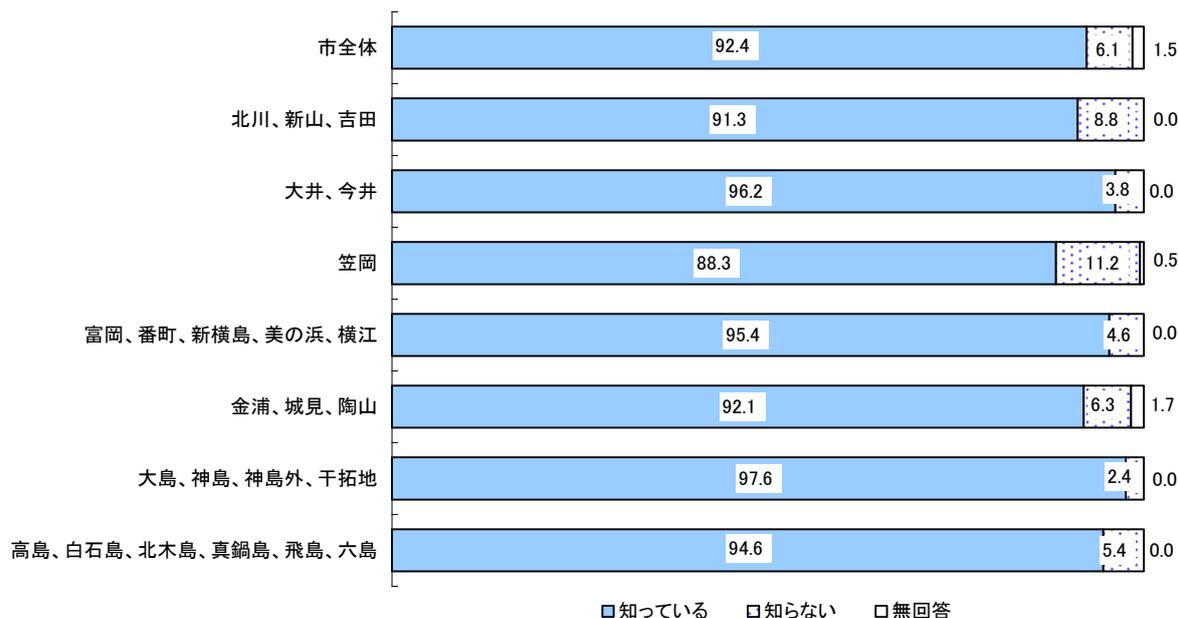
住宅に住宅用火災警報器を設置する義務があることを知っているかについて、「知っている」が92.4%、「知らない」が6.1%と、「知っている」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



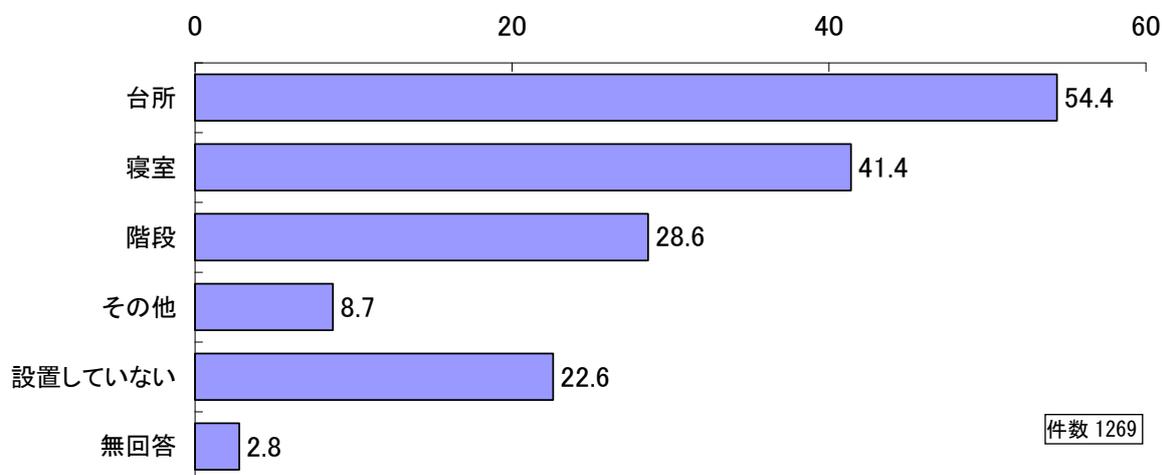
年齢別にみると、「知っている」と回答した割合は「30～39歳」で97.1%と高く、次いで「50～59歳」(96.2%)、「40～49歳」(94.1%)の順となっている。

【地区別】



地区別では、「知っている」と回答した割合は「大島、神島、神島外、干拓地」が97.6%と高く、次いで「大井、今井」(96.2%)、「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」(95.4%)の順となっている。

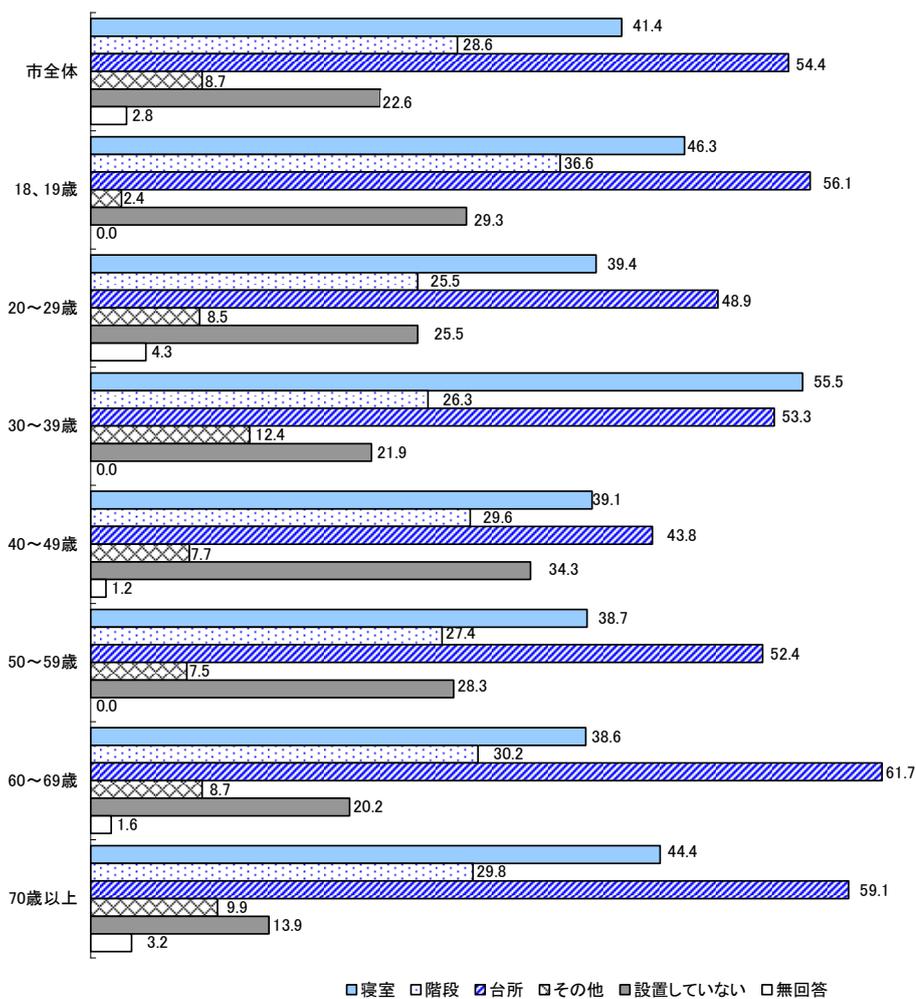
(41) 住宅用火災警報器を自宅のどこかに設置していますか。該当する番号全てに○をつけてください。



住宅用火災警報器を自宅のどこかに設置しているかについて、「台所」と回答した割合が54.4%と最も高く、次いで「寝室」(41.4%)、「階段」(28.6%)、「その他」(8.7%)の順となっている。

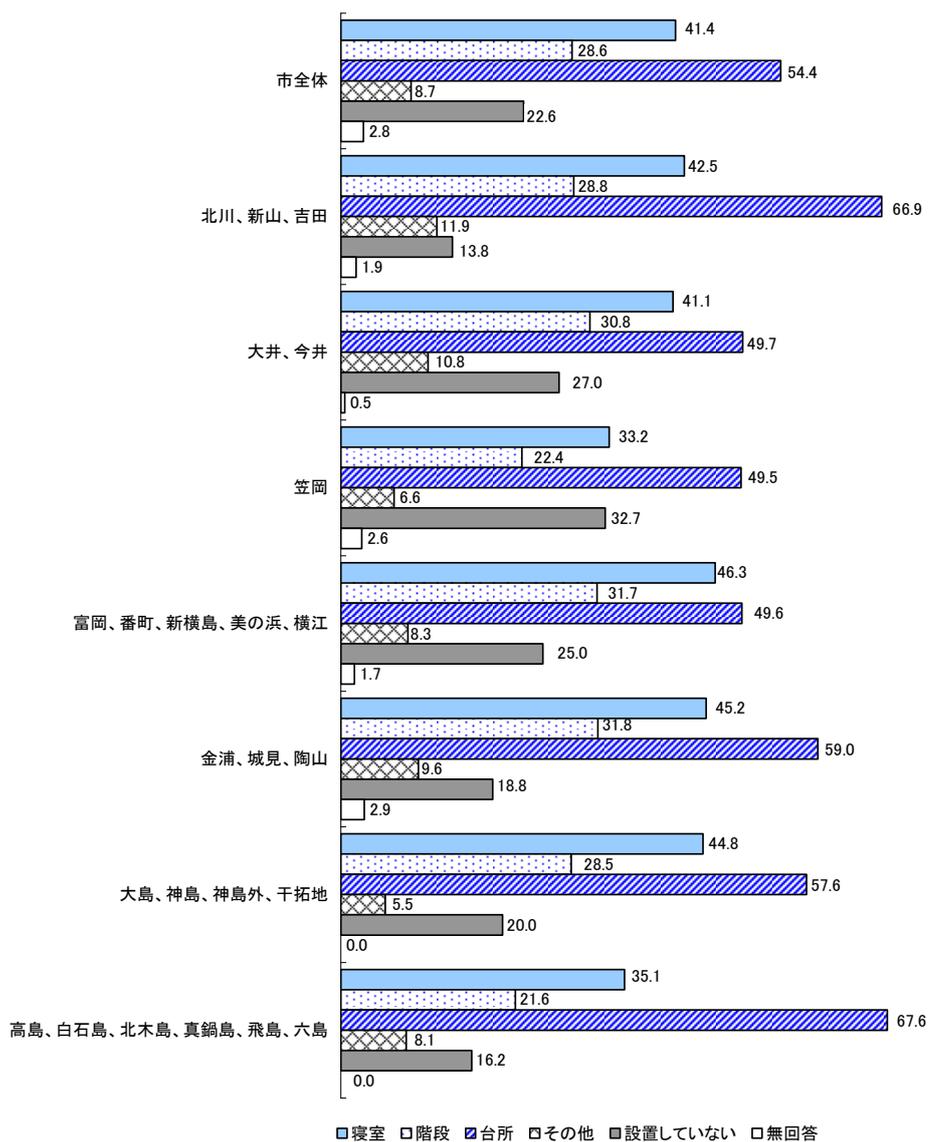
また、「設置していない」と回答した割合が2割程度となっている。

【年齢別】



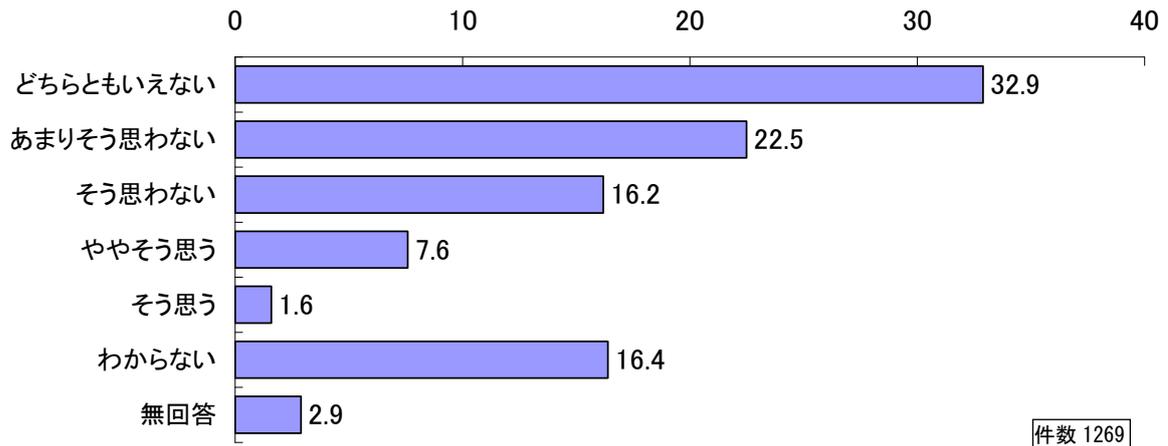
年齢別にみると、「寝室」と回答した割合は、「30～39歳」で55.5%と高くなっている。また、「台所」と回答した割合は「60～69歳」で61.7%と高くなっている。

【地区別】



地区別にみると、「台所」と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」「北川、新山、吉田」では6割以上と高くなっている。また、「設置していない」と回答した割合は「笠岡」では32.7%と高くなっている。

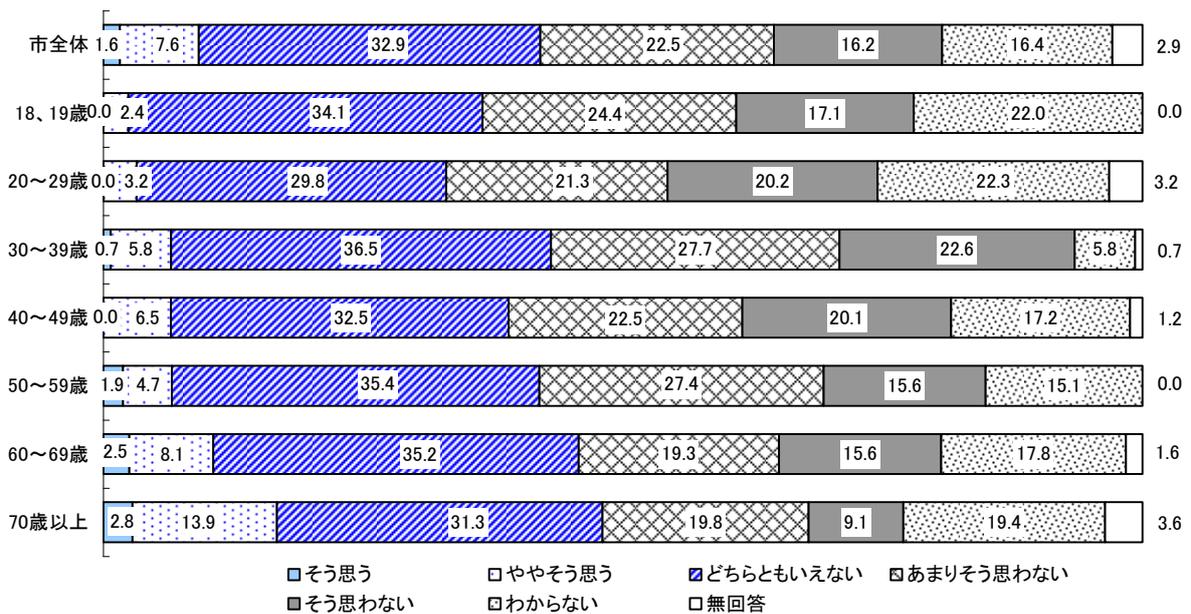
(42) あなたは、市民意見や提案が市政に反映されていると思いますか。



市民意見や提案が市政に反映されていると思うかについて、「どちらともいえない」と回答した割合が32.9%と最も高くなっている。

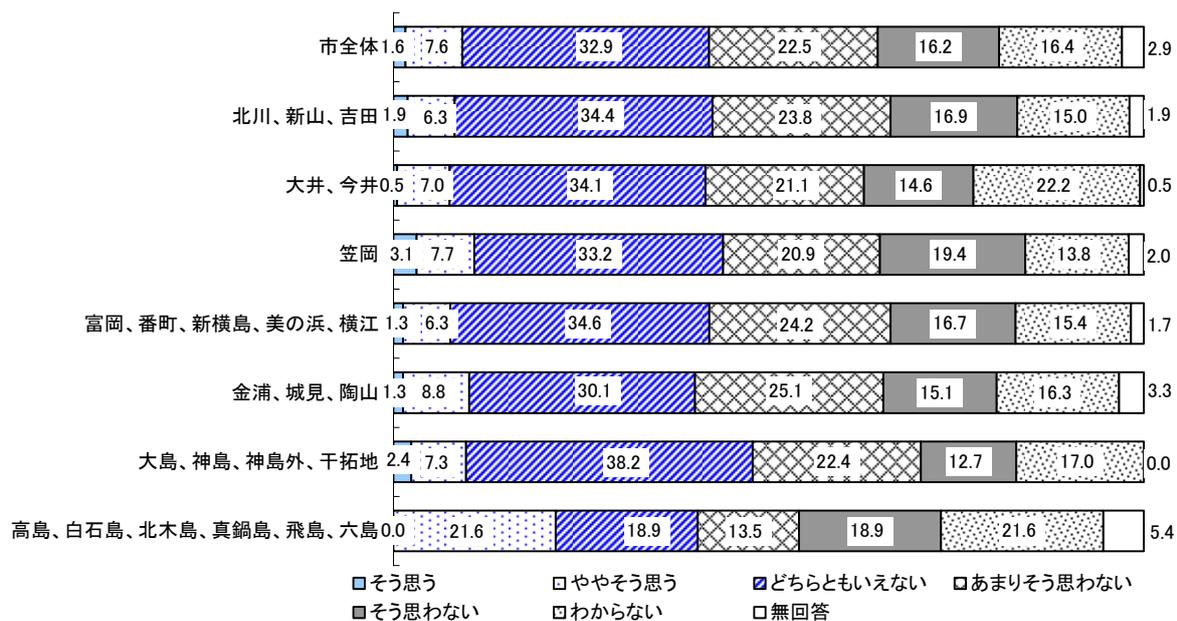
また、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】では9.2%、【思わない（「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせたもの）】では38.7%と、【思わない】と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



年齢別にみると、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は、「70歳以上」が16.7%と高くなっている。

【地区別】

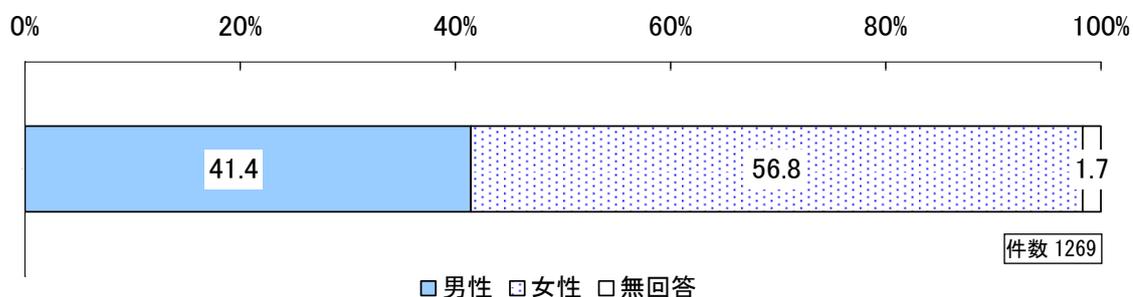


地区別にみると、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が21.6%と最も高くなっている。

V. 回答者の属性

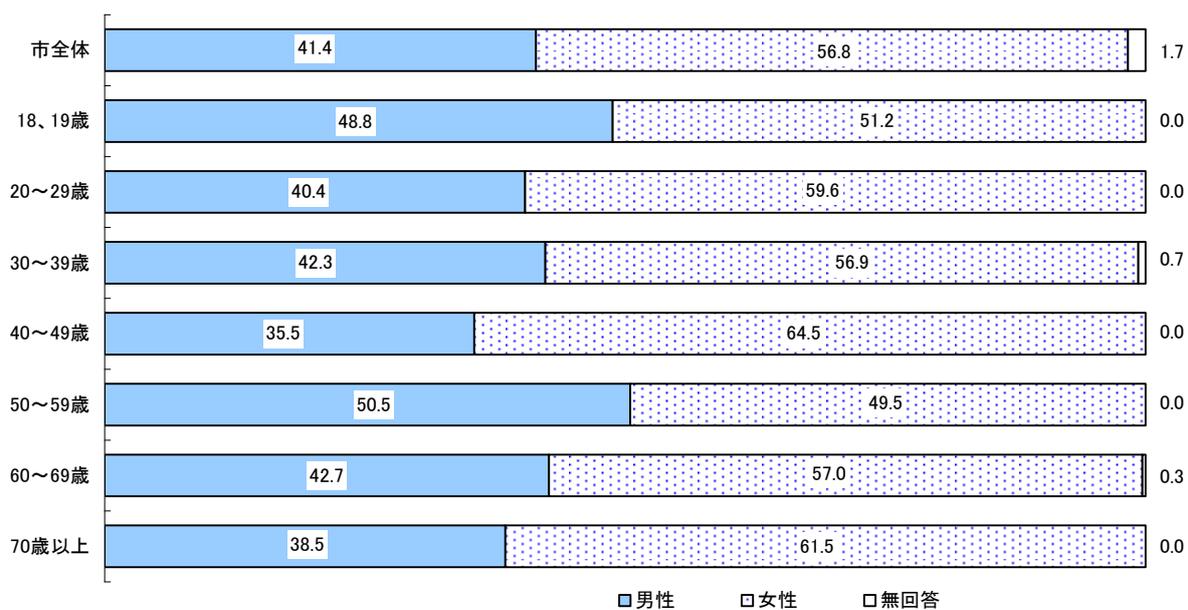
1 あなた自身のことについて

(1) 性別



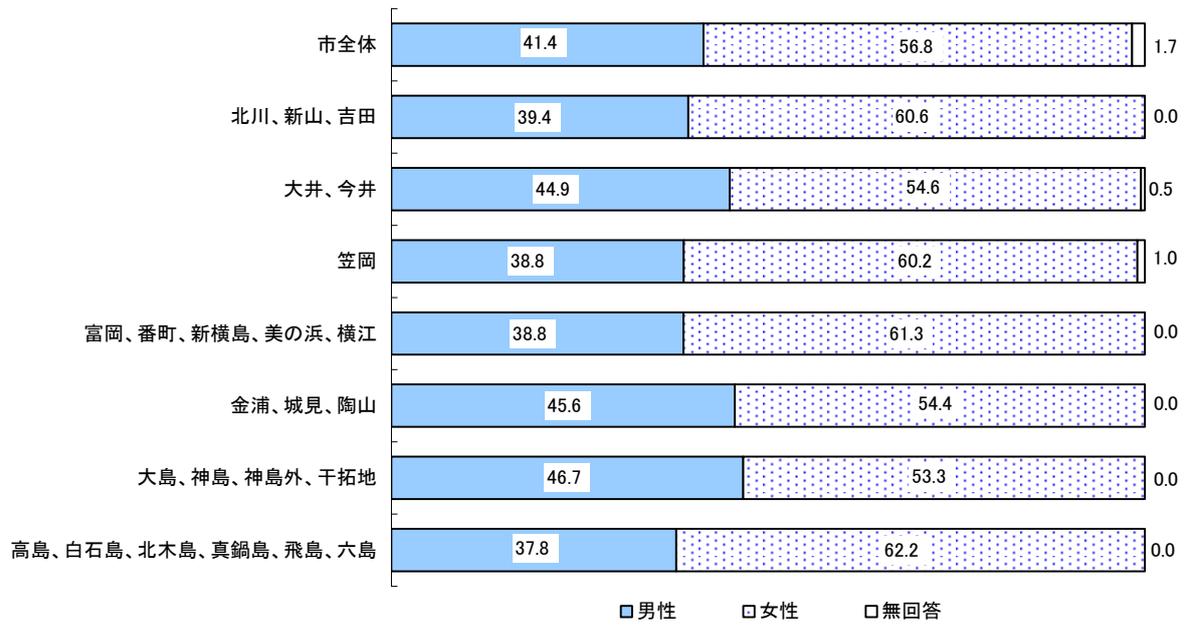
性別について、「男性」が 41.4%、「女性」が 56.8%と、「女性」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「50～59歳」で「男性」と回答した割合が 50.5%と高く、「40～49歳」で「女性」と回答した割合が 64.5%と高くなっている。

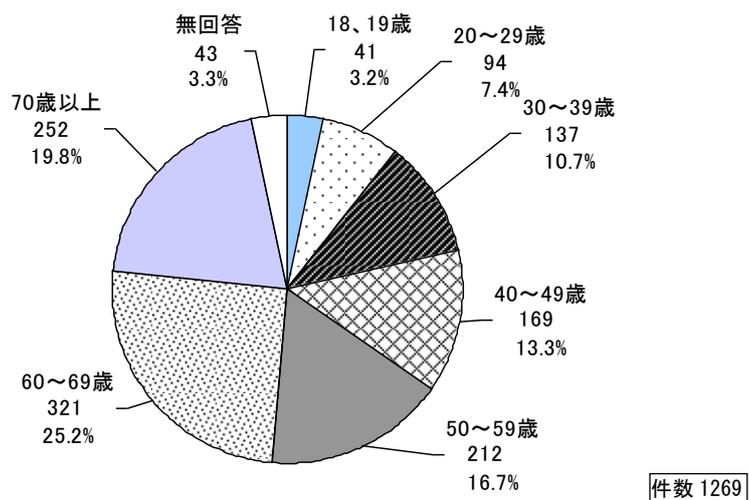
【地区別】



地区別にみると、「大島、神島、神島外、干拓地」で「男性」と回答した割合が 46.7%と高くなっている。

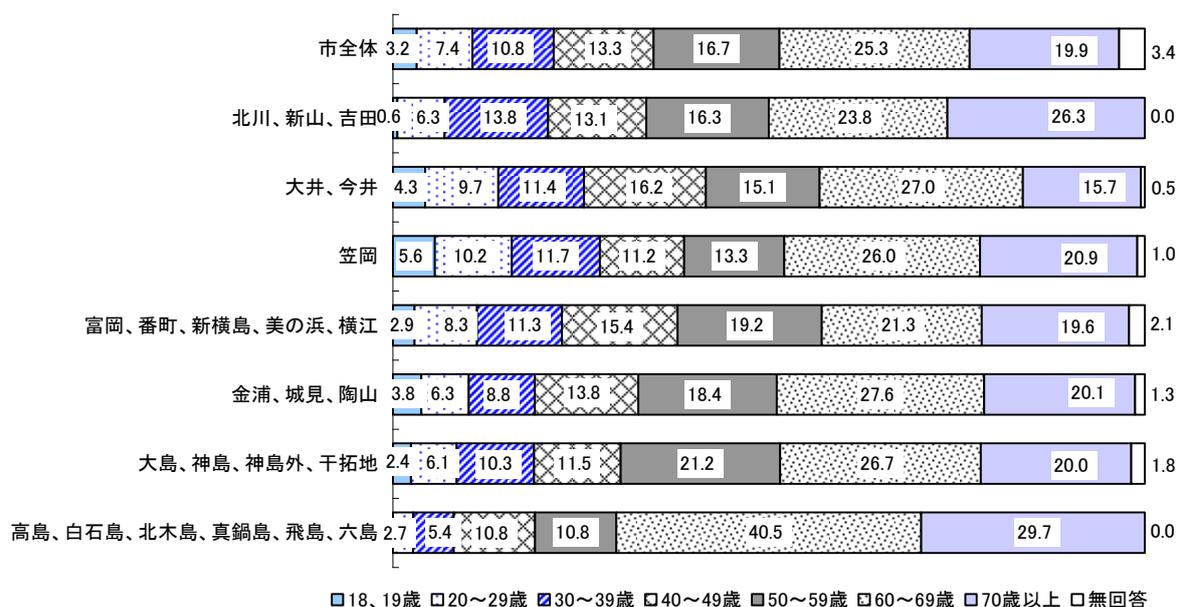
(2) 年齢

(平成24年7月1日現在の満年齢でお答えください)



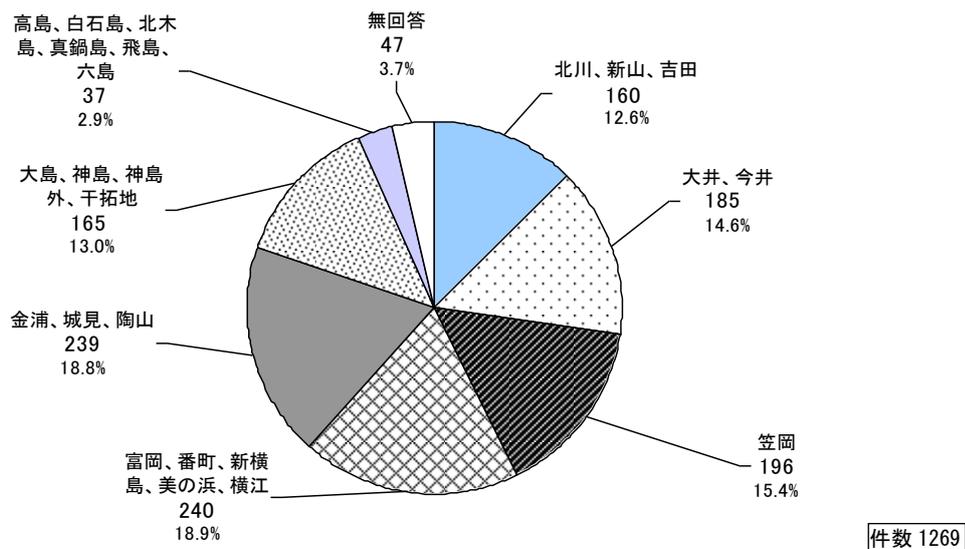
年齢について、「60～69 歳」で 25.3%と回答した割合が最も高く、次いで「70 歳以上」(19.9%)、「50～59 歳」(16.7%)、「40～49 歳」(13.3%)、「30～39 歳」(10.8%) の順となっている。

【地区別】



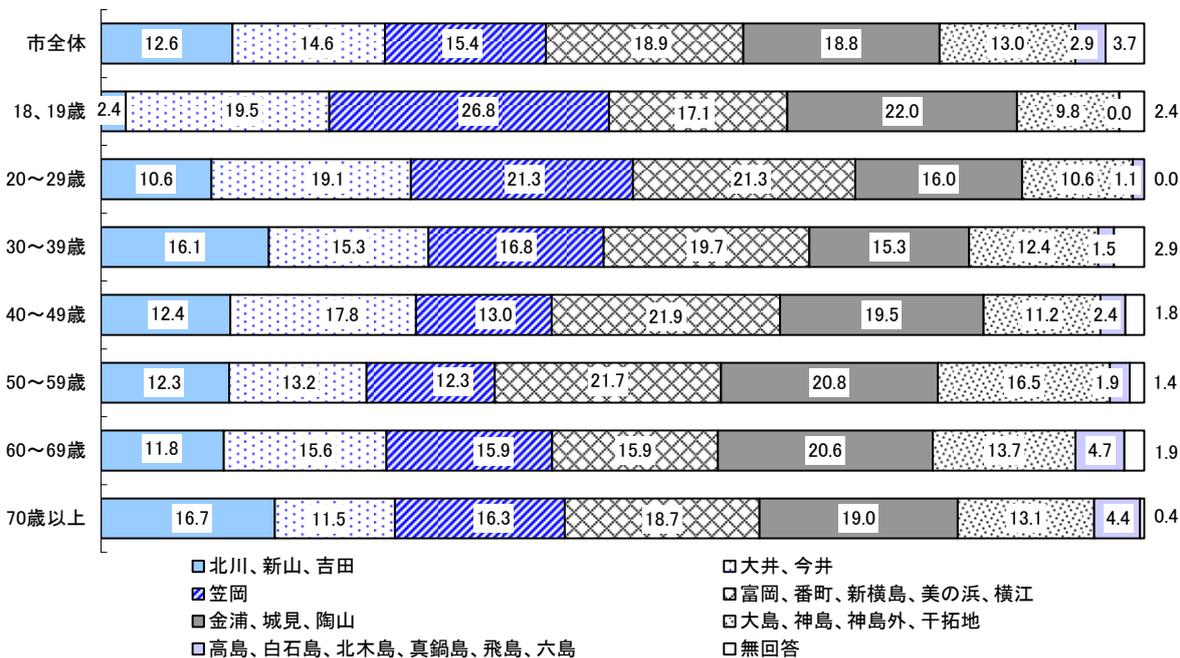
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「60～69 歳」と回答した割合が 40.5%と高く、「40 歳以下」の数値が他の地区に比べて低くなっている。

(3) お住まいの地域について



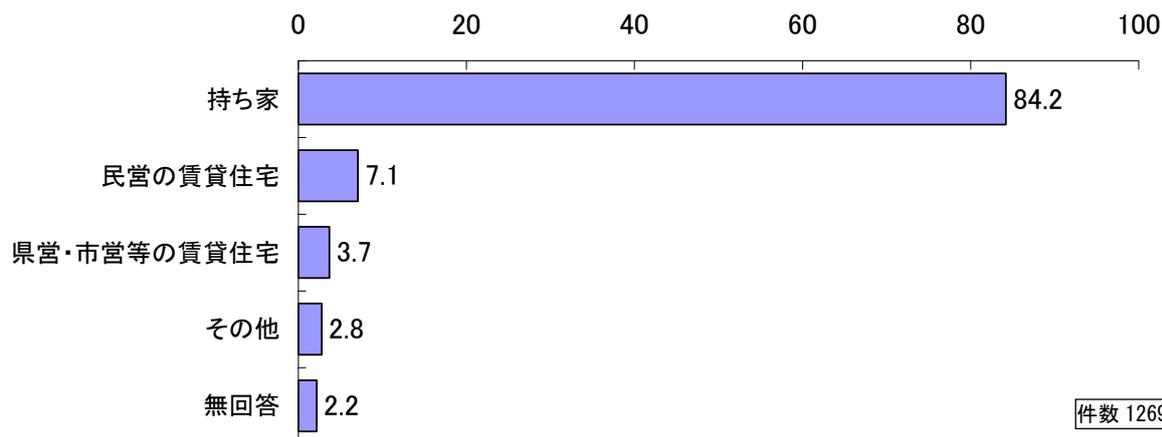
住まいの地域について、「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」と回答した割合が 18.9%と最も高く、次いで「金浦、城見、陶山」(18.8%)、「笠岡」(15.4%)、「大井、今井」(14.6%)、「大島、神島、神島外、干拓地」(13.0%)の順となっている。

【年齢別】



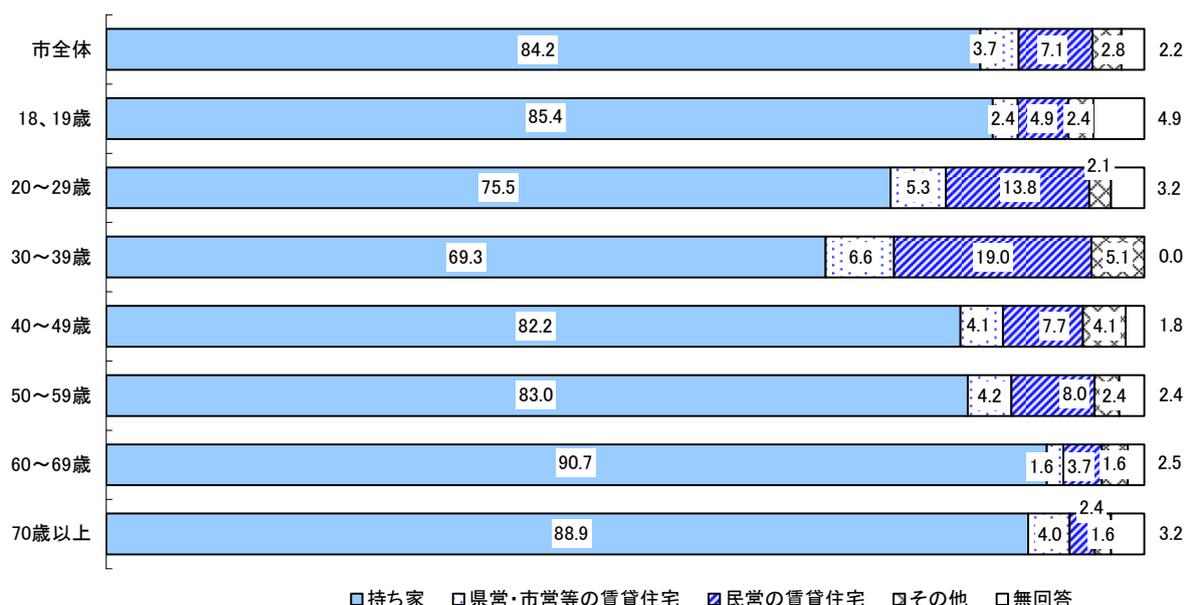
年齢別にみると、「18、19歳」で「笠岡」と回答した割合が 26.8%と高く、「北川、新山、吉田」で 2.4%と低くなっている。

(4) 現在お住まいの住居について



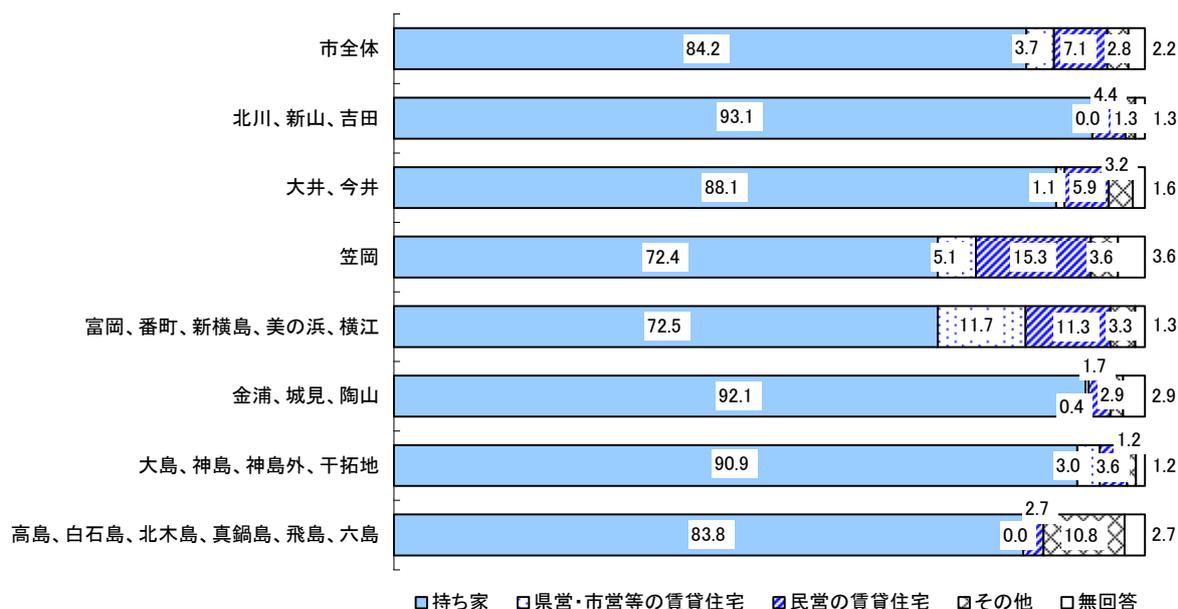
現在の住まいについて、「持ち家」と回答した割合が 84.2%と最も高く、次いで「民営の賃貸住宅」(7.1%)、「県営・市営等の賃貸住宅」(3.7%)、「その他」(2.8%) の順となっている。

【年齢別】



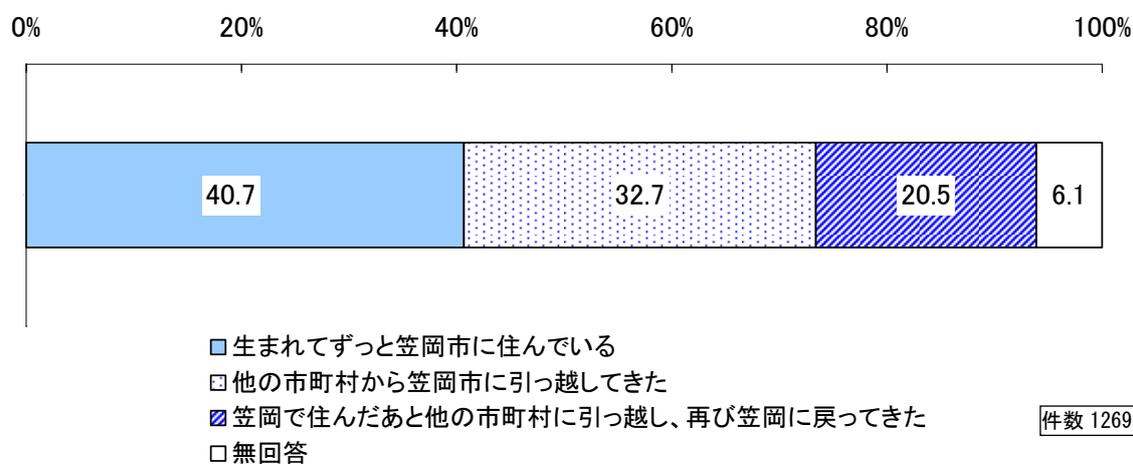
年齢別にみると、「30～39歳」では、「持ち家」と回答した割合が 69.3%と低く、「民営の賃貸住宅」と回答した割合が 19.0%と高くなっている。

【地区別】



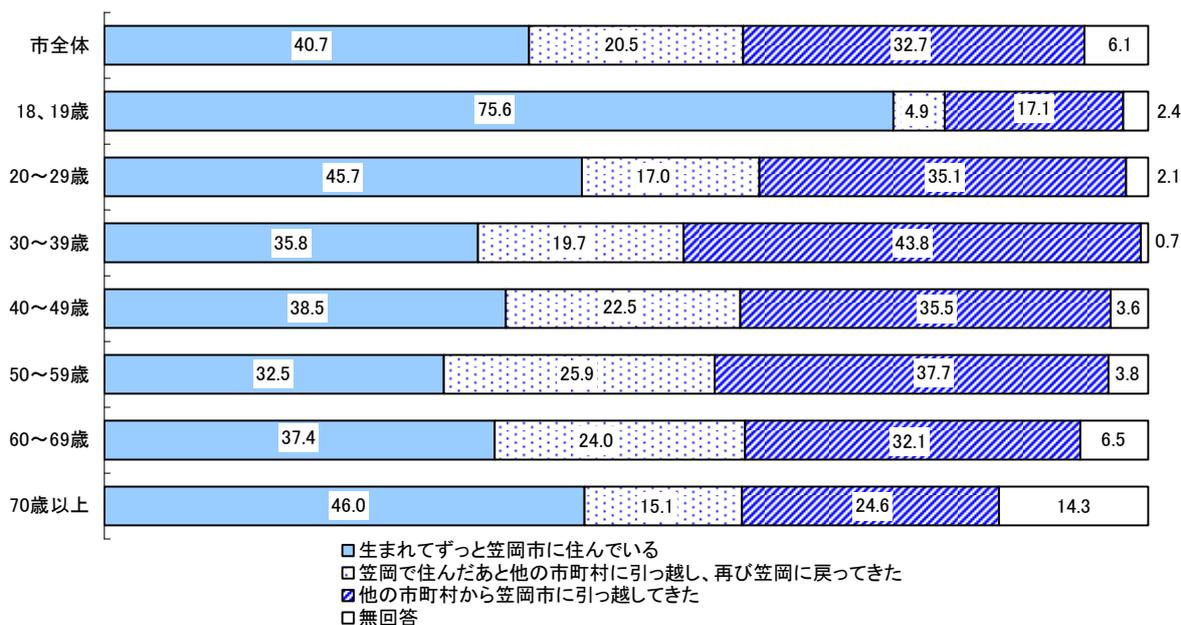
年齢別にみると、「笠岡」「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」で「持ち家」と回答した割合が7割程度と他の地区に比べて低く、「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」では「県営・市営等の賃貸住宅」と回答した割合が11.7%と他の地区に比べて高くなっている。

(5) 笠岡市にお住まいの経緯について



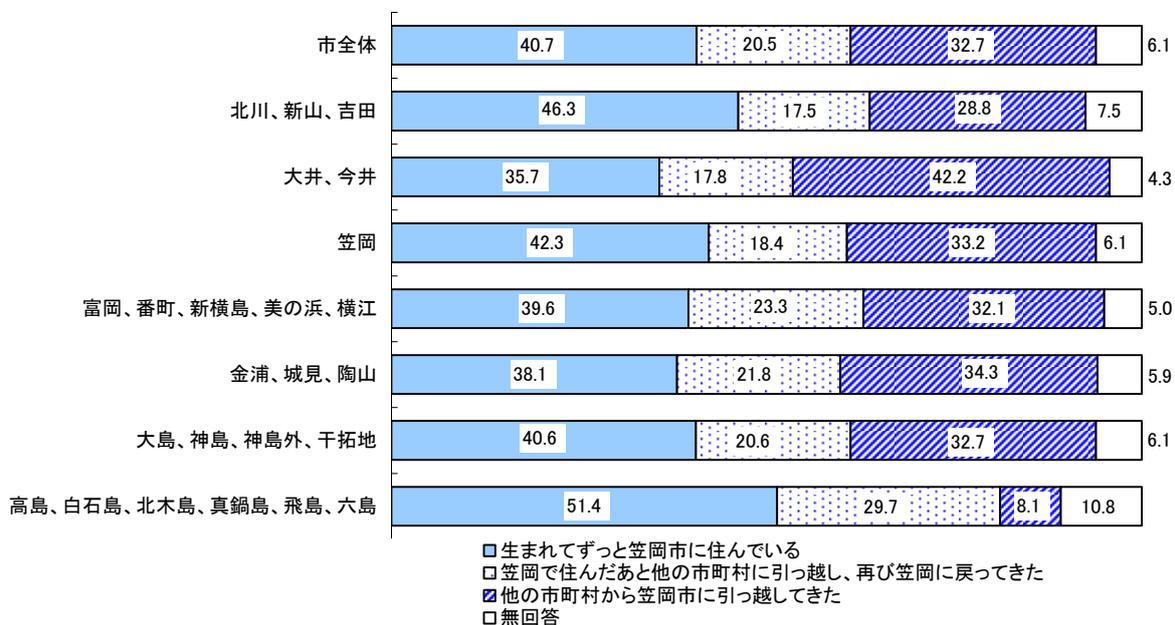
笠岡市内に住んでいる経緯について、「生まれてずっと笠岡市に住んでいる」と回答した割合が40.7%と最も高く、次いで「他の市町村から笠岡市に引っ越してきた」(32.7%)、「笠岡で住んだあと他の市町村に引っ越し、再び笠岡に戻ってきた」(20.5%)の順となっている。

【年齢別】



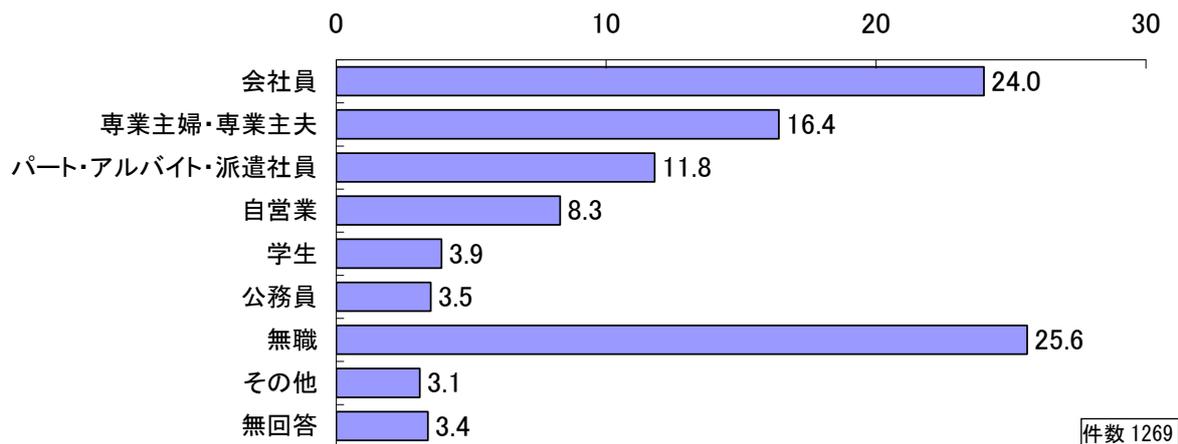
年齢別にみると、「18、19歳」で「生まれてからずっと笠岡市に住んでいる」と回答した割合が75.6%と高くなっている。また、「30～39歳」では「他の市町村から笠岡市に引っ越してきた」（43.8%）と回答した割合が高くなっている。

【地区別】



地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「生まれてからずっと笠岡市に住んでいる」と回答した割合が51.4%と高く、「他の市町村から笠岡市に引っ越してきた」と回答した割合が8.1%と低くなっている。

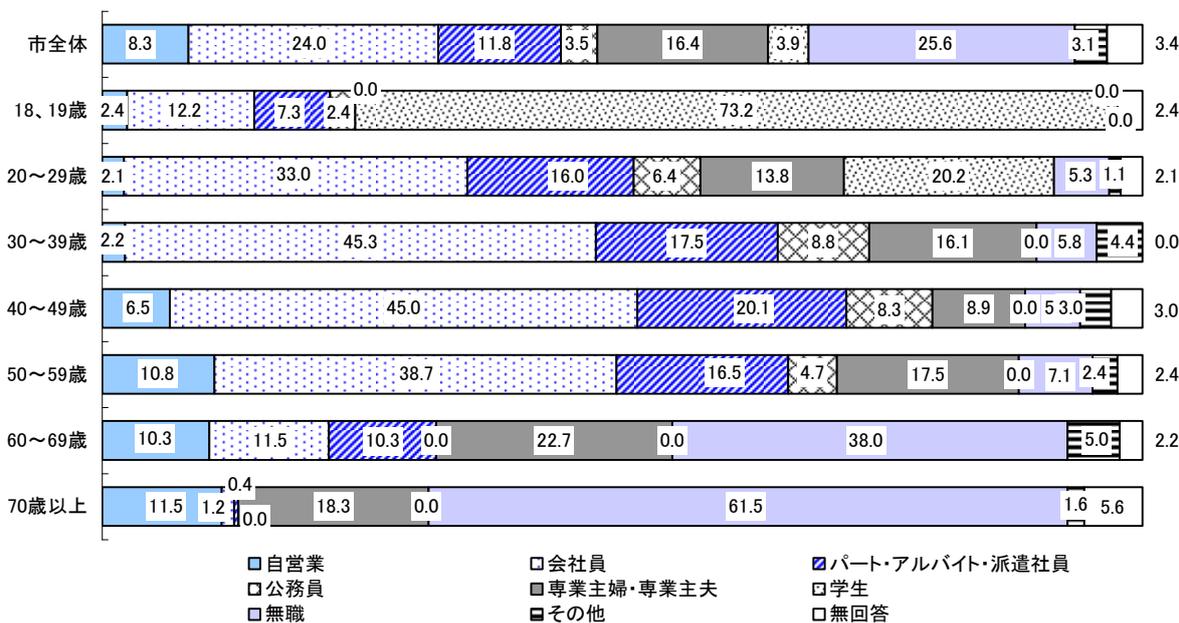
(6) 職業について



現在就いている職業について、「会社員」と回答した割合が 24.0%と高く、次いで「専業主婦・専業主夫」(16.4%)、「パート・アルバイト・派遣社員」(11.8%)、「自営業」(8.3%)、「学生」(3.9%)、「公務員」(3.5%) の順となっている。

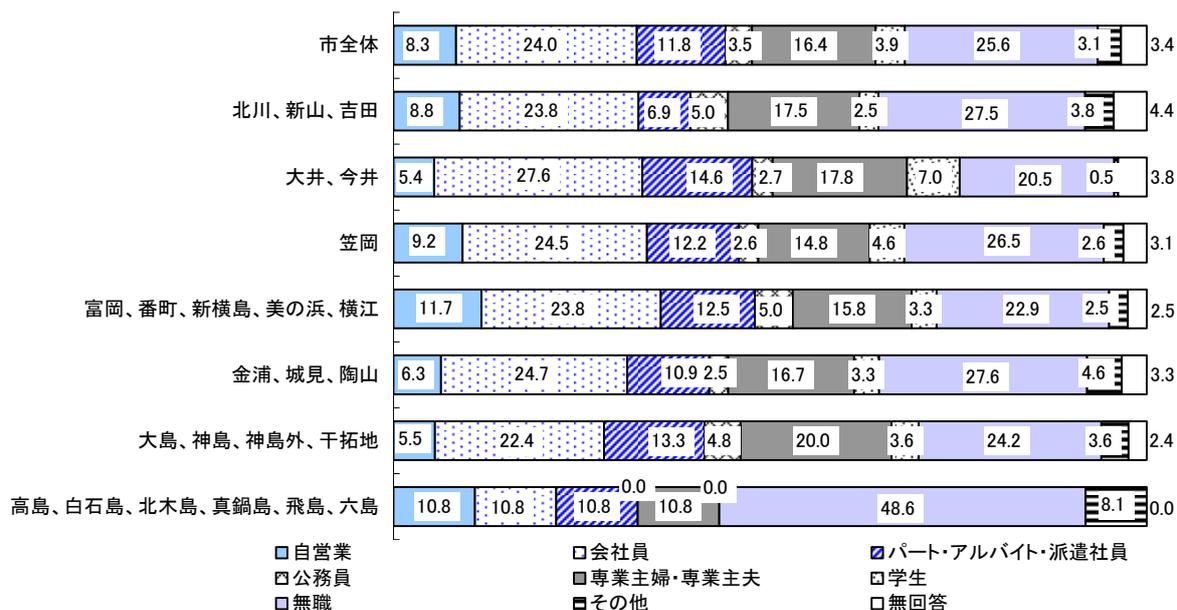
また、「無職」と回答した割合が 25.6%と最も高くなっている。

【年齢別】



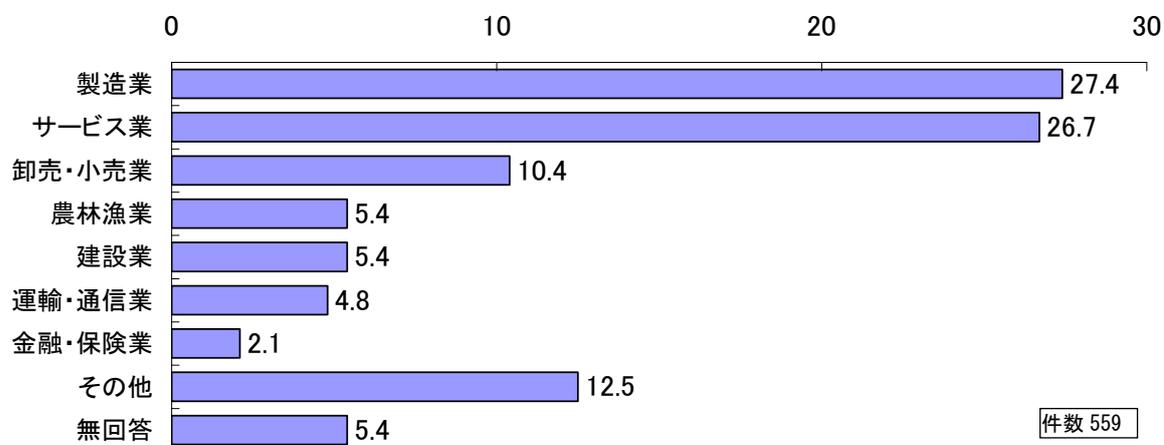
年齢別にみると、「18、19歳」では「学生」、「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」では「会社員」、「60～69歳」「70歳以上」では「無職」と回答した割合がそれぞれ高くなっている。

【地区別】



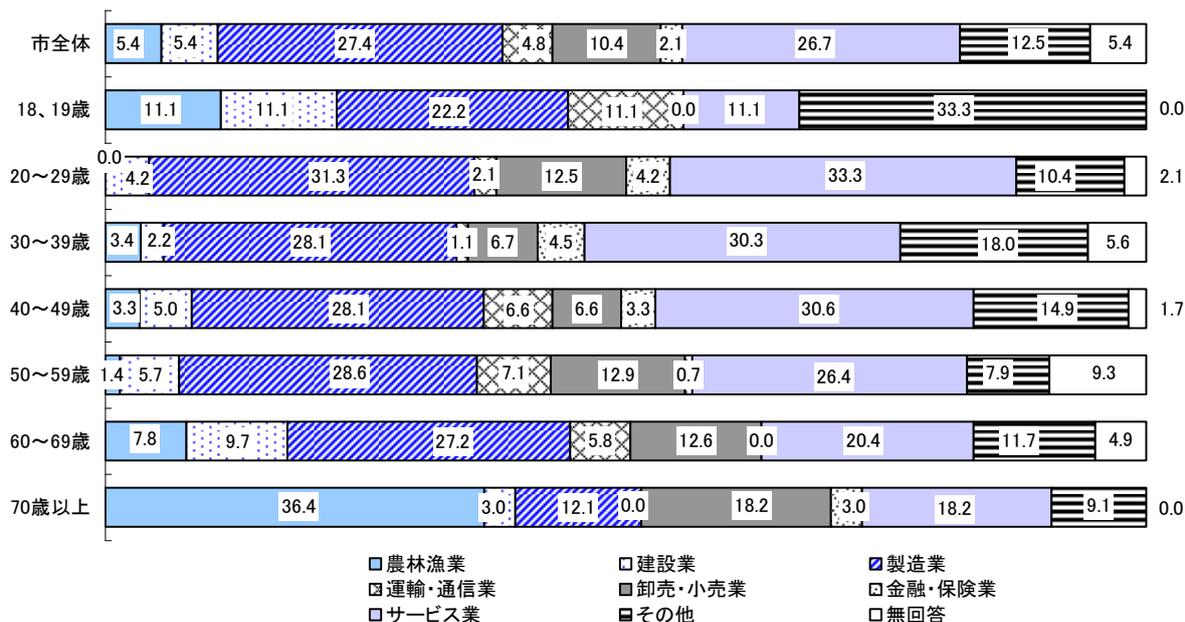
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「無職」と回答した割合が48.6%と高くなっている。また、「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」では「自営業」と回答した割合が11.7%と他の地区に比べて高くなっている。

(7) 【前の質問(6)の中で①~③と答えた方】業種について



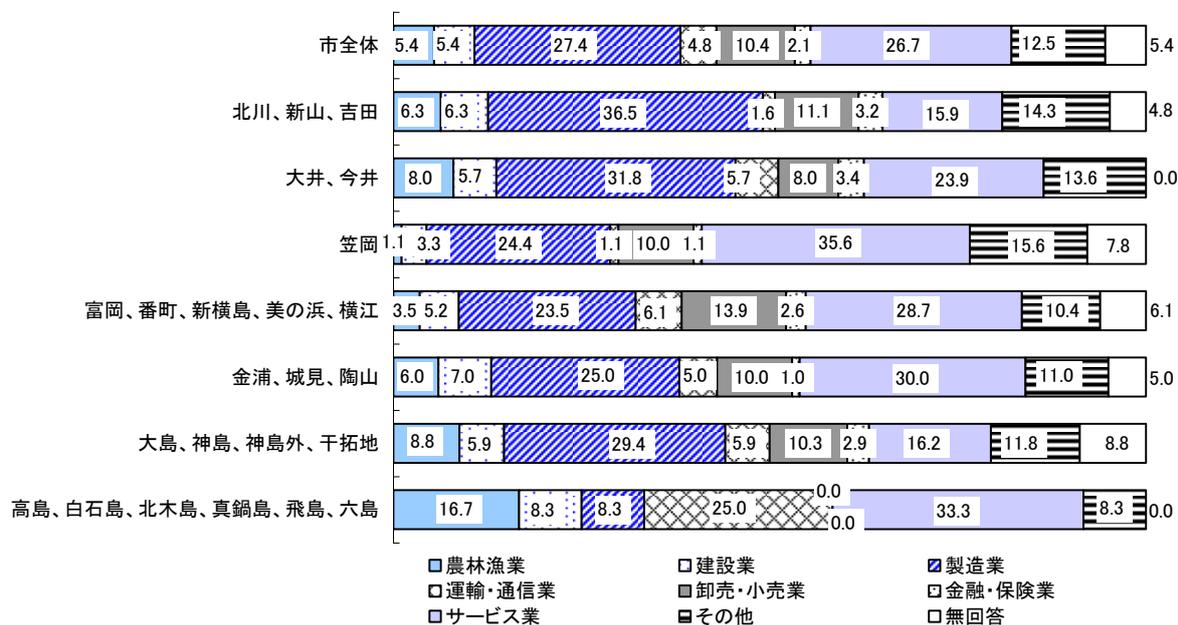
前の設問で「会社員」「自営業」「パート・アルバイト・派遣社員」と回答した人の業種について、「製造業」と回答した割合が27.4%と最も高く、次いで「サービス業」(26.7%)、「卸売・小売業」(10.4%)、「農林漁業」「建設業」(ともに5.4%)の順となっている。

【年齢別】



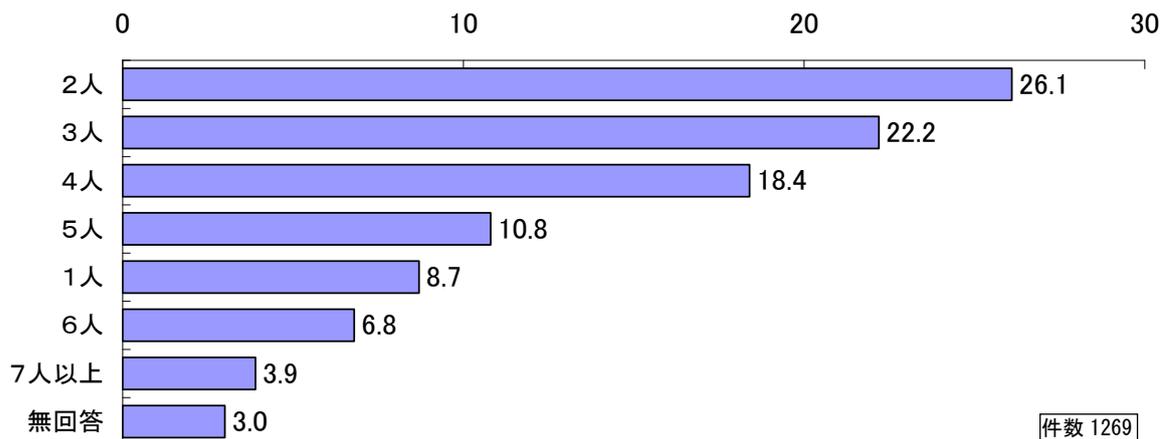
年齢別にみると、「70歳以上」で「農林漁業」と回答した割合が36.4%と高くなっている。また、「20～29歳」で「サービス業」と回答した割合が33.3%と高くなっている。

【地区別】



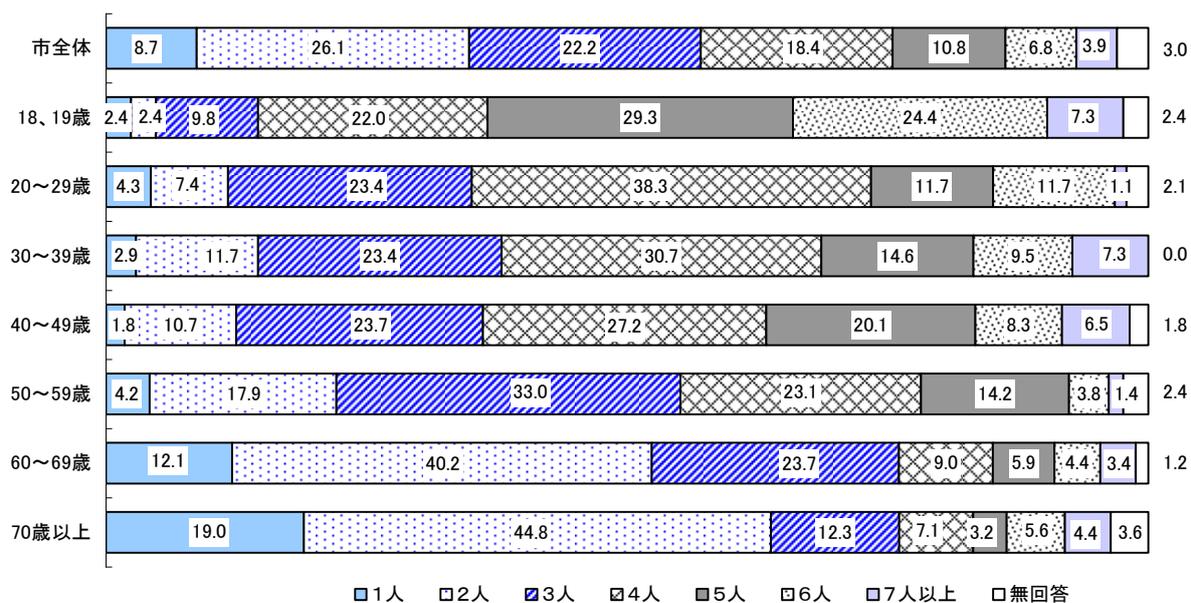
地区別にみると、「北川、新山、吉田」で「製造業」と回答した割合が36.5%と高くなっている。また、「笠岡」では「サービス業」（35.6%）と回答した割合が高くなっている。

⑧ あなたを含む同居の家族は何人ですか？



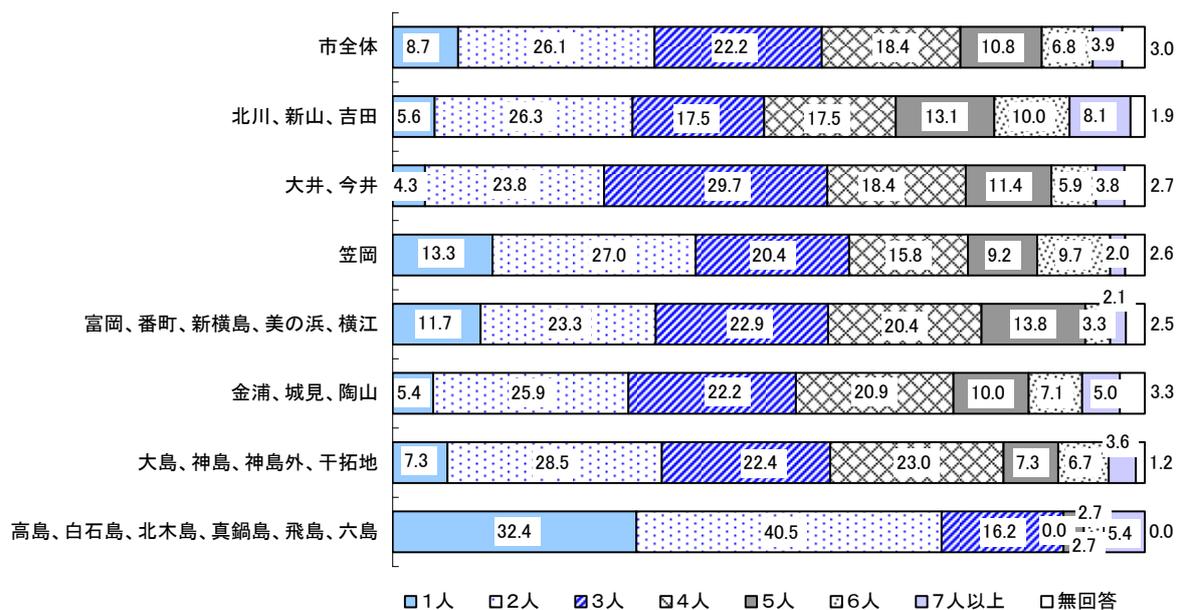
同居の家族の人数について、「2人」と回答した割合が 26.1%と最も高く、次いで「3人」(22.2%)、「4人」(18.4%)、「5人」(10.8%) の順となっている。

【年齢別】



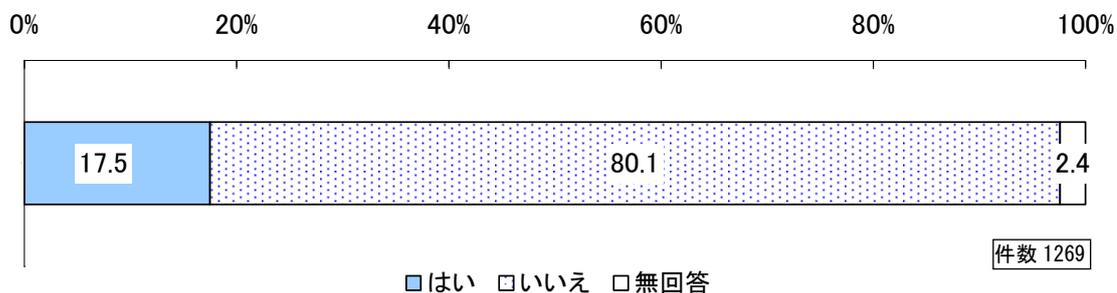
年齢別にみると、「70歳以上」で「2人」と回答した割合が 44.8%と高くなっている。

【地区別】



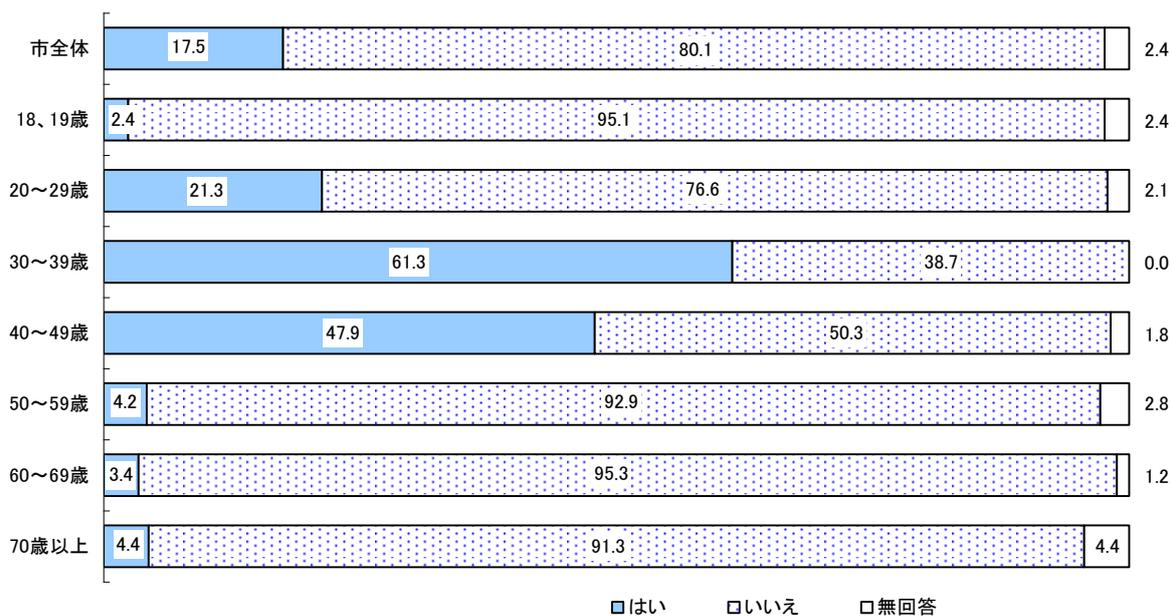
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「2人」と回答した割合が40.5%と高くなっている。

⑨ あなたは、現在中学生以下の子供を育てていますか？



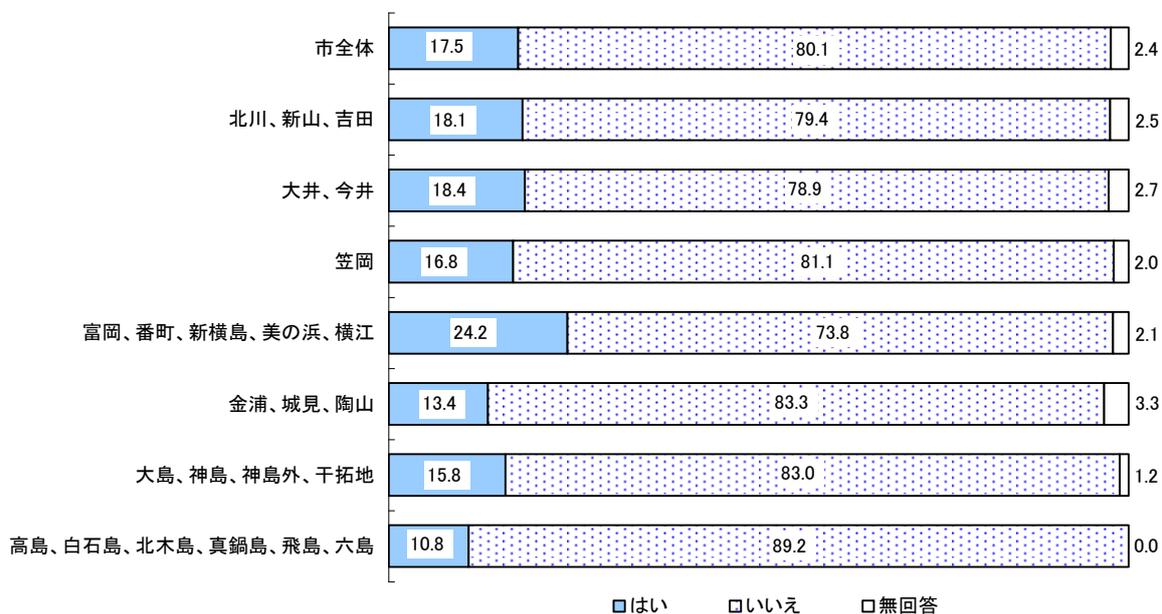
現在中学生以下の子供を育てているかについて、「はい」が17.5%、「いいえ」が80.1%と、「いいえ」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



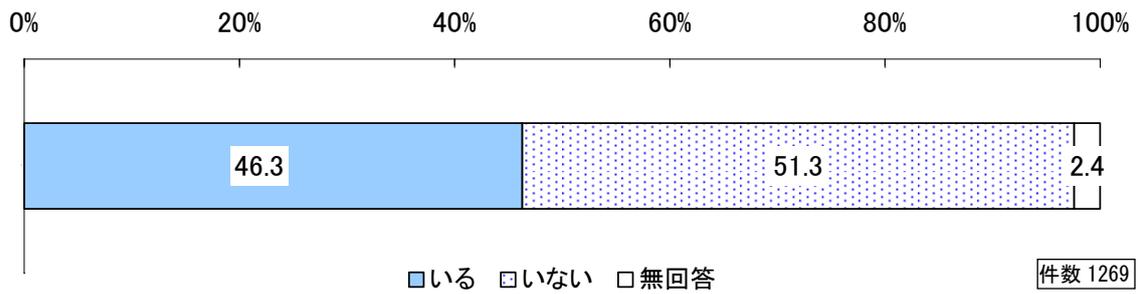
年齢別にみると、「はい」と回答した割合は「30～39歳」が61.3%と最も高く、次いで「40～49歳」(47.9%)、「20～29歳」(21.3%)の順となっている。

【地区別】



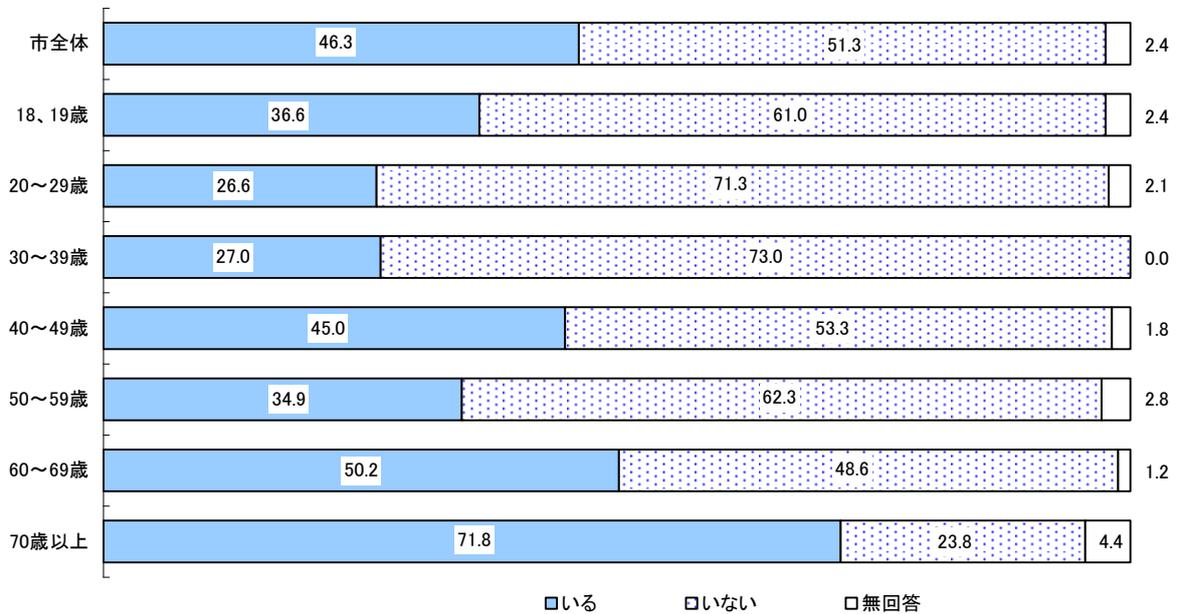
地区別では、「はい」と回答した割合は「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」が24.2%と最も高く、次いで「大井、今井」(18.4%)、「北川、新山、吉田」(18.1%)の順となっている。

(10) 同居の家族(あなた以外)に65歳以上の高齢者がいますか？



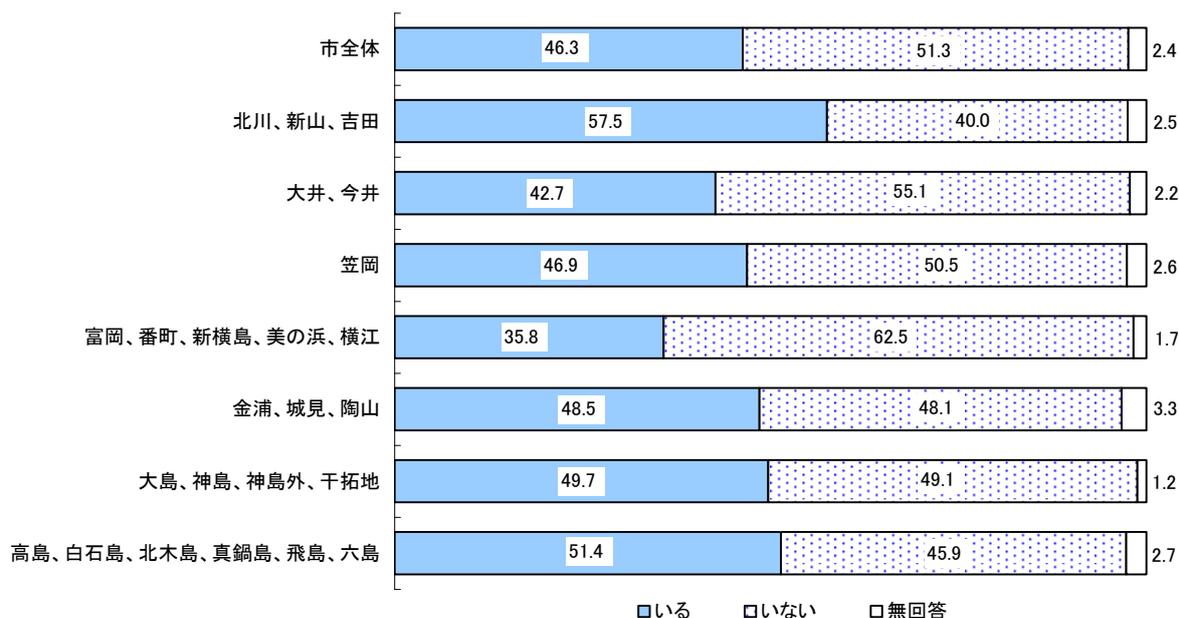
同居の家族に65歳以上の高齢者がいるかについて、「いる」が46.3%、「いない」が51.3%と、「いない」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



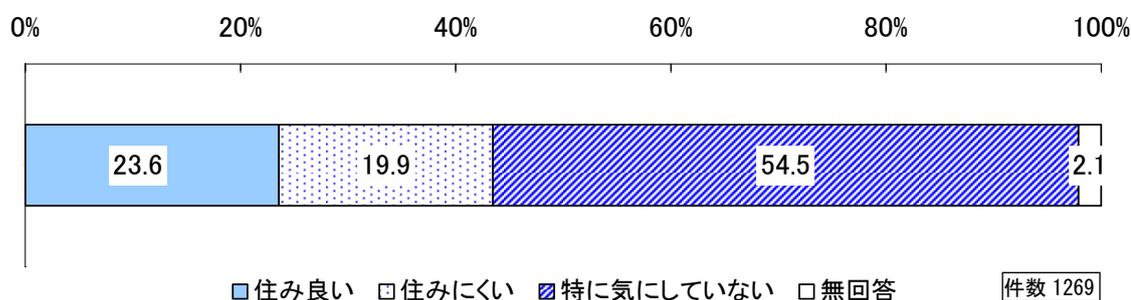
年齢別にみると、「いる」と回答した割合は「70歳以上」が71.8%と高く、次いで「60～69歳」(50.2%)、「40～49歳」(45.0%)の順となっている。

【地区別】

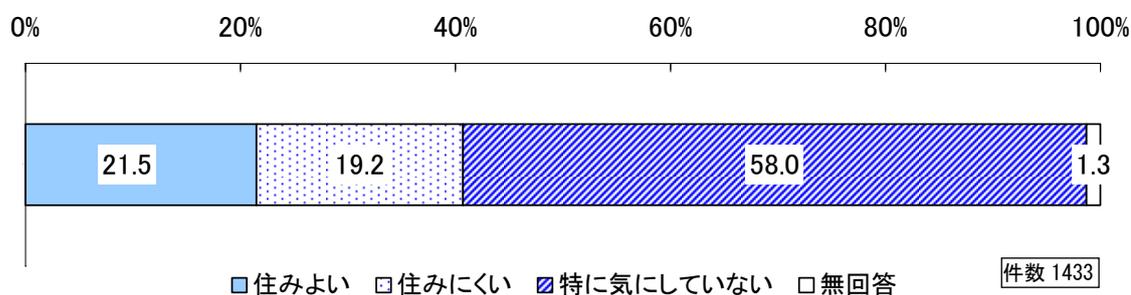


地区別では、「いる」と回答した割合は「北川、新山、吉田」が57.5%と最も高く、次いで「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(51.4%)、「大島、神島、神島外、干拓地」(49.7%)の順となっている。

(13) あなたは、今の笠岡市の住み心地についてどう思いますか？



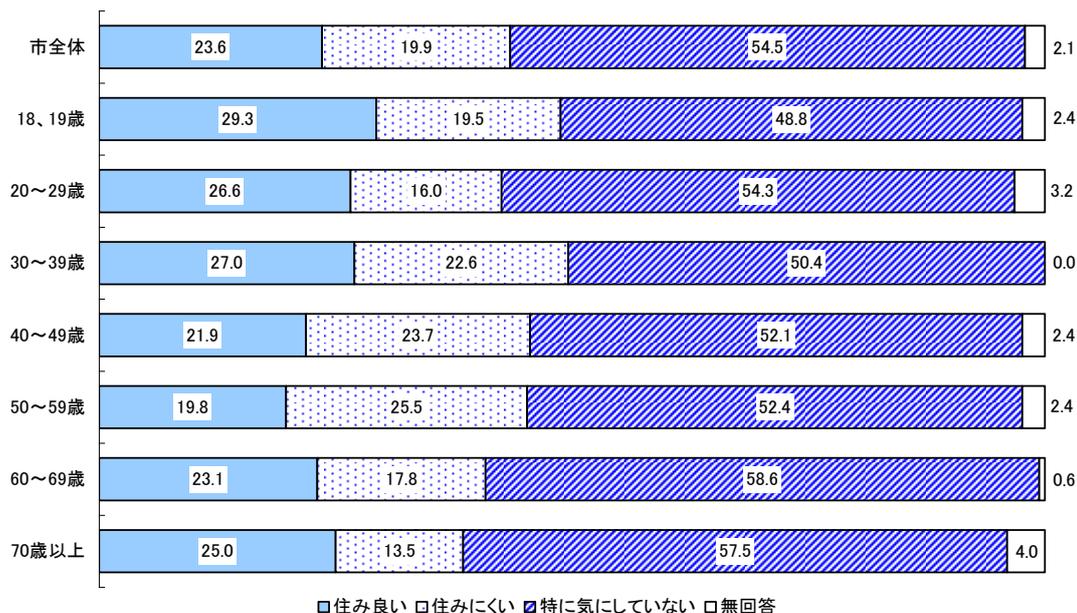
【前回（平成22年調査結果）】



今の笠岡市の住み心地について、「特に気にしていない」と回答した割合が54.5%と最も高く、いで「住み良い」(23.6%)、「住みにくい」(19.9%)の順となっている。

また、前回（平成22年調査結果）に比べ、「住みよい」「住みにくい」と回答した割合が増え、「特に気にしていない」と回答した割合が少なくなっている。

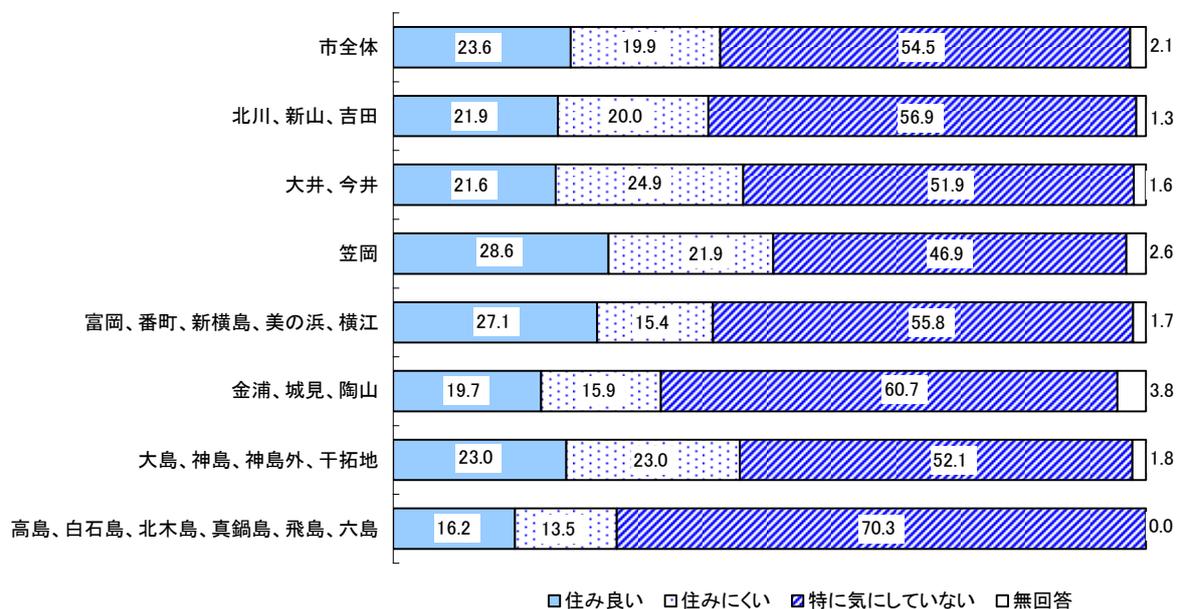
【年齢別】



年齢別にみると、「60～69歳・70歳以上」では「特に気にしていない」と回答した割合が6割程度と高くなっている。

また、「70歳以上」で「住みにくい」と回答した割合が13.5%と低くなっている。

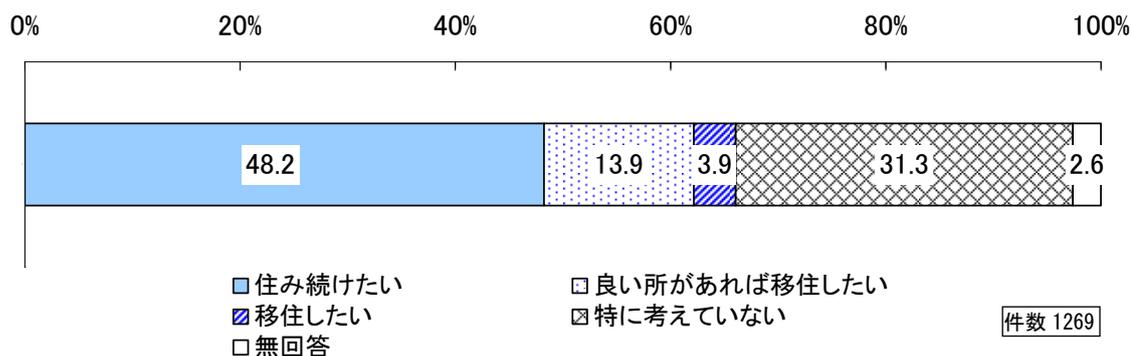
【地区別】



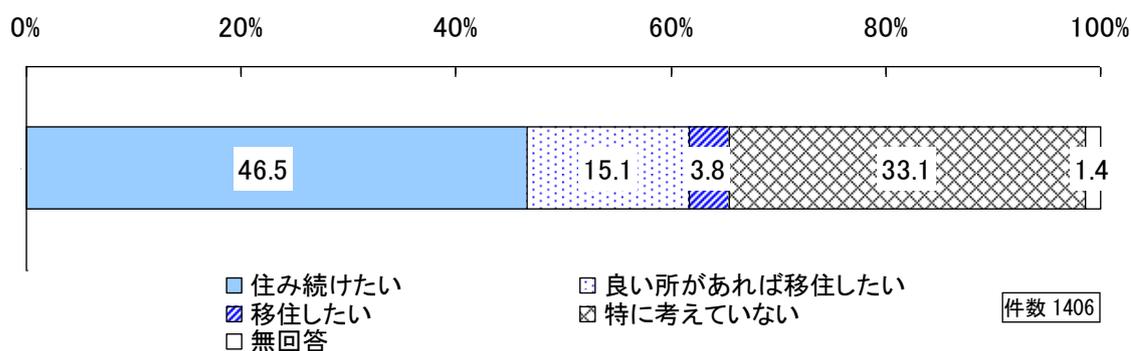
地区別にみると、「笠岡」で「住み良い」と回答した割合が28.6%と最も高く、次いで「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」（27.1%）、「大島、神島、神島外、干拓地」（23.0%）の順となっている。

また、「大井、今井」で「住みにくい」と回答した割合が24.9%と他の地域と比べて高くなっている。

(14) あなたは、これからも笠岡市に住み続けたいですか？



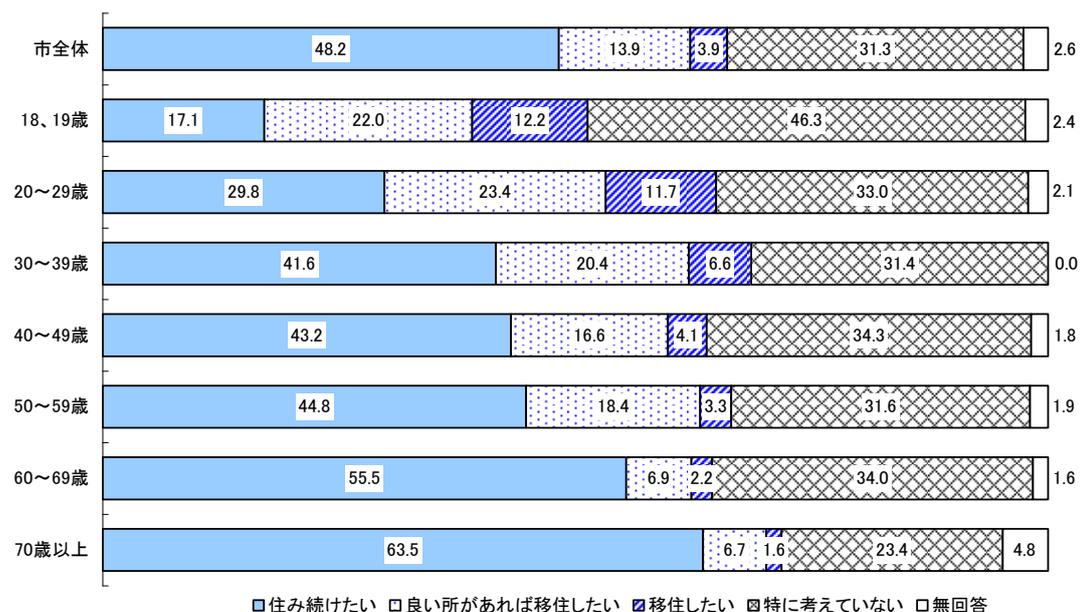
【前回（平成 22 年調査結果）】



これからも笠岡市に住み続けたいかについて、「住み続けたい」と回答した割合が 48.2%と最も高く、次いで「特に考えていない」（31.3%）、「良い所があれば移住したい」（13.9%）、「移住したい」（3.9%）の順となっている。

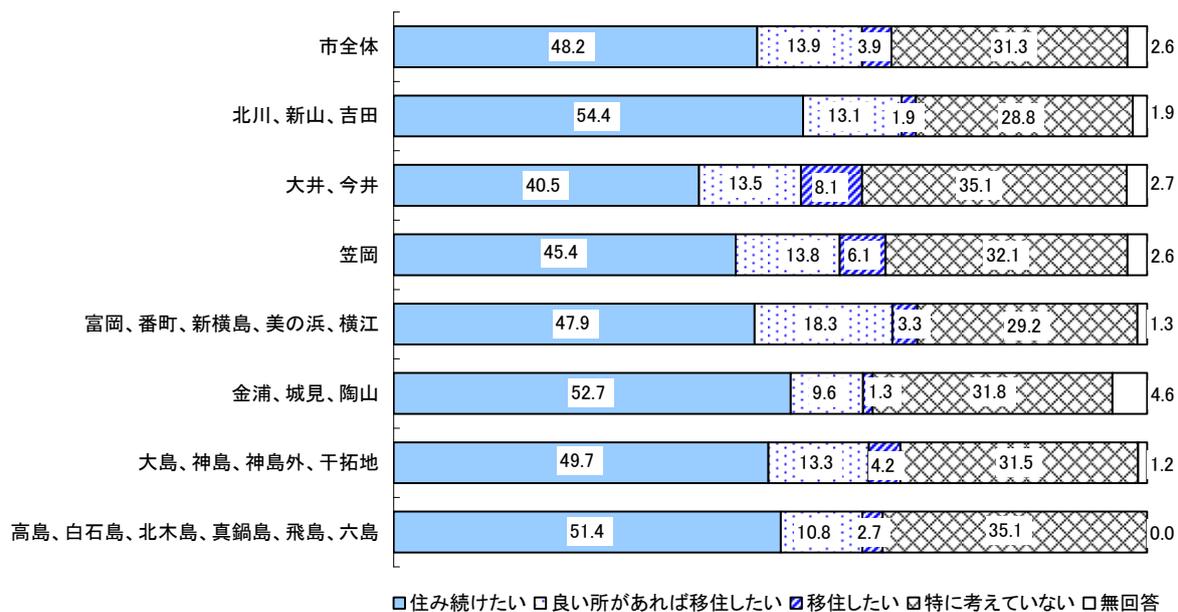
また、前回と比較すると「住み続けたい」と回答した割合が増え、「良い所があれば移住したい」と回答した割合が少なくなっている。

【年齢別】



年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて、「住み続けたい」と回答した割合が高くなっている。

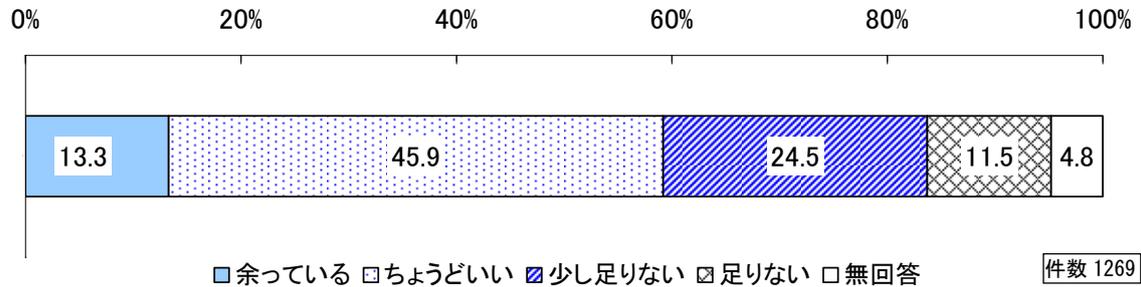
【地区別】



地区別にみると、「住み続けたい」と回答した割合は、「北川、新山、吉田」で54.4%と最も高く、次いで「金浦、城見、陶山」(52.7%)、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(51.4%)の順となっている。

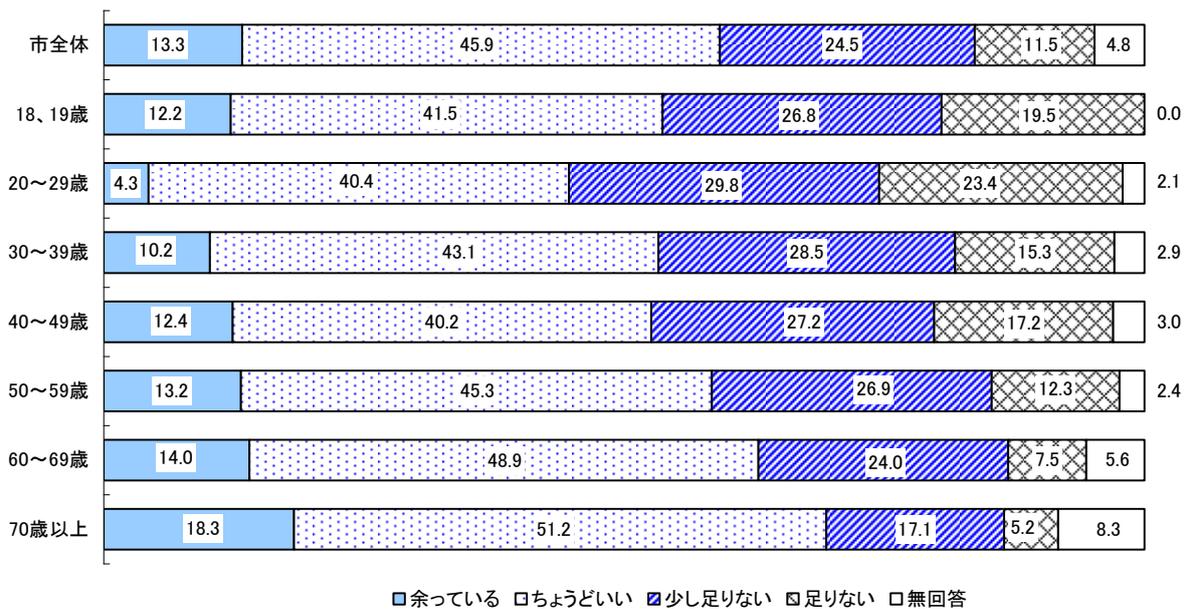
ごみに関するアンケート

(1)あなたは、現在、無料配布しているごみ袋の枚数についてどう思いますか。



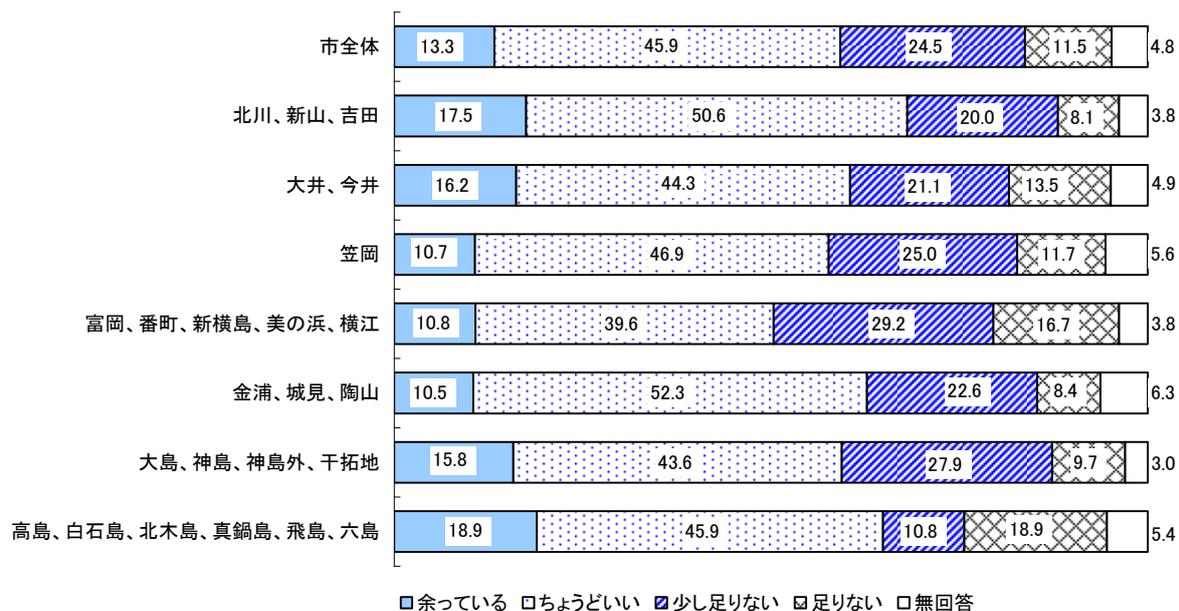
無料配布しているごみ袋の枚数について、「ちょうどいい」と回答した割合が 45.9%と最も高く、次いで「少し足りない」(24.5%)、「余っている」(13.3%)、「足りない」(11.5%)の順となっている。

【年齢別】



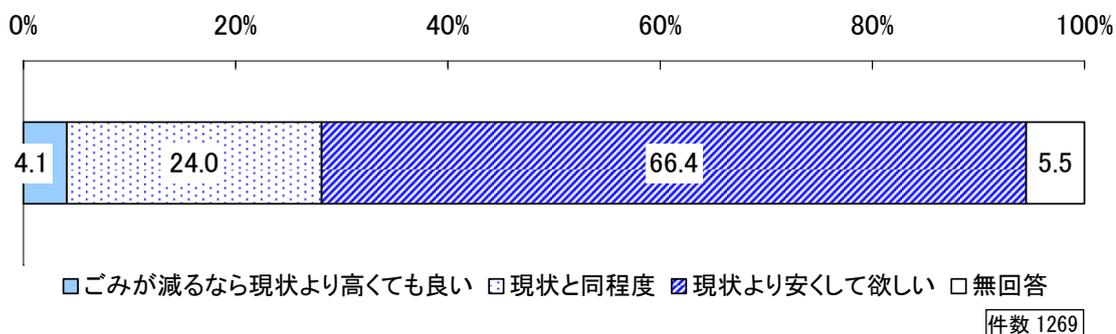
年齢別にみると、「余っている」と回答した割合は「70歳以上」が 18.3%と最も高く、次いで「60～69歳」(14.0%)、「50～59歳」(13.2%)の順となっている。

【地区別】



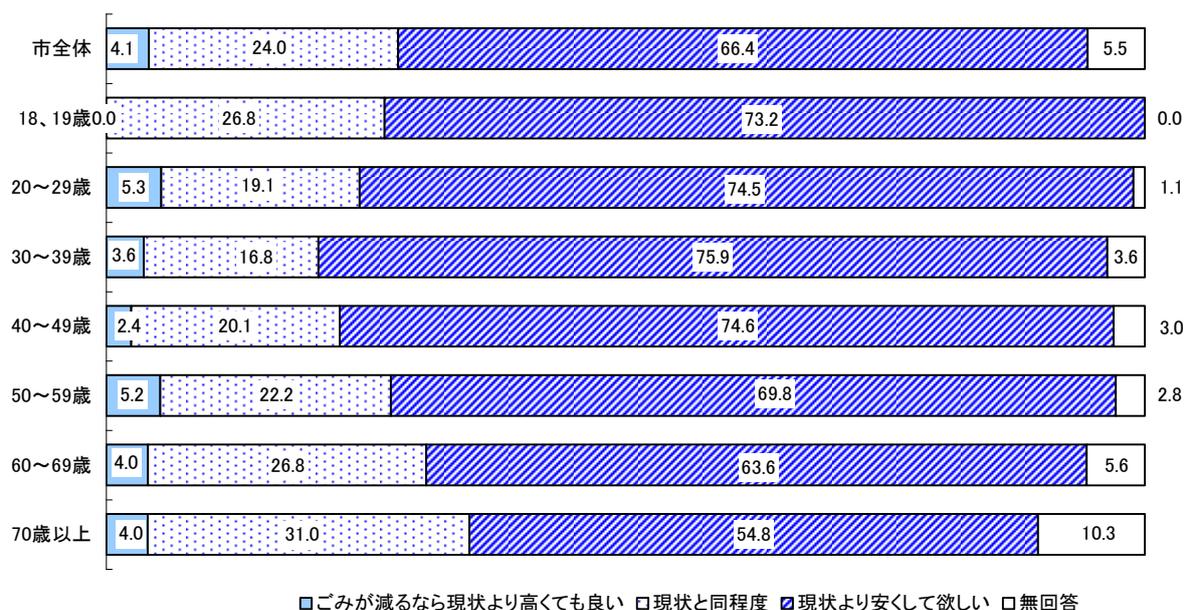
地区別にみると、「余っている」と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が18.9%と最も高く、次いで「北川、新山、吉田」(17.5%)、「大井、今井」(16.2%)の順となっている。

(2)あなたは、将来的にごみ袋を1枚目から購入する制度へ移行した場合、何円ぐらいが妥当と考えますか。



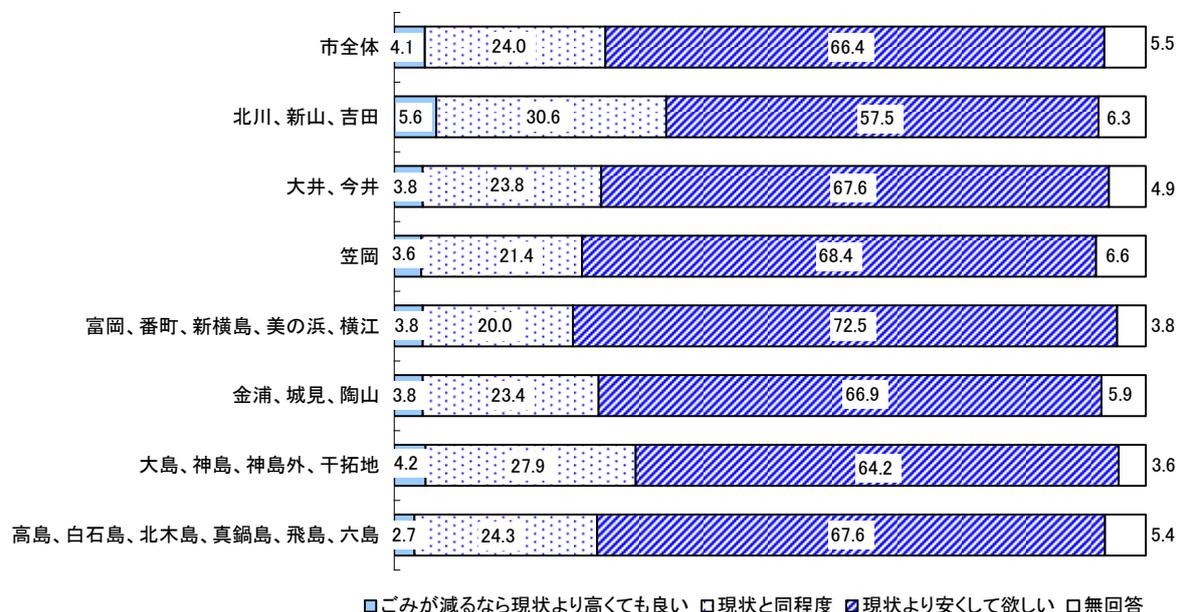
購入する制度へ移行した場合、何円ぐらいが妥当かについて、「現状より安くして欲しい」と回答した割合が66.4%と最も高く、次いで「現状と同程度」(24.0%)、「ごみが減るなら現状より高くても良い」(4.1%)の順となっている。

【年齢別】



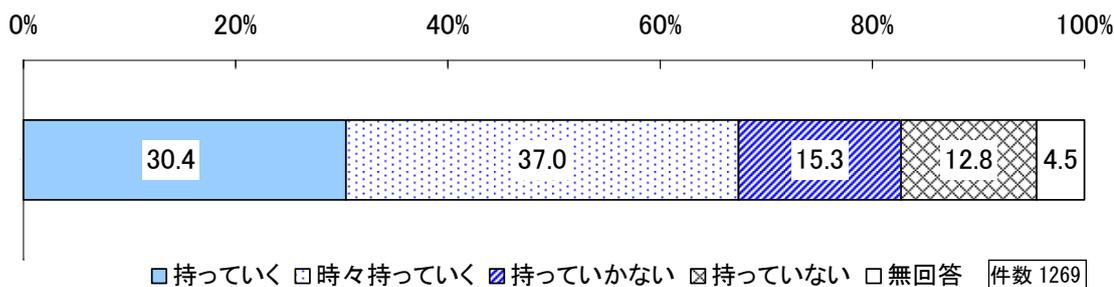
年齢別にみると、「現状より安くして欲しい」と回答した割合は「30～39歳」が75.9%と最も高く、次いで「40～49歳」（74.6%）、「20～29歳」（74.5%）の順となっている。

【地区別】



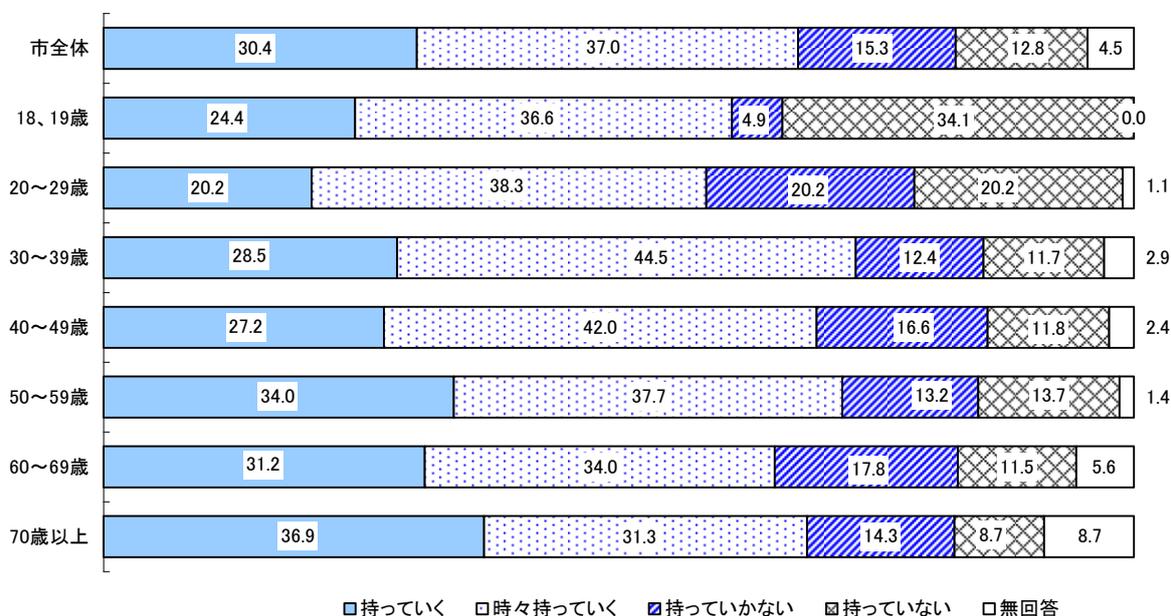
地区別にみると、「現状より安くして欲しい」と回答した割合は「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」が72.5%と最も高く、次いで「笠岡」（68.4%）、「大井、今井」「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」（ともに67.6%）の順となっている。

(3) あなたは、スーパー等への買い物時にマイバッグを持参していますか。



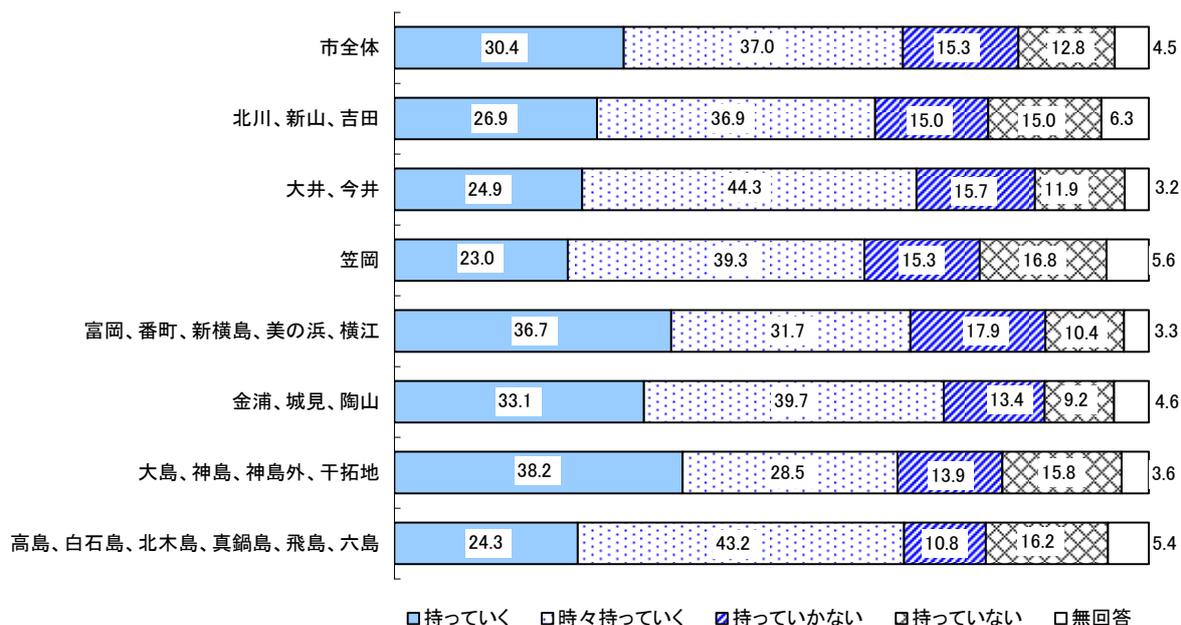
買い物時にマイバッグを持参しているかについて、「時々持っていく」と回答した割合が37.0%と最も高く、次いで「持っていく」(30.4%)、「持っていない」(15.3%)、「持っていない」(12.8%)の順となっている。

【年齢別】



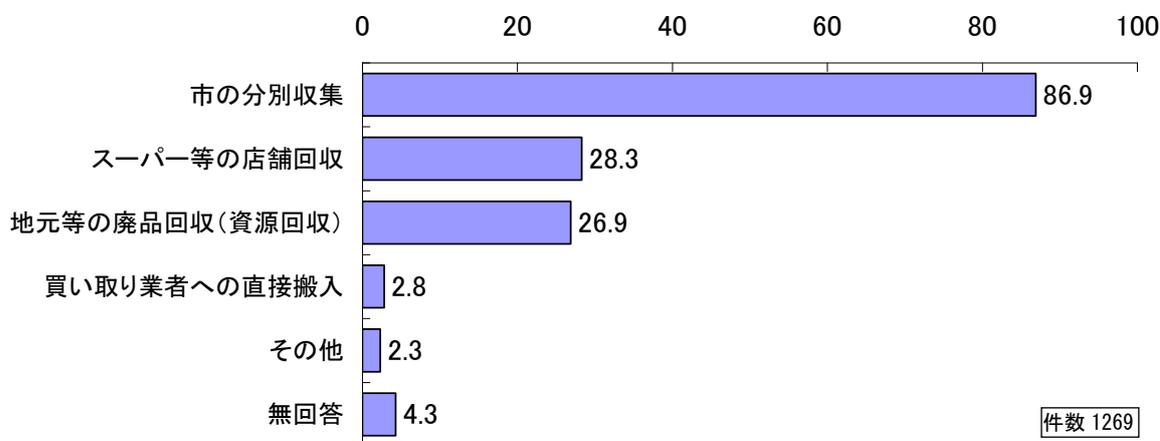
年齢別にみると、「30～39歳」で「時々持っていく」と回答した割合が44.5%と高くなっている。また、「18、19歳」では「持っていく」と回答した割合が34.1%と高くなっている。

【地区別】



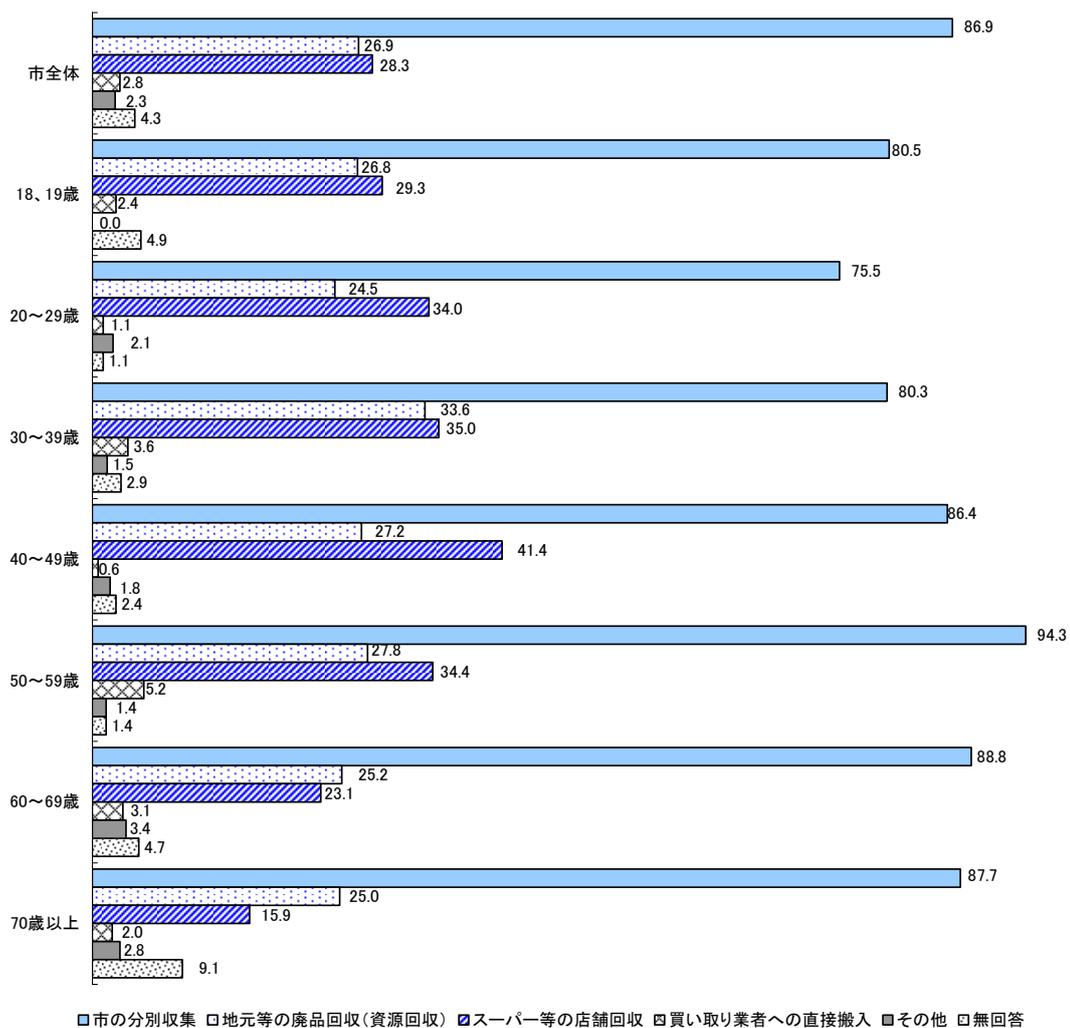
地区別にみると、「持って行く」と回答した割合は「大島、神島、神島外、干拓地」が38.2%と最も高く、次いで「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」(36.7%)、「金浦、城見、陶山」(33.1%)の順となっている。

(5) あなたは、家の資源ごみをどのように出していますか。



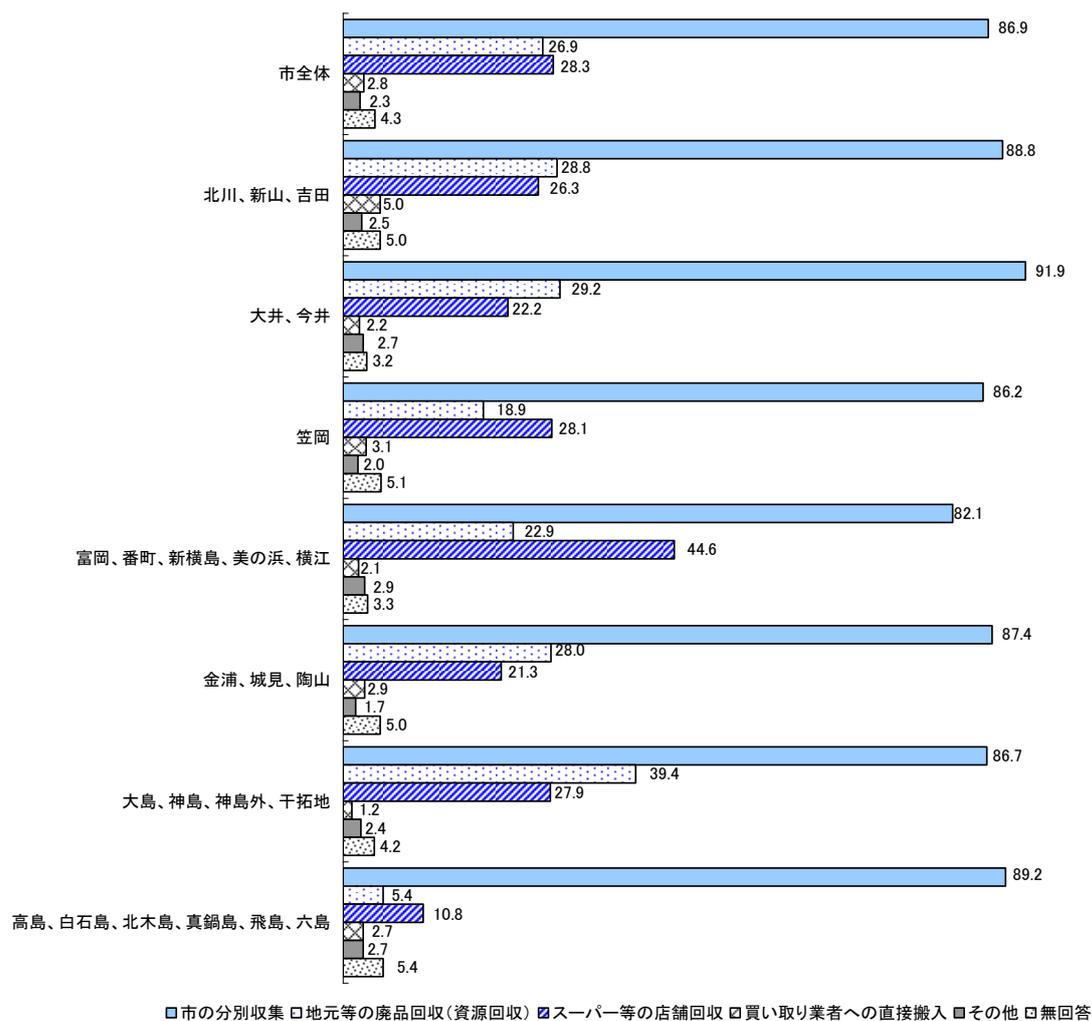
家の資源ごみをどのように出しているかについて、「市の分別収集」と回答した割合が86.9%と最も高く、次いで「スーパー等の店舗回収」(28.3%)、「地元等の廃品回収(資源回収)」(26.9%)の順となっている。

【年齢別】



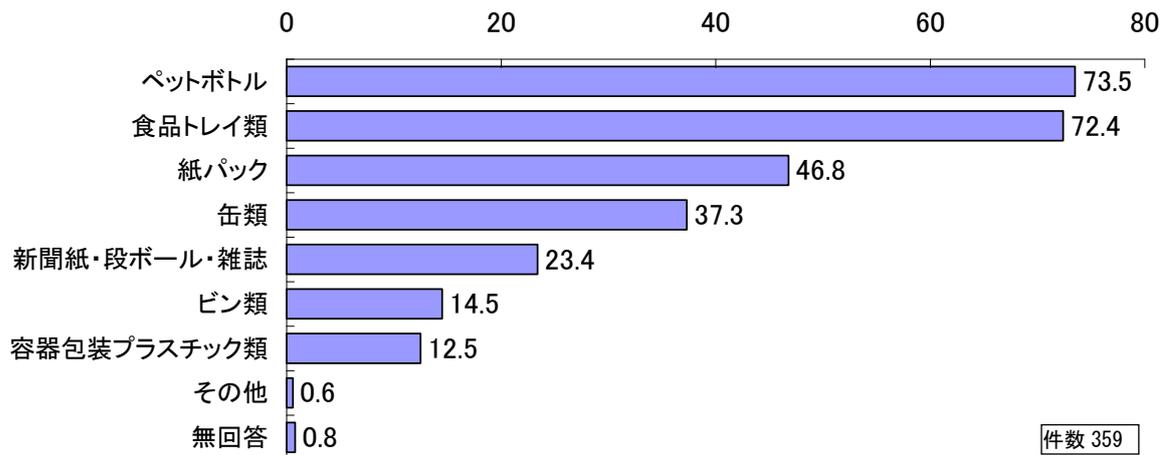
年齢別にみると、どの年齢層においても「市の分別収集」と回答した割合が高くなっている。また「40～49歳」では「スーパー等の店舗回収」と回答した割合が41.4%と他の年齢層に比べて高くなっている。

【地区別】



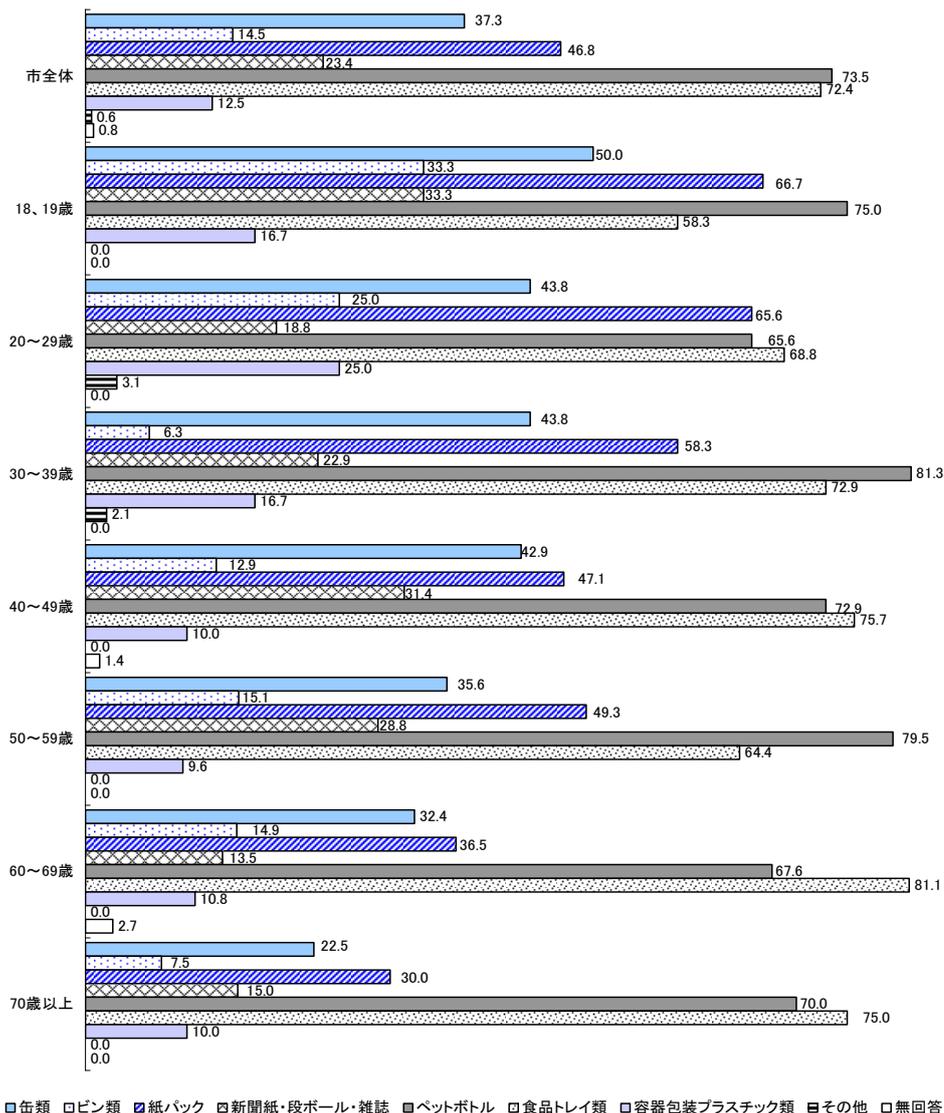
地区別にみると、どの地区においても「市の分別収集」と回答した割合が高くなっている。また「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」では「スーパー等の店舗回収」と回答した割合が44.6%と他の年齢層に比べて高くなっている。

(5)で「③スーパー等の店舗回収」を選んだ方に伺います。スーパー等の店舗回収ではどの品目を利用してありますか。該当する番号全てに○をつけてください。



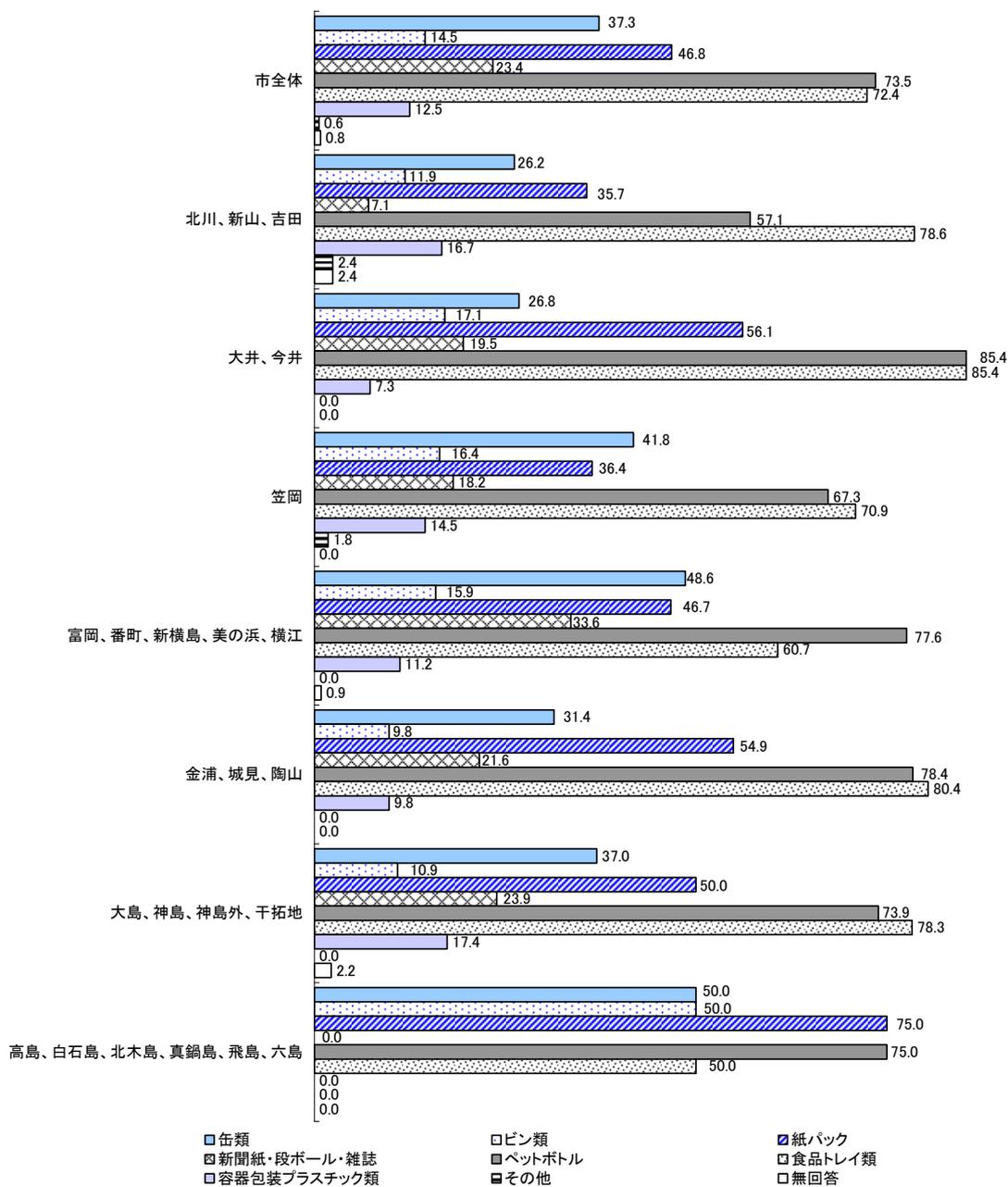
スーパー等の店舗回収ではどの品目を利用しているかについて、「ペットボトル」と回答した割合が 73.5%と最も高く、次いで「食品トレイ類」(72.4%)、「紙パック」(46.8%)、「缶類」(37.3%)の順となっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「18、19 歳」「20～29 歳」では、「新聞紙・段ボール・雑誌」と回答した割合が 6 割以上と高くなっている。また、年齢が高くなるにつれて「缶類」と回答した割合が低くなる傾向にある。

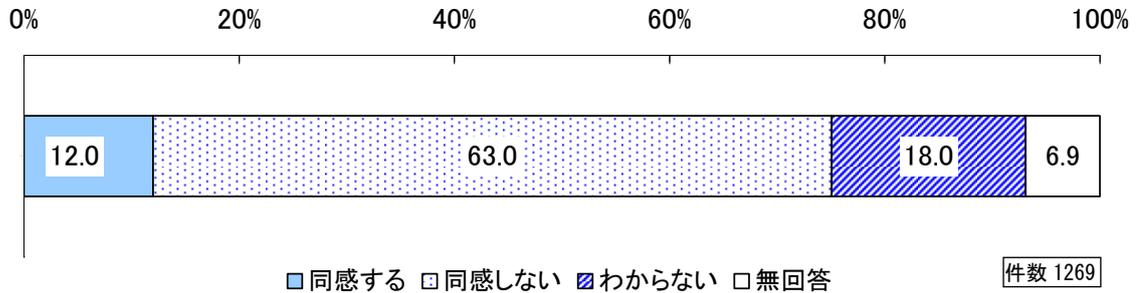
【地区別】



地区別にみると、「北川、新山、吉田」では「ペットボトル」と回答した割合が 57.1%と他の地区に比べて低くなっている。また、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」では「食品トレイ類」と回答した割合が 50.0%と他の地区に比べて低くなっている。

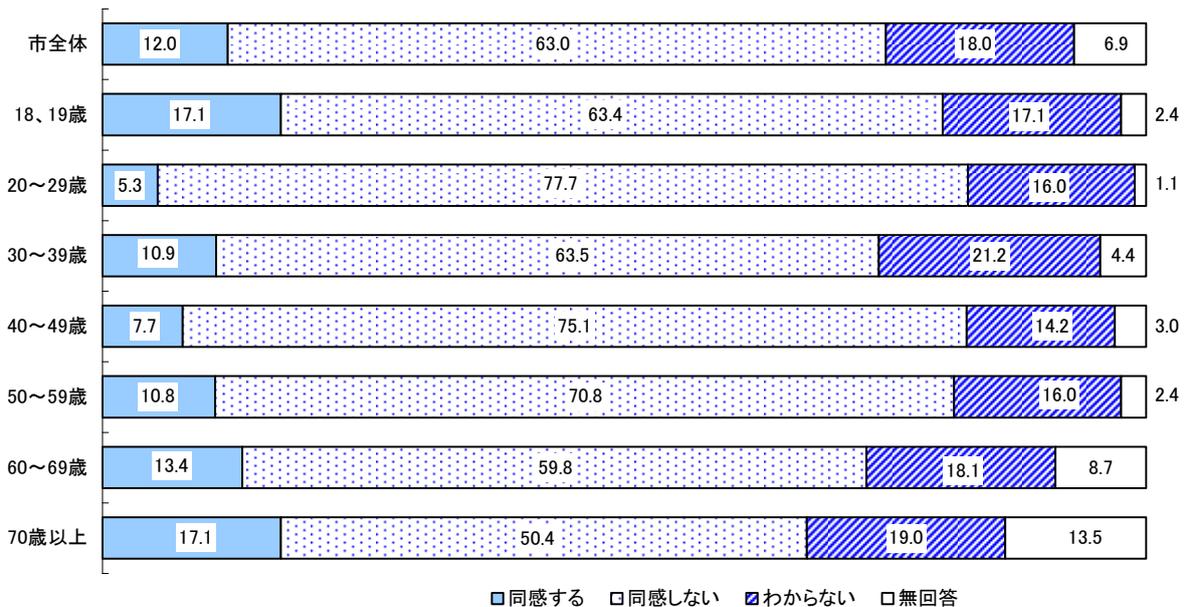
人権に関するアンケート

(1)「男は仕事、女は家庭」という考え方をどう思いますか。



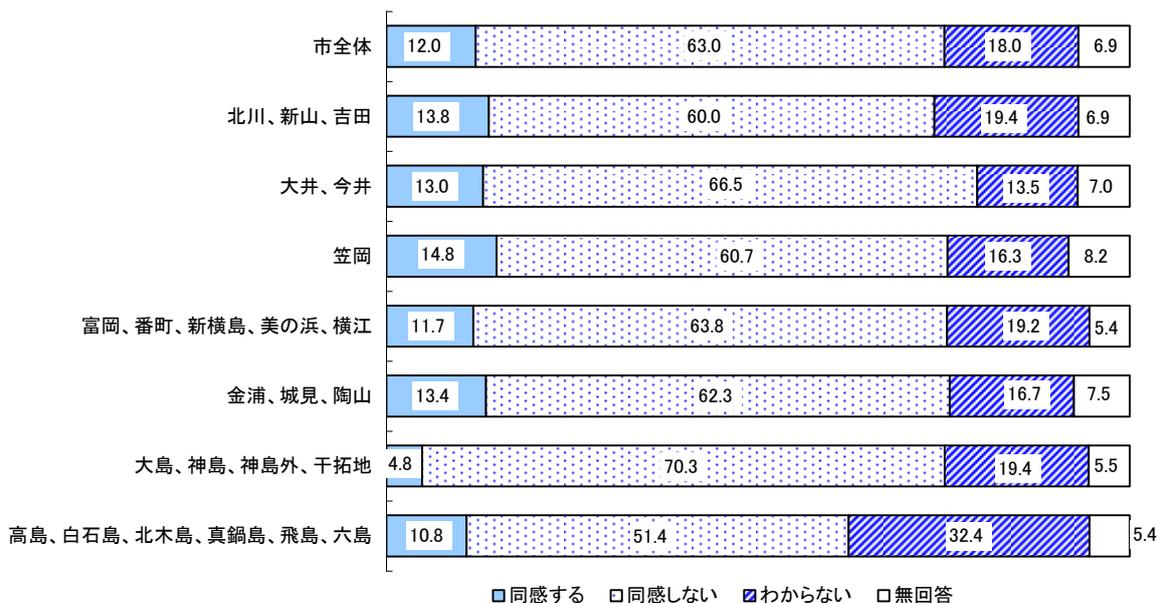
「男は仕事、女は家庭」という考え方をどう思うかについて、「同意しない」と回答した割合が63.0%と最も高く、次いで「わからない」(18.0%)、「同意する」(12.0%)の順となっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「同意する」と回答した割合は、「18、19歳」「70歳以上」でそれぞれ17.1%と他の年齢層に比べて高くなっている。

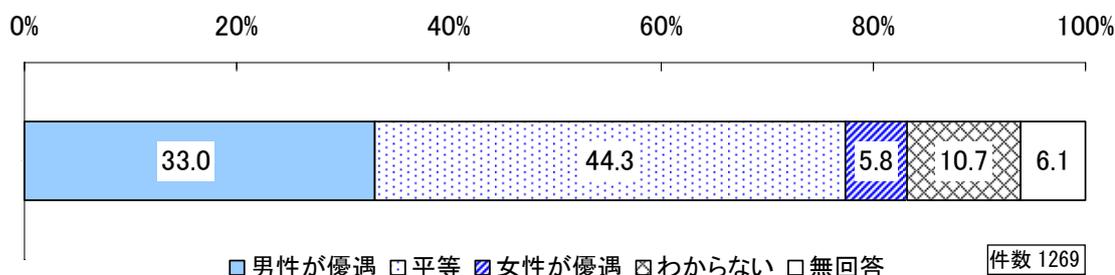
【地区別】



地区別にみると、「同意する」と回答した割合は「大島、神島、神島外、干拓地」が4.8%と他の地区と比べて低くなっている。また「わからない」と回答した割合は、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が32.4%と他の地区に比べて高くなっている。

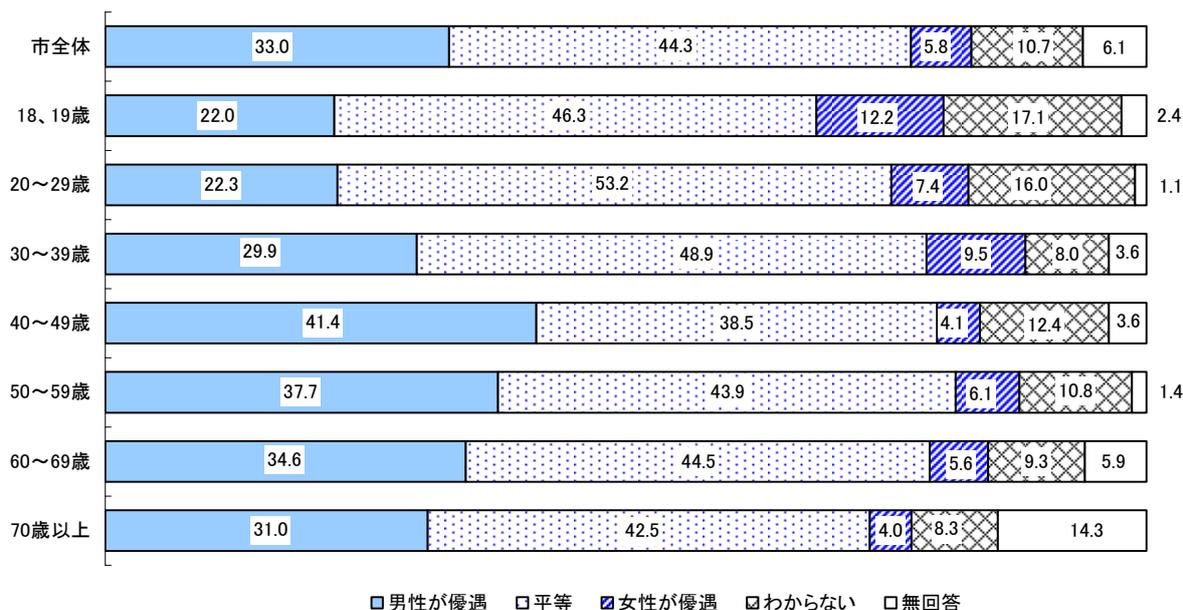
(2) あなたは、次の各分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。次の各項目についてあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

<家庭の中で>



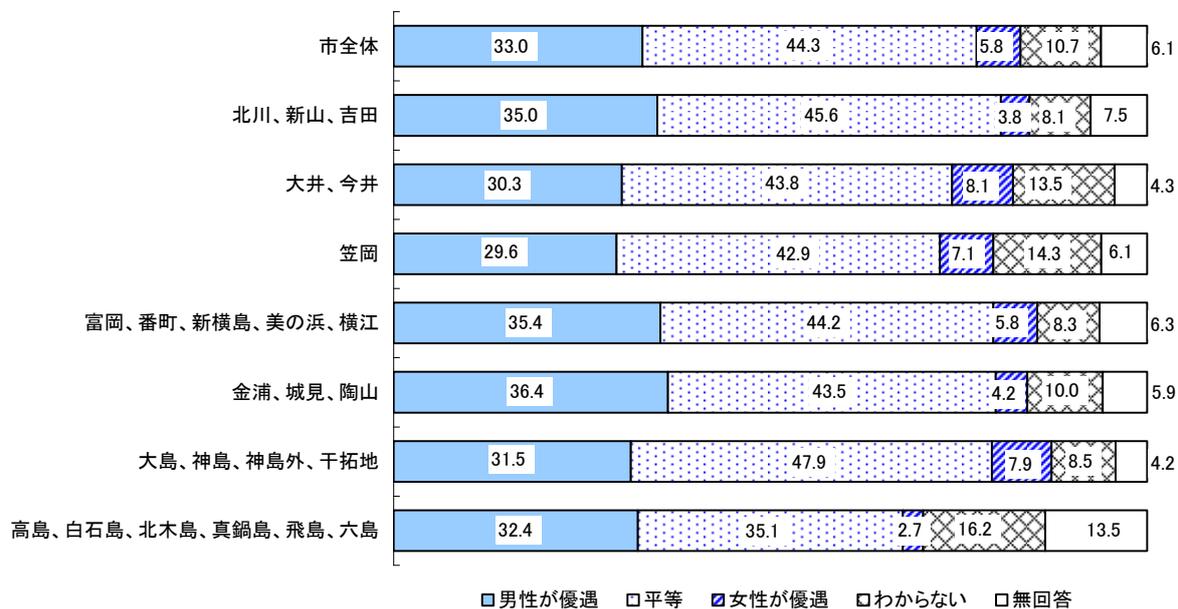
家庭の中で男女の地位は平等になっていると思うかについて、「平等」と回答した割合が44.3%と最も高く、次いで「男性が優遇」(33.0%)、「わからない」(10.7%)、「女性が優遇」(5.8%)の順となっている。

【年齢別】



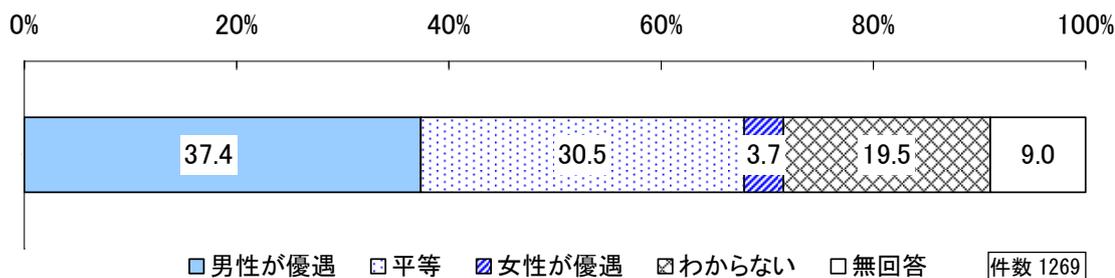
年齢別にみると、「男性が優遇」と回答した割合は「18、19歳」「20～29歳」では2割程度と他の年齢層と比べて低くなっている。

【地区別】



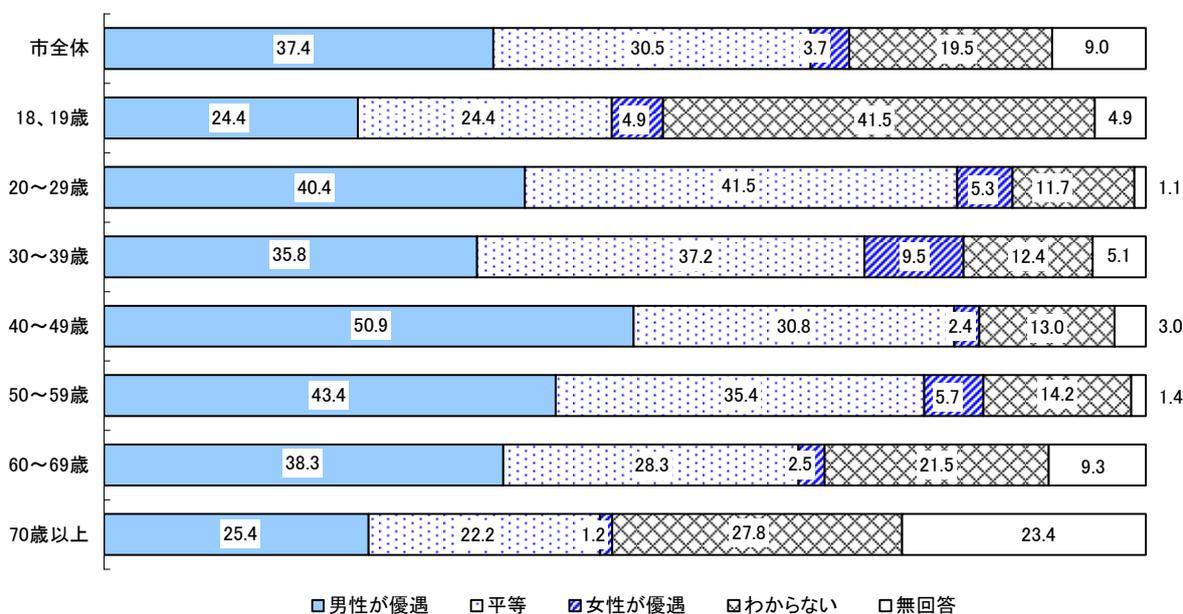
地区別にみると、「平等」と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が35.1%と他の地区と比べて低くなっている。

<職場の中で>



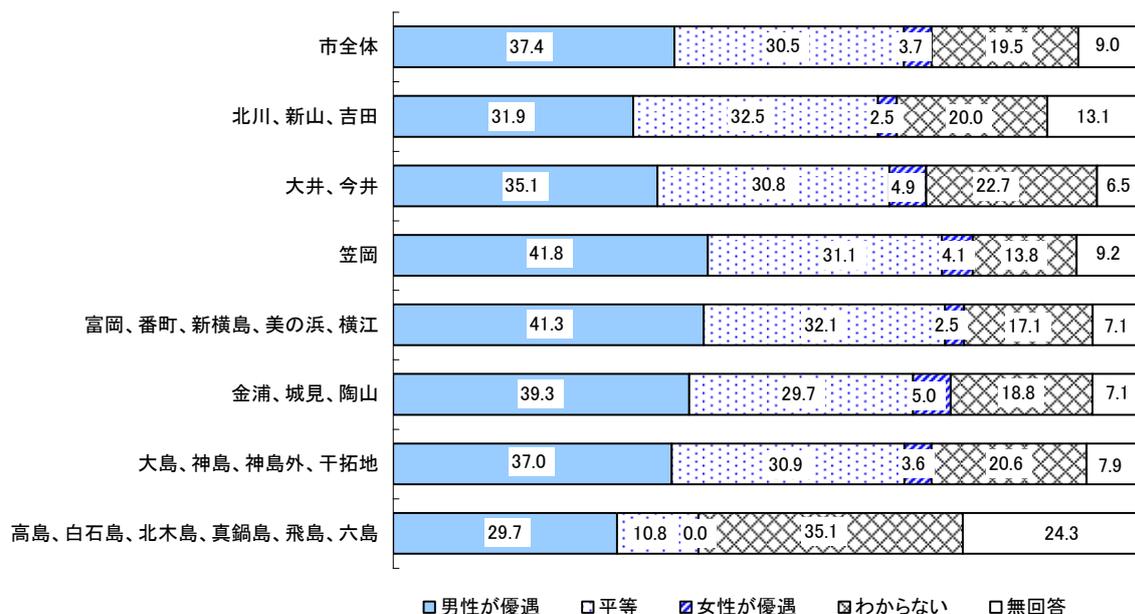
職場の中で男女の地位は平等になっていると思うかについて、「男性が優遇」と回答した割合が37.4%と最も高く、次いで「平等」(30.5%)、「わからない」(19.5%)、「女性が優遇」(3.7%)の順となっている。

【年齢別】



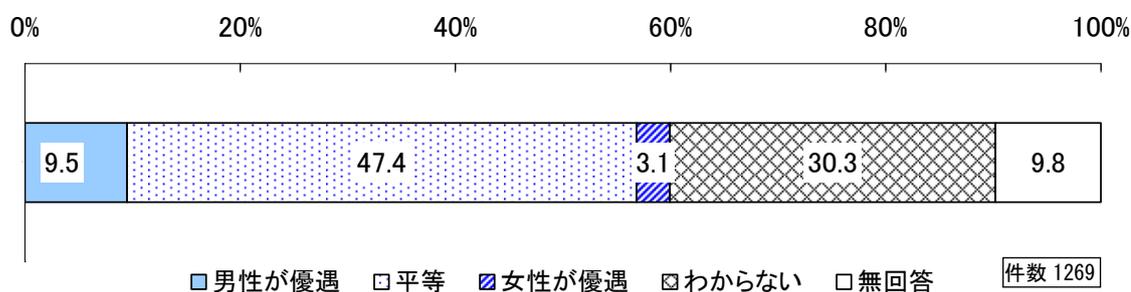
年齢別にみると、「男性が優遇」と回答した割合は「40～49歳」が50.9%と他の年齢層と比べて高くなっている。また、「わからない」と回答した割合は「18、19歳」が41.5%と他の年齢層に比べて高くなっている。

【地区別】



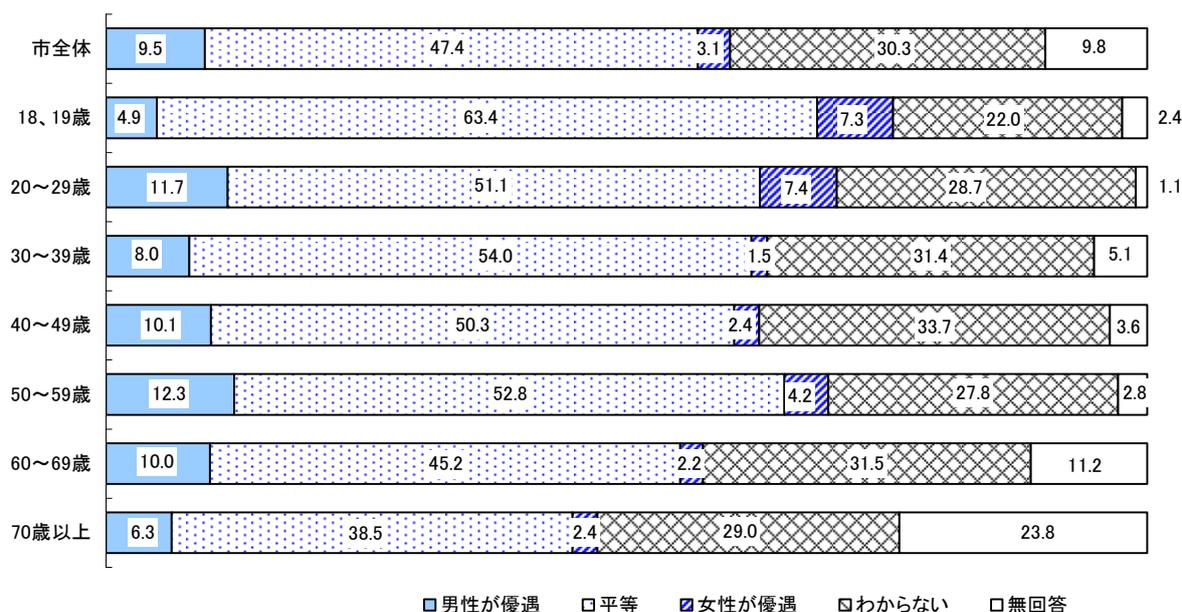
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」では、「男性が優遇」と回答した割合が 29.7%と他の地区と比べて低く、「わからない」と回答した割合が 35.1%と他の地区と比べて高くなっている。

<学校・教育の中で>



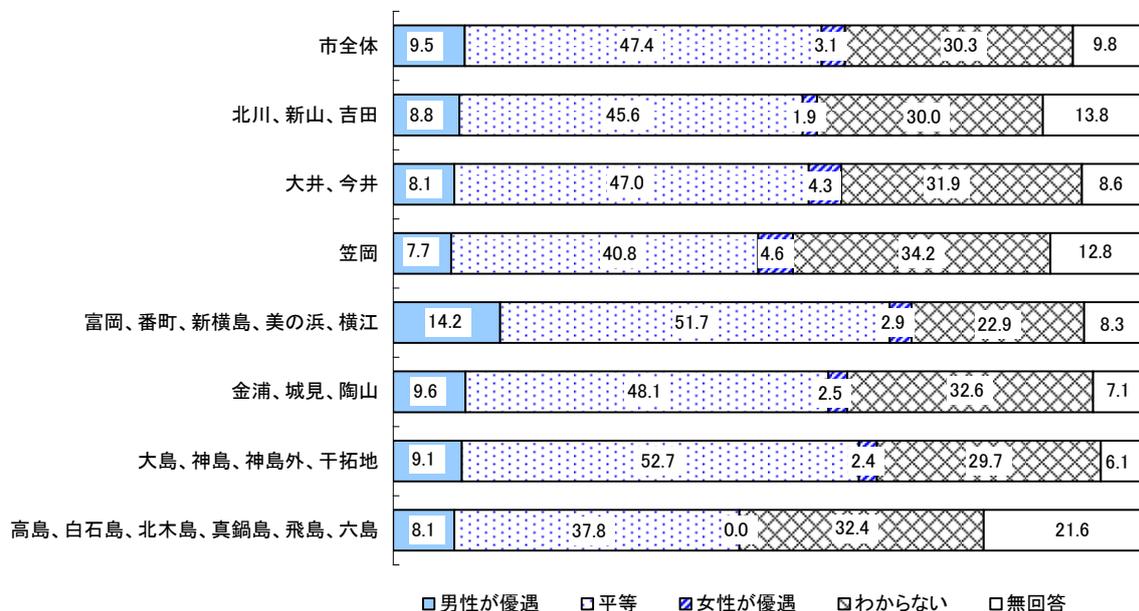
学校・教育の中で男女の地位は平等になっていると思うかについて、「平等」と回答した割合が 47.4%と最も高く、次いで「わからない」(30.3%)、「男性が優遇」(9.5%)、「女性が優遇」(3.1%)の順となっている。

【年齢別】



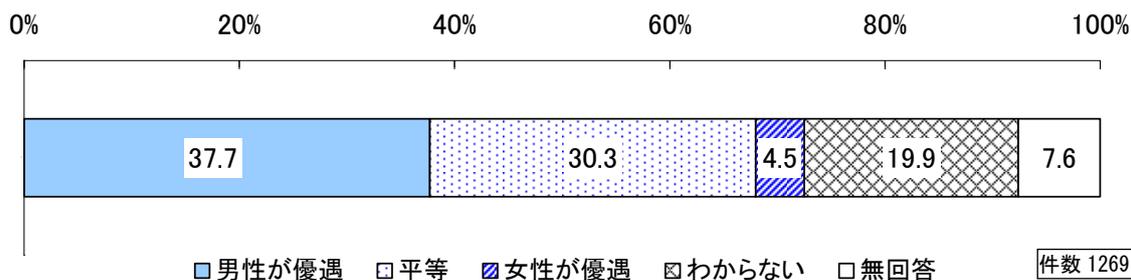
年齢別にみると、「平等」と回答した割合は「18、19歳」が63.4%と他の年齢層と比べて高くなっている。

【地区別】



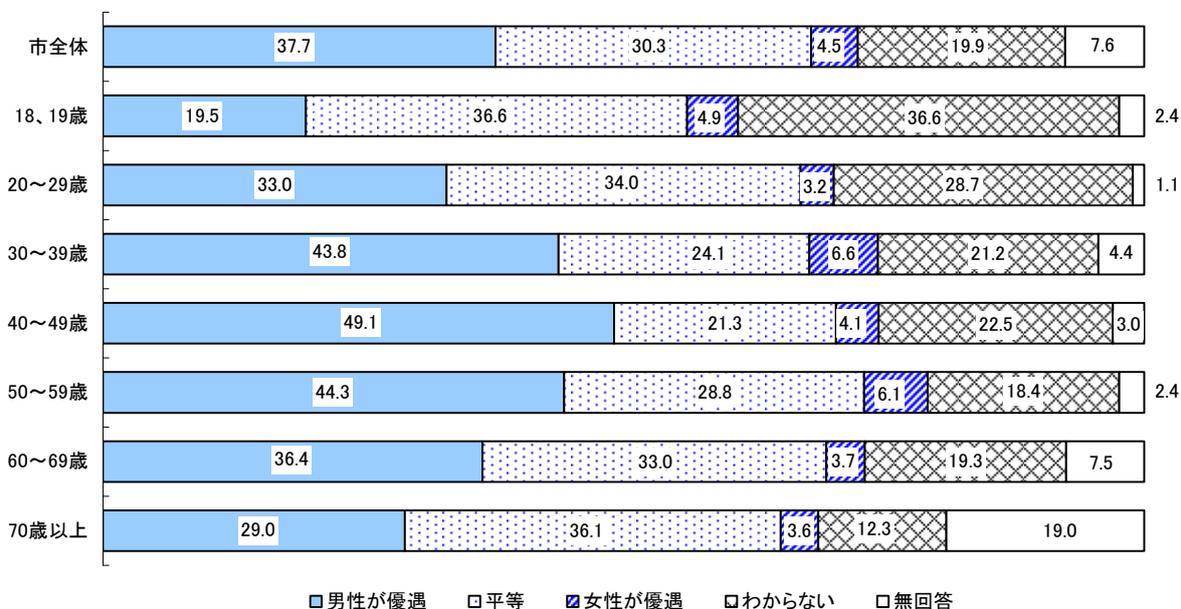
地区別にみると、「男性が優遇」と回答した割合は「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」が14.2%と他の地区と比べて高くなっている。

<地域社会の中で>



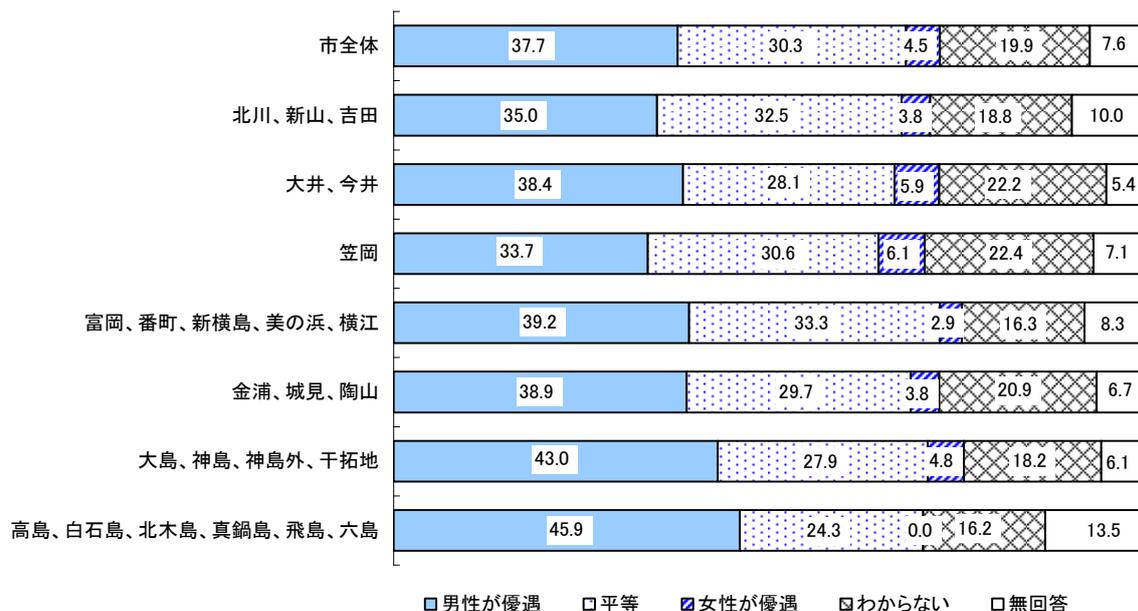
地域社会の中で男女の地位は平等になっているかについて、「男性が優遇」と回答した割合が37.7%と最も高く、次いで「平等」(30.3%)、「わからない」(19.9%)、「女性が優遇」(4.5%)の順となっている。

【年齢別】



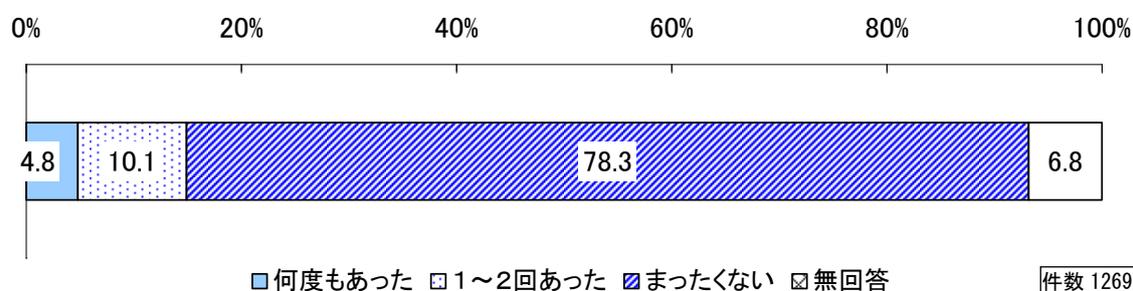
年齢別にみると、「男性が優遇」と回答した割合は「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」では4割程度と高くなっている。

【地区別】



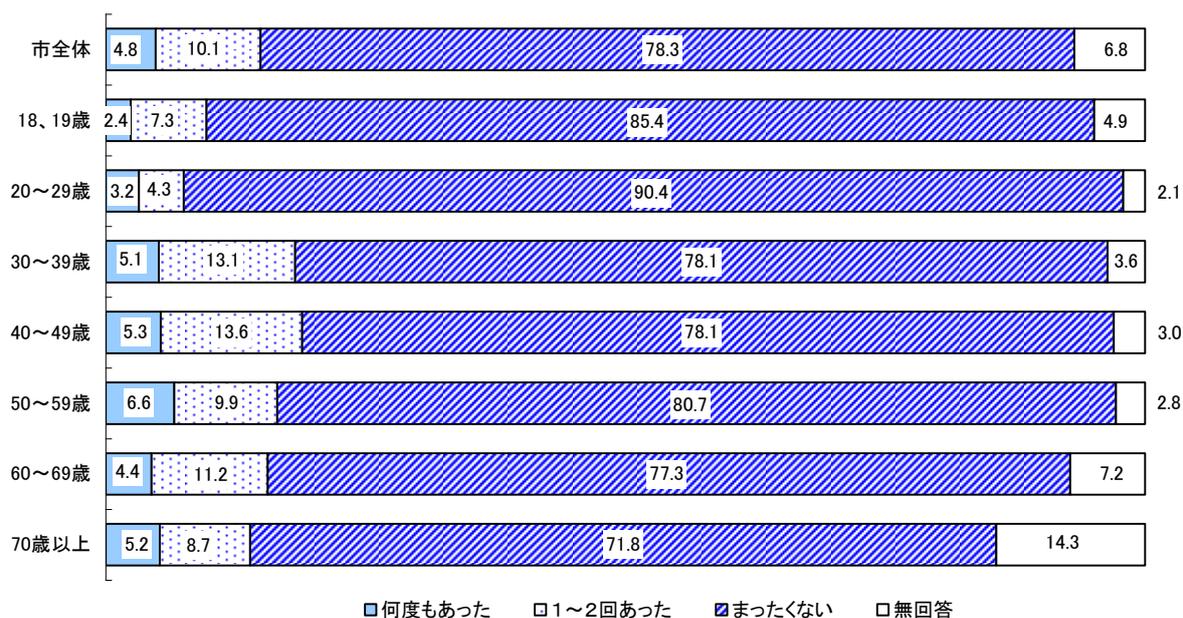
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」では「男性が優遇」と回答した割合が45.9%と他の地区と比べて高くなっている。

(3) あなたは、配偶者や恋人等親しい関係にある人から暴力（なぐる、ける、物を投げつける、危害を加えられる恐れのある脅迫、暴言、行動の監視、望まない性的行為の強要）を受けたことがありますか。



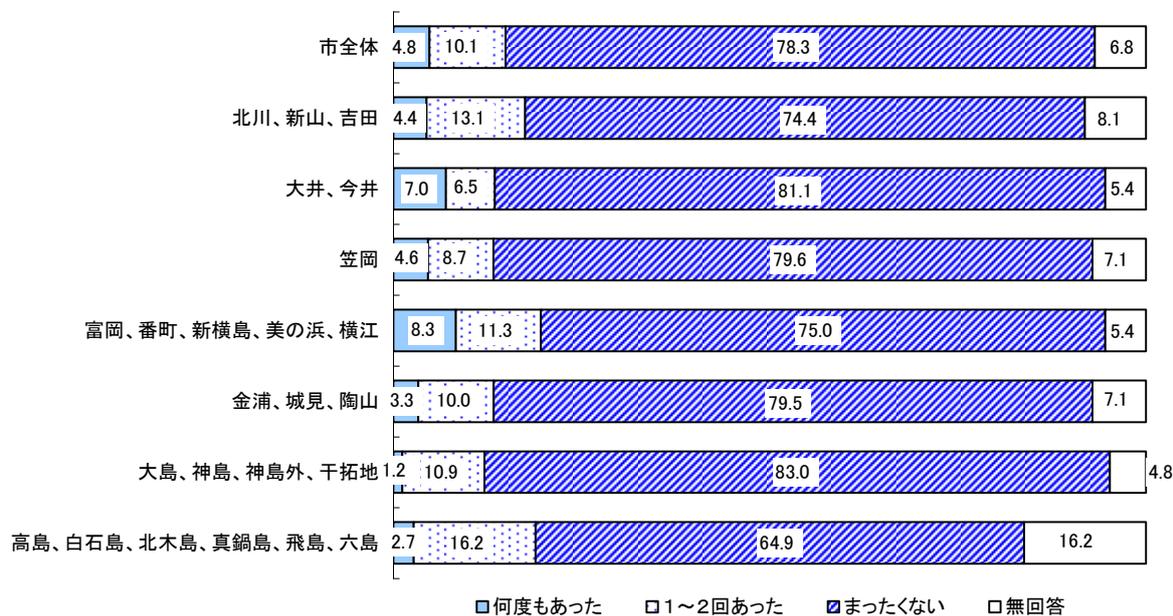
配偶者や恋人等親しい関係にある人から暴力を受けたことの有無について、「まったくくない」と回答した割合が78.3%と最も高く、次いで「1~2回あった」(10.1%)、「何度もあった」(4.8%)の順となっている。

【年齢別】



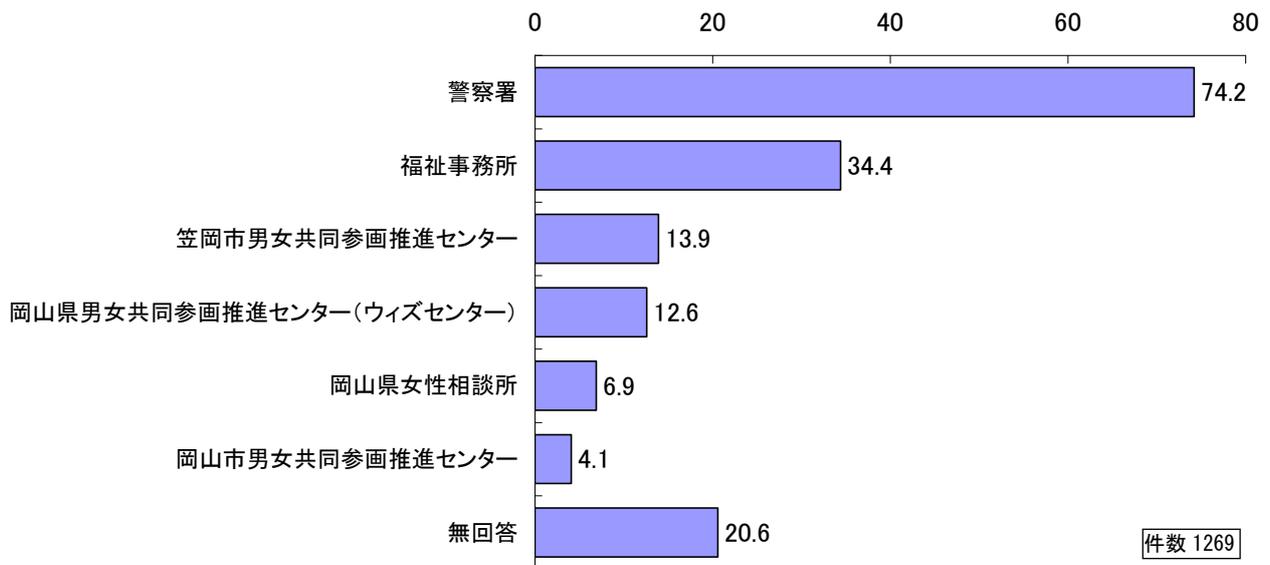
年齢別にみると、【あった（「何度もあった」「1~2回あった」を合わせたもの）】と回答した割合は、「30~39歳」「40~49歳」では2割程度と高くなっている。

【地区別】



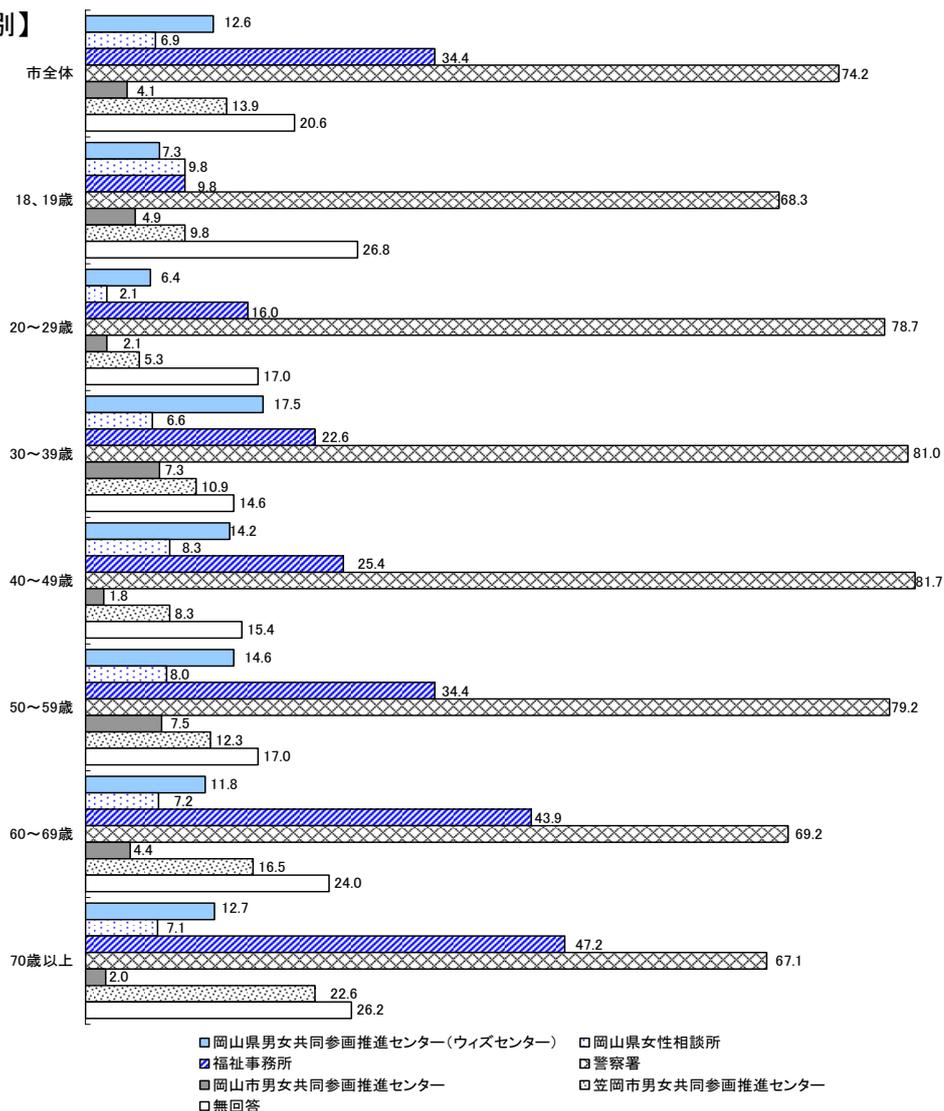
地区別にみると、【あった（「何度もあった」「1~2回あった」を合わせたもの）】と回答した割合は、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」では2割程度と高くなっている。

(4) 配偶者等からの暴力について公的相談機関として県内及び市内には主に次の機関がありますが、あなたはどの機関を知っていますか。いくつでも選んで番号に○をつけてください。



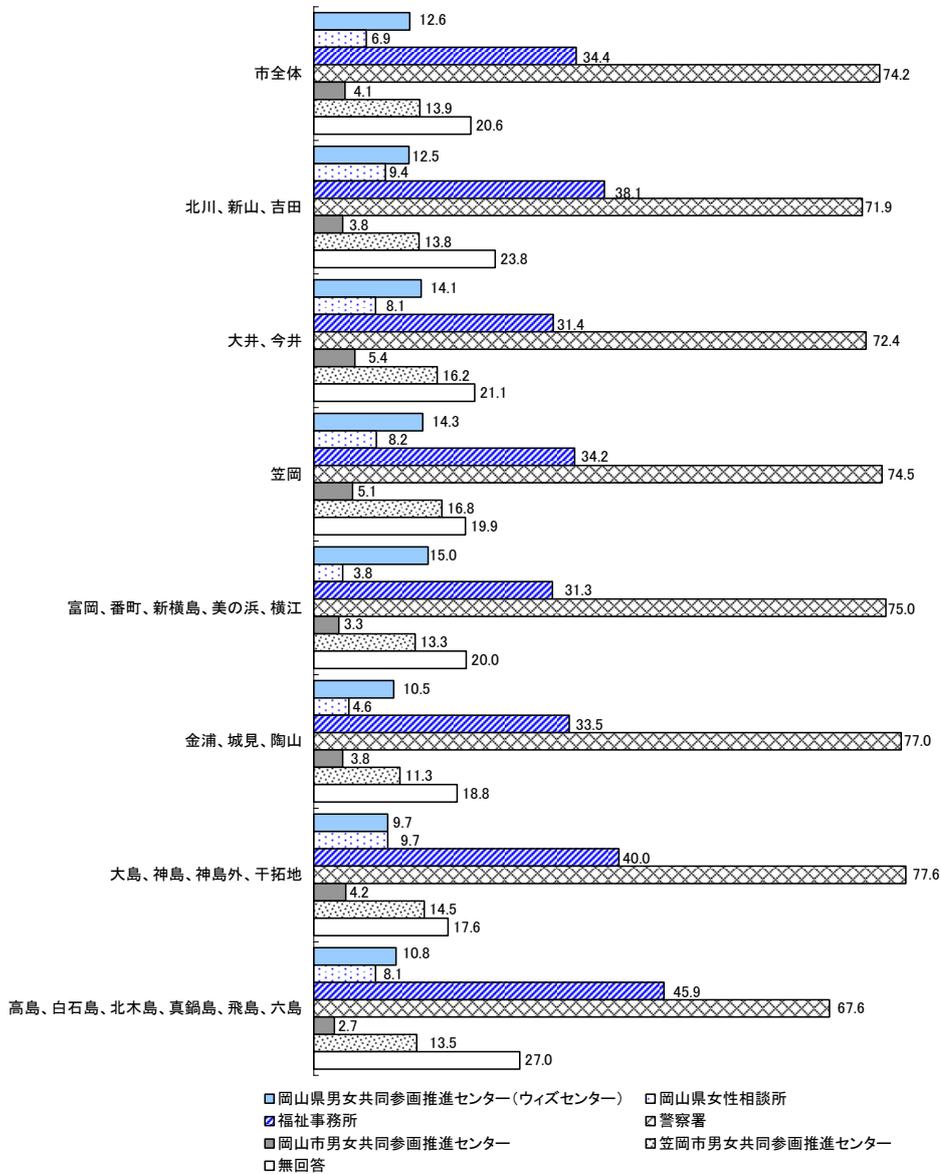
配偶者等からの暴力について公的相談機関の認知度について、「警察署」と回答した割合が74.2%と最も高く、次いで「福祉事務所」(34.4%)、「笠岡市男女共同参画推進センター」(13.9%)、「岡山県男女共同参画推進センター(ウイズセンター)」(12.6%)の順となっている。

【年齢別】



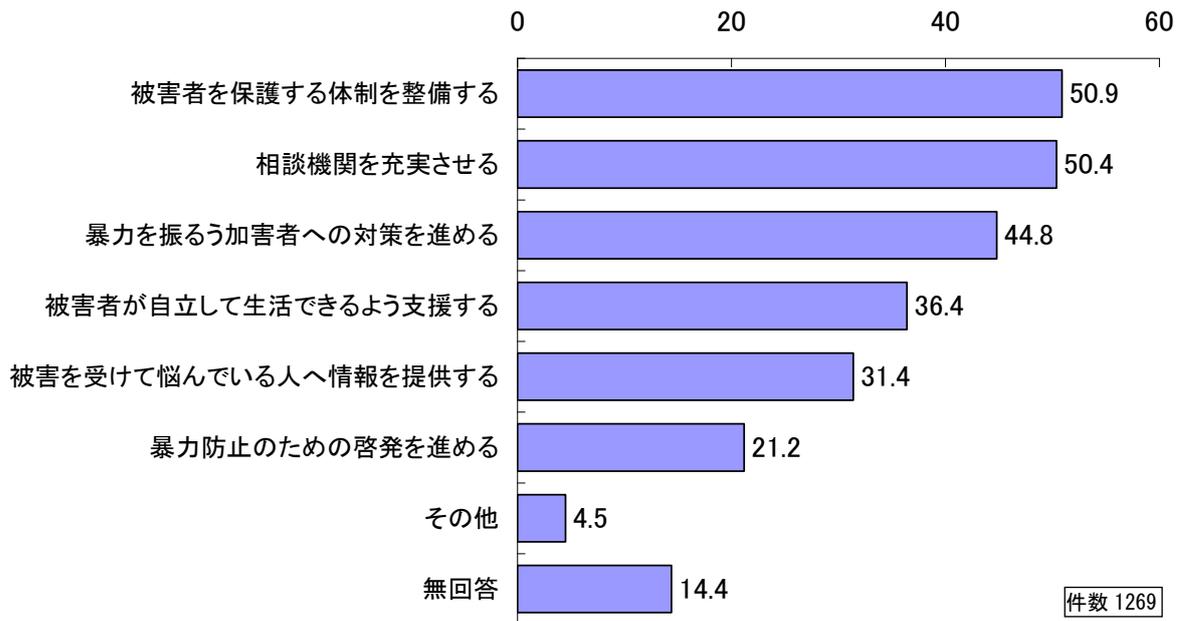
年齢別にみると、「30～39 歳」「40～49 歳」「50～59 歳」では「警察署」と回答した割合が8割程度と高くなっている。また、年齢が高くなるにつれて、「福祉事務所」と回答した割合が高くなる傾向にある。

【地区別】



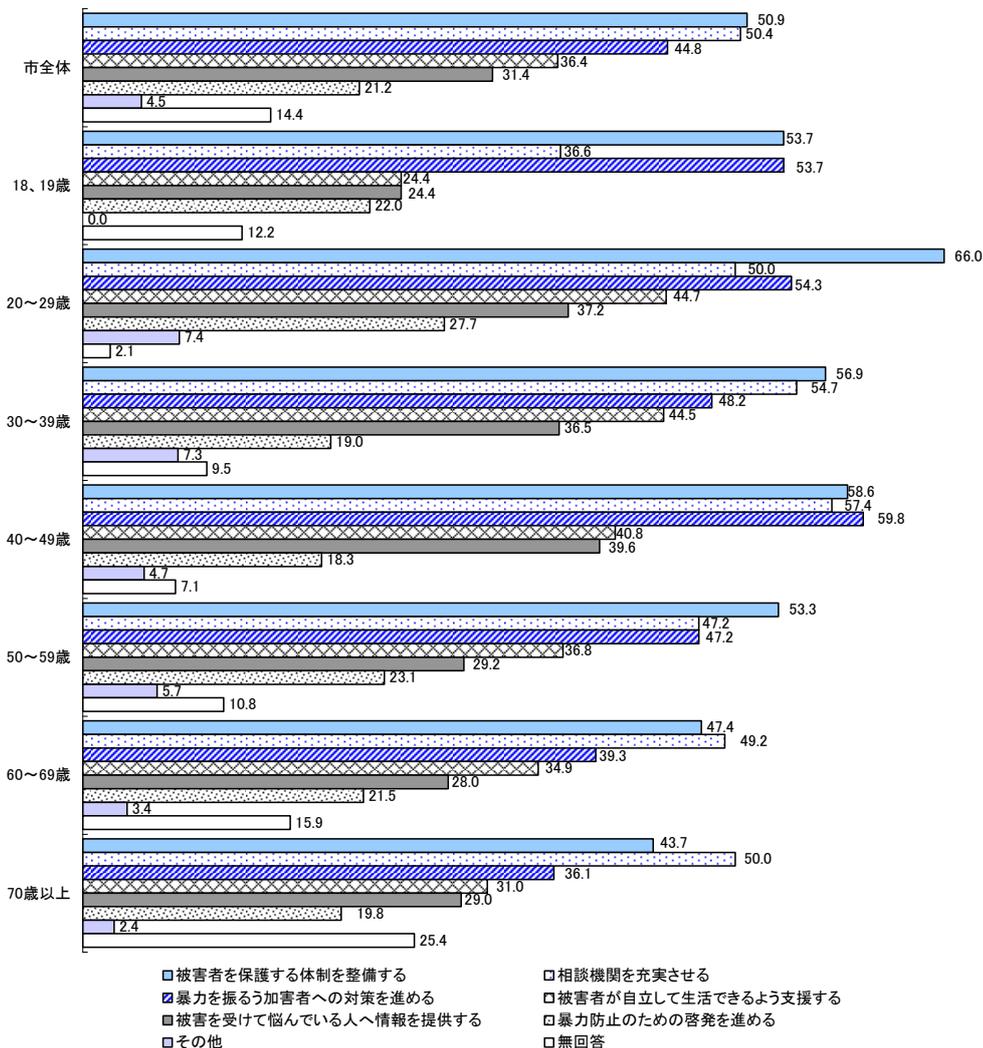
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」では「福祉事務所」と回答した割合が45.9%と他の地区と比べて高くなっている。

(5) あなたは、配偶者等からの暴力をなくすためには何が必要だと思いますか。
いくつでも選んで番号に○をつけてください。



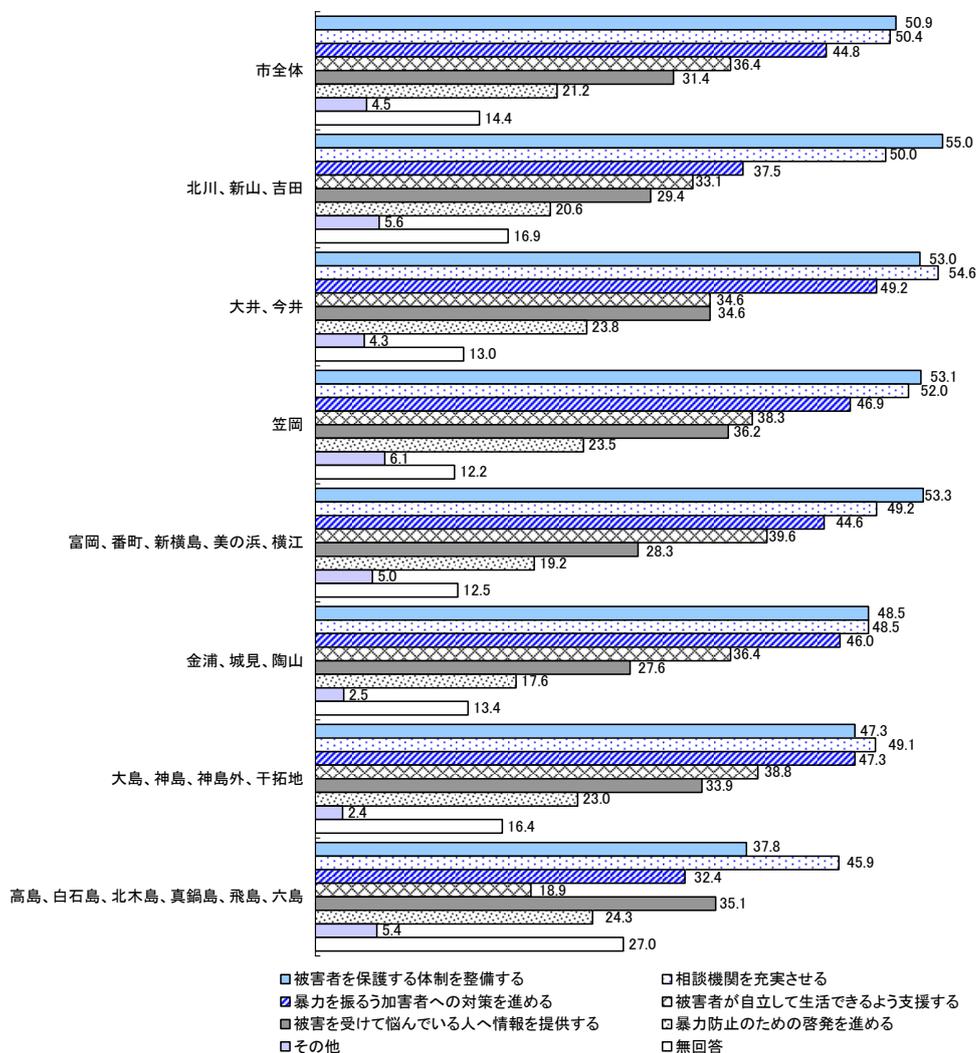
暴力をなくすためには何が必要だと思うことについて、「被害者を保護する体制を整備する」と回答した割合が50.9%と最も高く、次いで「相談機関を充実させる」(50.4%)、「暴力を振るう加害者への対策を進める」(44.8%)、「被害者が自立して生活できるよう支援する」(36.4%)の順となっている。

【年齢別】



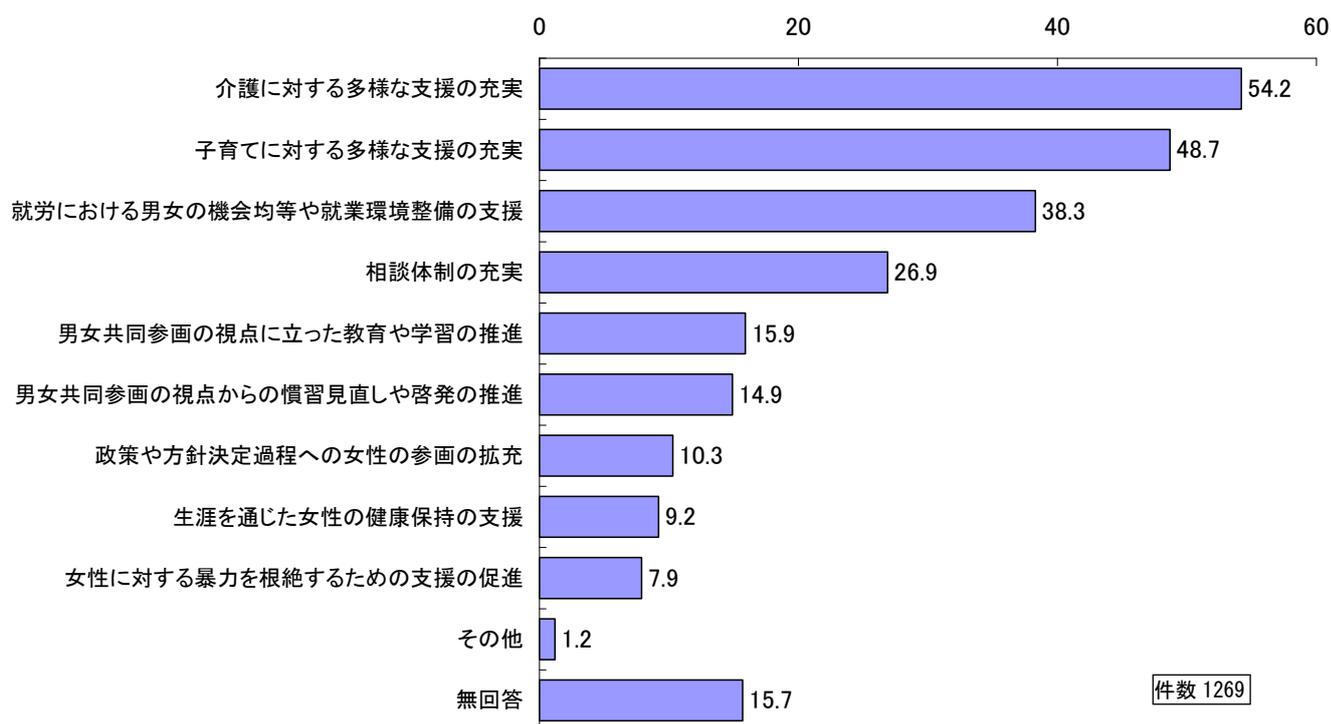
年齢別にみると、「20～29 歳」では「被害者を保護する体制を整備する」と回答した割合が66.0%と他の年齢層と比べて高くなっている。また、「40～49 歳」では「暴力を振るう加害者への対策を進める」と回答した割合が59.8%と他の年齢層に比べて高くなっている。

【地区別】



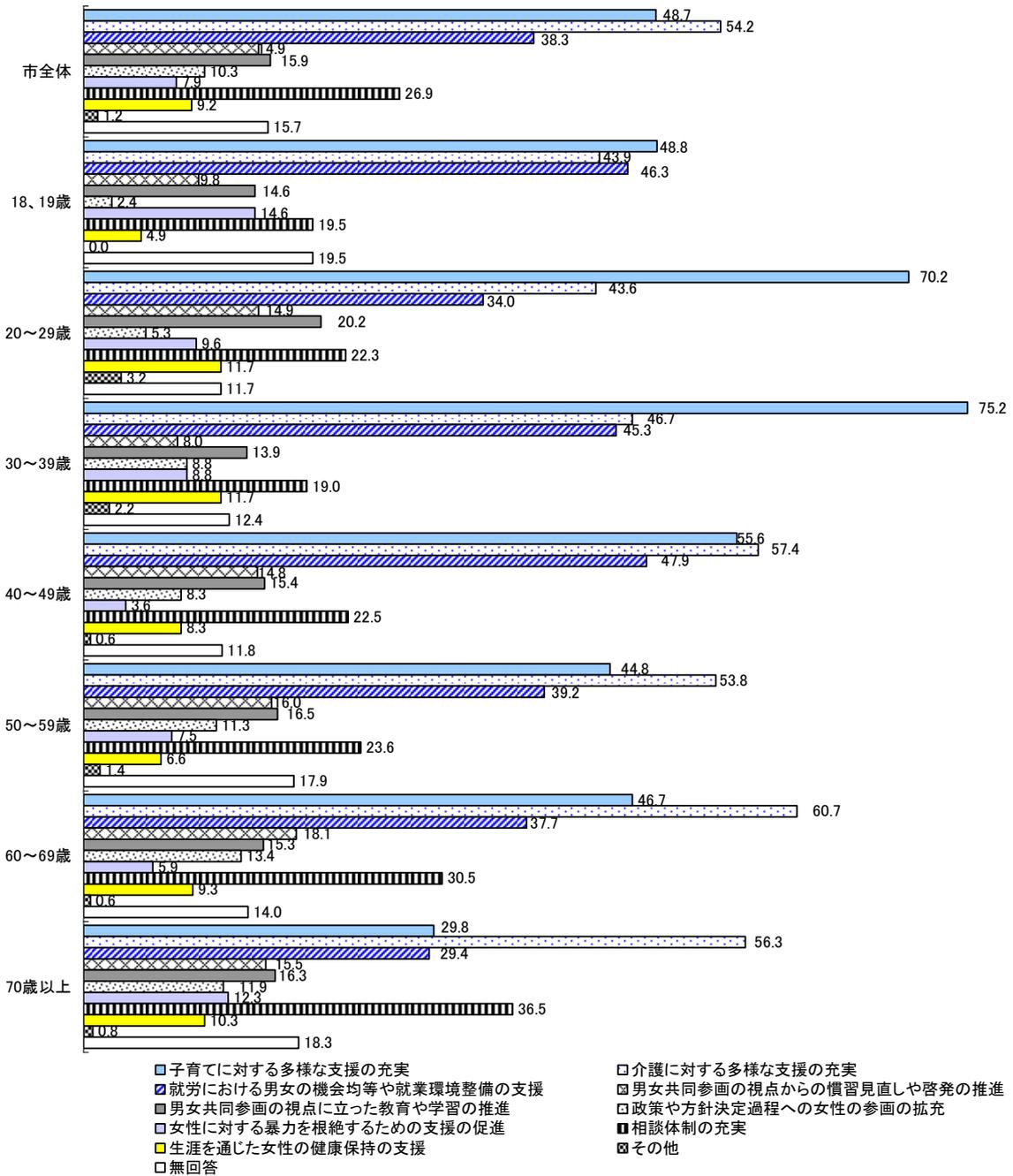
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」では、他の地区と比べて「被害者を保護する体制を整備する」「暴力を振るう加害者への対策を進める」と回答した割合が低くなっている。

(6) あなたは、男女共同参画社会の実現のために、今後行政がどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。3つまで選んで番号に○をつけてください。



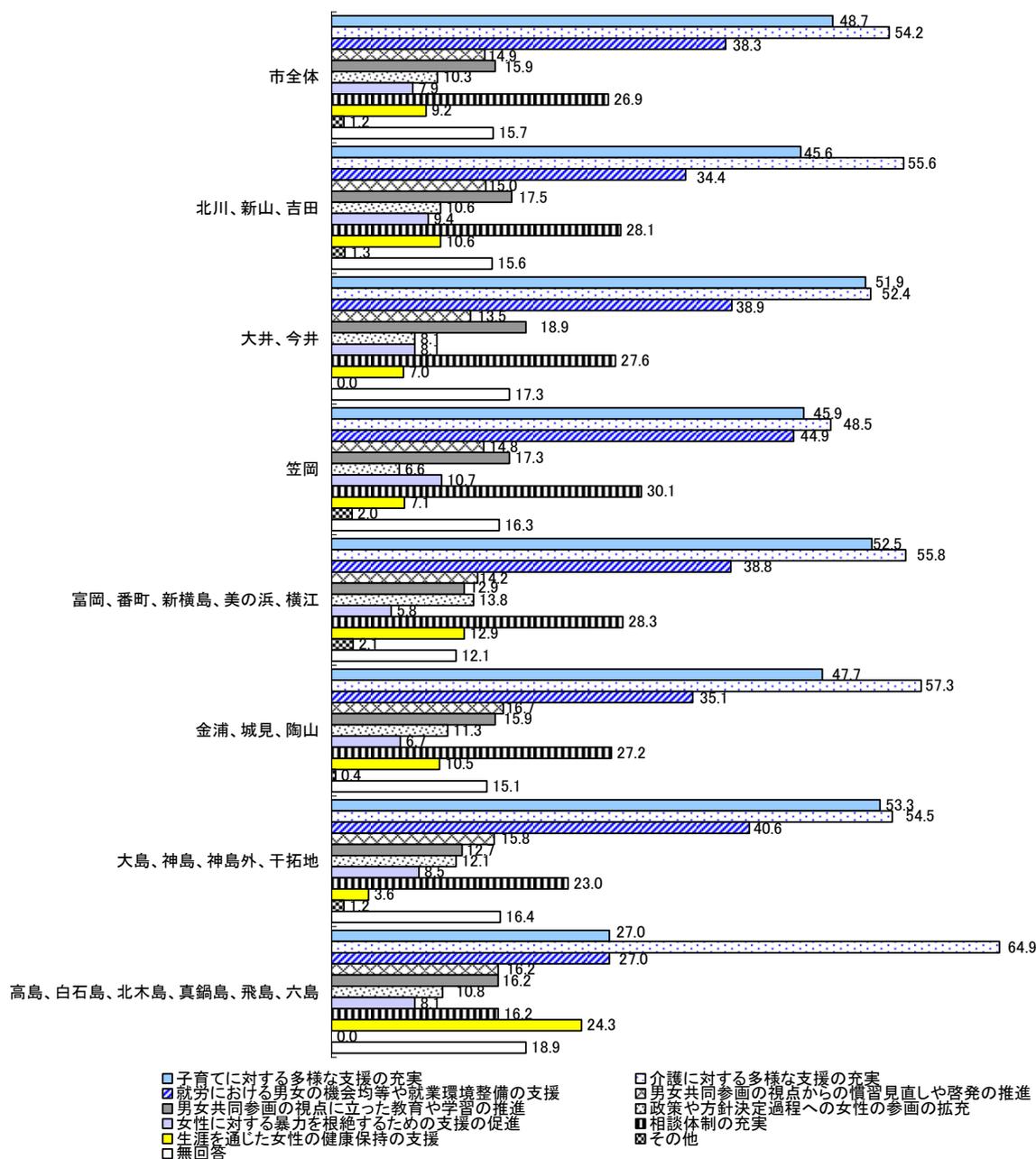
男女共同参画社会の実現のために、今後行政がどのようなことに力を入れていくべきについて、「介護に対する多様な支援の充実」と回答した割合が54.2%と最も高く、次いで「子育てに対する多様な支援の充実」(48.7%)、「就労における男女の機会均等や就業環境整備の支援」(38.3%)、「相談体制の充実」(26.9%)の順となっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「子育てに対する多様な支援の充実」と回答した割合は「20～29歳」「30～39歳」で高くなっている。また、「相談体制の充実」と回答した割合は「60～69歳」「70歳以上」でそれぞれ3割以上と高くなっている。

【地区別】



地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」では、「介護に対する多様な支援の充実」と回答した割合が64.9%と高く、「子育てに対する多様な支援の充実」「就労における男女の機会均等や就業環境整備の支援」と回答した割合が他の地区と比べて低くなっている。